

令和5年度
静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
【調査結果報告書】

静岡市

目次

I. 調査概要	1
II. 調査結果	3
1 あて名のお子さんご家族の状況について	3
2 あて名のお子さんの育ちをめぐり環境について	7
3 保護者の働き方について	11
4 発育や発達について	30
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について	31
6 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について	63
7 病気の際の対応について	71
8 教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	77
9 子育て支援センター等の利用状況について	86
10 放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用について	106
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について	114
12 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援について	117
13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について	123
14 子育てに関する意識等について	165
III. 調査票	179
1 就学前児童用	179
2 就学児童用	209

I. 調査概要

1 調査の目的

第3期「静岡市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7～11年度）における需要量の見込み等を設定する上で基礎資料とするため、市民の子育てに関する生活実態や子育て支援の利用状況、利用希望等のニーズを把握することを目的として実施しました。

2 調査の内容

- 1 あて名のお子さんご家族の状況について
- 2 あて名のお子さんの育ちをめぐる環境について
- 3 保護者の働き方について
- 4 発育や発達について
- 5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について
- 6 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について
- 7 病気の際の対応について
- 8 教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- 9 子育て支援センター等の利用状況について
- 10 放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用について
- 11 小学校就学後の放課後の過ごし方について
- 12 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援について
- 13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について
- 14 子育てに関する意識等について

3 調査の設計

- 1 調査地域 静岡市内全域
- 2 調査対象 就学前児童用：就学前児童（0～5歳）を養育する保護者 5,000人
就学児童用：小学生（1年生～6年生）を養育する保護者 2,000人
- 3 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- 4 調査方法 郵送配布・郵送回収、WEB回答
- 5 調査期間 郵送回答：令和5年12月1日～12月31日
WEB回答：令和5年12月1日～令和6年1月12日

4 調査の回収結果

	発送数	郵送回収数	WEB 回答	有効回収数※	有効回収率
就学前児童用	5,000 人	1,364 人	1,047 人	2,411 人	48.2%
就学児童用	2,000 人	479 人	444 人	923 人	46.2%

※有効回収数とは、回収数から白紙回答などの無効回答を除いた数のことです。

5 調査結果の表示方法

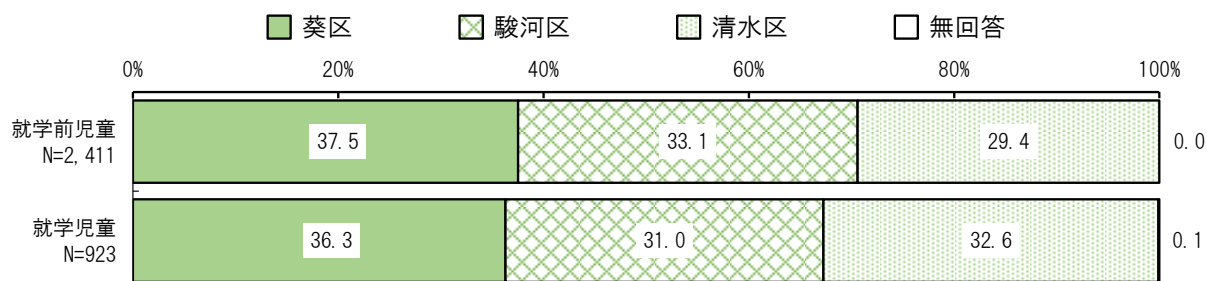
- ・ 比率はすべて百分率であらわし、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ・ 基数となるべき調査数は、Nと表示しており、回答比率はこれを100%として算出しています。
- ・ 複数の回答が許されている設問においては、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

Ⅱ. 調査結果

1 あて名のお子さんご家族の状況について

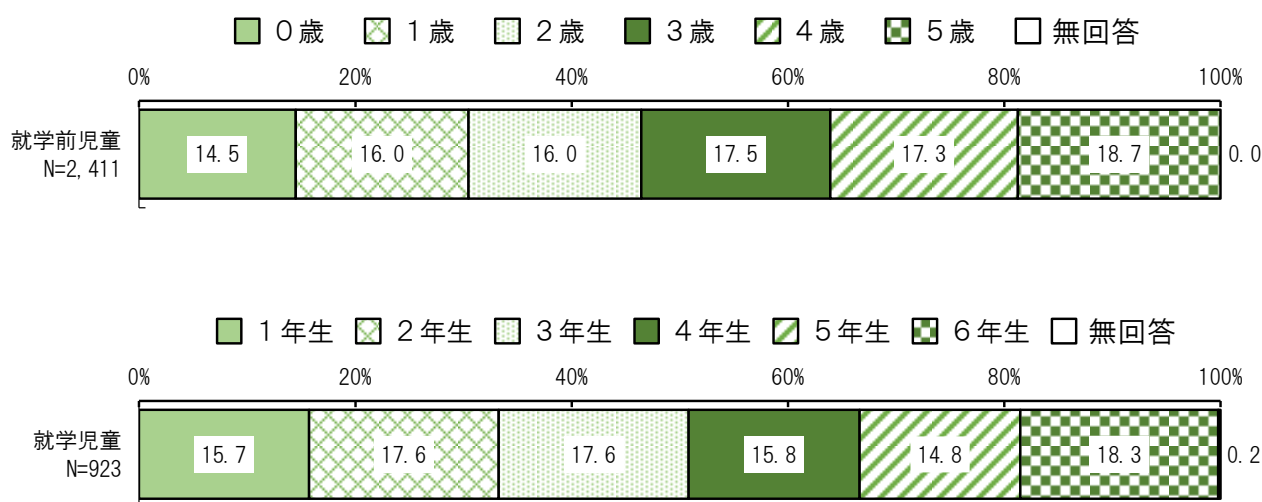
(1) 居住する行政区(単数回答)

《就学前児童調査・就学児童調査…問1》



(2) 対象の子どもの年齢・学年(数量回答)

《就学前児童調査・就学児童調査…問2》

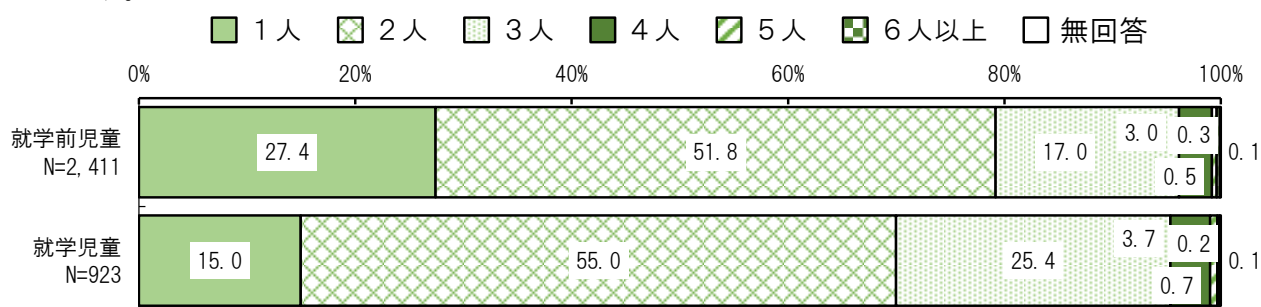


(3) 子どもの人数(数量回答)

《就学前児童調査・就学児童調査…問3》

就学前児童では、「2人」が51.8%と最も高く、次いで「1人」が27.4%、「3人」が17.0%などとなっています。

就学児童では、「2人」が55.0%と最も高く、次いで「3人」が25.4%、「1人」が15.0%などとなっています。

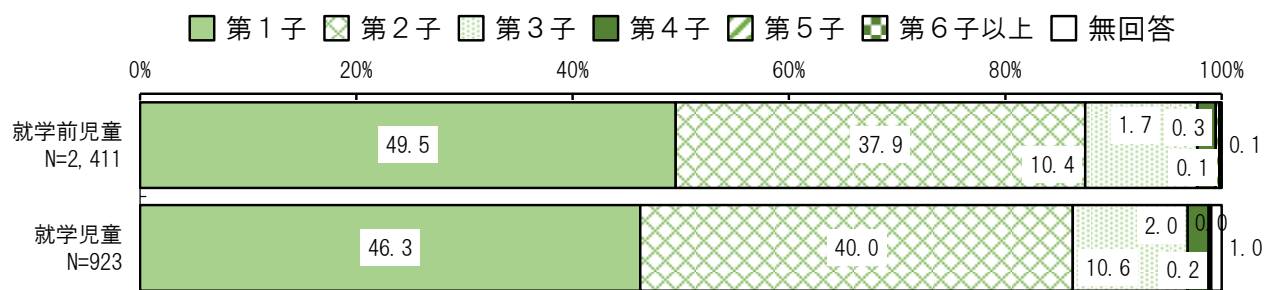


(4) 対象の子どもが第何子か（数量回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問3》

就学前児童では、「第1子」が49.5%と最も高く、次いで「第2子」が37.9%、「第3子」が10.4%などとなっています。

就学児童では、「第1子」が46.3%と最も高く、次いで「第2子」が40.0%、「第3子」が10.6%などとなっています。

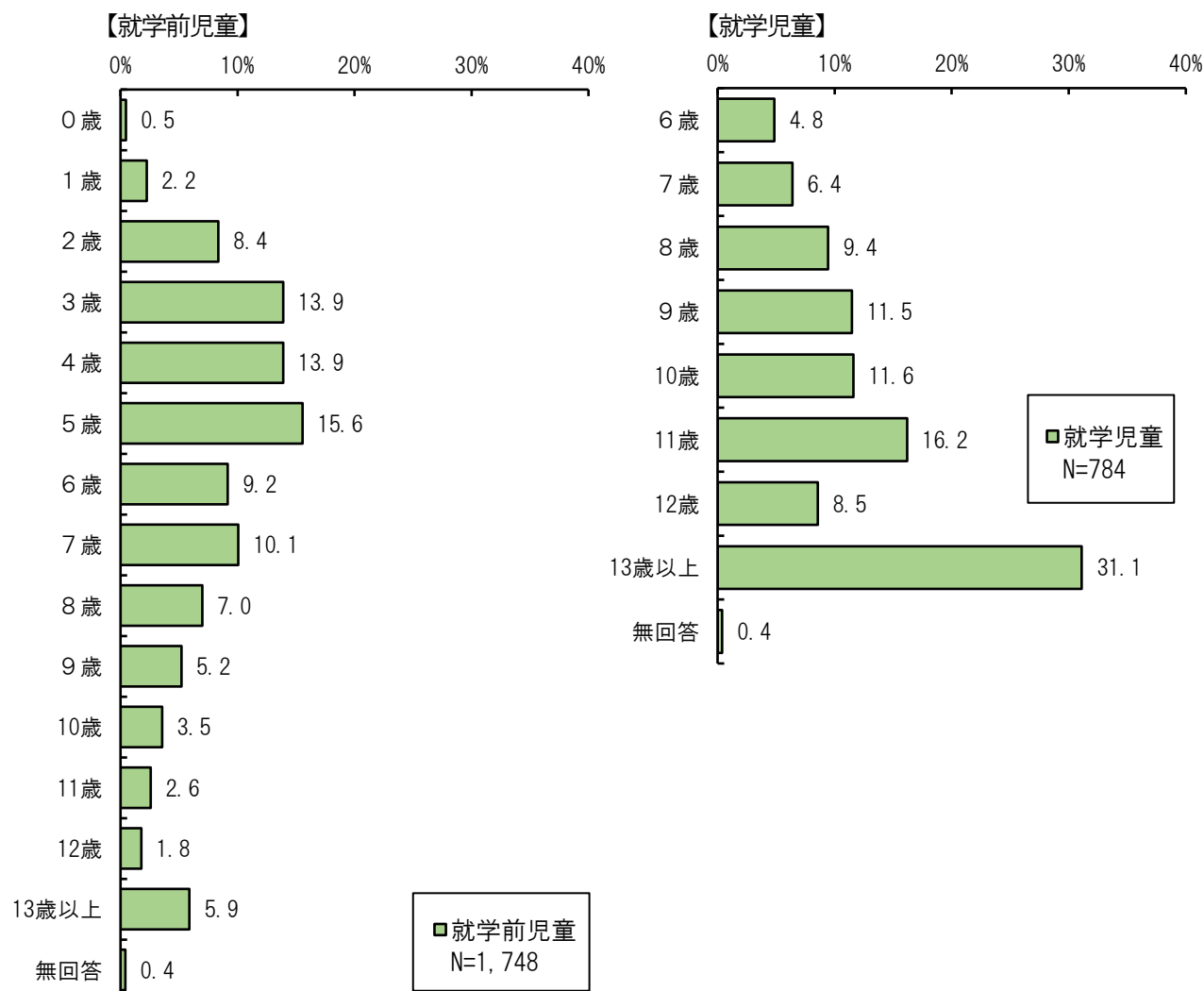


(5) 長子の年齢（子どもが2人以上いる場合）（数量回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問3》

就学前児童では、「5歳」が15.6%と最も高く、次いで「3歳」、「4歳」が13.9%などとなっています。

就学児童では、「13歳以上」が31.1%と最も高く、次いで「11歳」が16.2%、「10歳」が11.6%などとなっています。



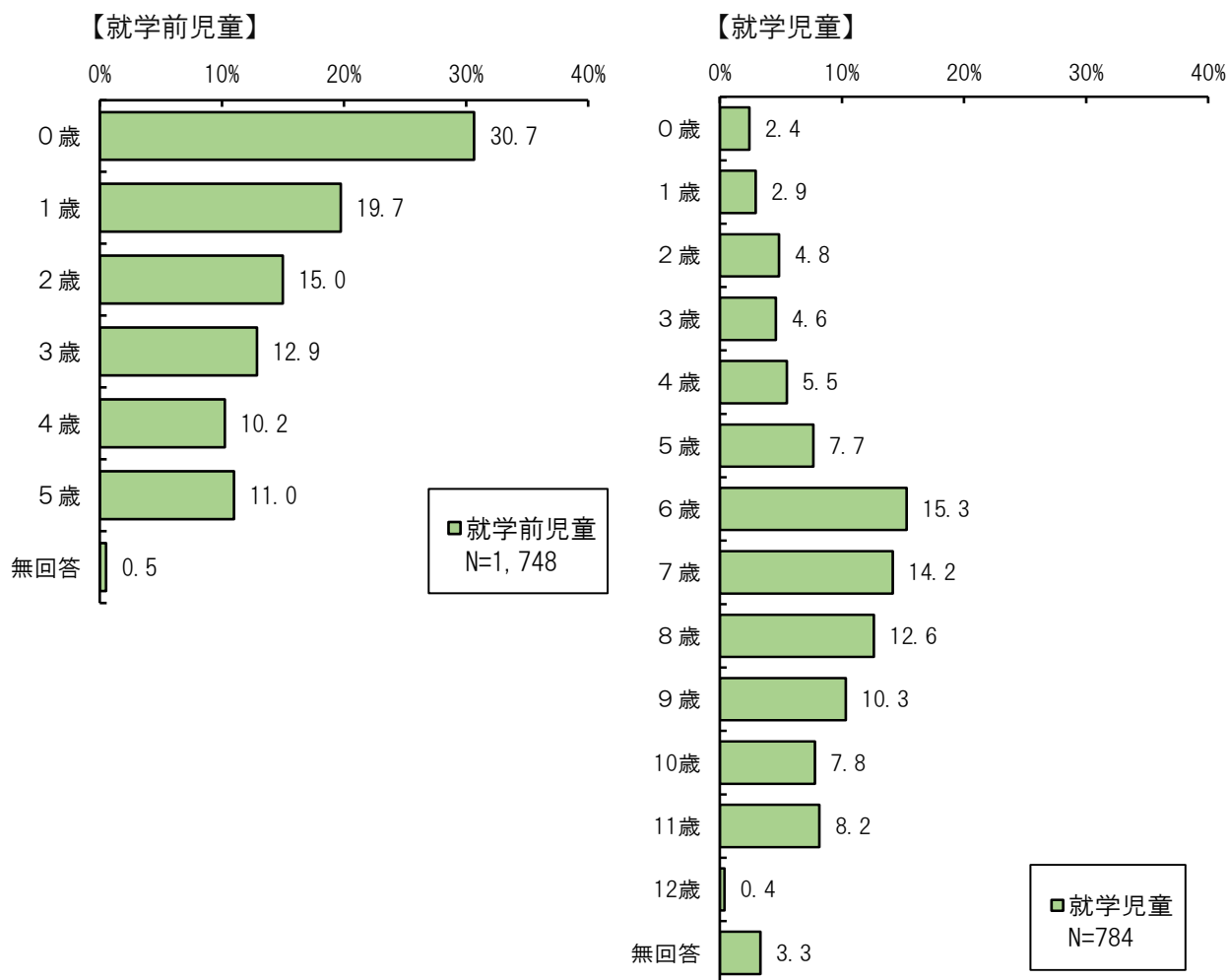
Ⅱ 調査結果【1 あて名のお子さんご家族の状況について】

(6) 末子の年齢（子どもが2人以上いる場合）（数量回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問3》

就学前児童では、「0歳」が30.7%と最も高く、次いで「1歳」が19.7%、「2歳」が15.0%などとなっています。

就学児童では、「6歳」が15.3%と最も高く、次いで「7歳」が14.2%、「8歳」が12.6%などとなっています。

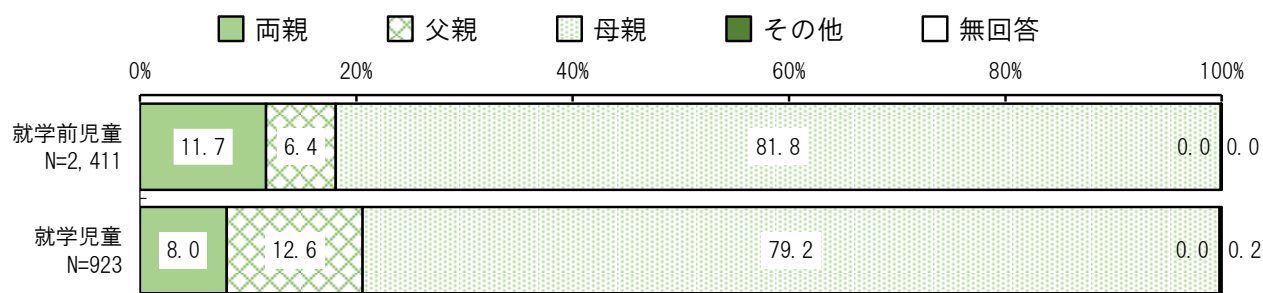


(7) 回答者（単数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問4》

就学前児童では、「両親」が11.7%、「父親」が6.4%、「母親」が81.8%などとなっています。

就学児童では、「両親」が8.0%、「父親」が12.6%、「母親」が79.2%などとなっています。

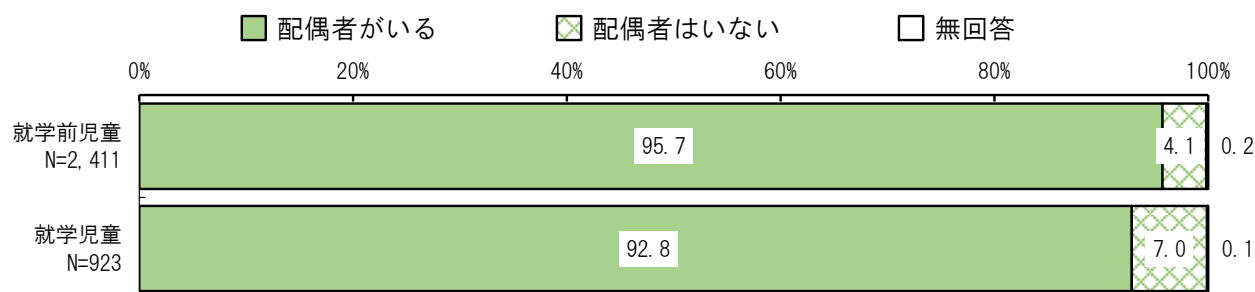


(8) 回答者の配偶関係の有無（単数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問5》

就学前児童では、「配偶者がいる」が95.7%、「配偶者はいない」が4.1%となっています。

就学児童では、「配偶者がいる」が92.8%、「配偶者はいない」が7.0%となっています。

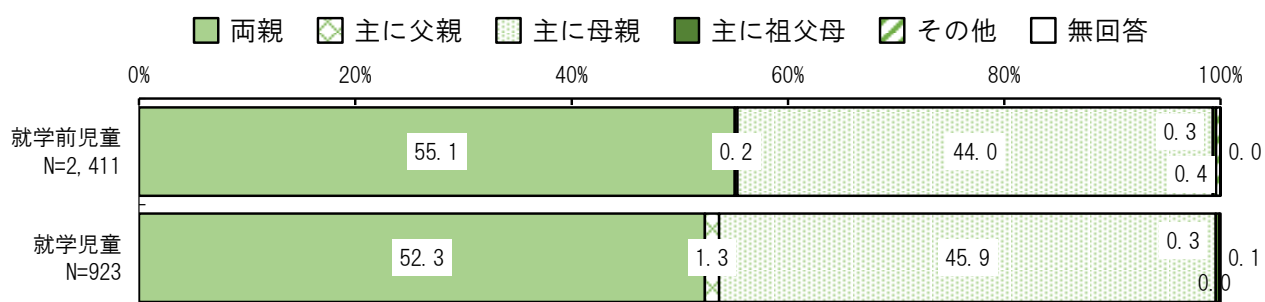


(9) 子育てを主に行っている方（単数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問6》

就学前児童では、「両親」が55.1%と最も高く、次いで「主に母親」が44.0%、「主に祖父母」が0.3%などとなっています。

就学児童では、「両親」が52.3%と最も高く、次いで「主に母親」が45.9%、「主に父親」が1.3%などとなっています。



2 あて名のお子さんの育ちをめぐる環境について

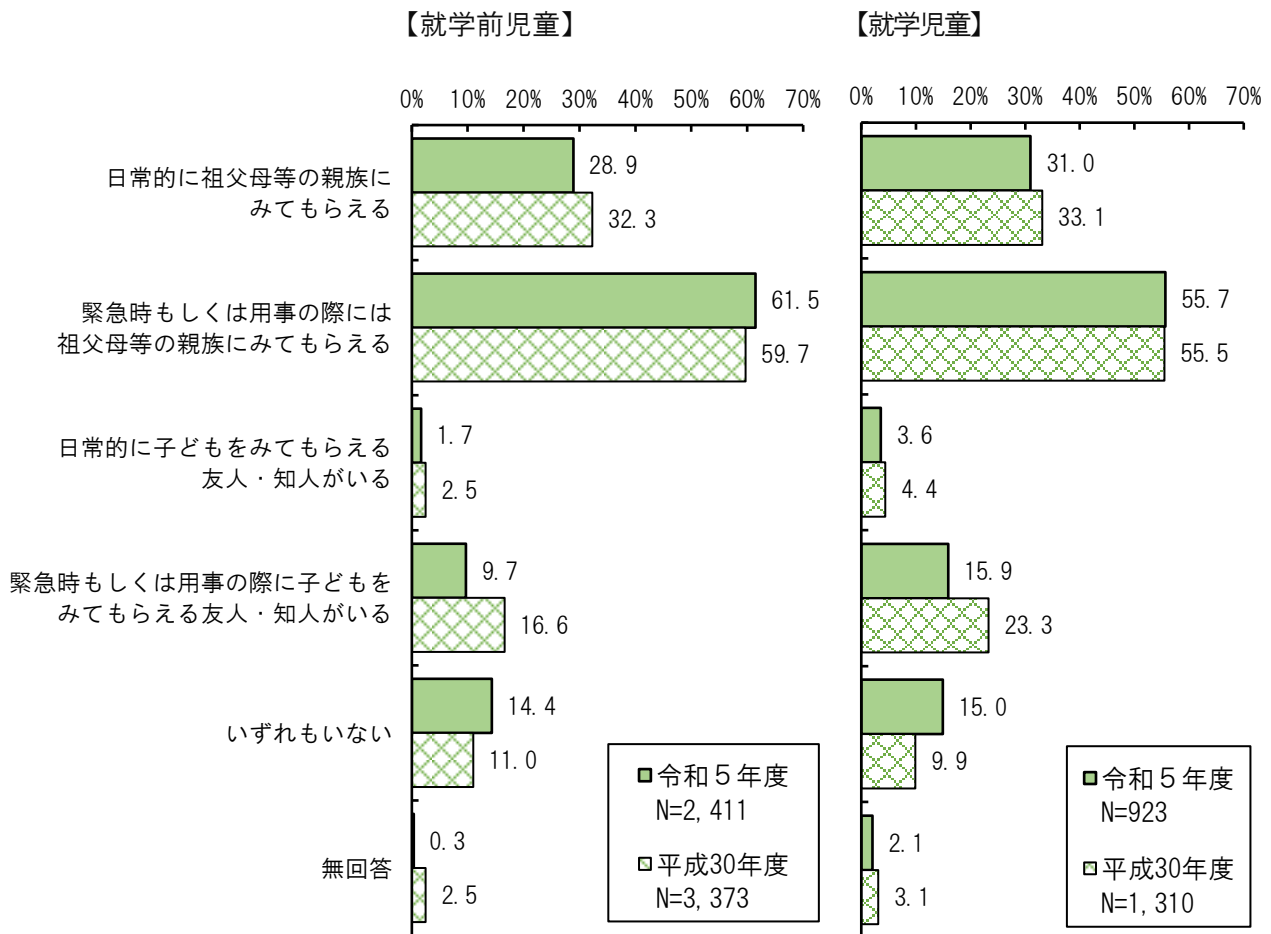
(1) 子どもをみてもらえる親族や友人・知人の有無（複数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問7》

就学前児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.9%、「いずれもない」が14.4%などとなっています。

就学児童では、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が55.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が31.0%、「緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が15.9%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が最も高くなっています。



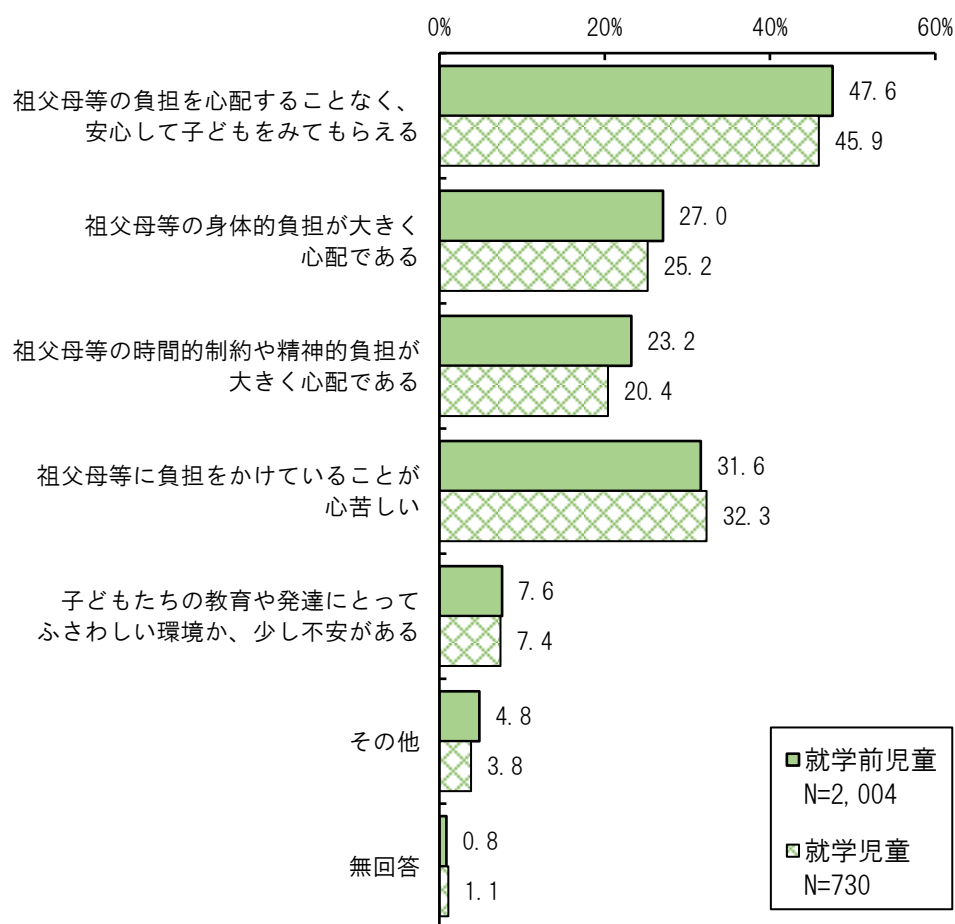
(1)で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

(2) 祖父母等の親族にみてもらっている状況（複数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問7》

就学前児童では、「祖父母等の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が47.6%と最も高く、次いで「祖父母等に負担をかけていることが心苦しい」が31.6%、「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」が27.0%などとなっています。

就学児童では、「祖父母等の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が45.9%と最も高く、次いで「祖父母等に負担をかけていることが心苦しい」が32.3%、「祖父母等の身体的負担が大きく心配である」が25.2%などとなっています。



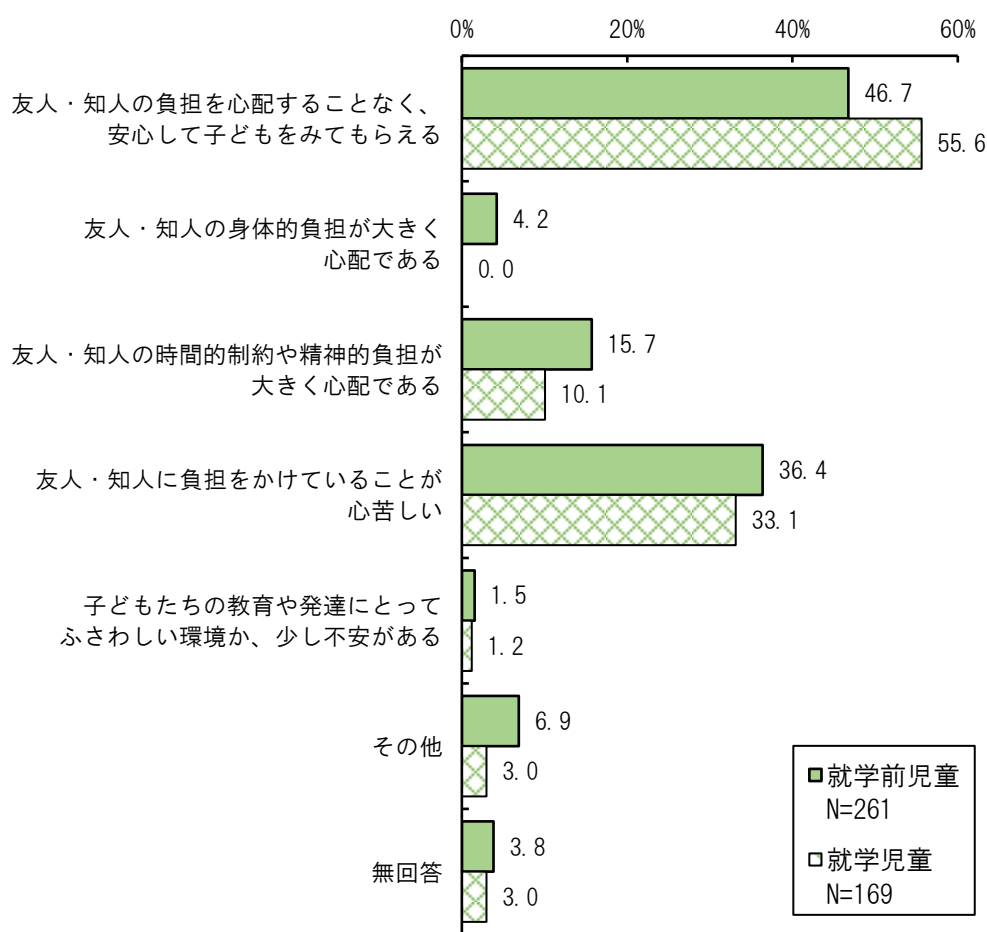
Ⅱ 調査結果【2 あて名のお子さんの育ちをめぐる環境について】

(1)で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がある」または「緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

(3) 友人・知人にみてもらっている状況（複数回答）《就学前児童調査・就学児童調査…問7》

就学前児童では、「友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が46.7%と最も高く、次いで「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」が36.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が15.7%などとなっています。

就学児童では、「友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が55.6%と最も高く、次いで「友人・知人に負担をかけていることが心苦しい」が33.1%、「友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である」が10.1%などとなっています。

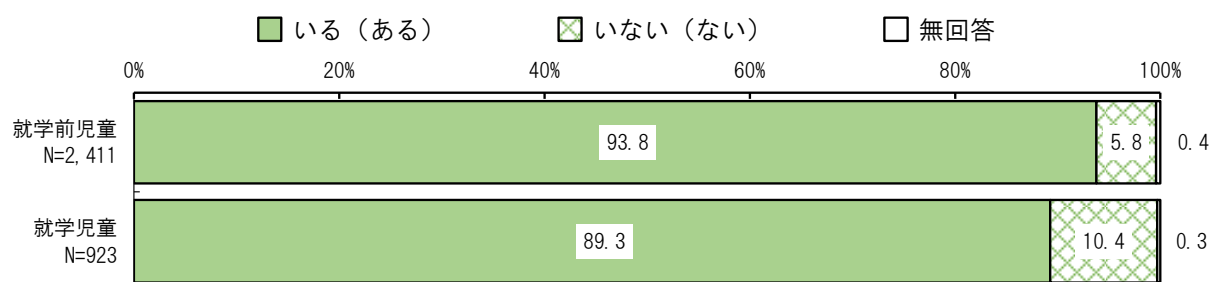


(4) 相談相手(場所)の有無(単数回答)

《就学前児童調査・就学児童調査…問8》

就学前児童では、「いる(ある)」が93.8%、「いない(ない)」が5.8%となっています。

就学児童では、「いる(ある)」が89.3%、「いない(ない)」が10.4%となっています。



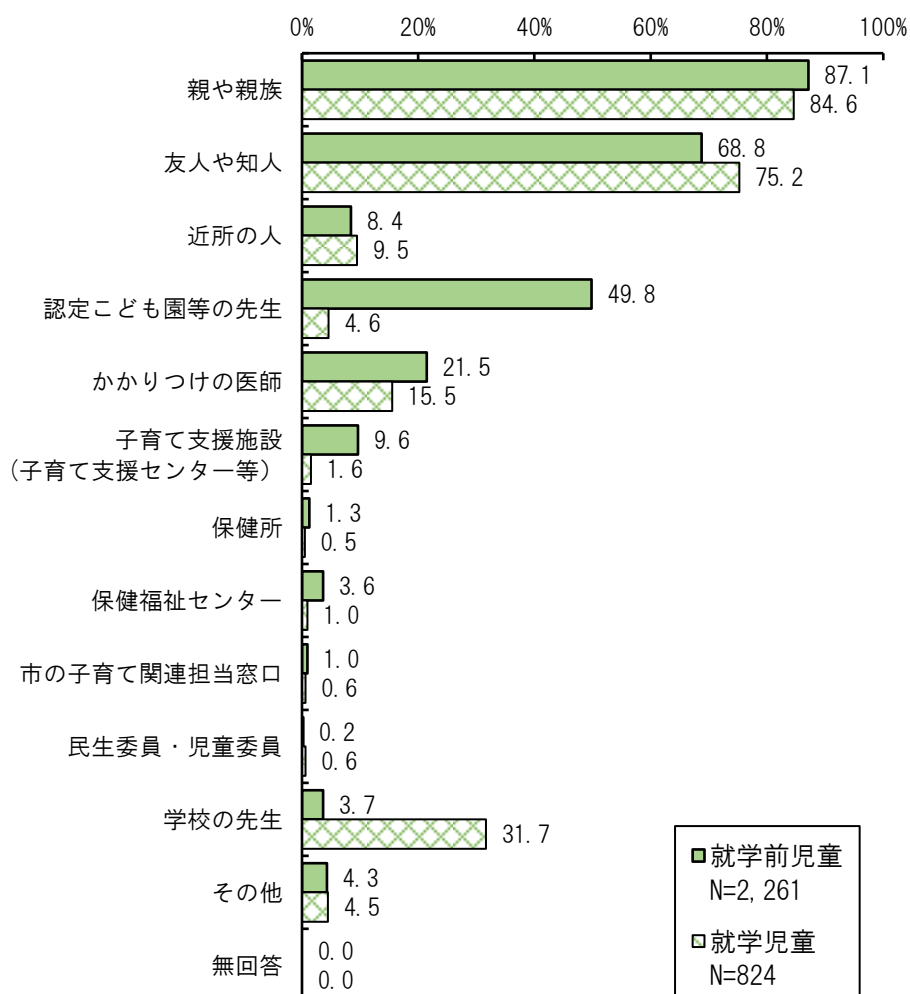
(4)で「いる(ある)」を選んだ方

(5) 相談相手(場所)(複数回答)

《就学前児童調査・就学児童調査…問8》

就学前児童では、「親や親族」が87.1%と最も高く、次いで「友人や知人」が68.8%、「認定こども園等の先生」が49.8%、「かかりつけの医師」が21.5%などとなっています。

就学児童では、「親や親族」が84.6%と最も高く、次いで「友人や知人」が75.2%、「学校の先生」が31.7%、「かかりつけの医師」が15.5%などとなっています。



3 保護者の働き方について

(1) 保護者の就労状況（単数回答）

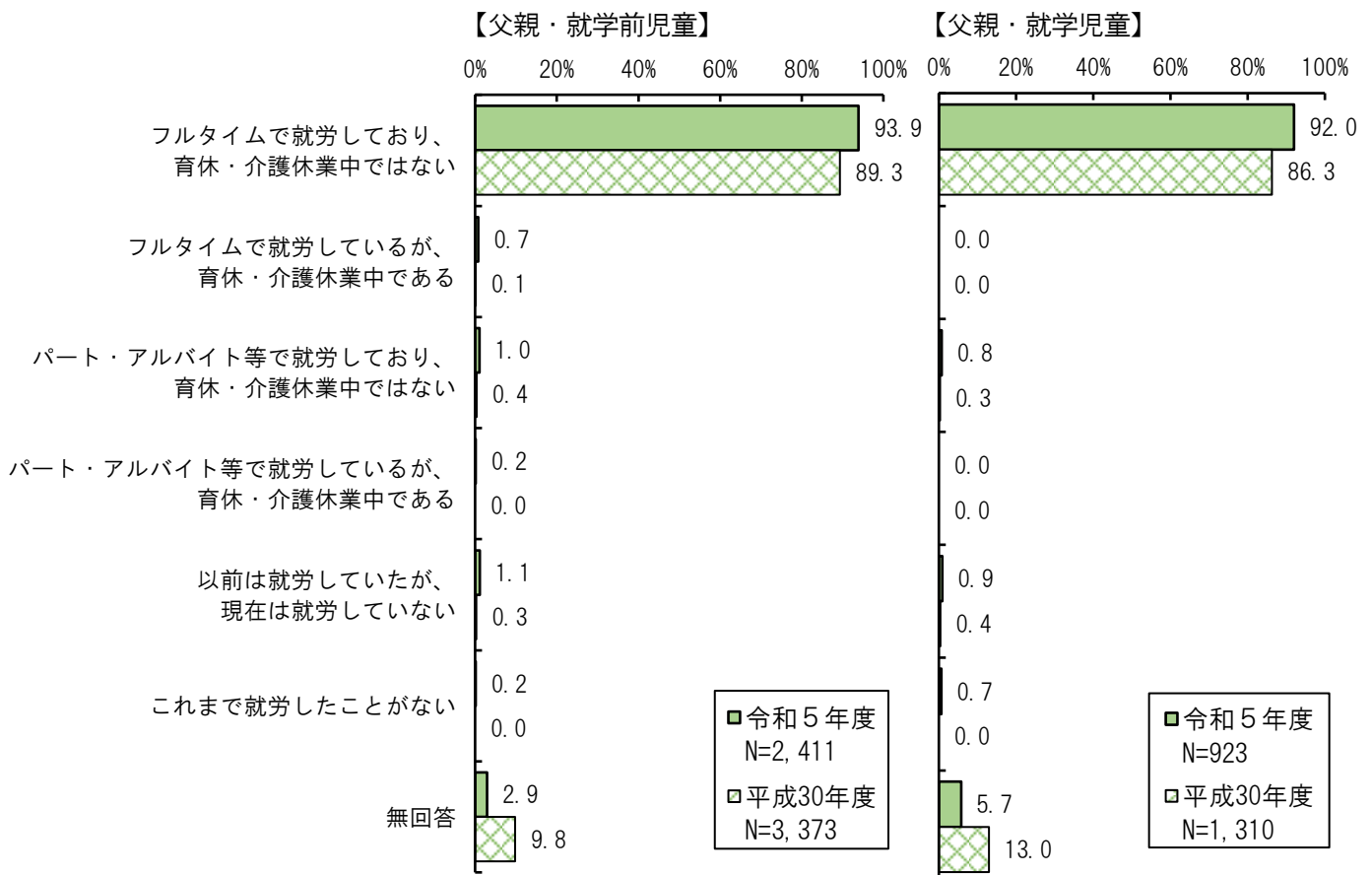
《就学前児童調査・就学児童調査…問9》

【父親】

父親については、就学前児童では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が93.9%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.1%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が1.0%などとなっています。

就学児童では、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が92.0%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.9%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.8%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が最も高くなっています。



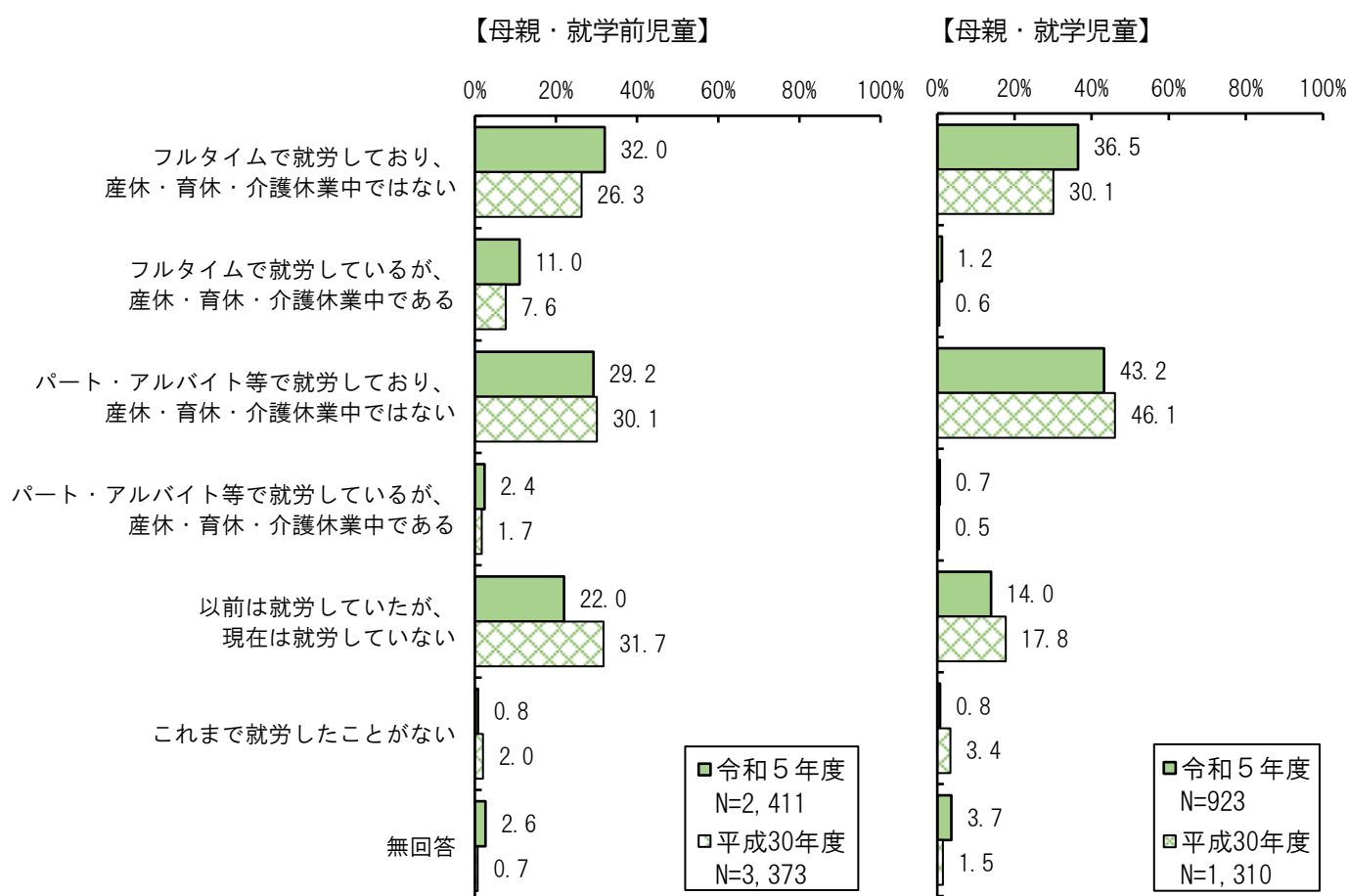
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【母親】

母親については、就学前児童では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が29.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が22.0%などとなっています。

就学児童では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.2%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が36.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が14.0%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童では、平成30年度調査は「以前は就労していたが、現在は就労していない」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も高くなっています。就学児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が最も高くなっています。



Ⅱ 調査結果【3 保護者の働き方について】

(1) の父親で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方

(1) の母親で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方

(2) 就労日数（数量回答）

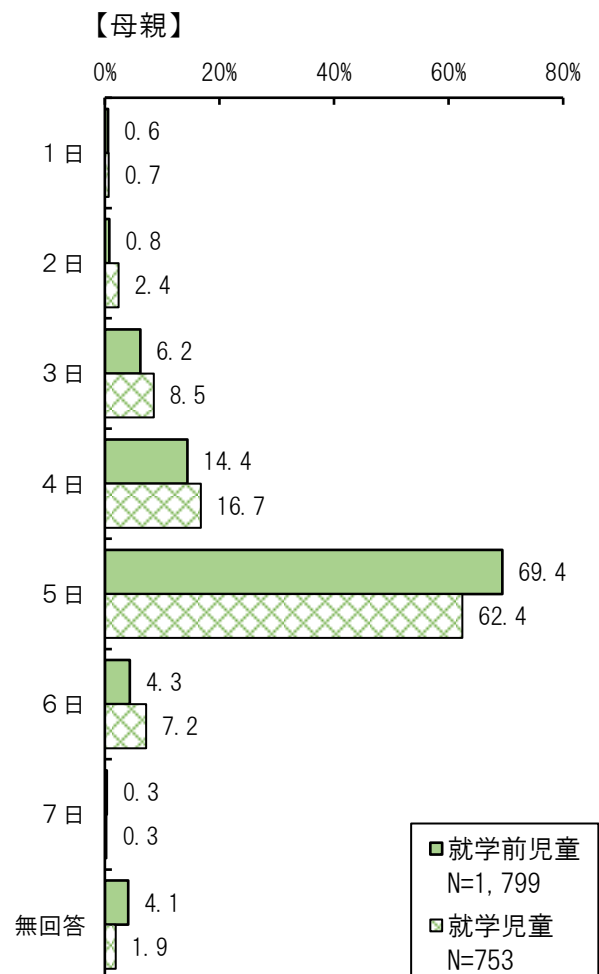
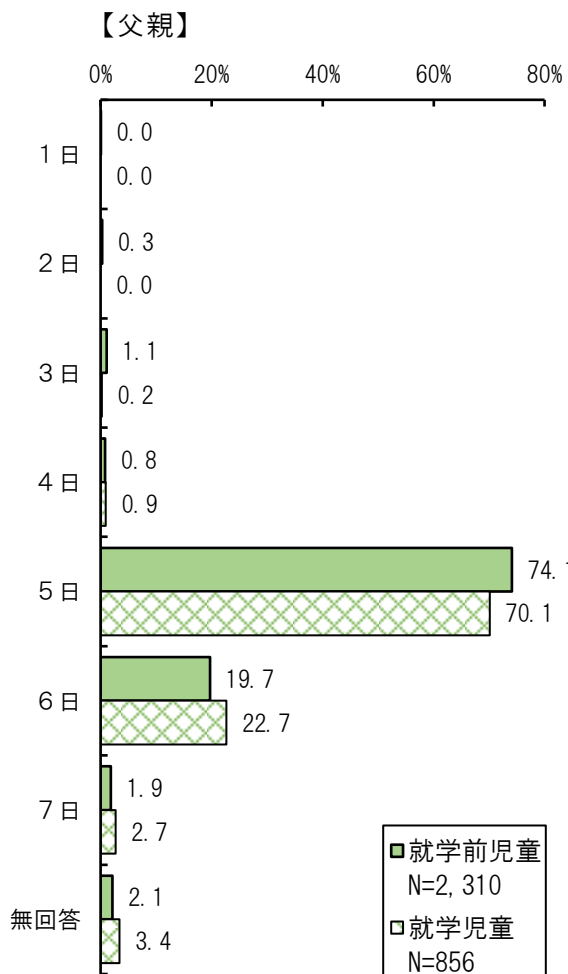
《就学前児童調査・就学児童調査…問9》

父親については、就学前児童では、「5日」が74.1%と最も高く、次いで「6日」が19.7%、「7日」が1.9%などとなっています。

就学児童では、「5日」が70.1%と最も高く、次いで「6日」が22.7%、「7日」が2.7%などとなっています。

母親については、就学前児童では、「5日」が69.4%と最も高く、次いで「4日」が14.4%、「3日」が6.2%などとなっています。

就学児童では、「5日」が62.4%と最も高く、次いで「4日」が16.7%、「3日」が8.5%などとなっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

(1) の父親で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方

(1) の母親で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方

(3) 就労時間（数量回答）

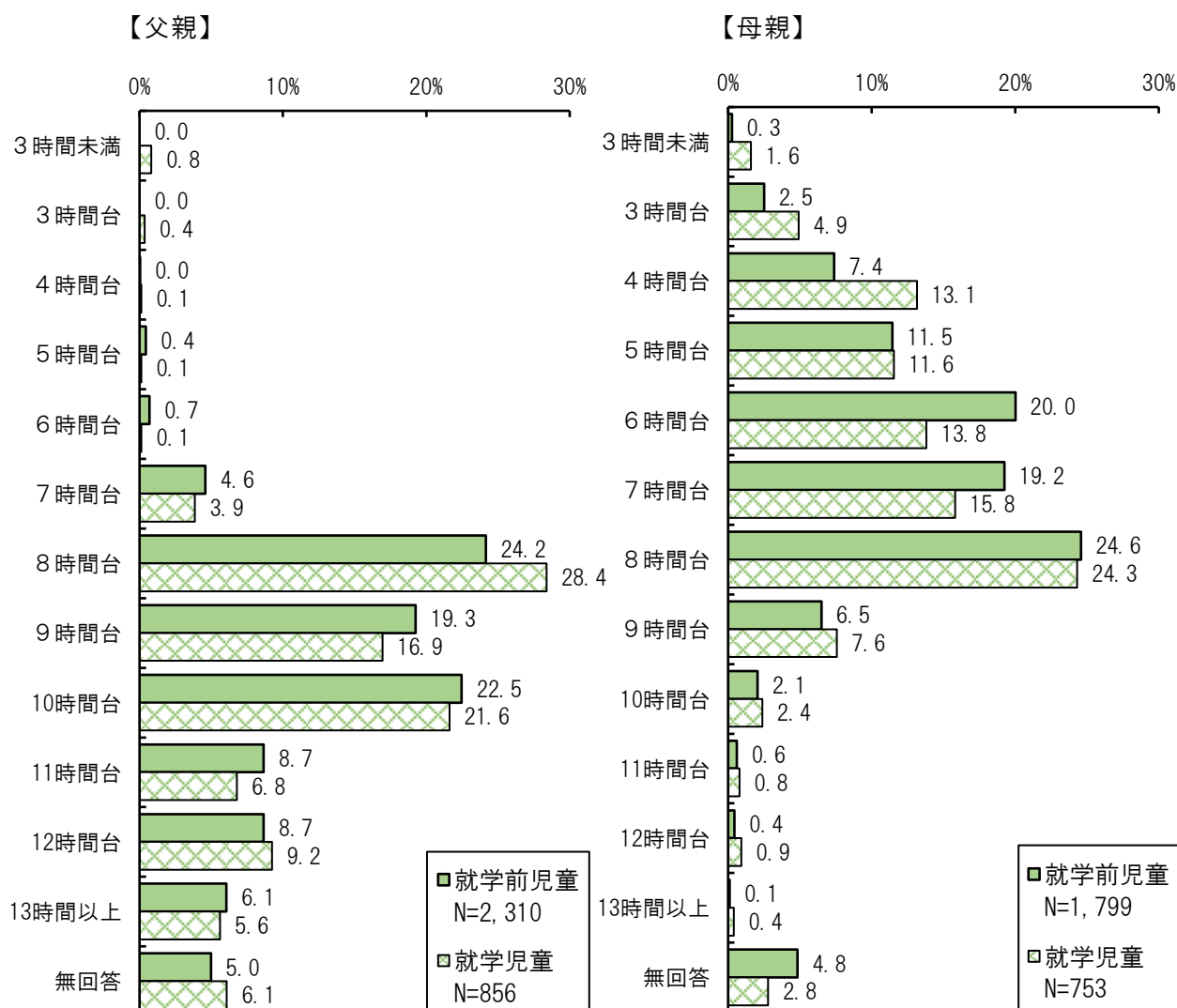
《就学前児童調査・就学児童調査…問9》

父親については、就学前児童では、「8時間台」が24.2%と最も高く、次いで「10時間台」が22.5%、「9時間台」が19.3%などとなっています。

就学児童では、「8時間台」が28.4%と最も高く、次いで「10時間台」が21.6%、「9時間台」が16.9%などとなっています。

母親については、就学前児童では、「8時間台」が24.6%と最も高く、次いで「6時間台」が20.0%、「7時間台」が19.2%などとなっています。

就学児童では、「8時間台」が24.3%と最も高く、次いで「7時間台」が15.8%、「6時間台」が13.8%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【3 保護者の働き方について】

(1) の父親で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方

(1) の母親で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方

(4) 家を出る時刻(数量回答)

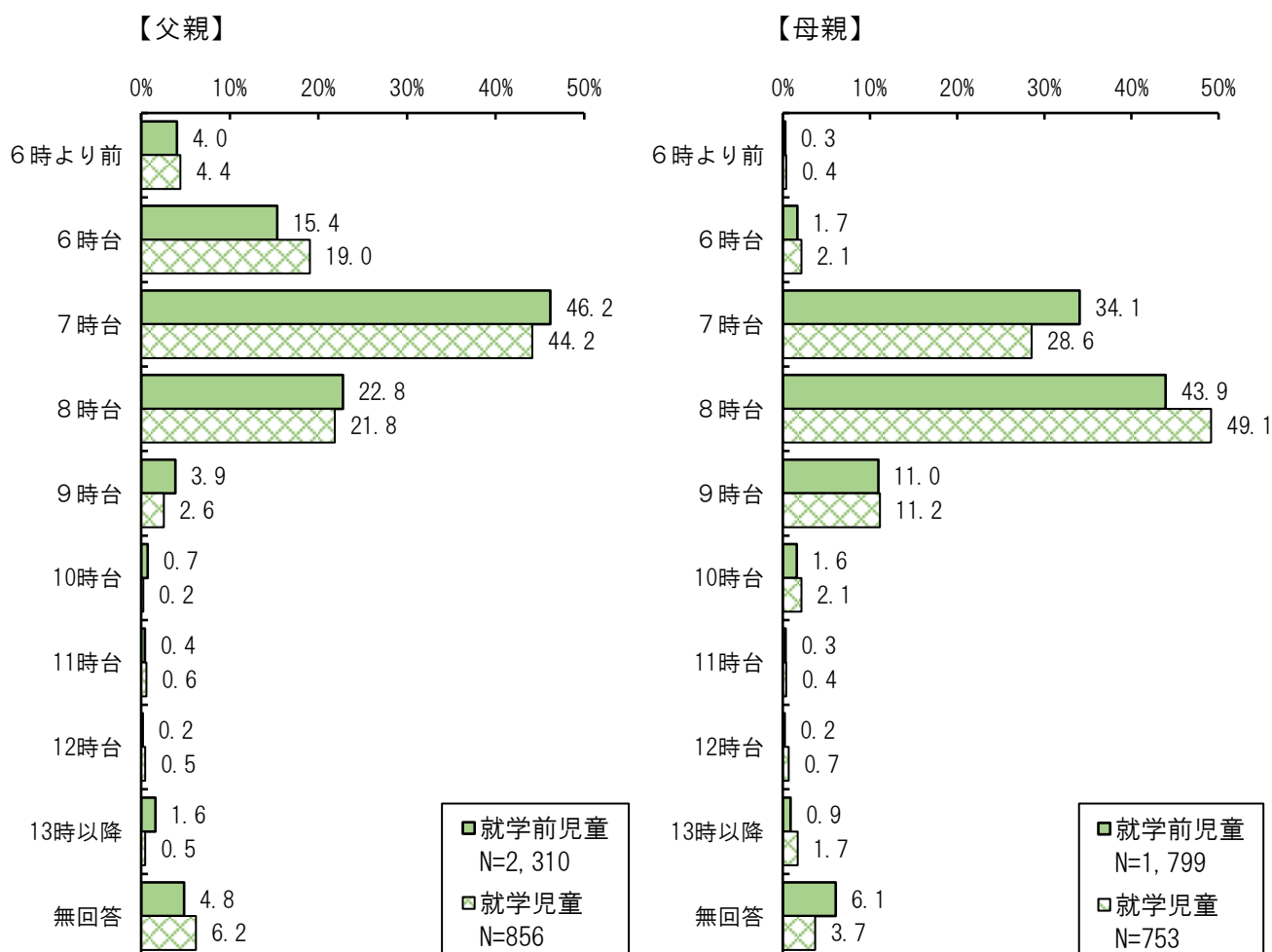
《就学前児童調査・就学児童調査…問9》

父親については、就学前児童では、「7時台」が46.2%と最も高く、次いで「8時台」が22.8%、「6時台」が15.4%などとなっています。

就学児童では、「7時台」が44.2%と最も高く、次いで「8時台」が21.8%、「6時台」が19.0%などとなっています。

母親については、就学前児童では、「8時台」が43.9%と最も高く、次いで「7時台」が34.1%、「9時台」が11.0%などとなっています。

就学児童では、「8時台」が49.1%と最も高く、次いで「7時台」が28.6%、「9時台」が11.2%などとなっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

(1) の父親で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方

(1) の母親で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方

(5) 帰宅時刻（数量回答）

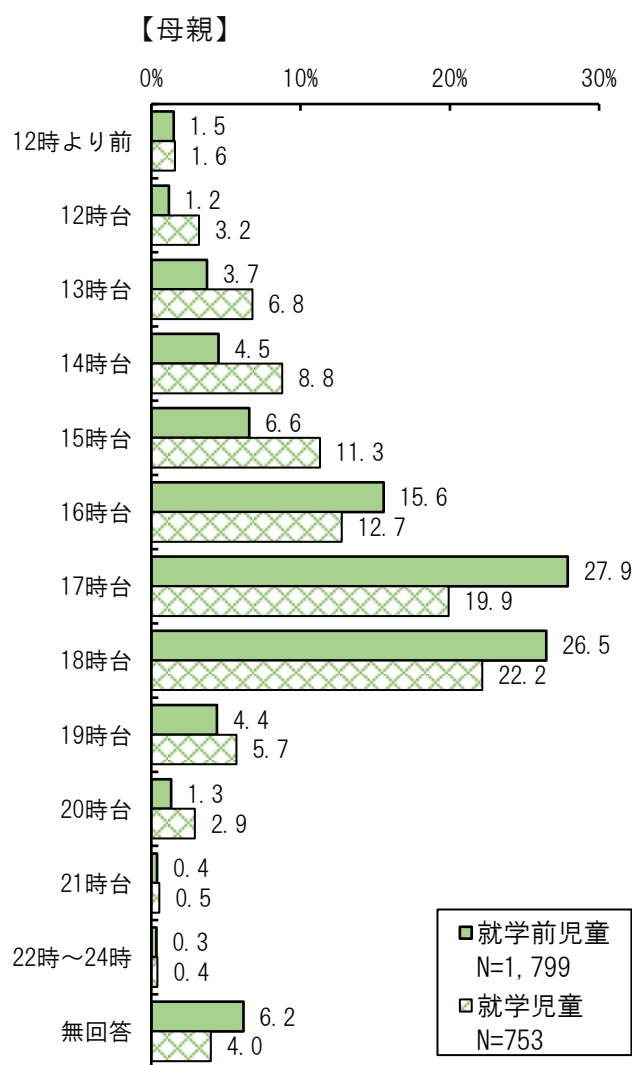
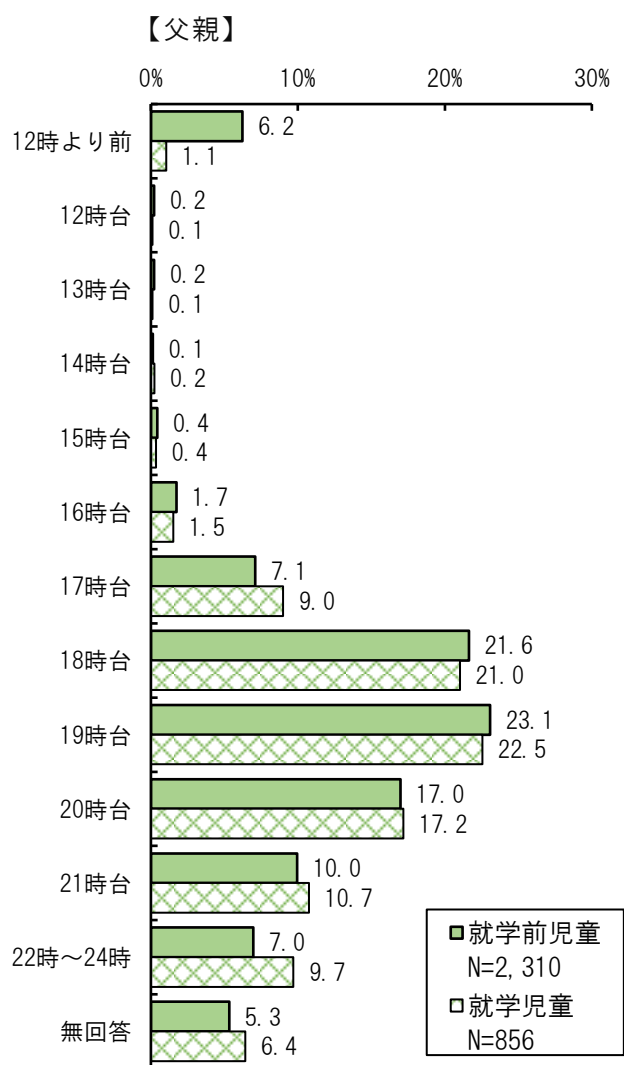
《就学前児童調査・就学児童調査…問9》

父親については、就学前児童では、「19時台」が23.1%と最も高く、次いで「18時台」が21.6%、「20時台」が17.0%などとなっています。

就学児童では、「19時台」が22.5%と最も高く、次いで「18時台」が21.0%、「20時台」が17.2%などとなっています。

母親については、就学前児童では、「17時台」が27.9%と最も高く、次いで「18時台」が26.5%、「16時台」が15.6%などとなっています。

就学児童では、「18時台」が22.2%と最も高く、次いで「17時台」が19.9%、「16時台」が12.7%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【3 保護者の働き方について】

(1) の父親で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である」を選んだ方

(1) の母親で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方

(6) フルタイムへの転換希望（単数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問9-1》

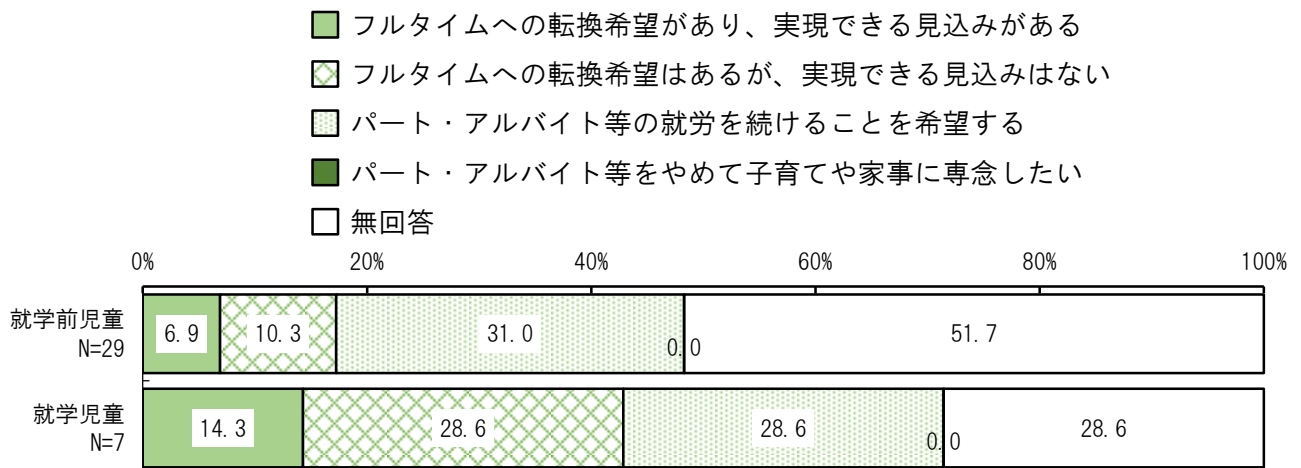
父親については、就学前児童では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が6.9%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が10.3%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が31.0%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が0.0%となっています。

就学児童では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が14.3%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が28.6%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が0.0%となっています。

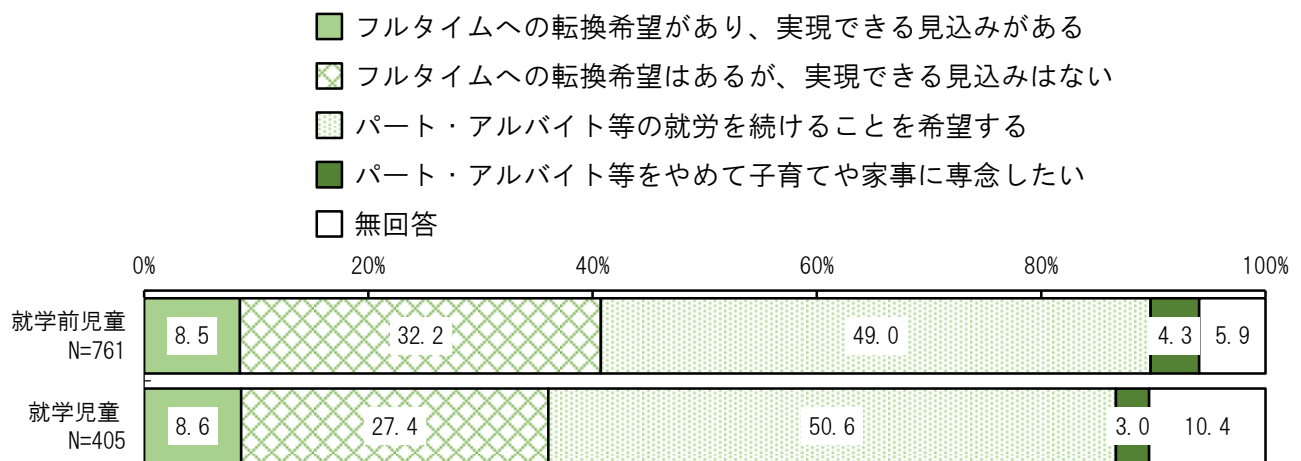
母親については、就学前児童では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.5%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が32.2%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が49.0%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が4.3%となっています。

就学児童では、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.6%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.4%、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する」が50.6%、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が3.0%となっています。

【父親】



【母親】



(1) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選んだ方

(7) 就労希望（単数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

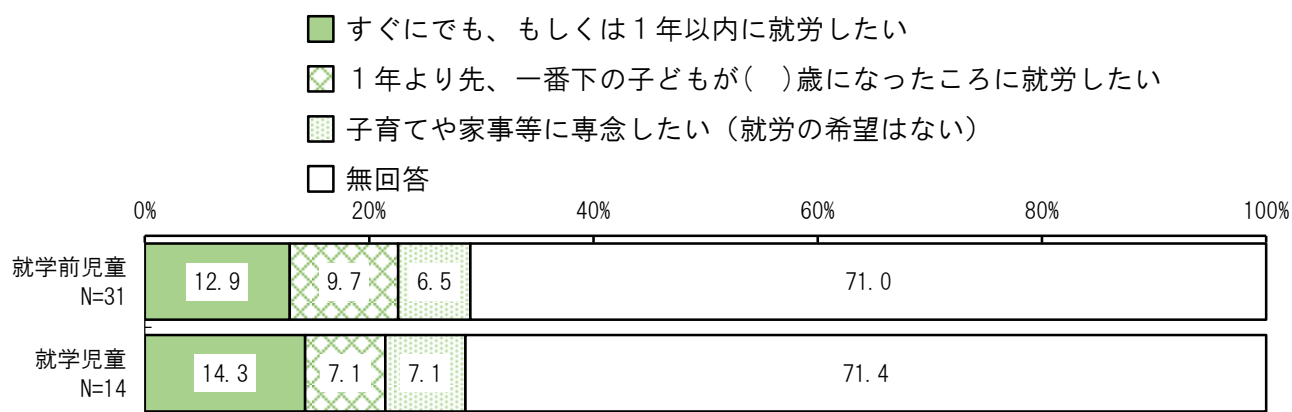
父親については、就学前児童では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が12.9%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が9.7%、「子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）」が6.5%となっています。

就学児童では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が14.3%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」、「子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）」が7.1%となっています。

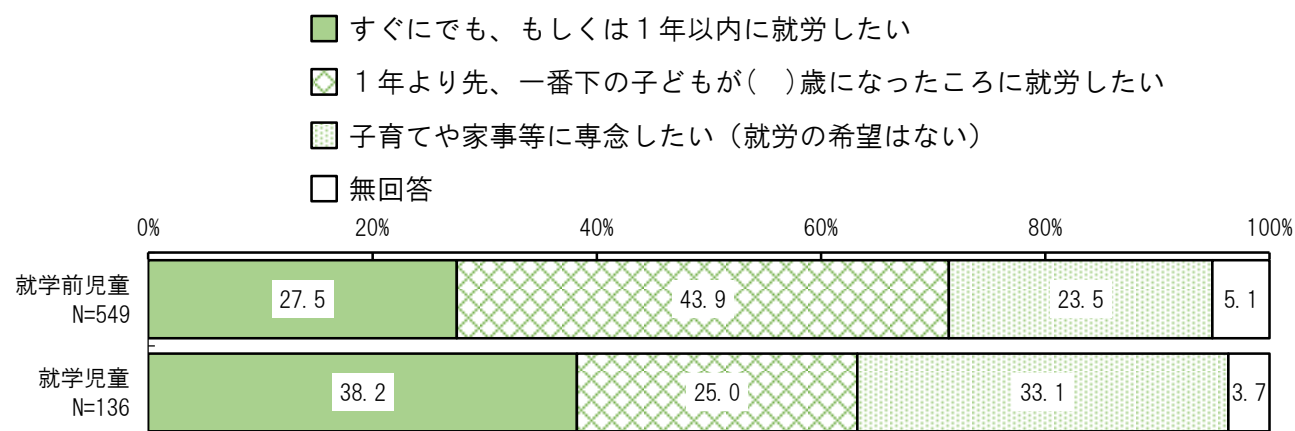
母親については、就学前児童では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が27.5%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が43.9%、「子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）」が23.5%となっています。

就学児童では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が38.2%、「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」が25.0%、「子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）」が33.1%となっています。

【父親】



【母親】



(7) で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

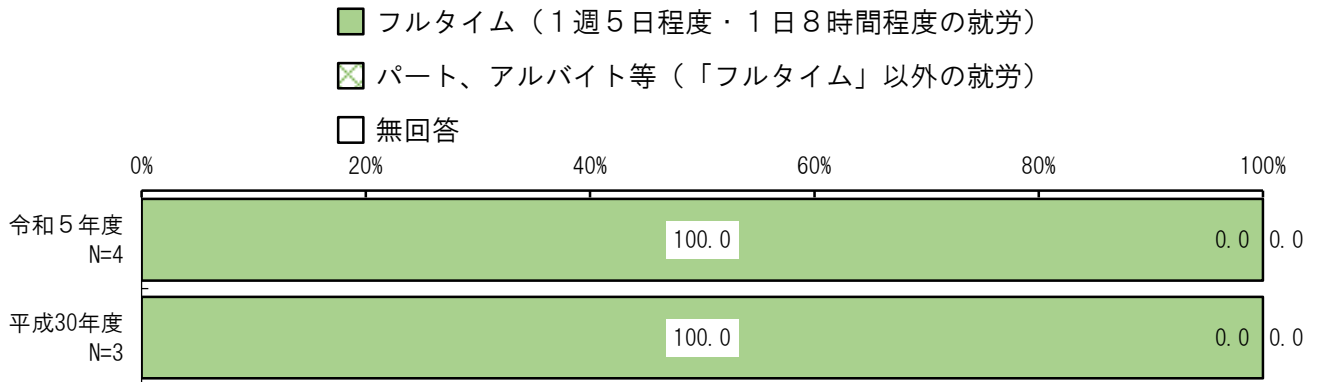
(8) 希望就労形態（1年以内）（単数回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

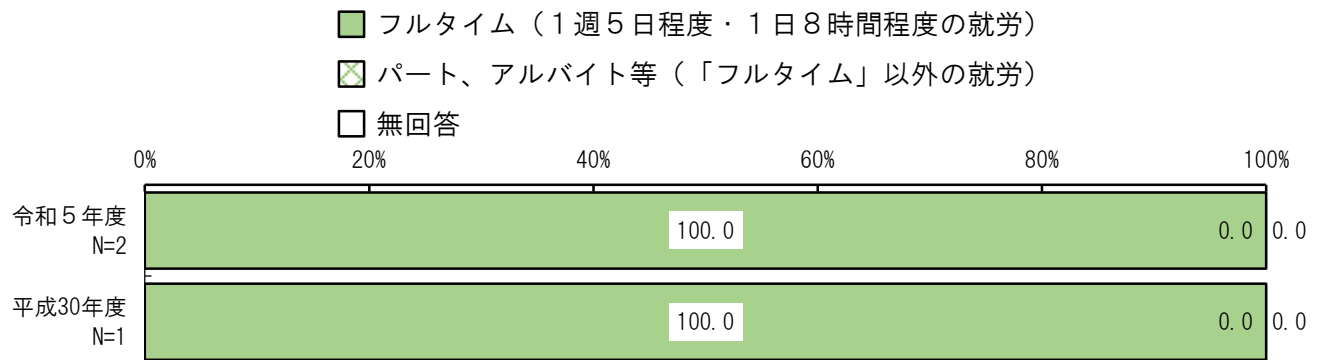
父親については、就学前児童、就学児童ともに「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が100.0%となっています（就学前児童 N=4、就学児童 N=2）。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が100.0%となっています。

【父親・就学前児童】



【父親・就学児童】



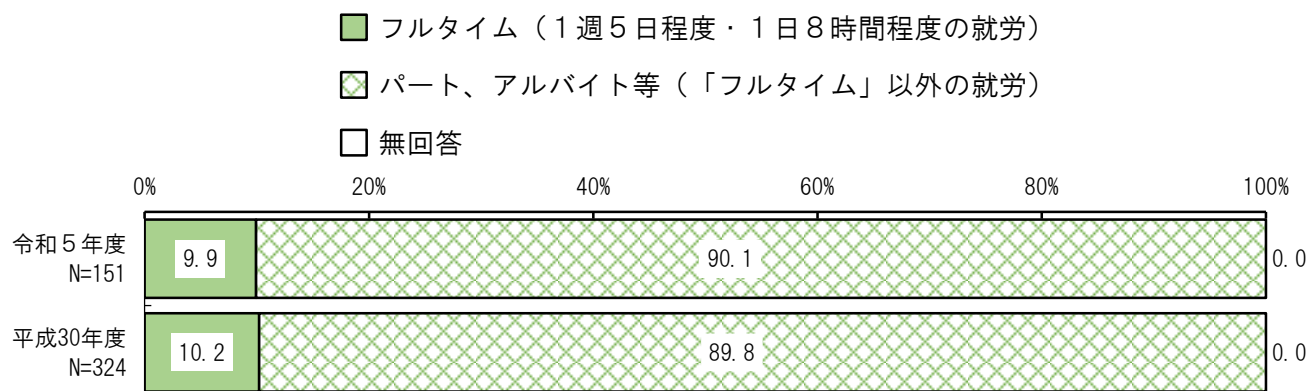
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

母親については、就学前児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が9.9%、「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が90.1%となっています。

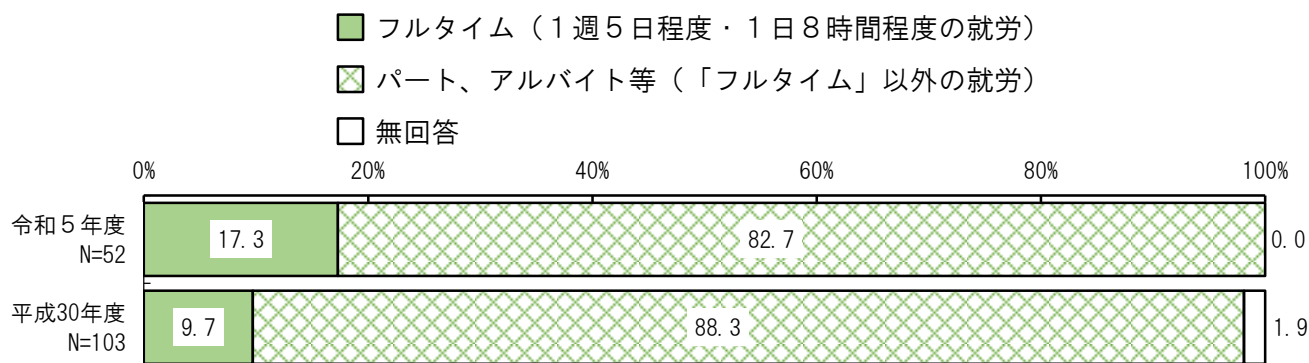
就学児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が17.3%、「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が82.7%、となっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が最も高くなっています。

【母親・就学前児童】



【母親・就学児童】



(8) で「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」を選んだ方

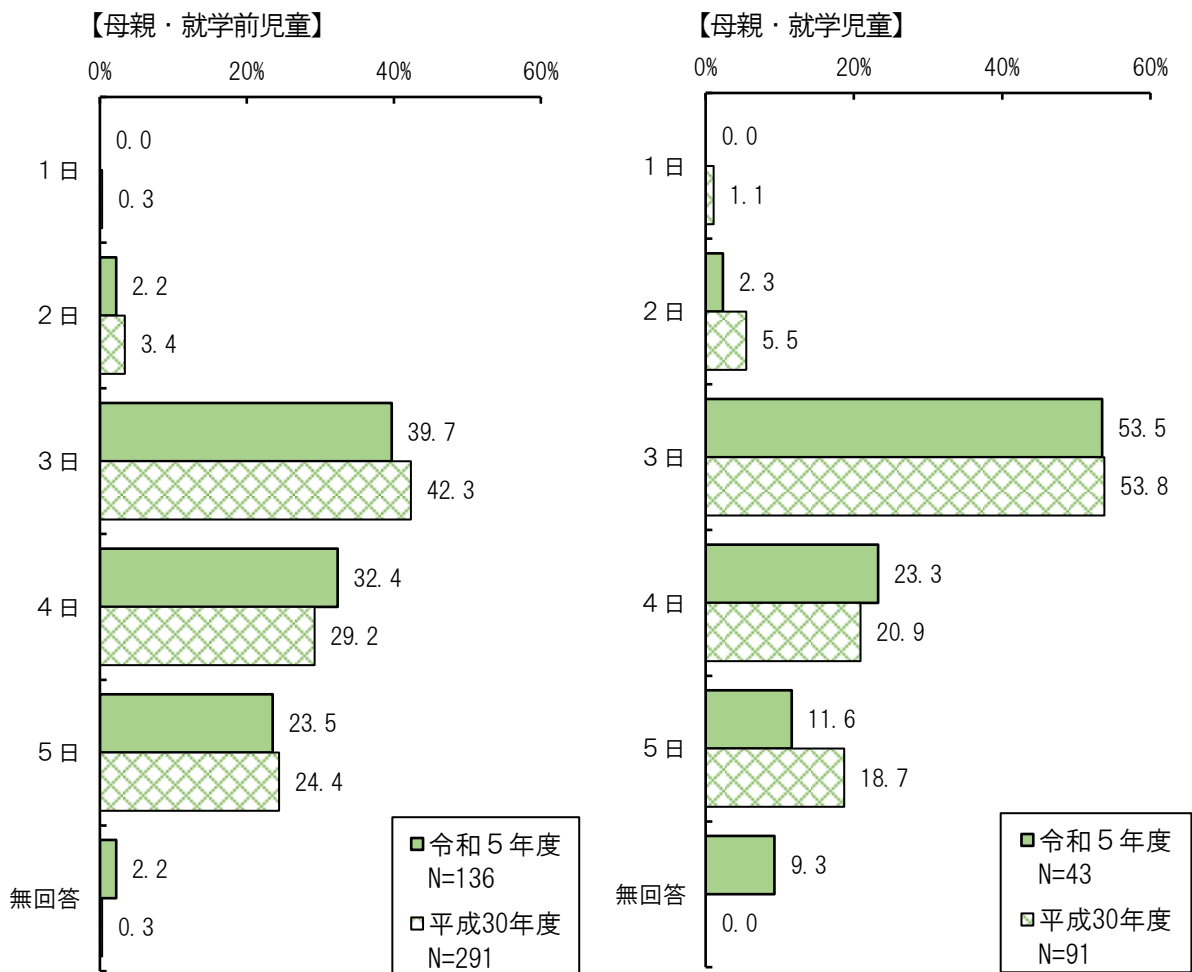
(9) 1 週当たりの希望就労日数（1 年以内）（数量回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

母親については、就学前児童では、「3 日」が39.7%と最も高く、次いで「4 日」が32.4%、「5 日」が23.5%などとなっています。

就学児童では、「3 日」が53.5%と最も高く、次いで「4 日」が23.3%、「5 日」が11.6%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「3 日」が最も高くなっています。



【父親】

※就学前児童、就学児童ともに該当する回答者はいませんでした。

(8) で「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」を選んだ方

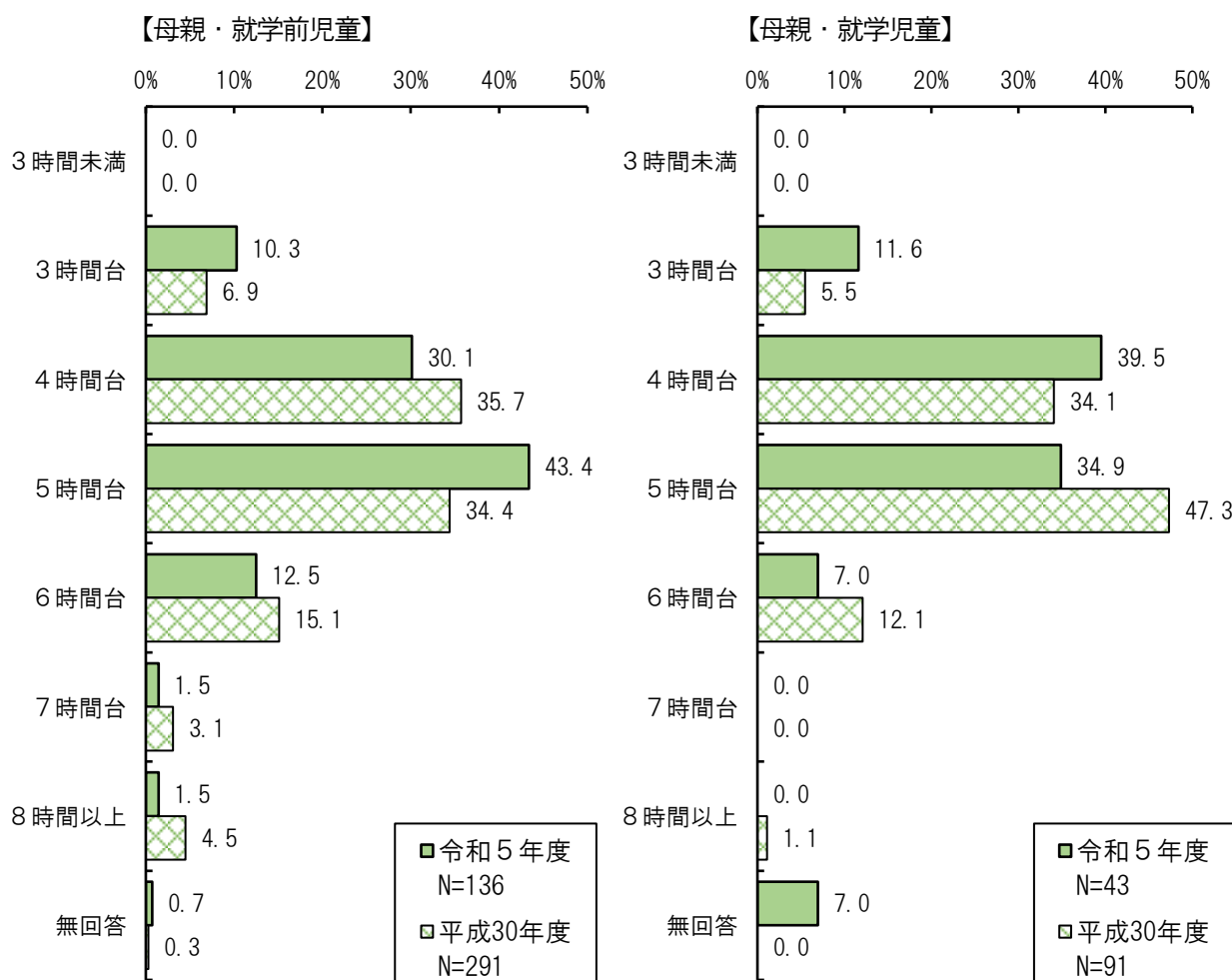
(10) 1日当たりの希望就労時間（1年以内）（数量回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

母親については、就学前児童では、「5時間台」が43.4%と最も高く、次いで「4時間台」が30.1%、「6時間台」が12.5%などとなっています。

就学児童では、「4時間台」が39.5%と最も高く、次いで「5時間台」が34.9%、「3時間台」が11.6%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童では、平成30年度調査は「4時間台」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査は「5時間台」が最も高くなってしています。就学児童では、平成30年度調査は「5時間台」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査は「4時間台」が最も高くなってしています。



【父親】

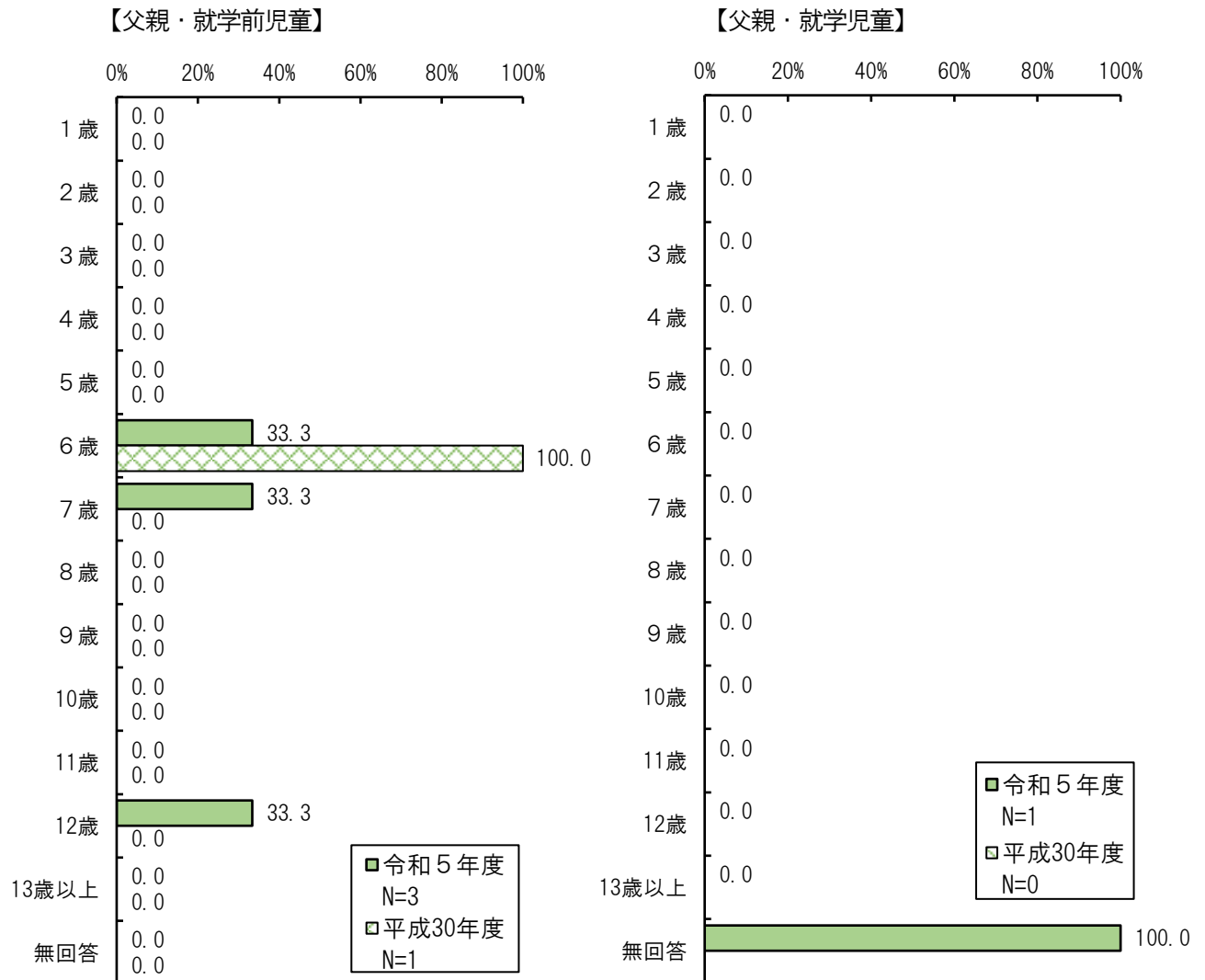
※就学前児童、就学児童ともに該当する回答者はいませんでした。

(7) で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったころに就労したい」を選んだ方

(11) 就労を希望する時の一番下の子どもの年齢(数量回答)

《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

父親については、就学前児童では、「6歳」、「7歳」、「12歳」が33.3%となっています(N=3)。
就学児童では、無回答となっています(N=1)。



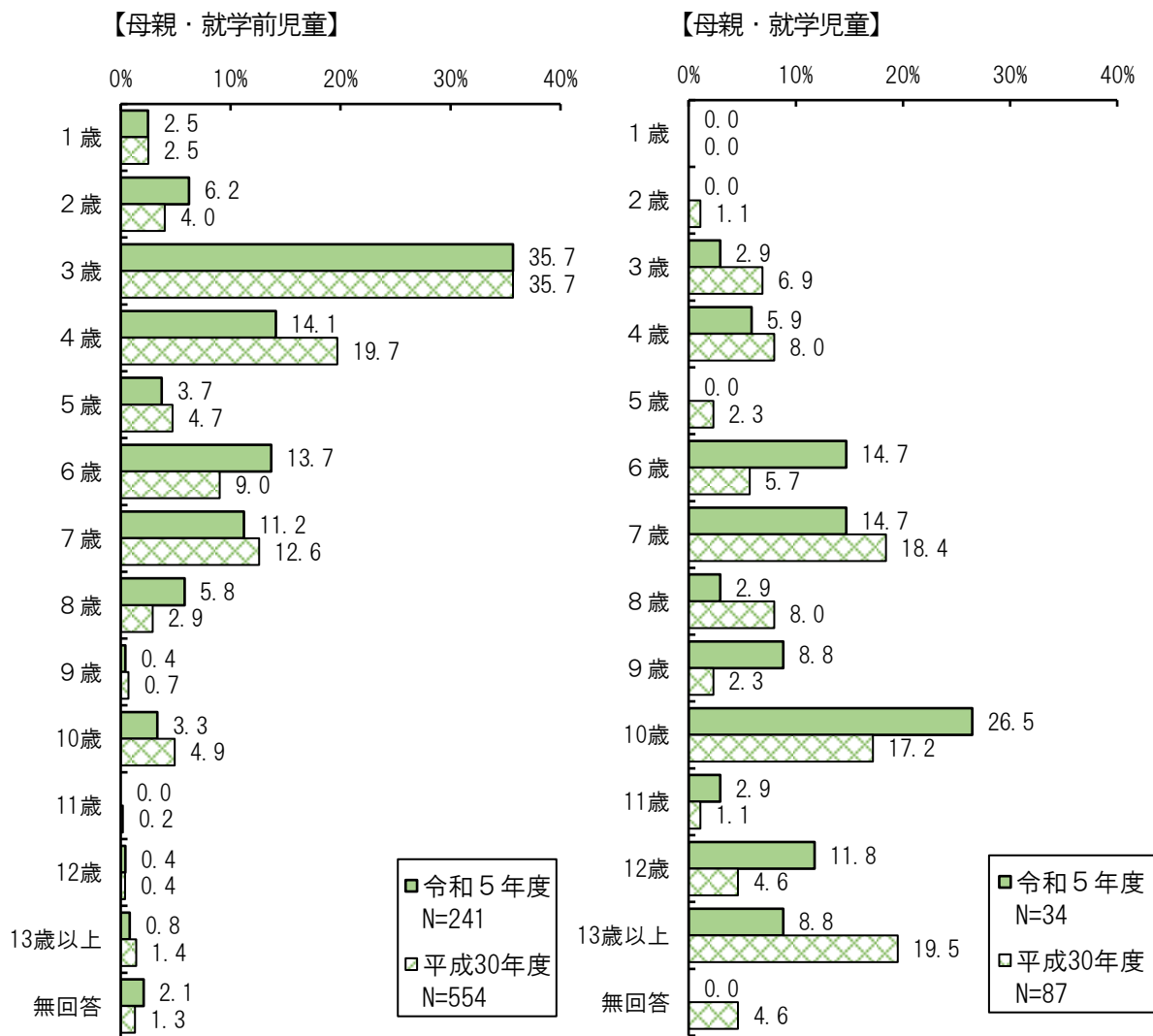
※平成30年度調査の就学児童に該当する回答者はいませんでした。

令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

母親については、就学前児童では、「3歳」が35.7%と最も高く、次いで「4歳」が14.1%、「6歳」が13.7%などとなっています。

就学児童では、「10歳」が26.5%と最も高く、次いで「6歳」、「7歳」が14.7%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「3歳」が最も高くなっています。就学児童では、平成30年度調査は「13歳以上」が最も高くなっていますが、令和5年度調査は「10歳」が最も高くなっています。

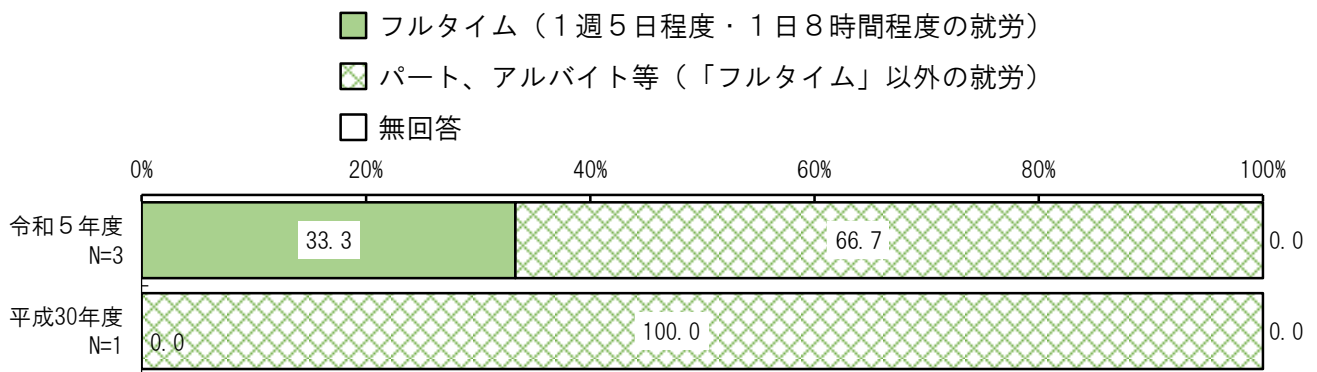


(7) で「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」を選んだ方

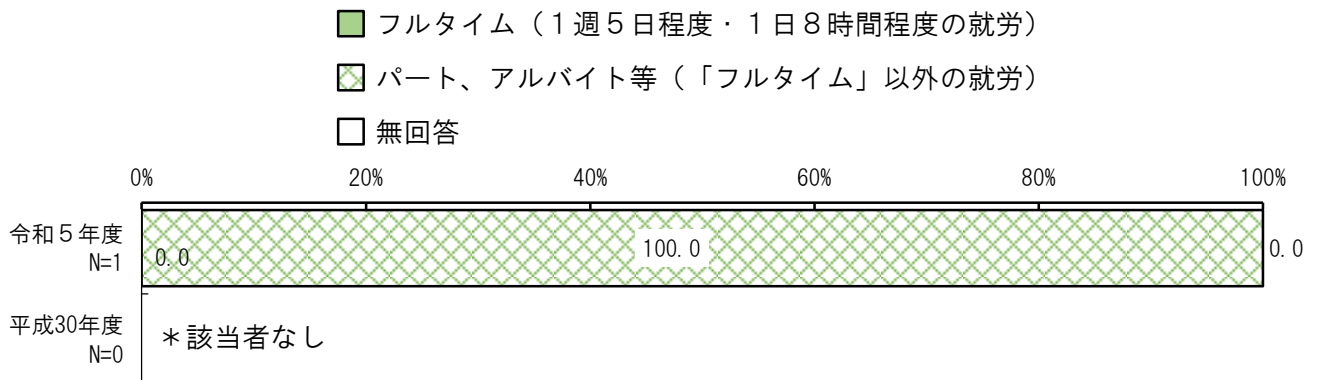
(12) 希望就労形態(1年より先)(単数回答) 《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

父親については、就学前児童では、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」が33.3%、「パート、アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)」が66.7%となっています(N=3)。
就学児童では、「パート、アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)」が100.0%となっています(N=1)。
就学前児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「パート、アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)」が最も高くなっています。

【父親・就学前児童】



【父親・就学児童】



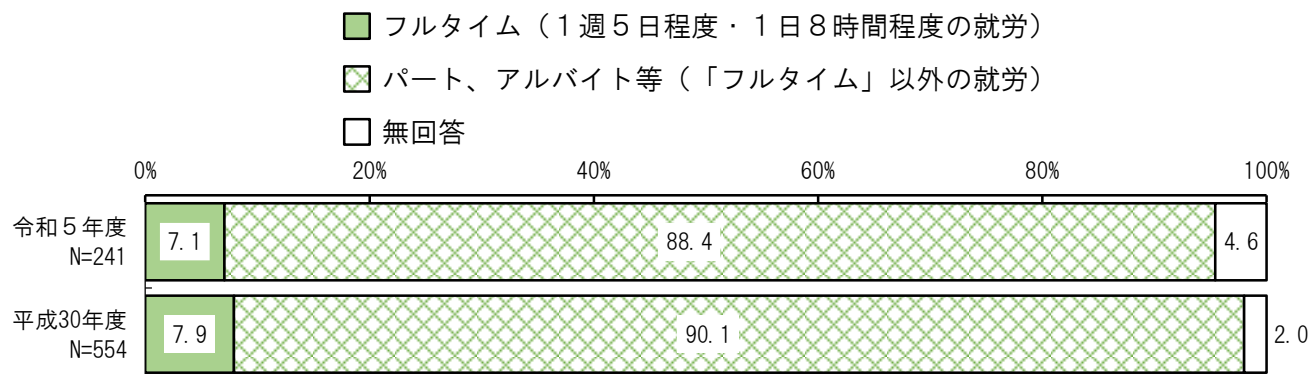
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

母親については、就学前児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が7.1%、「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が88.4%となっています。

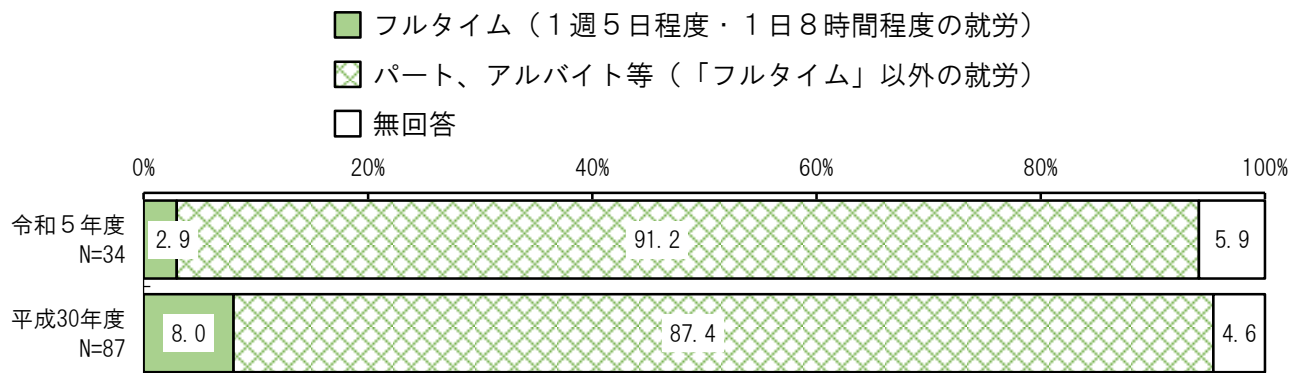
就学児童では、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が2.9%、「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が91.2%となっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」が最も高くなっています。

【母親・就学前児童】



【母親・就学児童】



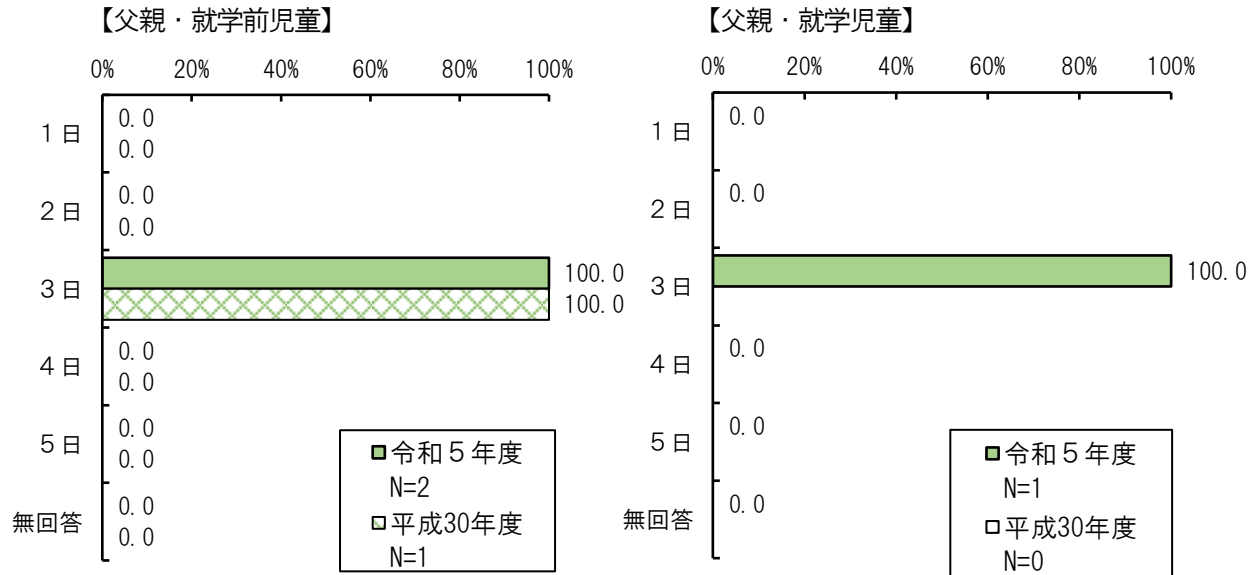
(12) で「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」を選んだ方

(13) 希望就労日数（1年より先）（数量回答） 《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

父親については、就学前児童では、「3日」が100.0%となっています（N=2）。

就学児童では、「3日」が100.0%となっています（N=1）。

就学前児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「3日」が最も高くなっています。

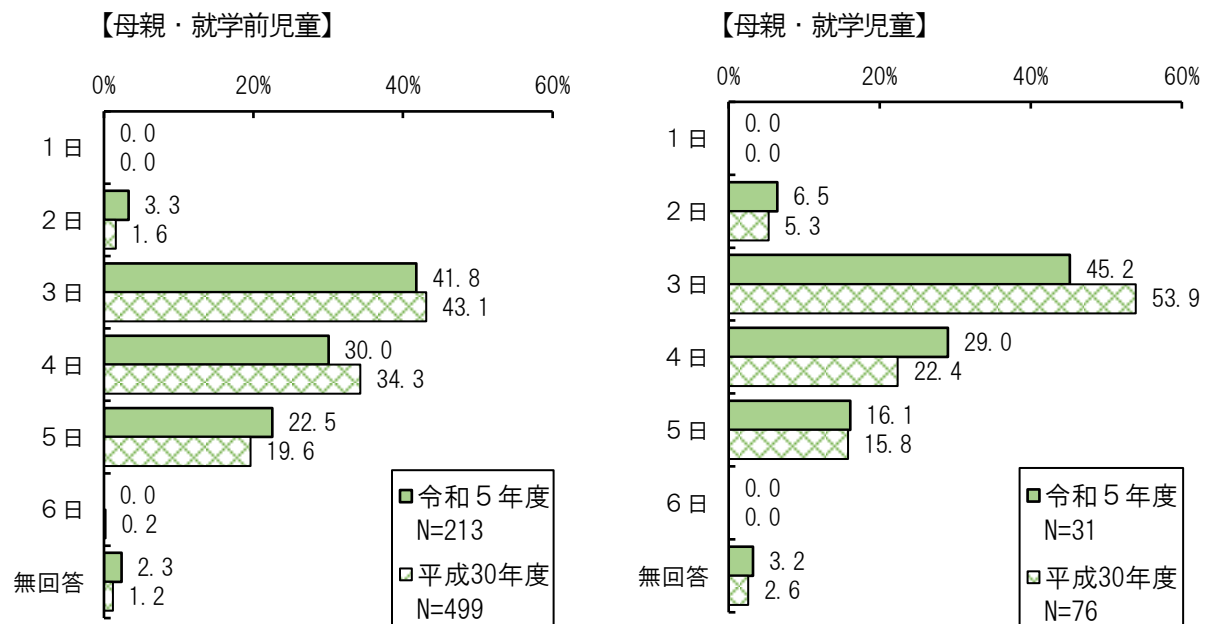


※平成30年度調査の就学児童に該当する回答者はいませんでした。

母親については、就学前児童では、「3日」が41.8%と最も高く、次いで「4日」が30.0%、「5日」が22.5%などとなっています。

就学児童では、「3日」が45.2%と最も高く、次いで「4日」が29.0%、「5日」が16.1%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「3日」が最も高くなっています。

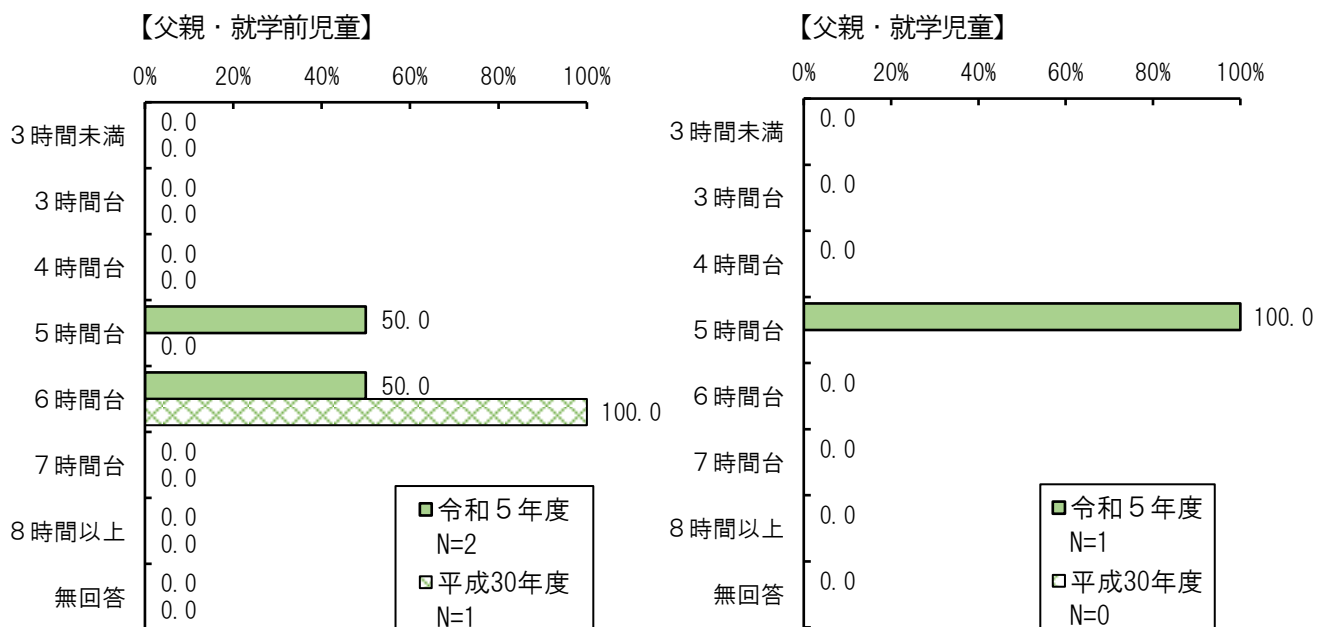


(12) で「パート、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」を選んだ方

(14) 希望就労時間（1年より先）（数量回答）

《就学前児童調査・就学児童調査…問9-2》

父親については、就学前児童では、「5時間台」、「6時間台」が50.0%となっています（N=2）。
就学児童では、「5時間台」が100.0%となっています（N=1）。

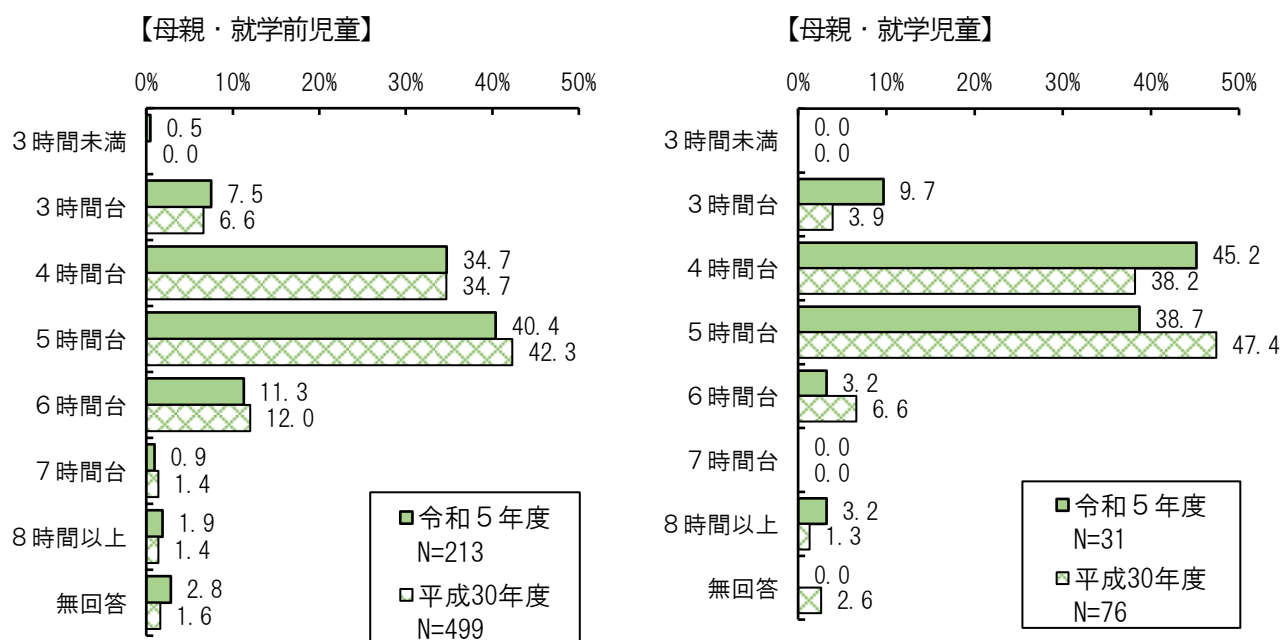


※平成30年度調査の就学児童に該当する回答者はいませんでした。

母親については、就学前児童では、「5時間台」が40.4%と最も高く、次いで「4時間台」が34.7%、「6時間台」が11.3%などとなっています。

就学児童では、「4時間台」が45.2%と最も高く、次いで「5時間台」が38.7%、「3時間台」が9.7%などとなっています。

就学前児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「5時間台」が最も高くなっています。就学児童では、平成30年度調査は「5時間台」が最も高くなっていますが、令和5年度調査は「4時間台」が最も高くなっています。



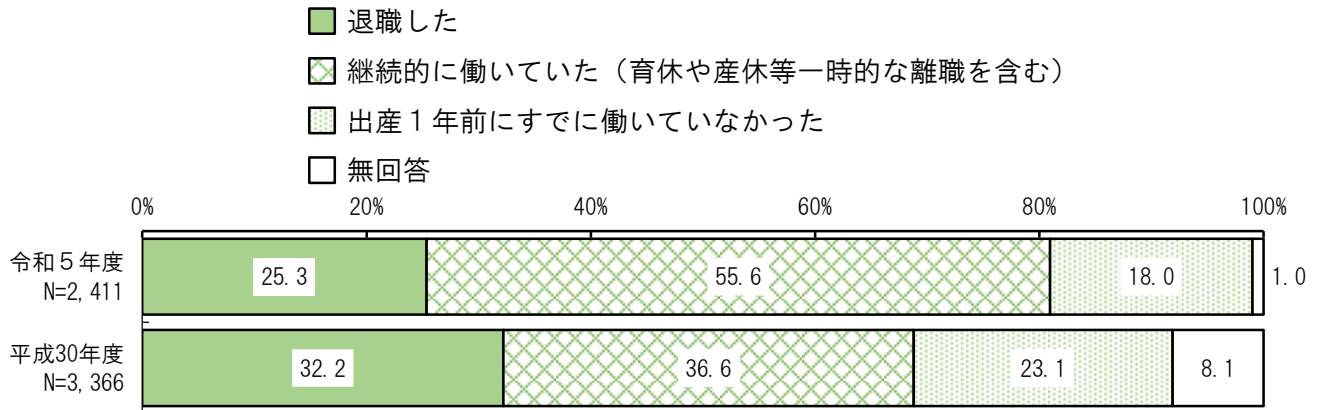
母親の方

(15) 出産前後の退職状況（単数回答）

《就学前児童調査…問10》

「退職した」が25.3%、「継続的に働いていた（育休や産休等一時的な離職を含む）」が55.6%、「出産1年前にすでに働いていなかった」が18.0%となっています。

平成30年度調査と比較すると、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「継続的に働いていた（育休や産休等一時的な離職を含む）」が最も高くなっています。



(15) で「退職した」を選んだ方

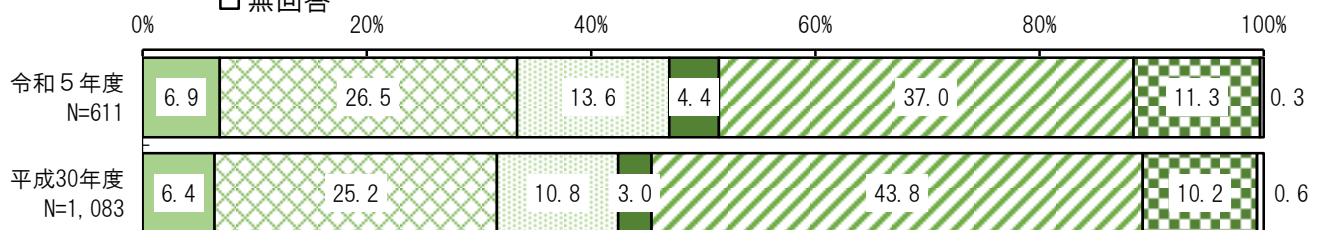
(16) 保育サービスや環境が整っていた場合における仕事の継続（単数回答）

《就学前児童調査…問10-1》

「いずれにしてもやめていた」が37.0%と最も高く、次いで「職場において育児休業等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して働いていた」が26.5%、「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して働いていた」が13.6%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに「いずれにしてもやめていた」が最も高くなっています。

- ☒ 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して働いていた
- ☒ 職場において育児休業等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して働いていた
- ☒ 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して働いていた
- ☒ 家族や親族の理解・協力が得られれば、継続して働いていた
- ☒ いずれにしてもやめていた
- ☒ その他
- ☐ 無回答

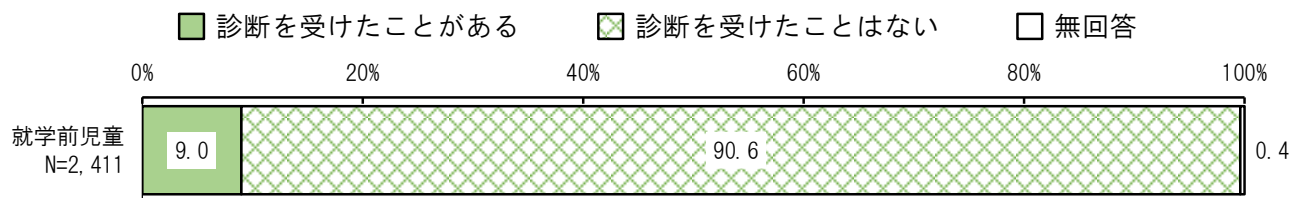


4 発育や発達について

(1) 発育や発達に関する医師からの診断の有無（単数回答）

《就学前児童調査…問11》

「診断を受けたことがある」が9.0%、「診断を受けたことはない」が90.6%となっています。

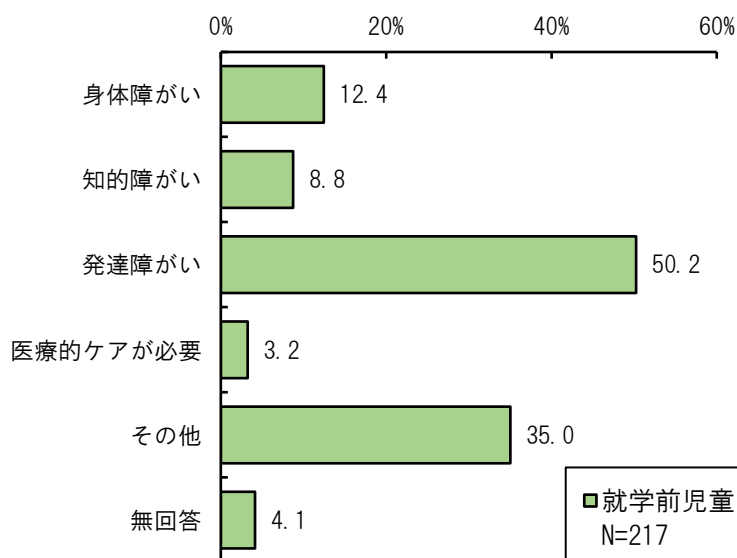


(1) で「診断を受けたことがある」を選んだ方

(2) 発育や発達に関する診断の種類（複数回答）

《就学前児童調査…問11-1》

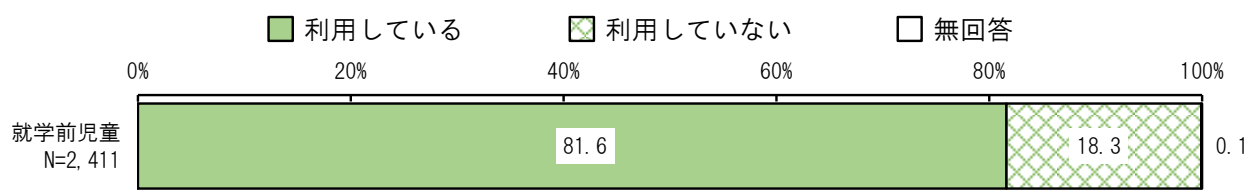
「発達障がい」が50.2%と最も高く、次いで「身体障がい」が12.4%、「知的障がい」が8.8%などとなっています。



5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について

(1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無（単数回答） 《就学前児童調査…問12》

「利用している」が81.6%、「利用していない」が18.3%となっています。



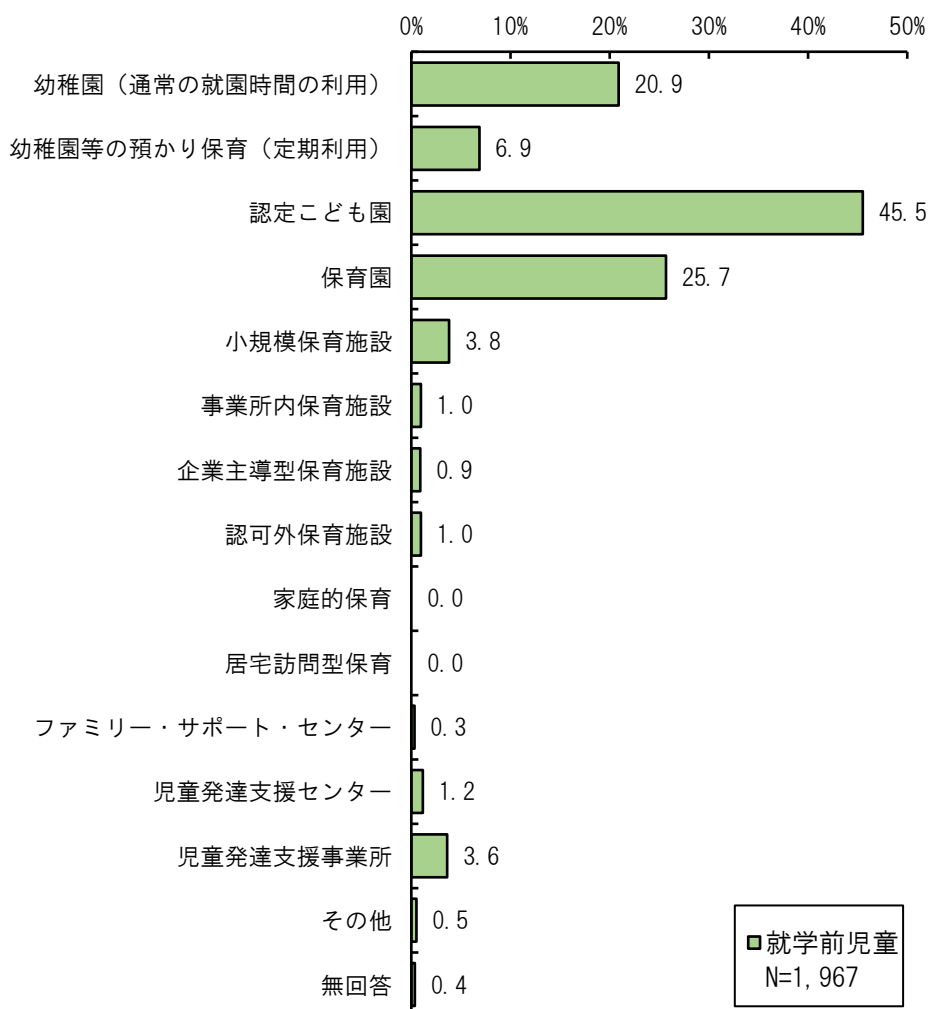
【年齢別】

年齢別にみると、“1歳”～“5歳”では「利用している」が「利用していない」より高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	利用している	利用していない	無回答
0歳	349	121	228	-
	100.0	34.7	65.3	-
1歳	385	250	135	-
	100.0	64.9	35.1	-
2歳	385	308	76	1
	100.0	80.0	19.7	0.3
3歳	421	419	2	-
	100.0	99.5	0.5	-
4歳	418	417	-	1
	100.0	99.8	-	0.2
5歳	452	451	1	-
	100.0	99.8	0.2	-
無回答	1	1	-	-
	100.0	100.0	-	-

「認定こども園」が45.5%と最も高く、次いで「保育園」が25.7%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が20.9%、「幼稚園等の預かり保育(定期利用)」が6.9%、「小規模保育施設」が3.8%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

【年齢別】

年齢別にみると、“0歳”では「保育園」が最も高くなっています。“1歳”～“5歳”では「認定こども園」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	幼稚園 (通常の 就園時間の 利用)	幼稚園等 の預かり 保育(定期 利用)	認定 こども園	保育園	小規模 保育施設	事業所内 保育施設	企業主導 型保育施設	認可外 保育施設	家庭的 保育	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	児童発達 支援セン ター	児童発達 支援事業 所	その他	無回答
0歳	121	-	2	46	49	15	3	1	1	-	-	-	1	-	3	1
	100.0	-	1.7	38.0	40.5	12.4	2.5	0.8	0.8	-	-	-	0.8	-	2.5	0.8
1歳	250	-	3	97	92	31	5	8	10	-	-	2	5	7	2	2
	100.0	-	1.2	38.8	36.8	12.4	2.0	3.2	4.0	-	-	0.8	2.0	2.8	0.8	0.8
2歳	308	56	9	124	89	24	5	7	1	-	-	1	4	8	2	-
	100.0	18.2	2.9	40.3	28.9	7.8	1.6	2.3	0.3	-	-	0.3	1.3	2.6	0.6	-
3歳	419	120	28	195	96	2	2	-	2	-	-	2	3	13	-	2
	100.0	28.6	6.7	46.5	22.9	0.5	0.5	-	0.5	-	-	0.5	0.7	3.1	-	0.5
4歳	417	96	40	222	91	-	1	1	2	-	-	-	5	23	-	-
	100.0	23.0	9.6	53.2	21.8	-	0.2	0.2	0.5	-	-	-	1.2	5.5	-	-
5歳	451	139	53	210	88	3	3	1	3	-	-	1	5	20	3	2
	100.0	30.8	11.8	46.6	19.5	0.7	0.7	0.2	0.7	-	-	0.2	1.1	4.4	0.7	0.4
無回答	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【就労状況別】

就労状況別にみると、“フルタイムで共働き”と“パートタイムを含む共働き”では「認定こども園」が最も高くなっています。“専業主婦(夫)”では「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	幼稚園 (通常の 就園時間の 利用)	幼稚園等 の預かり 保育(定期 利用)	認定 こども園	保育園	小規模 保育施設	事業所内 保育施設	企業主導 型保育施設	認可外 保育施設	家庭的 保育	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	児童発達 支援セン ター	児童発達 支援事業 所	その他	無回答
フルタイムで共働き	850	59	37	430	297	39	12	10	7	-	-	3	6	22	4	3
	100.0	6.9	4.4	50.6	34.9	4.6	1.4	1.2	0.8	-	-	0.4	0.7	2.6	0.5	0.4
パートタイムを含む共働き	695	141	76	332	164	28	6	8	9	-	-	1	5	25	1	2
	100.0	20.3	10.9	47.8	23.6	4.0	0.9	1.2	1.3	-	-	0.1	0.7	3.6	0.1	0.3
専業主婦(夫)	309	187	15	82	14	4	-	-	2	-	-	1	12	19	2	1
	100.0	60.5	4.9	26.5	4.5	1.3	-	-	0.6	-	-	0.3	3.9	6.1	0.6	0.3
共に無職	4	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	109	22	7	49	30	4	1	-	1	-	-	1	-	5	3	1
	100.0	20.2	6.4	45.0	27.5	3.7	0.9	-	0.9	-	-	0.9	-	4.6	2.8	0.9

(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用している」を選んだ方

(3) 現在の利用日数・利用時間と今後の利用希望日数・利用希望時間（数量回答）

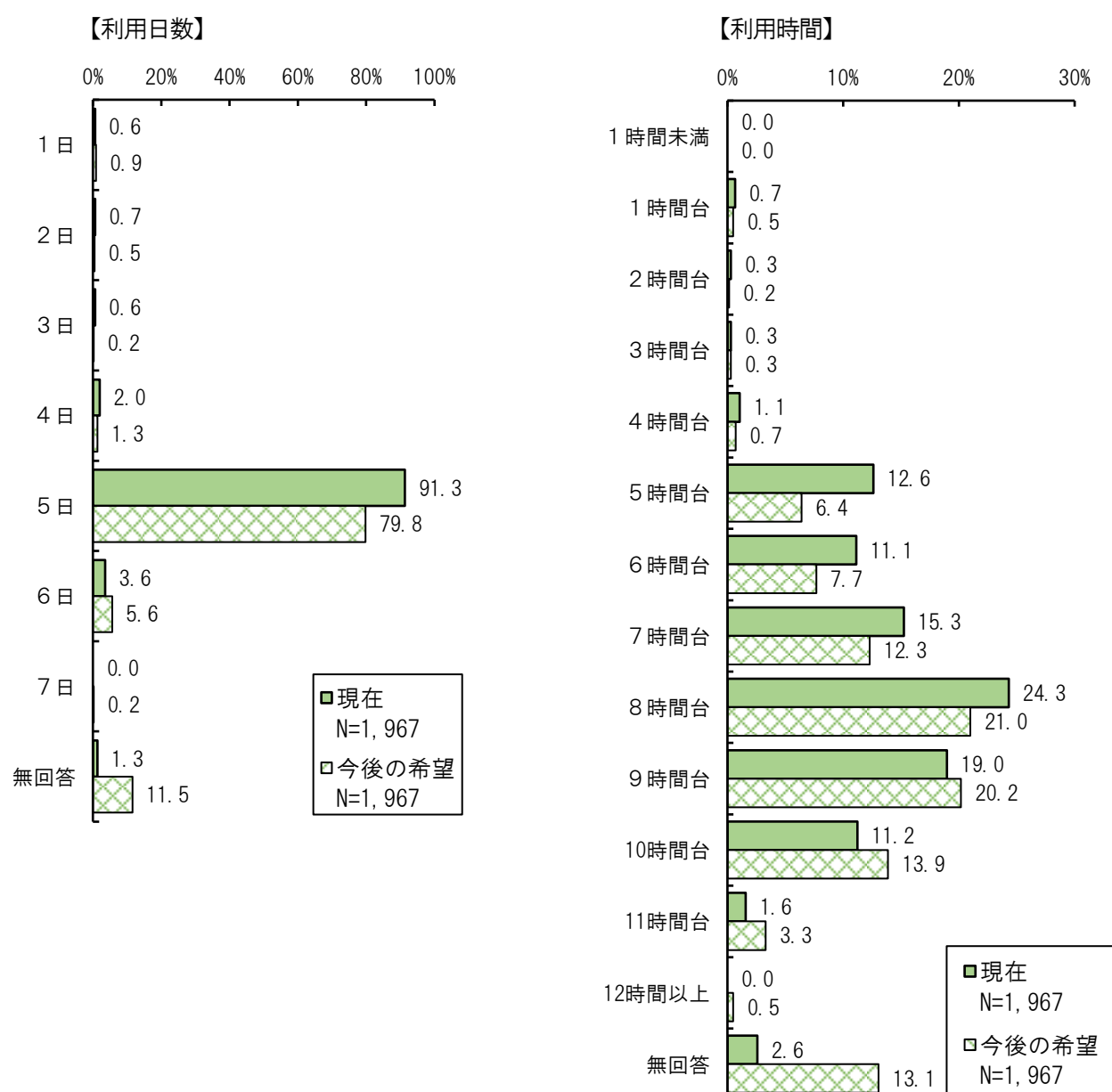
《就学前児童調査…問12》

現在の利用日数（1週当たり）については、「5日」が91.3%と最も高く、次いで「6日」が3.6%、「4日」が2.0%などとなっています。

今後の利用希望日数では、「5日」が79.8%と最も高く、次いで「6日」が5.6%、「4日」が1.3%などとなっています。

現在の利用時間（1日当たり）については、「8時間台」が24.3%と最も高く、次いで「9時間台」が19.0%、「7時間台」が15.3%などとなっています。

今後の利用希望時間では、「8時間台」が21.0%と最も高く、次いで「9時間台」が20.2%、「10時間台」が13.9%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

【事業別利用日数（1週当たり）】

事業別にみると、現在、今後の希望ともにどの事業も「5日」が最も高くなっています。

【現在】

（上段：実数、下段：％）

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	2	1	2	1	384	6	15
	100.0	0.5	0.2	0.5	0.2	93.4	1.5	3.6
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	2	－	3	2	123	2	3
	100.0	1.5	－	2.2	1.5	91.1	1.5	2.2
認定こども園	895	1	4	3	14	825	43	5
	100.0	0.1	0.4	0.3	1.6	92.2	4.8	0.6
保育園	505	－	1	1	8	474	19	2
	100.0	－	0.2	0.2	1.6	93.9	3.8	0.4
小規模保育施設	75	－	1	1	2	70	1	－
	100.0	－	1.3	1.3	2.7	93.3	1.3	－
事業所内保育施設	19	－	－	1	2	12	4	－
	100.0	－	－	5.3	10.5	63.2	21.1	－
企業主導型保育施設	18	－	－	1	5	11	1	－
	100.0	－	－	5.6	27.8	61.1	5.6	－
認可外保育施設	19	1	1	1	3	12	1	－
	100.0	5.3	5.3	5.3	15.8	63.2	5.3	－
家庭的保育	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－
居宅訪問型保育	－	－	－	－	－	－	－	－
	－	－	－	－	－	－	－	－
ファミリー・サポート・センター	6	－	－	－	－	5	1	－
	100.0	－	－	－	－	83.3	16.7	－
児童発達支援センター	23	6	1	－	2	13	1	－
	100.0	26.1	4.3	－	8.7	56.5	4.3	－
児童発達支援事業所	71	2	5	1	3	55	5	－
	100.0	2.8	7.0	1.4	4.2	77.5	7.0	－
その他	10	2	3	－	－	3	1	1
	100.0	20.0	30.0	－	－	30.0	10.0	10.0
無回答	7	－	－	－	－	7	－	－
	100.0	－	－	－	－	100.0	－	－

令和５年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【今後の希望】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	3	2	1	1	303	12	-	89
	100.0	0.7	0.5	0.2	0.2	73.7	2.9	-	21.7
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	3	-	2	1	105	4	-	20
	100.0	2.2	-	1.5	0.7	77.8	3.0	-	14.8
認定こども園	895	3	2	1	7	732	63	3	84
	100.0	0.3	0.2	0.1	0.8	81.8	7.0	0.3	9.4
保育園	505	4	2	-	6	427	29	-	37
	100.0	0.8	0.4	-	1.2	84.6	5.7	-	7.3
小規模保育施設	75	-	-	-	3	64	3	-	5
	100.0	-	-	-	4.0	85.3	4.0	-	6.7
事業所内保育施設	19	1	-	-	1	13	4	-	-
	100.0	5.3	-	-	5.3	68.4	21.1	-	-
企業主導型保育施設	18	-	-	1	3	12	1	-	1
	100.0	-	-	5.6	16.7	66.7	5.6	-	5.6
認可外保育施設	19	1	-	-	3	12	1	-	2
	100.0	5.3	-	-	15.8	63.2	5.3	-	10.5
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	-	-	-	-	6	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-
児童発達支援センター	23	4	1	-	2	9	2	1	4
	100.0	17.4	4.3	-	8.7	39.1	8.7	4.3	17.4
児童発達支援事業所	71	3	3	-	-	44	10	1	10
	100.0	4.2	4.2	-	-	62.0	14.1	1.4	14.1
その他	10	1	2	-	-	3	1	-	3
	100.0	10.0	20.0	-	-	30.0	10.0	-	30.0
無回答	7	-	-	-	-	6	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	85.7	-	-	14.3

Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

【事業別利用時間（1日当たり）】

事業別にみると、現在の利用時間は、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”では「5時間台」が最も高く、“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”では「5時間台」、「8時間台」が最も高く、“認定こども園”と“保育園”と“小規模保育施設”では「8時間台」が最も高くなっています。

今後の利用希望時間は、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”では「5時間台」が最も高く、“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”では「8時間台」、「9時間台」が最も高く、“認定こども園”では「9時間台」が最も高く、“保育園”と“小規模保育施設”では「8時間台」が最も高くなっています。

【現在】

（上段：実数、下段：％）

	調査数	1時間未満	1時間台	2時間台	3時間台	4時間台	5時間台	6時間台	7時間台	8時間台	9時間台	10時間台	11時間台	12時間以上	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	-	2	3	-	10	176	130	27	18	16	7	3	-	19
	100.0	-	0.5	0.7	-	2.4	42.8	31.6	6.6	4.4	3.9	1.7	0.7	-	4.6
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	-	4	4	3	2	25	23	9	25	23	8	2	-	7
	100.0	-	3.0	3.0	2.2	1.5	18.5	17.0	6.7	18.5	17.0	5.9	1.5	-	5.2
認定こども園	895	-	1	-	1	7	70	67	135	244	220	116	16	-	18
	100.0	-	0.1	-	0.1	0.8	7.8	7.5	15.1	27.3	24.6	13.0	1.8	-	2.0
保育園	505	-	-	-	1	1	1	8	111	176	106	80	13	-	8
	100.0	-	-	-	0.2	0.2	0.2	1.6	22.0	34.9	21.0	15.8	2.6	-	1.6
小規模保育施設	75	-	-	-	-	-	1	4	11	31	16	10	-	-	2
	100.0	-	-	-	-	-	1.3	5.3	14.7	41.3	21.3	13.3	-	-	2.7
事業所内保育施設	19	-	-	-	-	-	1	1	2	2	6	6	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	5.3	5.3	10.5	10.5	31.6	31.6	5.3	-	-
企業主導型保育施設	18	-	-	-	-	1	-	1	5	4	4	2	1	-	-
	100.0	-	-	-	-	5.6	-	5.6	27.8	22.2	22.2	11.1	5.6	-	-
認可外保育施設	19	-	-	-	-	1	3	2	3	3	5	1	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	5.3	15.8	10.5	15.8	15.8	26.3	5.3	-	-	5.3
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	2	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	33.3	-	16.7	16.7	-	33.3	-	-
児童発達支援センター	23	-	5	1	1	-	3	6	2	1	2	1	1	-	-
	100.0	-	21.7	4.3	4.3	-	13.0	26.1	8.7	4.3	8.7	4.3	4.3	-	-
児童発達支援事業所	71	-	3	-	-	2	10	5	18	8	16	8	1	-	-
	100.0	-	4.2	-	-	2.8	14.1	7.0	25.4	11.3	22.5	11.3	1.4	-	-
その他	10	-	1	2	1	2	-	-	2	-	1	1	-	-	-
	100.0	-	10.0	20.0	10.0	20.0	-	-	20.0	-	10.0	10.0	-	-	-
無回答	7	-	-	-	-	-	-	1	1	2	1	1	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	-	-	14.3

令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【今後の希望】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	1時間未満	1時間台	2時間台	3時間台	4時間台	5時間台	6時間台	7時間台	8時間台	9時間台	10時間台	11時間台	12時間以上	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	-	2	1	2	4	92	86	48	36	26	12	7	-	95
	100.0	-	0.5	0.2	0.5	1.0	22.4	20.9	11.7	8.8	6.3	2.9	1.7	-	23.1
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	-	4	1	2	4	9	17	13	24	24	9	6	-	22
	100.0	-	3.0	0.7	1.5	3.0	6.7	12.6	9.6	17.8	17.8	6.7	4.4	-	16.3
認定こども園	895	-	1	-	-	4	34	52	110	196	214	144	36	5	99
	100.0	-	0.1	-	-	0.4	3.8	5.8	12.3	21.9	23.9	16.1	4.0	0.6	11.1
保育園	505	-	1	-	1	2	1	4	63	140	125	100	18	5	45
	100.0	-	0.2	-	0.2	0.4	0.2	0.8	12.5	27.7	24.8	19.8	3.6	1.0	8.9
小規模保育施設	75	-	-	-	-	-	1	3	7	32	13	12	2	-	5
	100.0	-	-	-	-	-	1.3	4.0	9.3	42.7	17.3	16.0	2.7	-	6.7
事業所内保育施設	19	-	-	-	-	-	1	-	2	1	7	5	2	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	5.3	-	10.5	5.3	36.8	26.3	10.5	-	5.3
企業主導型保育施設	18	-	-	-	-	1	-	1	4	2	5	2	2	-	1
	100.0	-	-	-	-	5.6	-	5.6	22.2	11.1	27.8	11.1	11.1	-	5.6
認可外保育施設	19	-	-	-	-	1	1	1	6	2	3	2	-	-	3
	100.0	-	-	-	-	5.3	5.3	5.3	31.6	10.5	15.8	10.5	-	-	15.8
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	2	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	16.7	33.3	-	-	33.3	-	16.7
児童発達支援センター	23	-	2	-	2	1	3	2	1	3	3	1	1	-	4
	100.0	-	8.7	-	8.7	4.3	13.0	8.7	4.3	13.0	13.0	4.3	4.3	-	17.4
児童発達支援事業所	71	-	2	1	1	1	2	4	16	10	11	10	2	-	11
	100.0	-	2.8	1.4	1.4	1.4	2.8	5.6	22.5	14.1	15.5	14.1	2.8	-	15.5
その他	10	-	-	-	1	1	-	1	1	1	1	1	1	-	2
	100.0	-	-	-	10.0	10.0	-	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0
無回答	7	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	2
	100.0	-	-	-	-	-	-	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	-	-	28.6

Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用している」を選んだ方

(4) 現在の利用時間帯と今後の利用希望時間帯(数量回答)

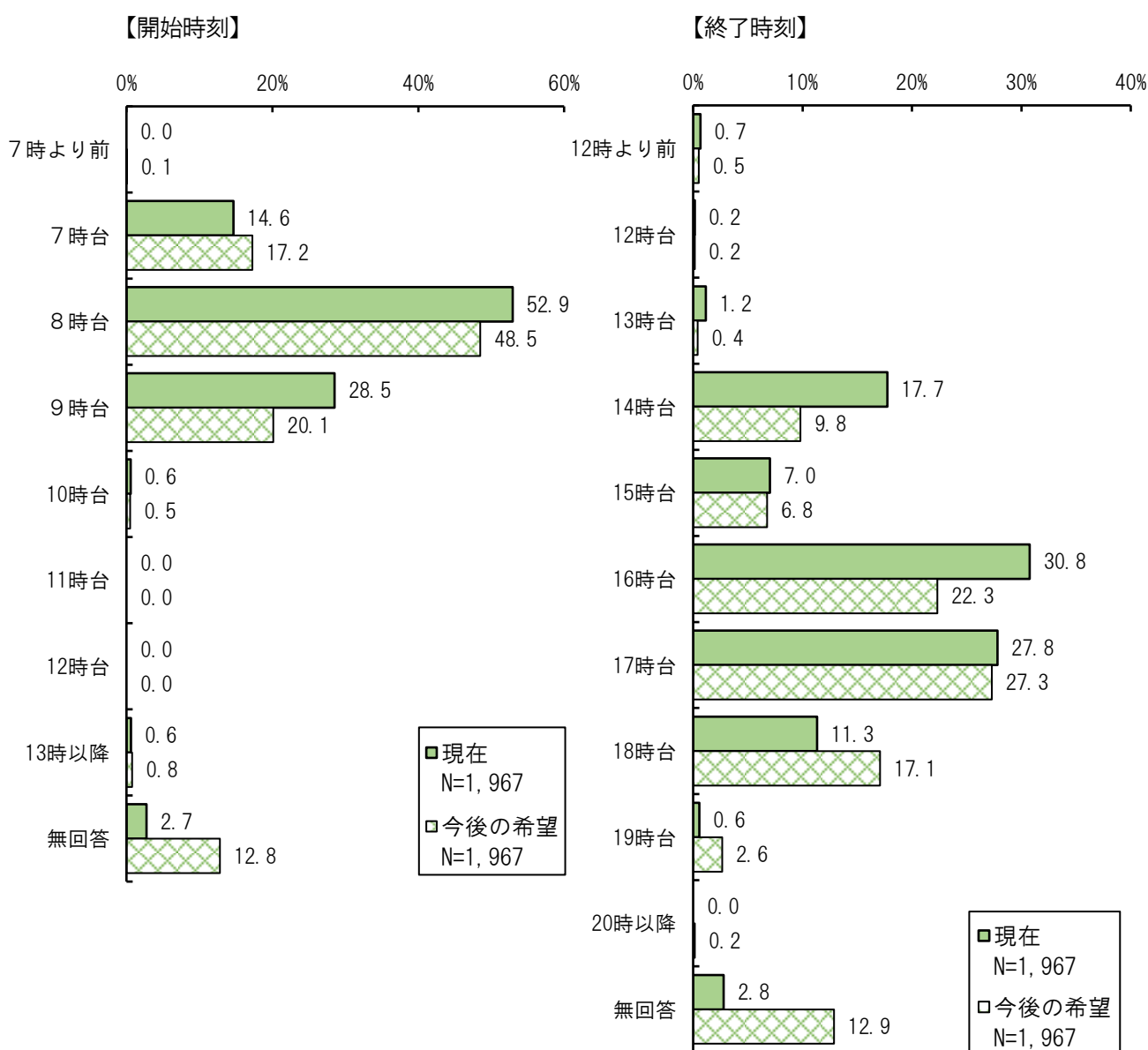
《就学前児童調査…問12》

開始時刻については、現在では、「8時台」が52.9%と最も高く、次いで「9時台」が28.5%、「7時台」が14.6%などとなっています。

今後の希望では、「8時台」が48.5%と最も高く、次いで「9時台」が20.1%、「7時台」が17.2%などとなっています。

終了時刻については、現在では、「16時台」が30.8%と最も高く、次いで「17時台」が27.8%、「14時台」が17.7%などとなっています。

今後の希望では、「17時台」が27.3%と最も高く、次いで「16時台」が22.3%、「18時台」が17.1%などとなっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【事業別開始時刻】

事業別にみると、現在は、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”では「9時台」が最も高く、“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”と“認定こども園”と“保育園”と“小規模保育施設”と“事業所内保育施設”と“企業主導型保育施設”と“ファミリー・サポート・センター”と“児童発達支援事業所”では「8時台」が最も高くなっています。

今後の希望では、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”と“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”と“認定こども園”と“保育園”と“小規模保育施設”と“事業所内保育施設”と“企業主導型保育施設”と“ファミリー・サポート・センター”と“児童発達支援事業所”では「8時台」が最も高くなっています。

【現在の開始時刻】

（上段：実数、下段：％）

	調査数	7時より前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	-	13	176	188	1	-	-	5	28
	100.0	-	3.2	42.8	45.7	0.2	-	-	1.2	6.8
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	-	11	72	36	-	-	-	10	6
	100.0	-	8.1	53.3	26.7	-	-	-	7.4	4.4
認定こども園	895	-	169	507	200	1	-	-	2	16
	100.0	-	18.9	56.6	22.3	0.1	-	-	0.2	1.8
保育園	505	-	94	286	119	-	-	-	-	6
	100.0	-	18.6	56.6	23.6	-	-	-	-	1.2
小規模保育施設	75	-	11	45	18	-	-	-	-	1
	100.0	-	14.7	60.0	24.0	-	-	-	-	1.3
事業所内保育施設	19	-	3	11	5	-	-	-	-	-
	100.0	-	15.8	57.9	26.3	-	-	-	-	-
企業主導型保育施設	18	-	1	10	7	-	-	-	-	-
	100.0	-	5.6	55.6	38.9	-	-	-	-	-
認可外保育施設	19	-	2	7	9	-	-	-	1	-
	100.0	-	10.5	36.8	47.4	-	-	-	5.3	-
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	-	1	4	1	-	-	-	-	-
	100.0	-	16.7	66.7	16.7	-	-	-	-	-
児童発達支援センター	23	-	1	4	14	2	-	-	1	1
	100.0	-	4.3	17.4	60.9	8.7	-	-	4.3	4.3
児童発達支援事業所	71	-	8	33	24	5	-	-	-	1
	100.0	-	11.3	46.5	33.8	7.0	-	-	-	1.4
その他	10	-	-	3	4	3	-	-	-	-
	100.0	-	-	30.0	40.0	30.0	-	-	-	-
無回答	7	-	1	2	4	-	-	-	-	-
	100.0	-	14.3	28.6	57.1	-	-	-	-	-

Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

【今後の希望開始時刻】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	7時より 前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
幼稚園（通常の就園 時間の利用）	411	-	23	154	130	1	-	-	5	98
	100.0	-	5.6	37.5	31.6	0.2	-	-	1.2	23.8
幼稚園等の預かり保 育（定期利用）	135	-	15	68	22	-	-	-	8	22
	100.0	-	11.1	50.4	16.3	-	-	-	5.9	16.3
認定こども園	895	-	194	459	144	2	-	-	4	92
	100.0	-	21.7	51.3	16.1	0.2	-	-	0.4	10.3
保育園	505	1	104	273	79	-	-	-	3	45
	100.0	0.2	20.6	54.1	15.6	-	-	-	0.6	8.9
小規模保育施設	75	-	13	42	15	-	-	-	-	5
	100.0	-	17.3	56.0	20.0	-	-	-	-	6.7
事業所内保育施設	19	-	6	9	3	-	-	-	-	1
	100.0	-	31.6	47.4	15.8	-	-	-	-	5.3
企業主導型保育施設	18	-	1	11	6	-	-	-	-	-
	100.0	-	5.6	61.1	33.3	-	-	-	-	-
認可外保育施設	19	-	2	6	8	-	-	-	1	2
	100.0	-	10.5	31.6	42.1	-	-	-	5.3	10.5
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポー ト・センター	6	-	1	3	1	-	-	-	-	1
	100.0	-	16.7	50.0	16.7	-	-	-	-	16.7
児童発達支援セン ター	23	-	1	4	10	3	-	-	-	5
	100.0	-	4.3	17.4	43.5	13.0	-	-	-	21.7
児童発達支援事業所	71	-	8	30	16	4	-	-	1	12
	100.0	-	11.3	42.3	22.5	5.6	-	-	1.4	16.9
その他	10	-	1	3	3	1	-	-	-	2
	100.0	-	10.0	30.0	30.0	10.0	-	-	-	20.0
無回答	7	-	1	2	3	-	-	-	-	1
	100.0	-	14.3	28.6	42.9	-	-	-	-	14.3

令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【事業別終了時刻】

事業別にみると、現在は、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”では「14時台」が最も高く、“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”と“認定こども園”では「17時台」が最も高く、“保育園”と“小規模保育施設”と“企業主導型保育施設”では「16時台」が最も高くなっています。

今後の希望は、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”では「14時台」が最も高く、“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”と“認定こども園”と“保育園”と“事業所内保育施設”では「17時台」が最も高く、“企業主導型保育施設”では「16時台」、「17時台」が最も高く、“小規模保育施設”では「16時台」が最も高くなっています。

【現在の終了時刻】

（上段：実数、下段：％）

	調査数	12時より前	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	-	-	14	245	56	27	27	13	1	-	28
	100.0	-	-	3.4	59.6	13.6	6.6	6.6	3.2	0.2	-	6.8
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	-	-	4	34	15	26	35	15	-	-	6
	100.0	-	-	3.0	25.2	11.1	19.3	25.9	11.1	-	-	4.4
認定こども園	895	2	-	6	99	55	298	302	110	6	-	17
	100.0	0.2	-	0.7	11.1	6.1	33.3	33.7	12.3	0.7	-	1.9
保育園	505	2	1	1	-	13	223	175	81	3	-	6
	100.0	0.4	0.2	0.2	-	2.6	44.2	34.7	16.0	0.6	-	1.2
小規模保育施設	75	-	-	1	1	5	29	27	11	-	-	1
	100.0	-	-	1.3	1.3	6.7	38.7	36.0	14.7	-	-	1.3
事業所内保育施設	19	-	-	-	-	1	4	7	7	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	5.3	21.1	36.8	36.8	-	-	-
企業主導型保育施設	18	-	1	-	-	-	9	4	2	2	-	-
	100.0	-	5.6	-	-	-	50.0	22.2	11.1	11.1	-	-
認可外保育施設	19	-	-	-	6	1	6	3	2	1	-	-
	100.0	-	-	-	31.6	5.3	31.6	15.8	10.5	5.3	-	-
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	-	-	-	2	-	1	1	1	1	-	-
	100.0	-	-	-	33.3	-	16.7	16.7	16.7	16.7	-	-
児童発達支援センター	23	5	-	1	2	7	3	1	3	-	-	1
	100.0	21.7	-	4.3	8.7	30.4	13.0	4.3	13.0	-	-	4.3
児童発達支援事業所	71	3	-	2	10	5	22	20	8	-	-	1
	100.0	4.2	-	2.8	14.1	7.0	31.0	28.2	11.3	-	-	1.4
その他	10	2	1	3	-	-	2	1	-	1	-	-
	100.0	20.0	10.0	30.0	-	-	20.0	10.0	-	10.0	-	-
無回答	7	-	-	-	1	-	3	3	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	14.3	-	42.9	42.9	-	-	-	-

Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

【今後の希望終了時刻】

(上段：実数、下段：%)

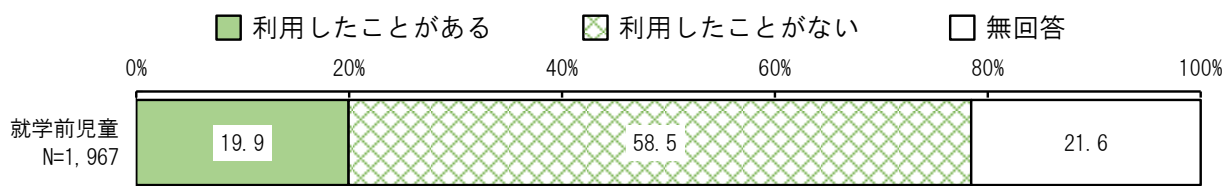
	調査数	12時より前	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	1	-	5	134	61	46	37	26	3	-	98
	100.0	0.2	-	1.2	32.6	14.8	11.2	9.0	6.3	0.7	-	23.8
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	-	-	2	21	14	26	30	18	2	-	22
	100.0	-	-	1.5	15.6	10.4	19.3	22.2	13.3	1.5	-	16.3
認定こども園	895	2	-	-	57	54	204	284	170	29	2	93
	100.0	0.2	-	-	6.4	6.0	22.8	31.7	19.0	3.2	0.2	10.4
保育園	505	1	1	1	-	10	143	172	117	15	-	45
	100.0	0.2	0.2	0.2	-	2.0	28.3	34.1	23.2	3.0	-	8.9
小規模保育施設	75	1	-	1	-	5	23	22	17	1	-	5
	100.0	1.3	-	1.3	-	6.7	30.7	29.3	22.7	1.3	-	6.7
事業所内保育施設	19	-	-	-	-	-	3	7	5	3	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	15.8	36.8	26.3	15.8	-	5.3
企業主導型保育施設	18	-	1	-	-	-	6	6	1	3	1	-
	100.0	-	5.6	-	-	-	33.3	33.3	5.6	16.7	5.6	-
認可外保育施設	19	-	-	-	2	1	8	3	2	1	-	2
	100.0	-	-	-	10.5	5.3	42.1	15.8	10.5	5.3	-	10.5
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	-	-	-	-	1	2	-	1	1	-	1
	100.0	-	-	-	-	16.7	33.3	-	16.7	16.7	-	16.7
児童発達支援センター	23	2	-	2	1	4	1	3	5	-	-	5
	100.0	8.7	-	8.7	4.3	17.4	4.3	13.0	21.7	-	-	21.7
児童発達支援事業所	71	3	-	-	3	6	14	19	13	1	-	12
	100.0	4.2	-	-	4.2	8.5	19.7	26.8	18.3	1.4	-	16.9
その他	10	-	1	1	-	1	2	1	1	1	-	2
	100.0	-	10.0	10.0	-	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	-	20.0
無回答	7	-	-	-	1	-	3	2	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	14.3	-	42.9	28.6	-	-	-	14.3

(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用している」を選んだ方

(5) 18時以降の事業の利用の有無(単数回答)

《就学前児童調査…問12》

「利用したことがある」が19.9%、「利用したことがない」が58.5%となっています。



【事業別】

事業別にみると、“企業主導型保育施設”と“ファミリー・サポート・センター”では「利用したことがある」が「利用したことがない」より高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	利用したことがある	利用したことがない	無回答
幼稚園(通常の就園時間の利用)	411 100.0	18 4.4	290 70.6	103 25.1
幼稚園等の預かり保育(定期利用)	135 100.0	18 13.3	88 65.2	29 21.5
認定こども園	895 100.0	197 22.0	516 57.7	182 20.3
保育園	505 100.0	147 29.1	261 51.7	97 19.2
小規模保育施設	75 100.0	18 24.0	49 65.3	8 10.7
事業所内保育施設	19 100.0	5 26.3	9 47.4	5 26.3
企業主導型保育施設	18 100.0	8 44.4	7 38.9	3 16.7
認可外保育施設	19 100.0	6 31.6	7 36.8	6 31.6
家庭的保育	- -	- -	- -	- -
居宅訪問型保育	- -	- -	- -	- -
ファミリー・サポート・センター	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3
児童発達支援センター	23 100.0	2 8.7	17 73.9	4 17.4
児童発達支援事業所	71 100.0	13 18.3	44 62.0	14 19.7
その他	10 100.0	1 10.0	5 50.0	4 40.0
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	5 71.4

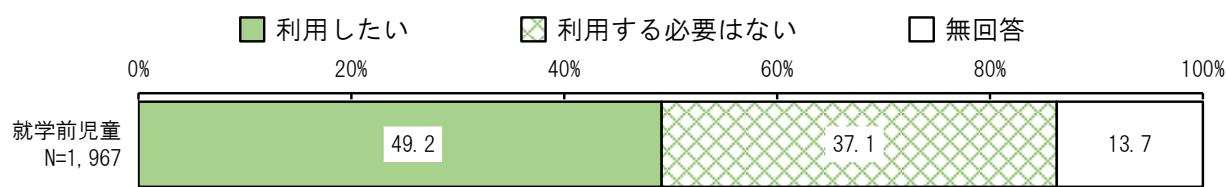
Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用している」を選んだ方

(6) 18時以降の事業の今後の利用希望(単数回答)

《就学前児童調査…問12》

「利用したい」が49.2%、「利用する必要はない」が37.1%となっています。



【事業別】

事業別にみると、「認定こども園」と「保育園」と「小規模保育施設」と「事業所内保育施設」と「企業主導型保育施設」と「認可外保育施設」と「ファミリー・サポート・センター」と「児童発達支援センター」と「児童発達支援事業所」では「利用したい」が「利用する必要はない」より高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

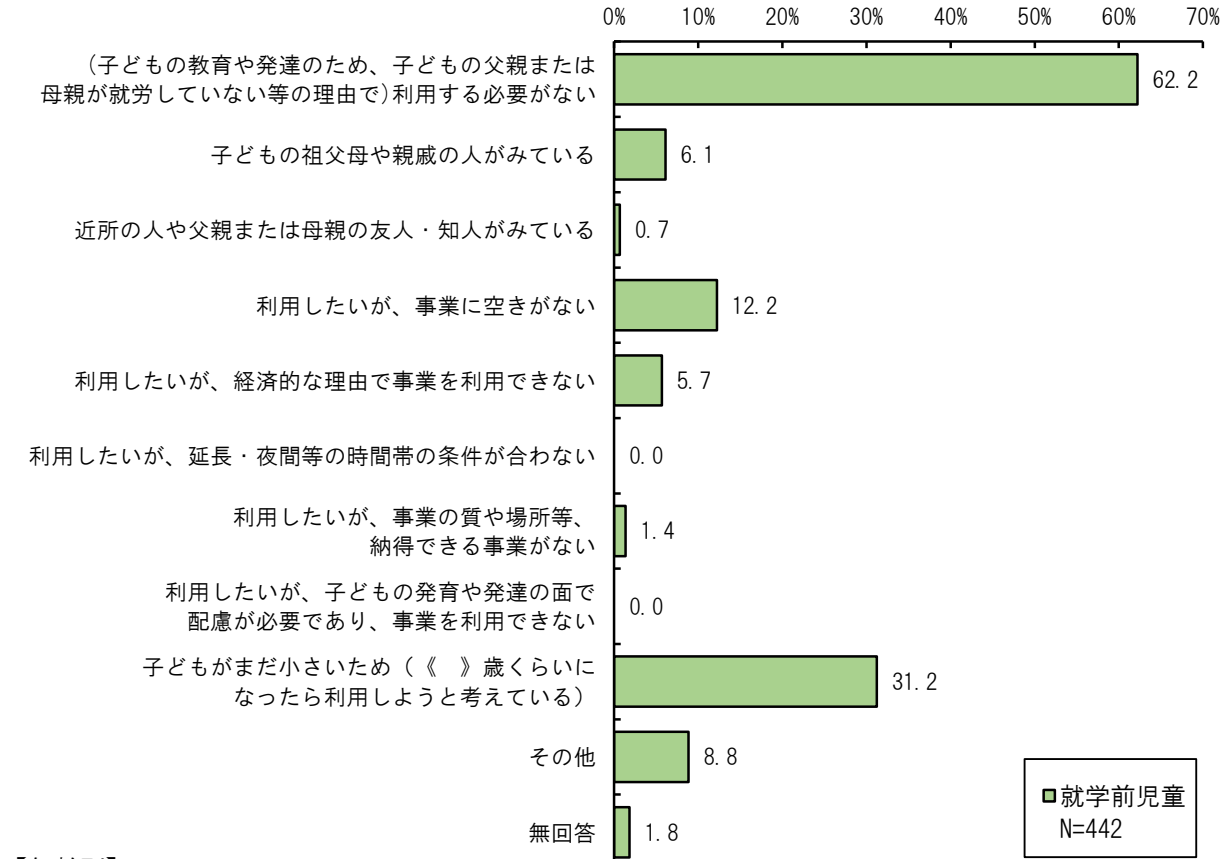
	調査数	利用したい	利用する必要はない	無回答
幼稚園(通常の就園時間の利用)	411	102	223	86
	100.0	24.8	54.3	20.9
幼稚園等の預かり保育(定期利用)	135	59	62	14
	100.0	43.7	45.9	10.4
認定こども園	895	470	318	107
	100.0	52.5	35.5	12.0
保育園	505	300	145	60
	100.0	59.4	28.7	11.9
小規模保育施設	75	45	25	5
	100.0	60.0	33.3	6.7
事業所内保育施設	19	14	4	1
	100.0	73.7	21.1	5.3
企業主導型保育施設	18	15	2	1
	100.0	83.3	11.1	5.6
認可外保育施設	19	9	8	2
	100.0	47.4	42.1	10.5
家庭的保育	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	6	-	-
	100.0	100.0	-	-
児童発達支援センター	23	12	8	3
	100.0	52.2	34.8	13.0
児童発達支援事業所	71	33	32	6
	100.0	46.5	45.1	8.5
その他	10	6	2	2
	100.0	60.0	20.0	20.0
無回答	7	3	2	2
	100.0	42.9	28.6	28.6

(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用していない」を選んだ方

(7) 事業を利用していない理由 (複数回答)

《就学前児童調査…問12》

「(子どもの教育や発達のため、子どもの父親または母親が就労していない等の理由で)利用する必要がない」が62.2%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(《 》歳くらいになったら利用しようと考えている)」が31.2%、「利用したいが、事業に空きがない」が12.2%などとなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、どの年齢でも「(子どもの教育や発達のため、子どもの父親または母親が就労していない等の理由で)利用する必要がない」が最も高くなっています。

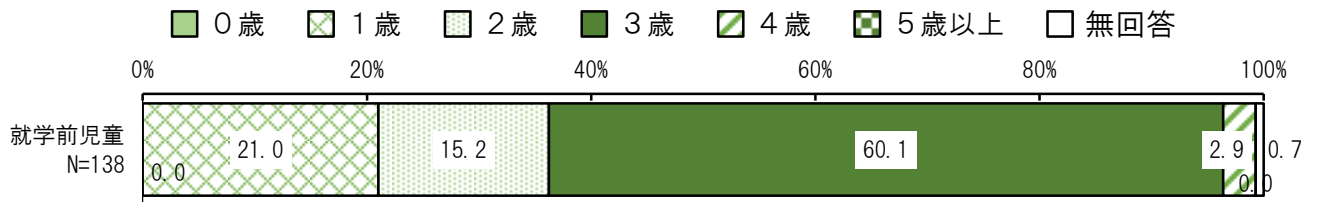
(上段：実数、下段：%)												
	調査数	(子どもの教育や発達のため、子どもの父親または母親が就労していない等の理由で)利用する必要がない	子どもの祖父母や親戚の人がみている	近所の人や父親または母親の友人・知人がみている	利用したいが、事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない	利用したいが、子どもの発育や発達の面で配慮が必要であり、事業を利用できない	子どもがまだ小さいため(《 》歳くらいになったら利用しようと考えている)	その他	無回答
0歳	228	138	9	2	31	12	-	2	-	82	22	5
	100.0	60.5	3.9	0.9	13.6	5.3	-	0.9	-	36.0	9.6	2.2
1歳	135	84	7	1	17	7	-	4	-	39	13	1
	100.0	62.2	5.2	0.7	12.6	5.2	-	3.0	-	28.9	9.6	0.7
2歳	76	50	10	-	6	6	-	-	-	16	4	2
	100.0	65.8	13.2	-	7.9	7.9	-	-	-	21.1	5.3	2.6
3歳	2	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	100.0	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用していない」を選び、かつ(7) で「子どもがまだ小さいため(《 》 歳くらいになったら利用しようと考えている)」を選んだ方

(8) 子どもが何歳になったら事業を利用したいか(数量回答) 《就学前児童調査…問12》

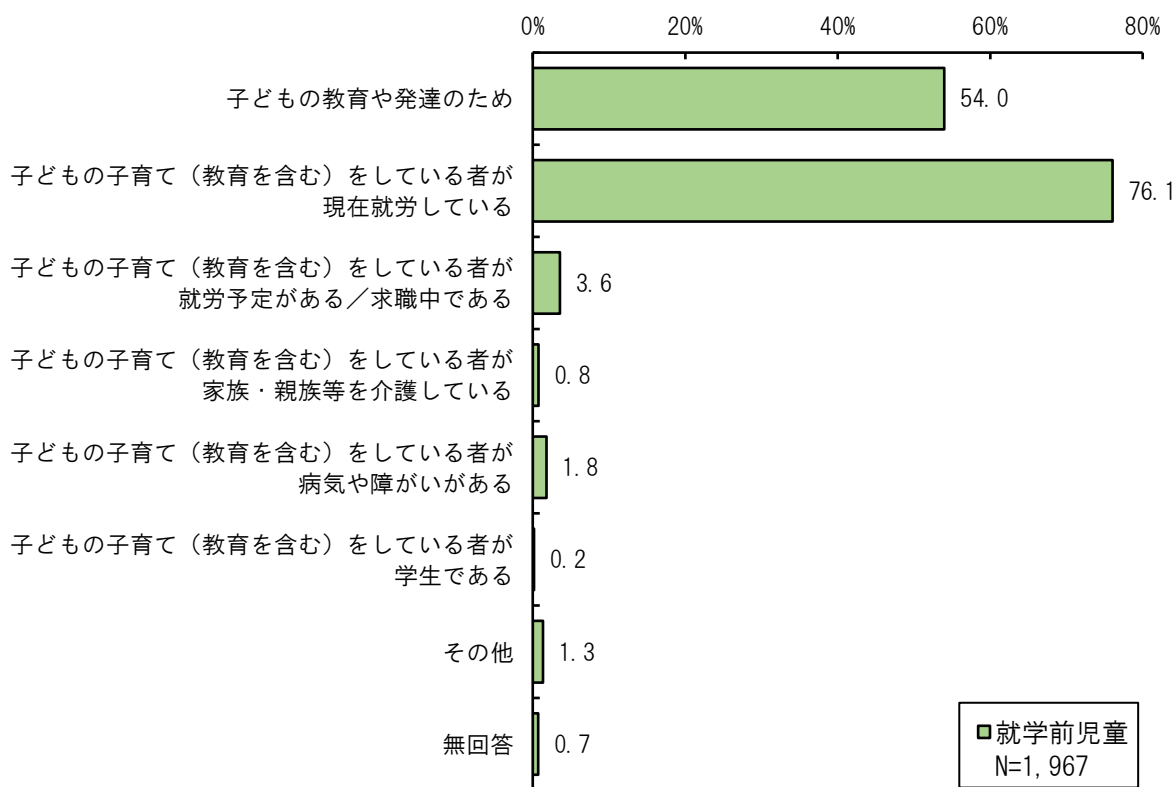
「3歳」が60.1%と最も高く、次いで「1歳」が21.0%、「2歳」が15.2%などとなっています。



(9) 事業を利用している理由(複数回答)

《就学前児童調査…問12-1》

「子どもの子育て(教育を含む)をしている者が現在就労している」が76.1%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が54.0%、「子どもの子育て(教育を含む)をしている者が就労予定がある／求職中である」が3.6%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

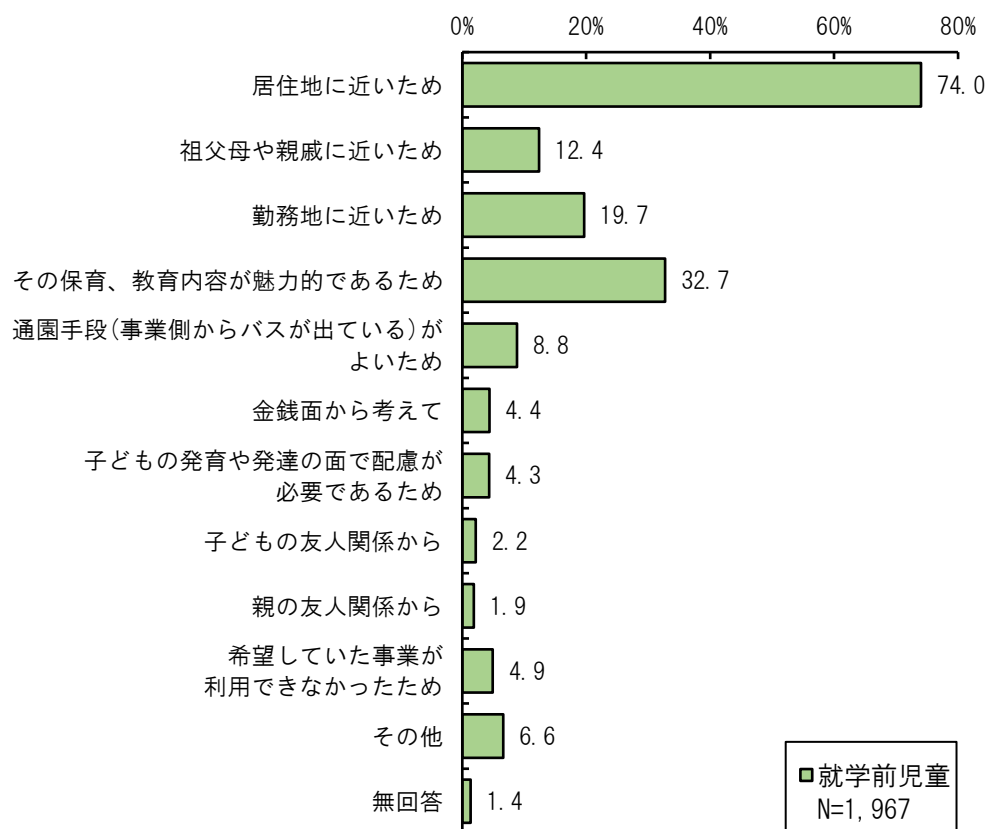
【事業別】

事業別にみると、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”と“ファミリー・サポート・センター”と“児童発達支援センター”と“児童発達支援事業所”では「子どもの教育や発達のため」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	子どもの教育や発達のため	子どもの子育て（教育を含む）をしている者が現在就労している	子どもの子育て（教育を含む）をしている者が就労予定がある／求職中である	子どもの子育て（教育を含む）をしている者が家族・親族等を介護している	子どもの子育て（教育を含む）をしている者が病気や障がいがある	子どもの子育て（教育を含む）をしている者が学生である	その他	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411	373	140	15	2	3	1	5	5
	100.0	90.8	34.1	3.6	0.5	0.7	0.2	1.2	1.2
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135	100	102	2	3	-	-	3	1
	100.0	74.1	75.6	1.5	2.2	-	-	2.2	0.7
認定こども園	895	433	769	25	8	17	-	12	6
	100.0	48.4	85.9	2.8	0.9	1.9	-	1.3	0.7
保育園	505	191	468	26	3	10	2	4	3
	100.0	37.8	92.7	5.1	0.6	2.0	0.4	0.8	0.6
小規模保育施設	75	24	71	2	1	4	-	-	1
	100.0	32.0	94.7	2.7	1.3	5.3	-	-	1.3
事業所内保育施設	19	8	18	1	-	-	-	-	-
	100.0	42.1	94.7	5.3	-	-	-	-	-
企業主導型保育施設	18	4	18	-	-	-	-	-	-
	100.0	22.2	100.0	-	-	-	-	-	-
認可外保育施設	19	9	15	-	-	-	-	1	-
	100.0	47.4	78.9	-	-	-	-	5.3	-
家庭的保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	6	5	4	-	-	-	-	-	-
	100.0	83.3	66.7	-	-	-	-	-	-
児童発達支援センター	23	20	6	1	1	4	-	-	-
	100.0	87.0	26.1	4.3	4.3	17.4	-	-	-
児童発達支援事業所	71	51	46	2	-	3	1	1	1
	100.0	71.8	64.8	2.8	-	4.2	1.4	1.4	1.4
その他	10	7	4	-	-	2	-	2	-
	100.0	70.0	40.0	-	-	20.0	-	20.0	-
無回答	7	3	6	-	-	-	-	-	-
	100.0	42.9	85.7	-	-	-	-	-	-

「居住地に近い」が74.0%と最も高く、次いで「その保育、教育内容が魅力的であるため」が32.7%、「勤務地に近い」が19.7%、「祖父母や親戚に近い」が12.4%、「通園手段(事業側からバスが出ている)がよい」が8.8%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

【事業別】

事業別にみると、“幼稚園（通常の就園時間の利用）”と“幼稚園等の預かり保育（定期利用）”と“認定こども園”と“保育園”と“小規模保育施設”と“認可外保育施設”と“児童発達支援事業所”では「居住地に近いため」は最も高くなっています。“事業所内保育施設”と“企業主導型保育施設”では「勤務地に近いため」が最も高くなっています。

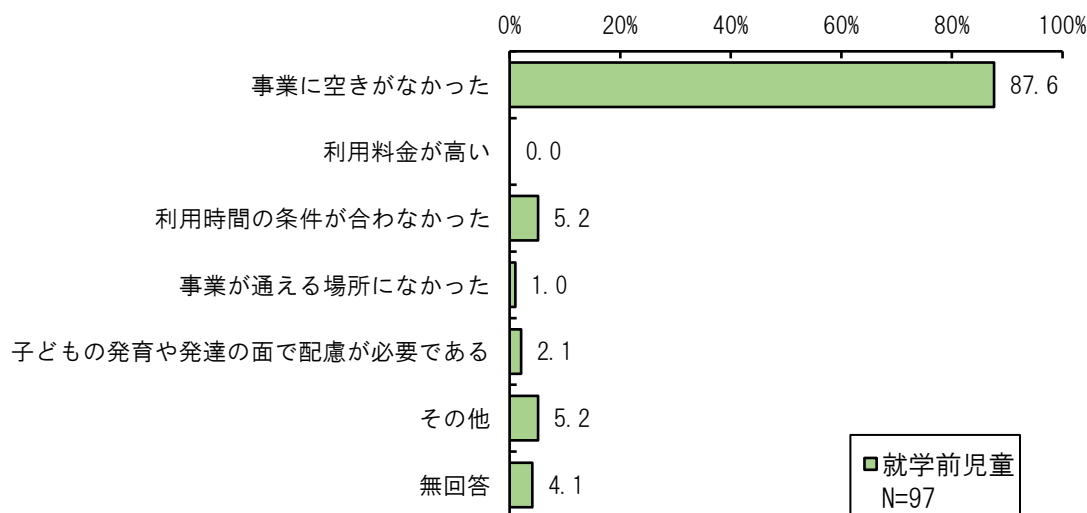
（上段：実数、下段：％）

	調査数	居住地に 近いため	祖父母や 親戚に近 いため	勤務地に 近いため	その保 育、教育 内容が魅 力的であ るため	通園手段 （事業側か らバスが 出ている） がよいた め	金銭面か ら考えて	子どもの 発達や発 達の面で 配慮が必 要である ため	子どもの 友人関係 から	親の友人 関係から	希望して いた事業 が利用で きなかつ たため	その他	無回答
幼稚園（通常の就園時間の利用）	411 100.0	272 66.2	25 6.1	37 9.0	211 51.3	103 25.1	13 3.2	17 4.1	11 2.7	9 2.2	4 1.0	19 4.6	9 2.2
幼稚園等の預かり保育（定期利用）	135 100.0	99 73.3	14 10.4	27 20.0	60 44.4	25 18.5	2 1.5	7 5.2	9 6.7	- -	1 0.7	9 6.7	2 1.5
認定こども園	895 100.0	709 79.2	128 14.3	175 19.6	256 28.6	57 6.4	47 5.3	33 3.7	24 2.7	21 2.3	33 3.7	66 7.4	8 0.9
保育園	505 100.0	392 77.6	75 14.9	125 24.8	131 25.9	5 1.0	17 3.4	15 3.0	6 1.2	5 1.0	35 6.9	28 5.5	8 1.6
小規模保育施設	75 100.0	51 68.0	10 13.3	24 32.0	20 26.7	4 5.3	2 2.7	3 4.0	- -	- -	13 17.3	6 8.0	3 4.0
事業所内保育施設	19 100.0	6 31.6	- -	11 57.9	3 15.8	2 10.5	3 15.8	- -	- -	- -	2 10.5	3 15.8	- -
企業主導型保育施設	18 100.0	7 38.9	- -	12 66.7	6 33.3	1 5.6	1 5.6	- -	- -	- -	4 22.2	4 22.2	- -
認可外保育施設	19 100.0	10 52.6	1 5.3	7 36.8	7 36.8	1 5.3	4 21.1	1 5.3	- -	1 5.3	3 15.8	1 5.3	- -
家庭的保育	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
居宅訪問型保育	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
ファミリー・サポート・センター	6 100.0	4 66.7	1 16.7	3 50.0	4 66.7	1 16.7	- -	1 16.7	- -	- -	- -	3 50.0	- -
児童発達支援センター	23 100.0	11 47.8	- -	1 4.3	10 43.5	2 8.7	- -	13 56.5	- -	- -	1 4.3	1 4.3	- -
児童発達支援事業所	71 100.0	55 77.5	1 1.4	11 15.5	18 25.4	6 8.5	1 1.4	35 49.3	- -	- -	4 5.6	- -	1 1.4
その他	10 100.0	5 50.0	1 10.0	- -	4 40.0	- -	- -	2 20.0	- -	1 10.0	1 10.0	3 30.0	- -
無回答	7 100.0	6 85.7	1 14.3	2 28.6	3 42.9	1 14.3	- -	- -	- -	- -	1 14.3	- -	- -

(10) で「希望していた事業が利用できなかったため」を選んだ方

(11) 希望していた事業が利用できなかった理由（複数回答） 《就学前児童調査…問12-1》

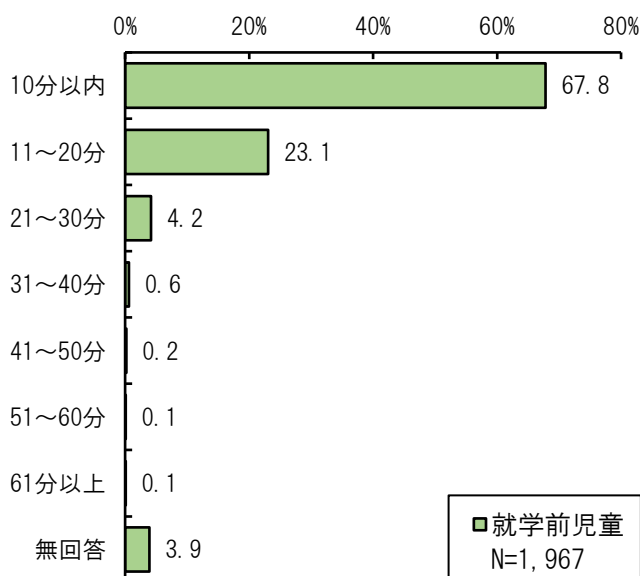
「事業に空きがなかった」が87.6%と最も高く、次いで「利用時間の条件が合わなかった」が5.2%、「子どもの発育や発達面で配慮が必要である」が2.1%、「事業が通える場所になかった」が1.0%などとなっています。



(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用している」を選んだ方

(12) 現在利用している事業への自宅からの片道所要時間（数量回答） 《就学前児童調査…問12-1》

「10分以内」が67.8%と最も高く、次いで「11～20分」が23.1%、「21～30分」が4.2%などとなっています。

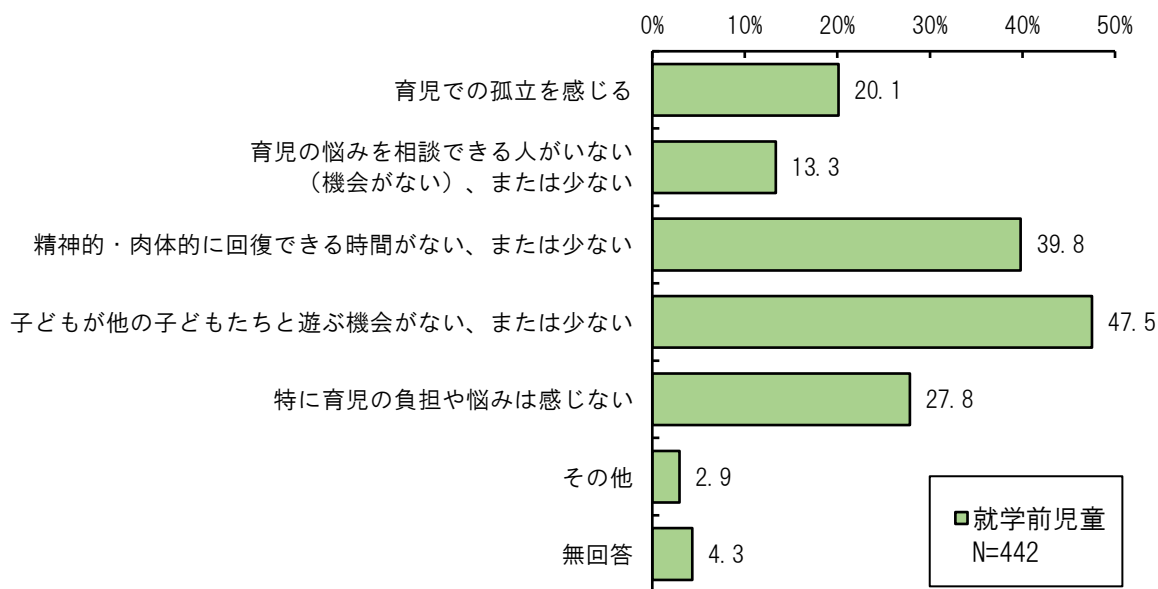


Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用していない」を選んだ方

(13) 平日に教育・保育事業を利用していないことを理由とする育児の負担や悩み（複数回答）
《就学前児童調査…問12-2》

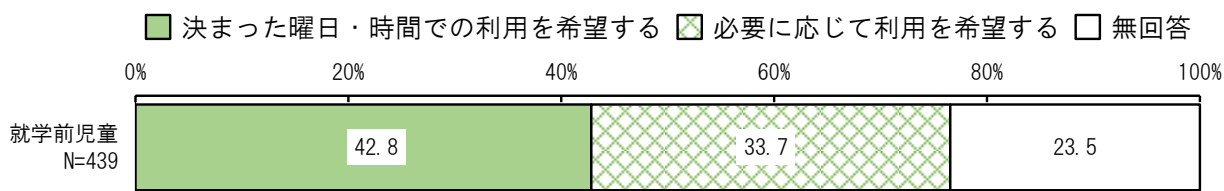
「子どもが他の子どもたちと遊ぶ機会がない、または少ない」が47.5%と最も高く、次いで「精神的・肉体的に回復できる時間がない、または少ない」が39.8%、「特に育児の負担や悩みは感じない」が27.8%などとなっています。



(1) で「(平日の定期的な教育・保育事業を) 利用していない」を選んだ方のうち、あて名のお子さんが0～2歳の方

(14) 「こども誰でも通園制度 (仮称)」※が本市において実施された場合の利用希望（単数回答）
《就学前児童調査…問12-3》

「決まった曜日・時間での利用を希望する」が42.8%、「必要に応じて利用を希望する」が33.7%となっています。



※「こども誰でも通園制度 (仮称)」は、「月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、保育所などを時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度」です。

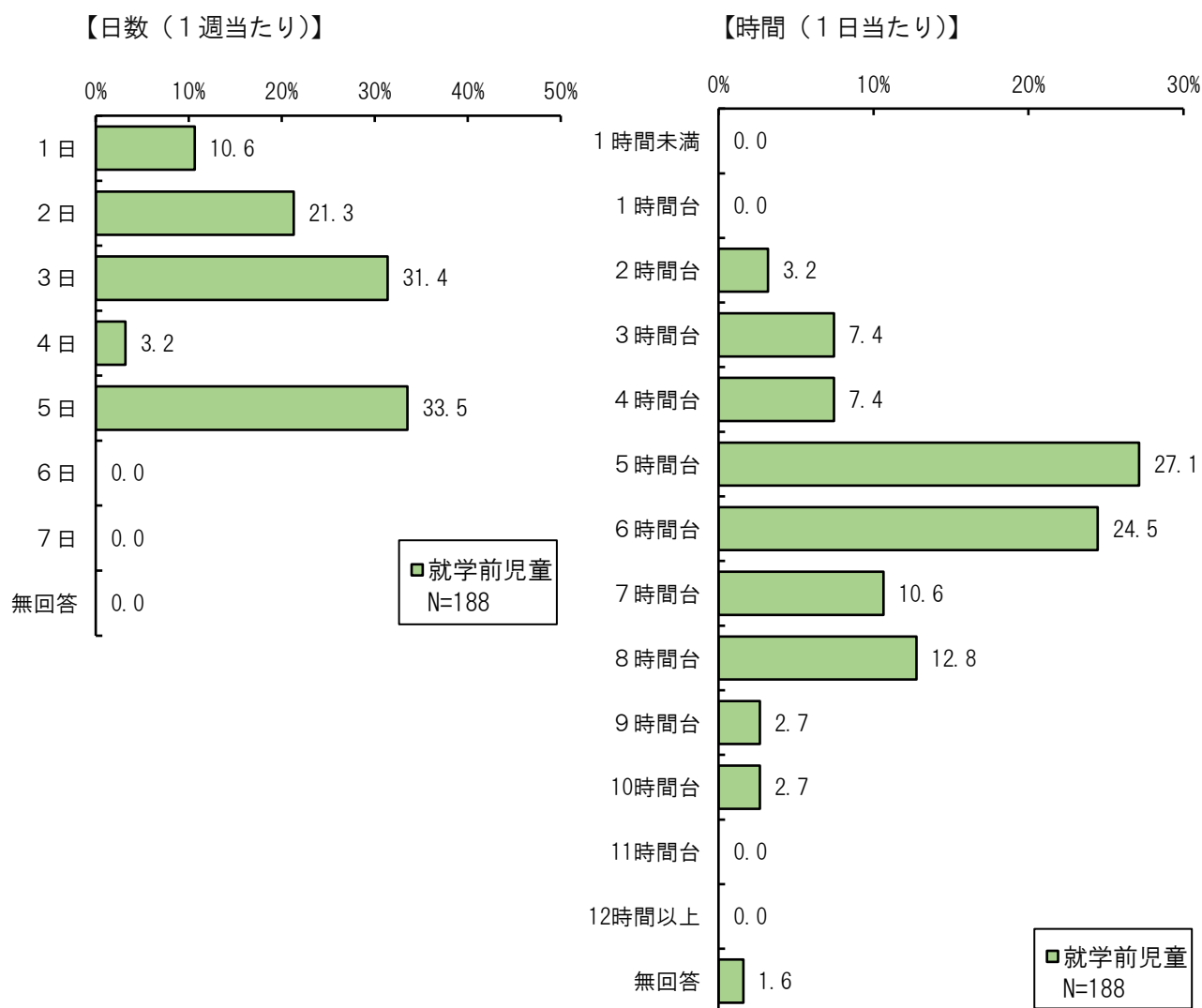
(14) で「決まった曜日・時間での利用を希望する」を選んだ方

(15) 1 週当たりの希望利用日数と 1 日当たりの希望利用時間（数量回答）

《就学前児童調査…問12-3》

1 週当たりの希望利用日数については、「5 日」が33.5%と最も高く、次いで「3 日」が31.4%、「2 日」が21.3%などとなっています。

1 日当たりの希望利用時間については、「5 時間台」が27.1%と最も高く、次いで「6 時間台」が24.5%、「8 時間台」が12.8%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

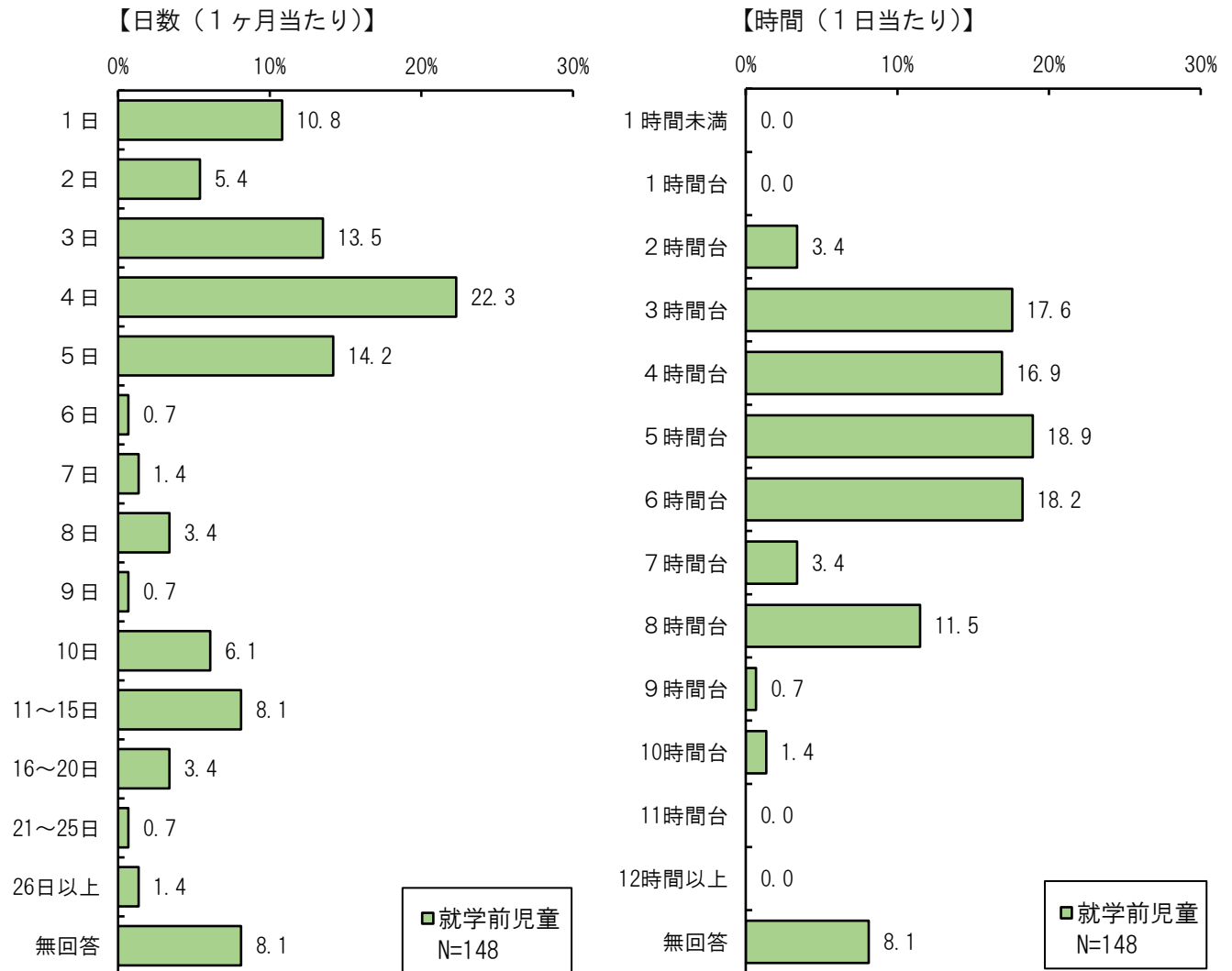
(14) で「必要に応じて利用を希望する」を選んだ方

(16) 1ヶ月当たりの希望利用日数と1日当たりの希望利用時間（数量回答）

《就学前児童調査…問12-3》

1ヶ月当たりの希望利用日数については、「4日」が22.3%と最も高く、次いで「5日」が14.2%、「3日」が13.5%などとなっています。

1日当たりの希望利用時間については、「5時間台」が18.9%と最も高く、次いで「6時間台」が18.2%、「3時間台」が17.6%などとなっています。

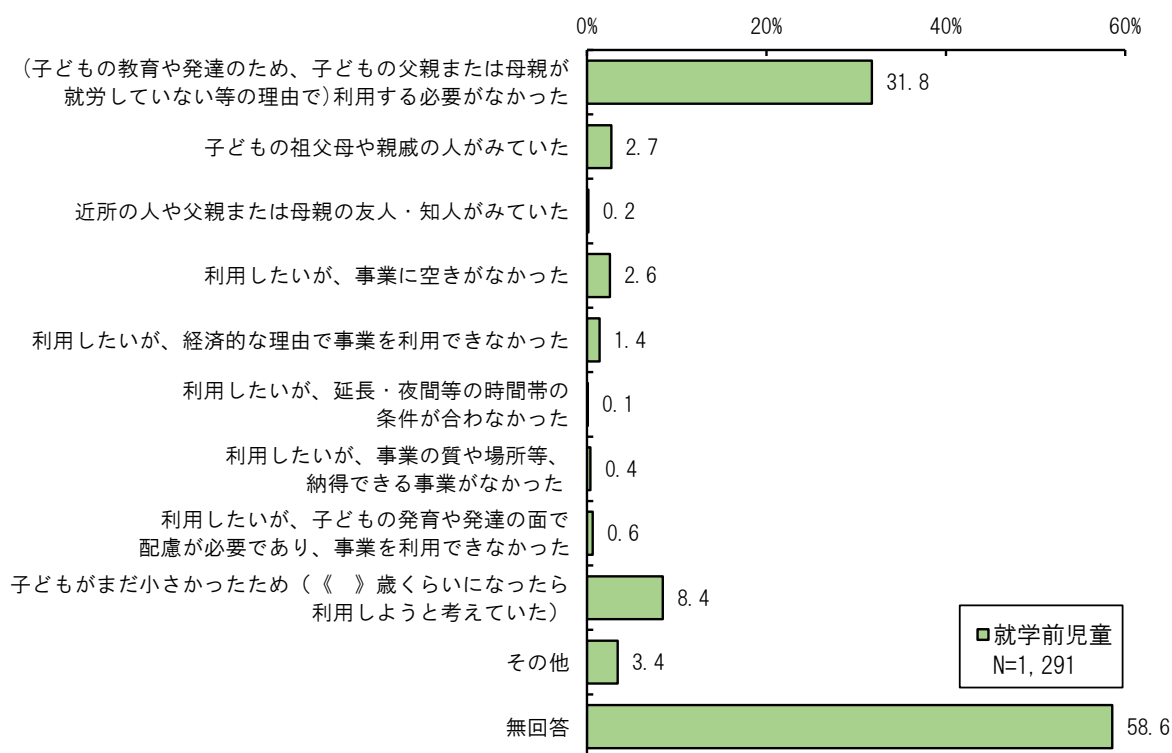


あて名のお子さんが3～5歳の方のうち、あて名のお子さんが0～2歳の時に、平日の定期的な保育・教育事業を利用していなかった方

(17) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していなかった理由（複数回答）

《就学前児童調査…問12-4》

「(子どもの教育や発達のため、子どもの父親または母親が就労していない等の理由で)利用する必要がなかった」が31.8%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さかったため(《 》歳くらいになったら利用しようと考えていた)」が8.4%、「子どもの祖父母や親戚の人がみていた」が2.7%、「利用したいが、事業に空きがなかった」が2.6%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できなかった」が1.4%などとなっています。

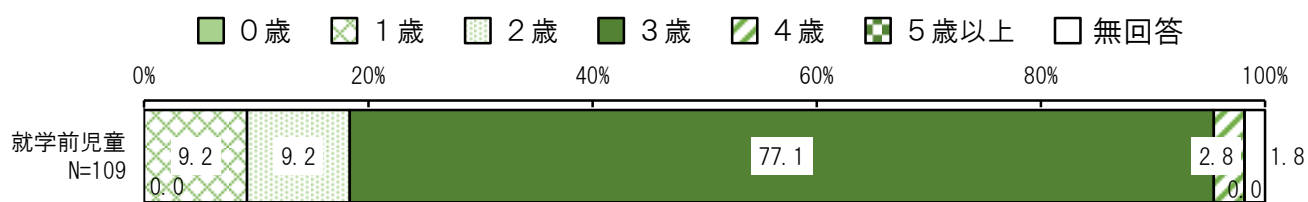


(17) で「子どもがまだ小さかったため(《 》歳くらいになったら利用しようと考えていた)」を選んだ方

(18) 子どもが何歳になったら事業を利用したいか（数量回答）

《就学前児童調査…問12-4》

「3歳」が77.1%と最も高く、次いで「1歳」、「2歳」が9.2%、「4歳」が2.8%となっています。

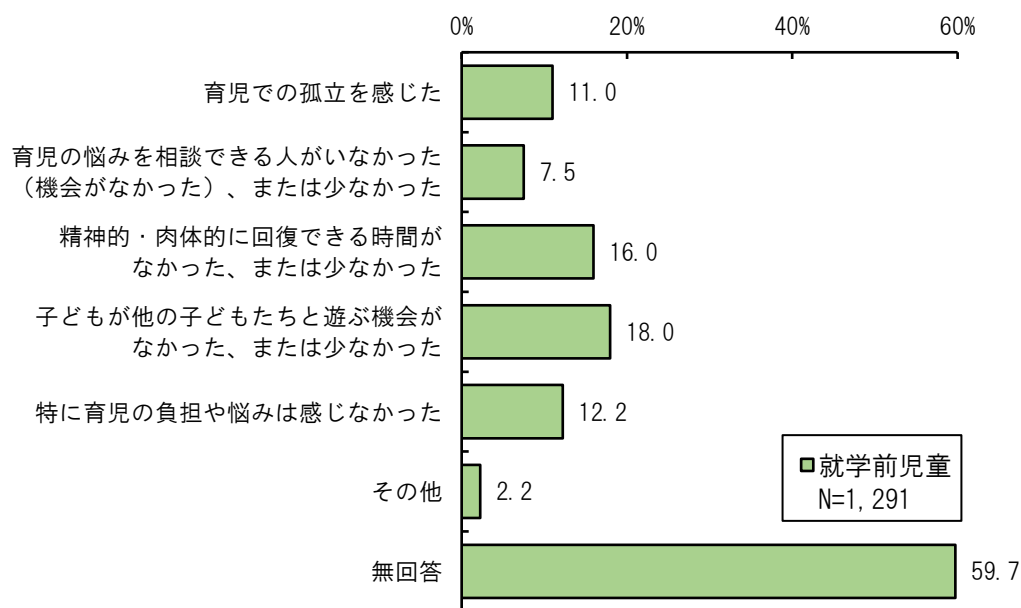


Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

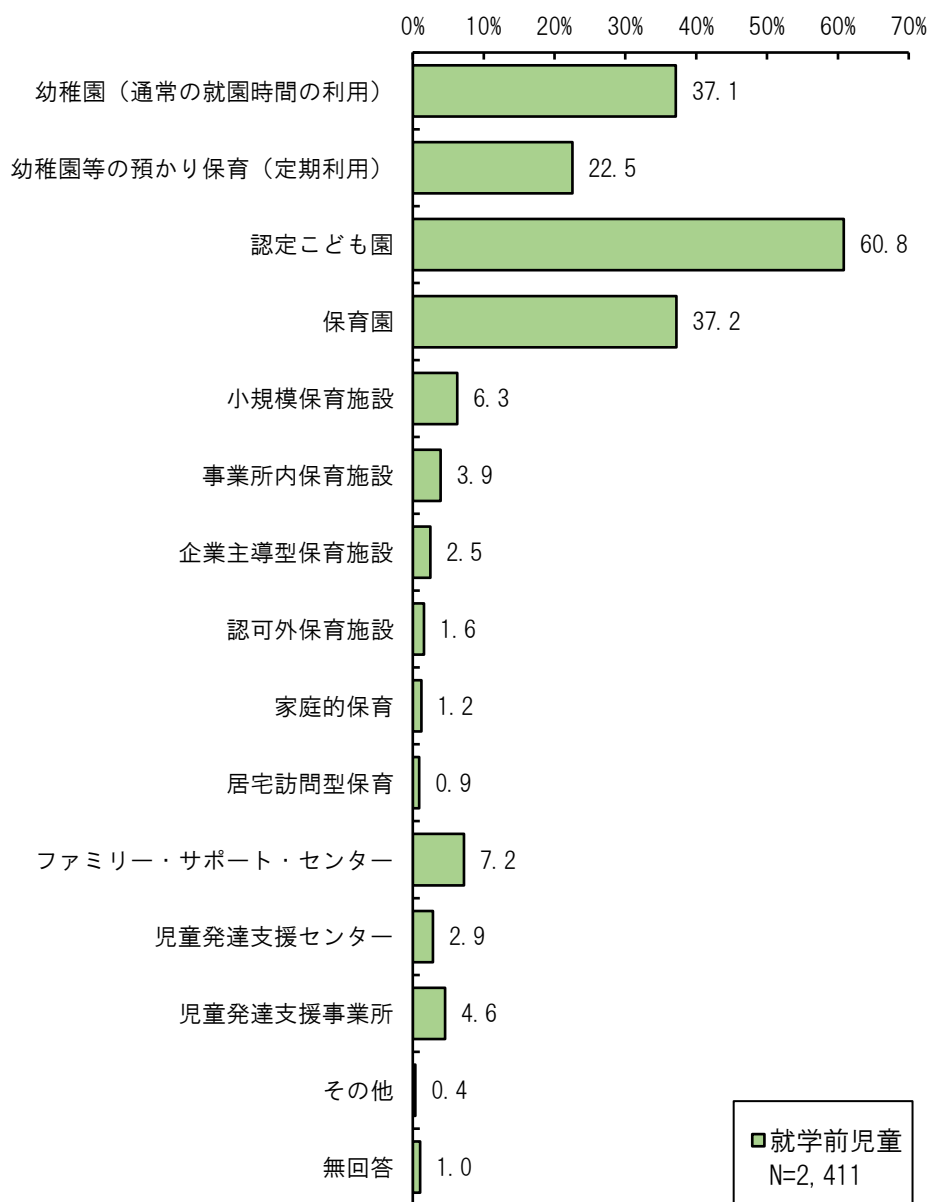
あて名のお子さんが3～5歳の方のうち、あて名のお子さんが0～2歳の時に、平日の定期的な保育・教育事業を利用していなかった方

(19) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していなかったことを理由とする育児の負担や悩み (複数回答) 《就学前児童調査…問12-4》

「子どもが他の子どもたちと遊ぶ機会がなかった、または少なかった」が18.0%と最も高く、次いで「精神的・肉体的に回復できる時間がなかった、または少なかった」が16.0%、「特に育児の負担や悩みは感じなかった」が12.2%、「育児での孤立を感じた」が11.0%、「育児の悩みを相談できる人がいなかった（機会がなかった）、または少なかった」が7.5%、「その他」が2.2%となっています。



「認定こども園」が60.8%と最も高く、次いで「保育園」が37.2%、「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が37.1%、「幼稚園等の預かり保育（定期利用）」が22.5%、「ファミリー・サポート・センター」が7.2%などとなっています。



Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

【年齢別】

年齢別にみると、どの年齢においても「認定こども園」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	幼稚園 (通常の 就園時間の 利用)	幼稚園等 の預かり 保育(定期 利用)	認定こども 園	保育園	小規模保 育施設	事業所内 保育施設	企業主導 型保育施 設	認可外保 育施設	家庭的保 育	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	児童発達 支援セン ター	児童発達 支援事業 所	その他	無回答
0歳	349	122	73	239	191	52	19	15	5	12	4	21	6	5	2	2
	100.0	35.0	20.9	68.5	54.7	14.9	5.4	4.3	1.4	3.4	1.1	6.0	1.7	1.4	0.6	0.6
1歳	385	145	70	250	175	43	16	10	10	4	8	26	10	13	-	2
	100.0	37.7	18.2	64.9	45.5	11.2	4.2	2.6	2.6	1.0	2.1	6.8	2.6	3.4	-	0.5
2歳	385	157	86	226	139	20	13	11	7	4	2	30	11	13	-	6
	100.0	40.8	22.3	58.7	36.1	5.2	3.4	2.9	1.8	1.0	0.5	7.8	2.9	3.4	-	1.6
3歳	421	160	114	240	139	14	21	7	4	2	4	27	12	19	1	5
	100.0	38.0	27.1	57.0	33.0	3.3	5.0	1.7	1.0	0.5	1.0	6.4	2.9	4.5	0.2	1.2
4歳	418	129	89	248	124	9	12	7	5	2	1	36	15	31	2	4
	100.0	30.9	21.3	59.3	29.7	2.2	2.9	1.7	1.2	0.5	0.2	8.6	3.6	7.4	0.5	1.0
5歳	452	181	110	263	128	13	14	10	7	5	3	34	15	29	4	6
	100.0	40.0	24.3	58.2	28.3	2.9	3.1	2.2	1.5	1.1	0.7	7.5	3.3	6.4	0.9	1.3
無回答	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【就労状況別】

就労状況別にみると、“フルタイムで共働き”と“パートタイムを含む共働き”と“共に無職”では「認定こども園」が最も高く、“専業主婦(夫)”では「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が最も高くなっています。

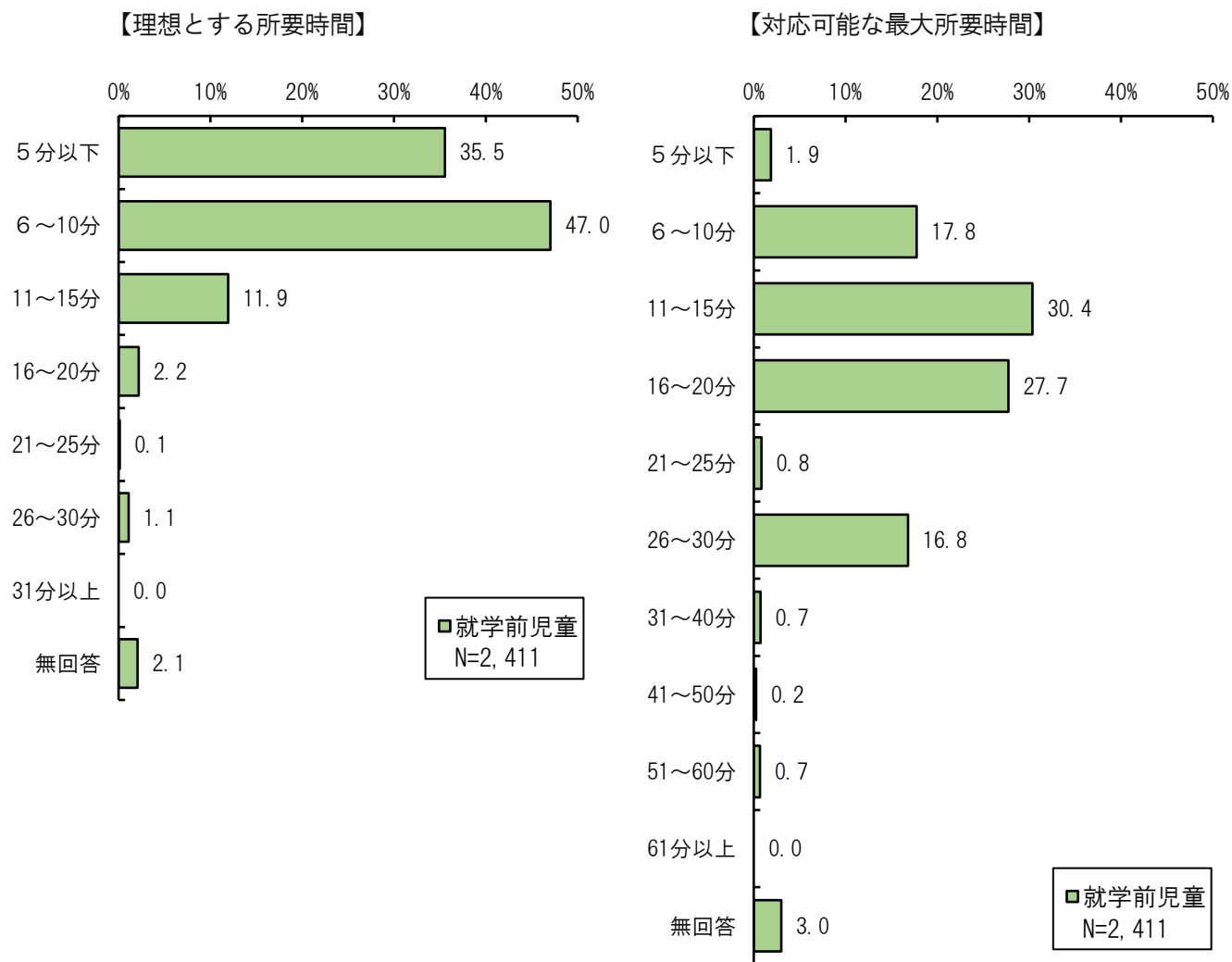
(上段：実数、下段：%)

	調査数	幼稚園 (通常の 就園時間の 利用)	幼稚園等 の預かり 保育(定期 利用)	認定こども 園	保育園	小規模保 育施設	事業所内 保育施設	企業主導 型保育施 設	認可外保 育施設	家庭的保 育	居宅訪問 型保育	ファミ リー・サ ポート・ センター	児童発達 支援セン ター	児童発達 支援事業 所	その他	無回答
フルタイム で共働き	979	212	182	678	494	76	52	34	18	13	16	95	23	38	5	4
	100.0	21.7	18.6	69.3	50.5	7.8	5.3	3.5	1.8	1.3	1.6	9.7	2.3	3.9	0.5	0.4
パートタイ ムを含む共 働き	748	255	174	463	260	42	19	15	11	5	3	45	20	36	1	8
	100.0	34.1	23.3	61.9	34.8	5.6	2.5	2.0	1.5	0.7	0.4	6.0	2.7	4.8	0.1	1.1
専業主婦 (夫)	545	381	168	246	97	30	19	9	7	8	2	26	22	27	2	9
	100.0	69.9	30.8	45.1	17.8	5.5	3.5	1.7	1.3	1.5	0.4	4.8	4.0	5.0	0.4	1.7
共に無職	6	3	1	5	1	-	1	-	1	1	-	2	1	1	-	-
	100.0	50.0	16.7	83.3	16.7	-	16.7	-	16.7	16.7	-	33.3	16.7	16.7	-	-
無回答	133	44	18	75	45	3	4	2	1	2	1	6	3	8	1	4
	100.0	33.1	13.5	56.4	33.8	2.3	3.0	1.5	0.8	1.5	0.8	4.5	2.3	6.0	0.8	3.0

(21) 利用を希望する事業への自宅からの片道所要時間（数量回答） 《就学前児童調査…問13》

理想とする所要時間については、「6～10分」が47.0%と最も高く、次いで「5分以下」が35.5%、「11～15分」が11.9%などとなっています。

対応可能な最大所要時間については、「11～15分」が30.4%と最も高く、次いで「16～20分」が27.7%、「6～10分」が17.8%などとなっています。

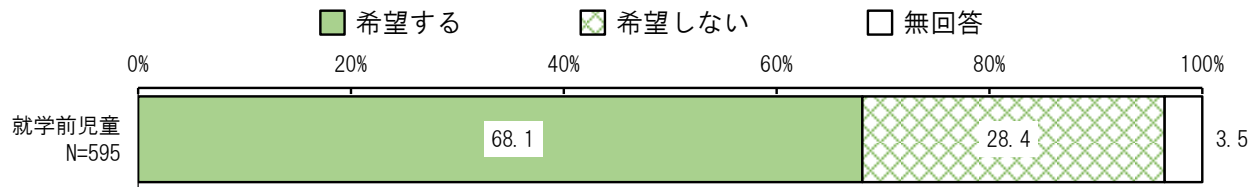


Ⅱ 調査結果【5 平日の定期的な教育・保育事業の利用について】

(20) で「幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「幼稚園等の預かり保育（定期利用）」を選び、さらに「認定こども園」「保育園」「小規模保育施設」「事業所内保育施設」「企業主導型保育施設」「認可外保育施設」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」「ファミリー・サポート・センター」「児童発達支援センター」「児童発達支援事業所」を1つ以上選んだ方

(22) 特に幼稚園の利用を強く希望するか（単数回答） 《就学前児童調査…問13-1》

「希望する」が68.1%、「希望しない」が28.4%となっています。



【就労状況別】

就労状況別にみると、“フルタイムで共働き”と“パートタイムを含む共働き”と“専業主婦（夫）”では「希望する」が「希望しない」より高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	希望する	希望しない	無回答
フルタイムで共働き	204	121	75	8
	100.0	59.3	36.8	3.9
パートタイムを含む共働き	172	119	48	5
	100.0	69.2	27.9	2.9
専業主婦（夫）	188	138	43	7
	100.0	73.4	22.9	3.7
共に無職	2	1	1	-
	100.0	50.0	50.0	-
無回答	29	26	2	1
	100.0	89.7	6.9	3.4

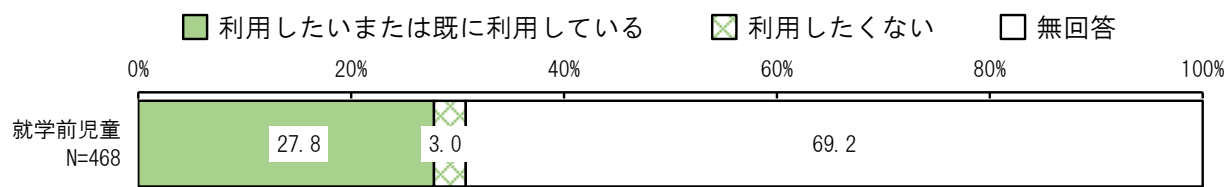
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

(20) で「認定こども園」「保育園」「小規模保育施設」「事業所内保育施設」「企業主導型保育施設」「認可外保育施設」「家庭的保育」「居宅訪問型保育」を選んだ方のうち、住民税非課税世帯で、あて名のお子さんが第1子かつ0～2歳の方

(23) 今後定期的に利用したい事業の有無（単数回答）

《就学前児童調査…問13-2》

「利用したいまたは既に利用している」が27.8%、「利用したくない」が3.0%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、どの年齢においても「利用したいまたは既に利用している」が「利用したくない」より高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	利用したいまたは既に利用している	利用したくない	無回答
0歳	144	50	4	90
	100.0	34.7	2.8	62.5
1歳	164	37	4	123
	100.0	22.6	2.4	75.0
2歳	160	43	6	111
	100.0	26.9	3.8	69.4

【就労状況別】

就労状況別にみると、どの就労状況においても「利用したいまたは既に利用している」が「利用したくない」より高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

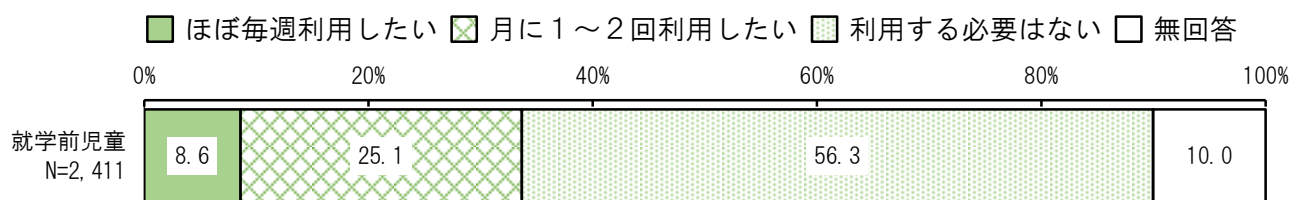
	調査数	利用したいまたは既に利用している	利用したくない	無回答
フルタイムで共働き	252	64	8	180
	100.0	25.4	3.2	71.4
パートタイムを含む共働き	104	35	2	67
	100.0	33.7	1.9	64.4
専業主婦（夫）	90	24	3	63
	100.0	26.7	3.3	70.0
共に無職	1	-	-	1
	100.0	-	-	100.0
無回答	21	7	1	13
	100.0	33.3	4.8	61.9

6 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

(1) 土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答）

《就学前児童調査…問14》

「ほぼ毎週利用したい」が8.6%、「月に1～2回利用したい」が25.1%、「利用する必要はない」が56.3%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、どの年齢においても「利用する必要はない」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	利用する必要はない	無回答
0歳	349	34	83	186	46
	100.0	9.7	23.8	53.3	13.2
1歳	385	36	115	201	33
	100.0	9.4	29.9	52.2	8.6
2歳	385	29	106	204	46
	100.0	7.5	27.5	53.0	11.9
3歳	421	32	116	236	37
	100.0	7.6	27.6	56.1	8.8
4歳	418	39	92	250	37
	100.0	9.3	22.0	59.8	8.9
5歳	452	37	92	280	43
	100.0	8.2	20.4	61.9	9.5
無回答	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-

【就労状況別】

就労状況別にみると、どの就労状況においても「利用する必要はない」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	利用する必要はない	無回答
フルタイムで共働き	979	117	302	487	73
	100.0	12.0	30.8	49.7	7.5
パートタイムを含む共働き	748	49	167	454	78
	100.0	6.6	22.3	60.7	10.4
専業主婦（夫）	545	19	98	361	67
	100.0	3.5	18.0	66.2	12.3
共に無職	6	-	-	5	1
	100.0	-	-	83.3	16.7
無回答	133	22	38	50	23
	100.0	16.5	28.6	37.6	17.3

令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

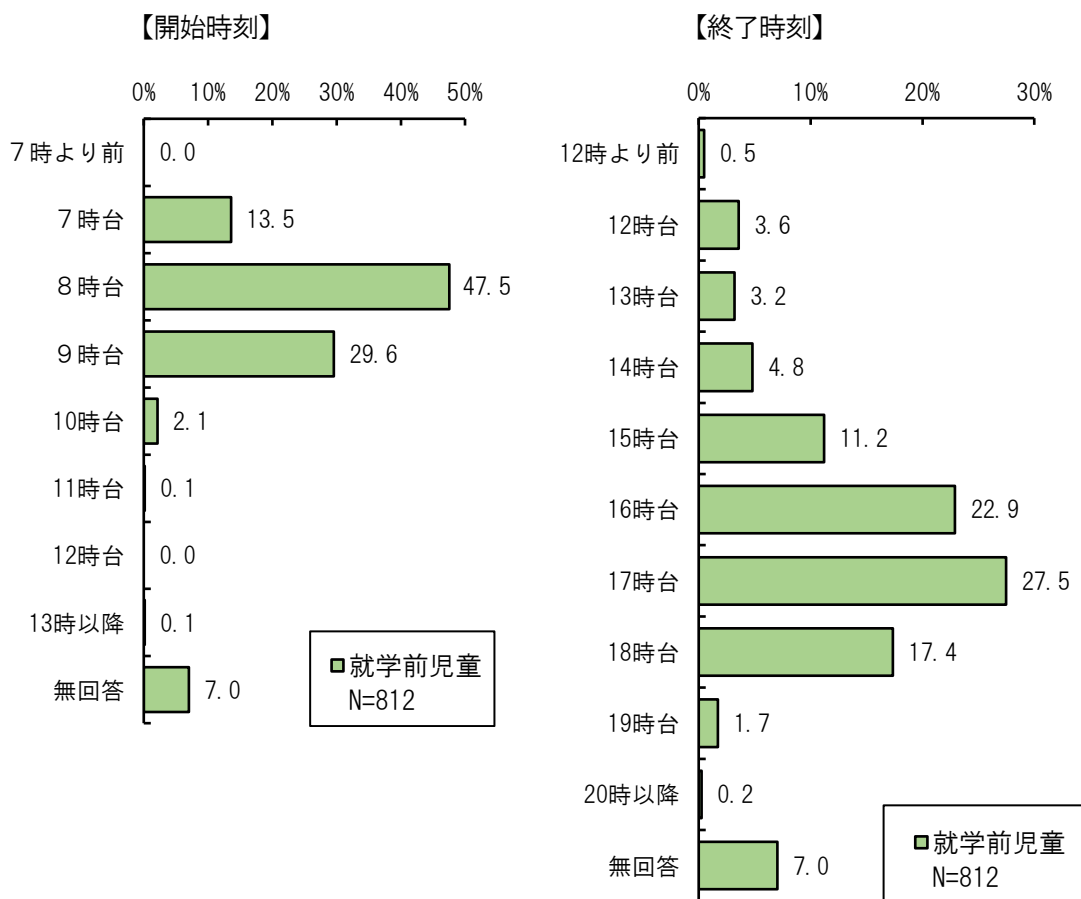
(1) で「(土曜日における定期的な教育・保育事業を) ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回利用したい」を選んだ方

(2) 土曜日の事業を利用したい時間帯(数量回答)

《就学前児童調査…問14》

開始時刻については、「8時台」が47.5%と最も高く、次いで「9時台」が29.6%、「7時台」が13.5%などとなっています。

終了時刻については、「17時台」が27.5%と最も高く、次いで「16時台」が22.9%、「18時台」が17.4%などとなっています。



【利用頻度別開始時刻】

利用頻度別にみると、どの利用頻度においても「8時台」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	7時より前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
ほぼ毎週利用したい	207	-	36	103	48	2	-	-	-	18
	100.0	-	17.4	49.8	23.2	1.0	-	-	-	8.7
月に1～2回利用したい	605	-	74	283	192	15	1	-	1	39
	100.0	-	12.2	46.8	31.7	2.5	0.2	-	0.2	6.4

【利用頻度別終了時刻】

利用頻度別にみると、どの利用頻度においても「17時台」が最も高くなっています。

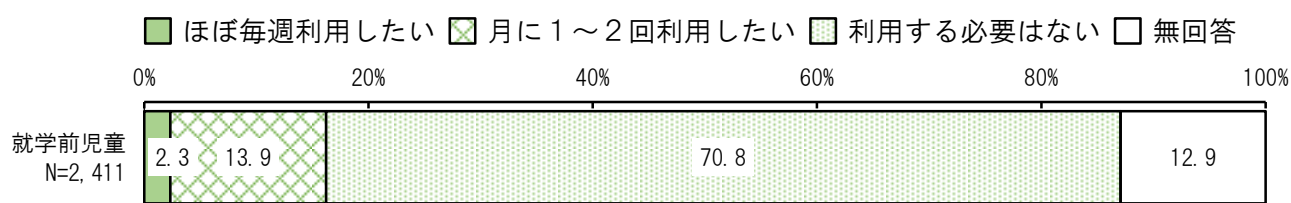
(上段：実数、下段：%)

	調査数	12時より前	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
ほぼ毎週利用したい	207	1	2	4	4	7	47	64	53	5	2	18
	100.0	0.5	1.0	1.9	1.9	3.4	22.7	30.9	25.6	2.4	1.0	8.7
月に1～2回利用したい	605	3	27	22	35	84	139	159	88	9	-	39
	100.0	0.5	4.5	3.6	5.8	13.9	23.0	26.3	14.5	1.5	-	6.4

【6 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について】

(3) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答）《就学前児童調査…問14》

「ほぼ毎週利用したい」が2.3%、「月に1～2回利用したい」が13.9%、「利用する必要はない」が70.8%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、どの年齢においても「利用する必要はない」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	利用する必要はない	無回答
0歳	349	7	55	232	55
	100.0	2.0	15.8	66.5	15.8
1歳	385	7	75	262	41
	100.0	1.8	19.5	68.1	10.6
2歳	385	10	45	274	56
	100.0	2.6	11.7	71.2	14.5
3歳	421	11	64	297	49
	100.0	2.6	15.2	70.5	11.6
4歳	418	9	53	302	54
	100.0	2.2	12.7	72.2	12.9
5歳	452	12	42	341	57
	100.0	2.7	9.3	75.4	12.6
無回答	1	-	1	-	-
	100.0	-	100.0	-	-

【就労状況別】

就労状況別にみると、どの就労状況においても「利用する必要はない」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回利用したい	利用する必要はない	無回答
フルタイムで共働き	979	36	171	672	100
	100.0	3.7	17.5	68.6	10.2
パートタイムを含む共働き	748	16	94	546	92
	100.0	2.1	12.6	73.0	12.3
専業主婦（夫）	545	2	43	422	78
	100.0	0.4	7.9	77.4	14.3
共に無職	6	-	-	5	1
	100.0	-	-	83.3	16.7
無回答	133	2	27	63	41
	100.0	1.5	20.3	47.4	30.8

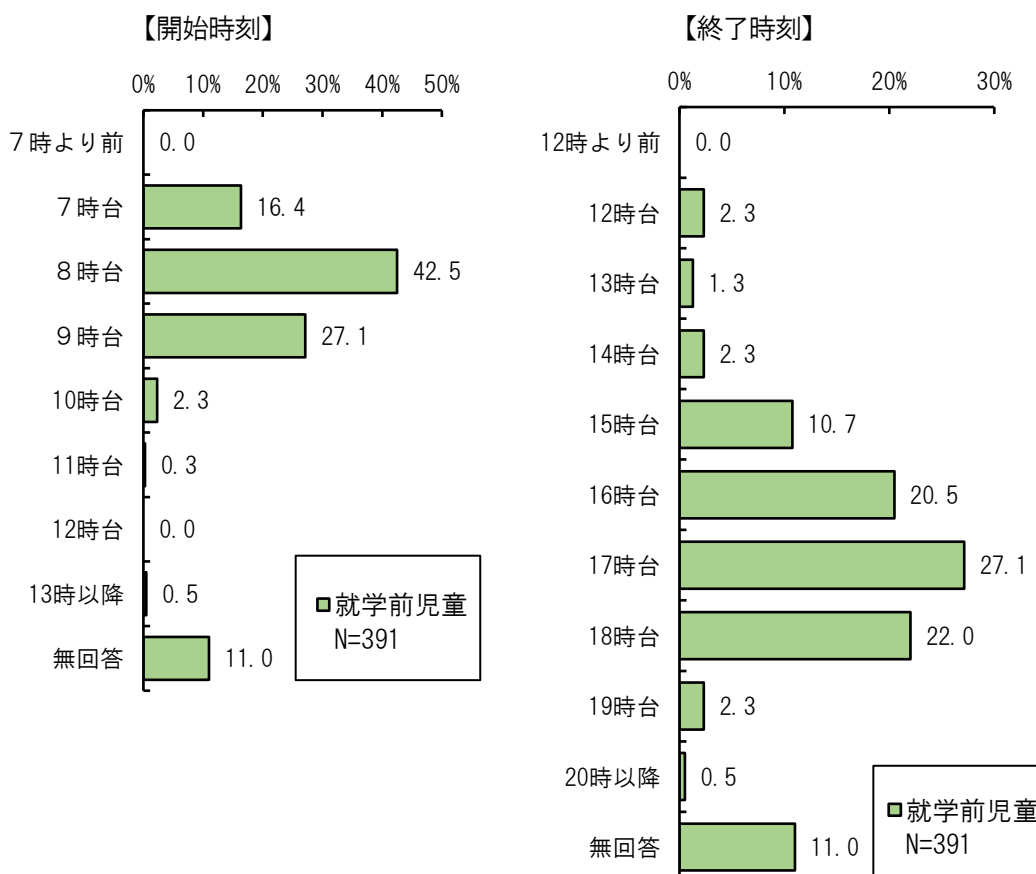
(3)で「(日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業を)ほぼ毎週利用したい」または「月に1～2回利用したい」を選んだ方

(4) 日曜日・祝日の事業を利用したい時間帯(数量回答)

《就学前児童調査…問14》

開始時刻については、「8時台」が42.5%と最も高く、次いで「9時台」が27.1%、「7時台」が16.4%などとなっています。

終了時刻については、「17時台」が27.1%と最も高く、次いで「18時台」が22.0%、「16時台」が20.5%などとなっています。



【利用頻度別開始時刻】

利用頻度別にみると、どの利用頻度においても「8時台」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	7時より前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
ほぼ毎週利用したい	56	-	8	25	10	-	-	-	-	13
	100.0	-	14.3	44.6	17.9	-	-	-	-	23.2
月に1～2回利用したい	335	-	56	141	96	9	1	-	2	30
	100.0	-	16.7	42.1	28.7	2.7	0.3	-	0.6	9.0

【利用頻度別終了時刻】

利用頻度別にみると、「ほぼ毎週利用したい」では「18時台」が最も高く、「月に1～2回利用したい」では「17時台」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

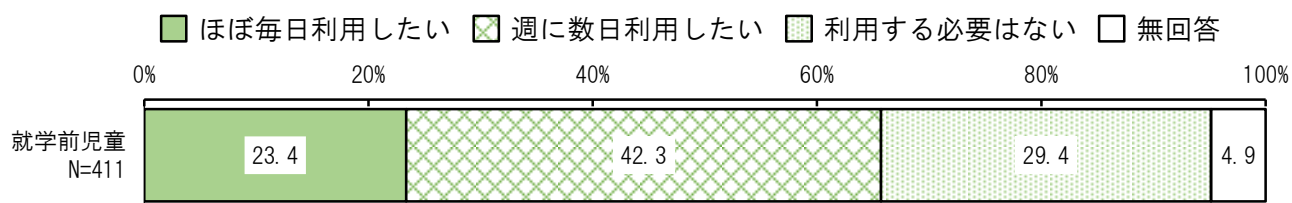
	調査数	12時より前	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
ほぼ毎週利用したい	56	-	1	2	1	3	3	13	18	1	1	13
	100.0	-	1.8	3.6	1.8	5.4	5.4	23.2	32.1	1.8	1.8	23.2
月に1～2回利用したい	335	-	8	3	8	39	77	93	68	8	1	30
	100.0	-	2.4	0.9	2.4	11.6	23.0	27.8	20.3	2.4	0.3	9.0

【6 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について】

幼稚園を利用している方

(5) 長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望（単数回答） 《就学前児童調査…問14》

「ほぼ毎日利用したい」が23.4%、「週に数日利用したい」が42.3%、「利用する必要はない」が29.4%となっています。



【年齢別】

年齢別にみると、どの年齢においても「週に数日利用したい」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	ほぼ毎日利用したい	週に数日利用したい	利用する必要はない	無回答
0歳	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
1歳	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-
2歳	56	15	25	14	2
	100.0	26.8	44.6	25.0	3.6
3歳	120	25	58	32	5
	100.0	20.8	48.3	26.7	4.2
4歳	96	25	40	28	3
	100.0	26.0	41.7	29.2	3.1
5歳	139	31	51	47	10
	100.0	22.3	36.7	33.8	7.2
無回答	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

【就労状況別】

就労状況別にみると、“フルタイムで共働き”では「ほぼ毎日利用したい」が最も高く、“パートタイムを含む共働き”では「週に数日利用したい」が最も高く、“専業主婦（夫）”と“共に無職”では「利用する必要はない」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	ほぼ毎日利用したい	週に数日利用したい	利用する必要はない	無回答
フルタイムで共働き	59	33	18	6	2
	100.0	55.9	30.5	10.2	3.4
パートタイムを含む共働き	141	42	66	26	7
	100.0	29.8	46.8	18.4	5.0
専業主婦（夫）	187	14	81	82	10
	100.0	7.5	43.3	43.9	5.3
共に無職	2	-	-	2	-
	100.0	-	-	100.0	-
無回答	22	7	9	5	1
	100.0	31.8	40.9	22.7	4.5

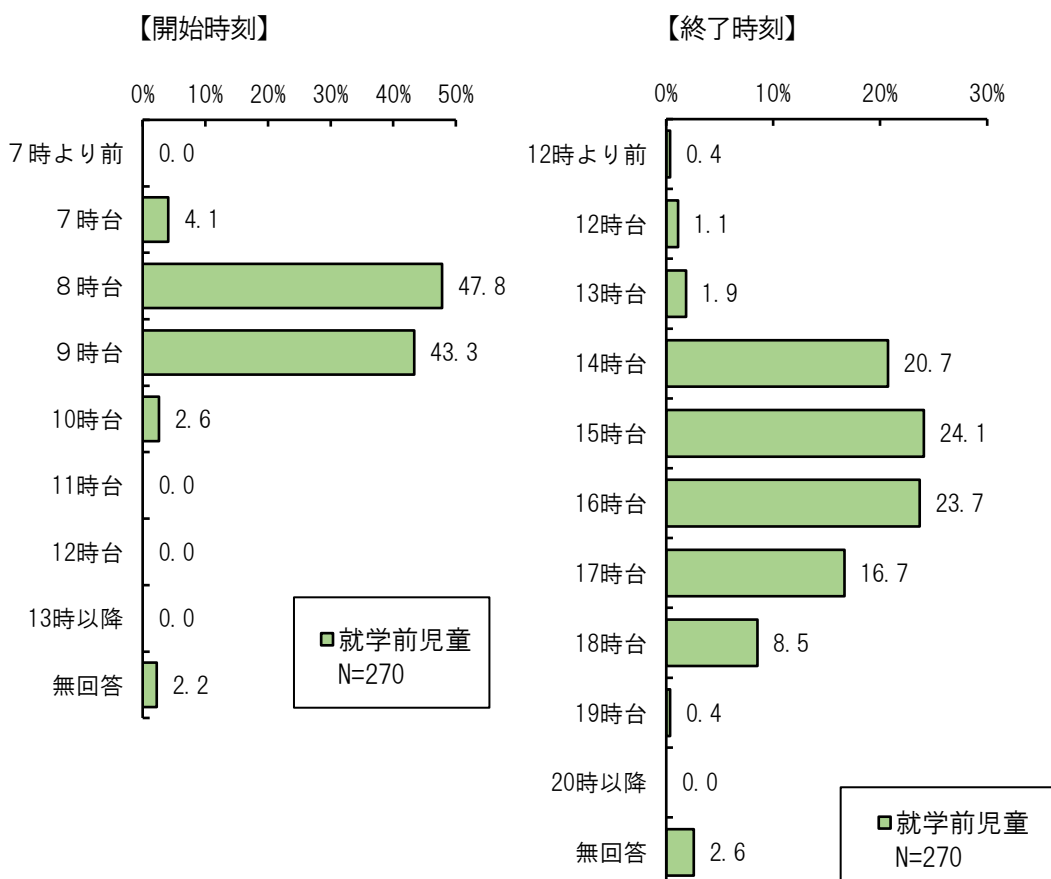
幼稚園を利用している方で（５）で「（長期休暇中における定期的な教育・保育事業を）ほぼ毎日利用したい」または「週に数日利用したい」を選んだ方

（６）長期休暇中の事業を利用したい時間帯（数量回答）

《就学前児童調査…問14》

開始時刻については、「８時台」が47.8%と最も高く、次いで「９時台」が43.3%、「７時台」が4.1%などとなっています。

終了時刻については、「15時台」が24.1%と最も高く、次いで「16時台」が23.7%、「14時台」が20.7%などとなっています。



【利用頻度別開始時刻】

利用頻度別にみると、「ほぼ毎日利用したい」では「８時台」が最も高く、「週に数日利用したい」では「９時台」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	7時より前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答
ほぼ毎日利用したい	96	-	9	60	25	-	-	-	-	2
	100.0	-	9.4	62.5	26.0	-	-	-	-	2.1
週に数日利用したい	174	-	2	69	92	7	-	-	-	4
	100.0	-	1.1	39.7	52.9	4.0	-	-	-	2.3

【利用頻度別終了時刻】

利用頻度別にみると、「ほぼ毎日利用したい」では「17時台」が最も高く、「週に数日利用したい」では「15時台」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：％）

	調査数	12時より前	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時以降	無回答
ほぼ毎日利用したい	96	-	1	1	7	14	24	26	21	-	-	2
	100.0	-	1.0	1.0	7.3	14.6	25.0	27.1	21.9	-	-	2.1
週に数日利用したい	174	1	2	4	49	51	40	19	2	1	-	5
	100.0	0.6	1.1	2.3	28.2	29.3	23.0	10.9	1.1	0.6	-	2.9

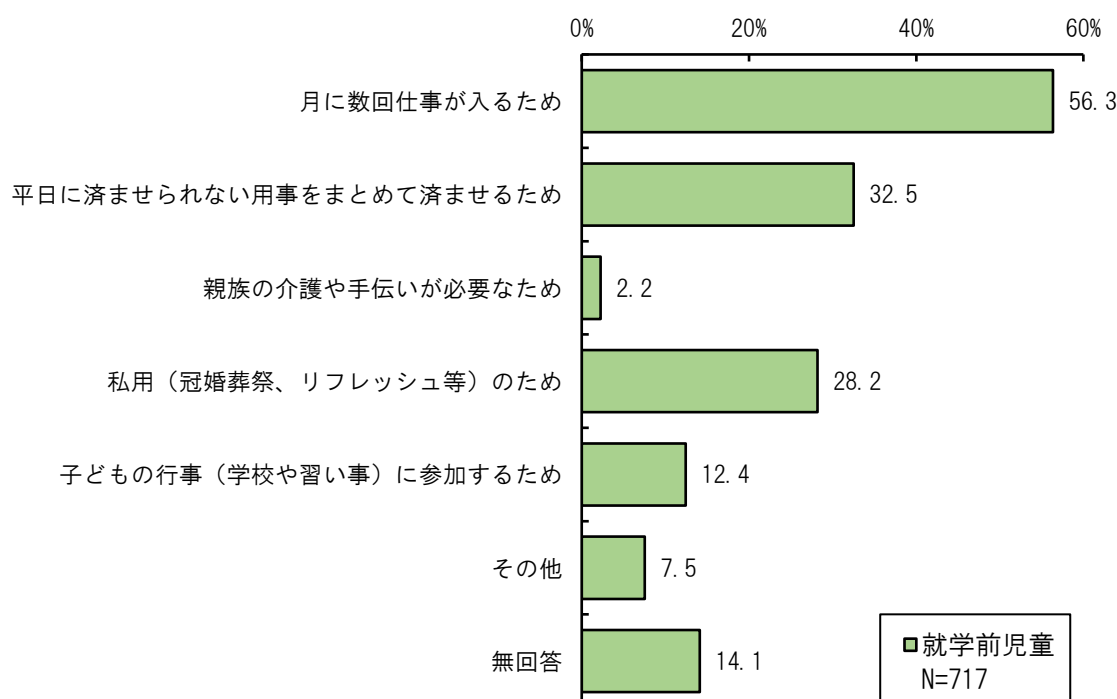
【6 土曜日・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について】

(1) または (3) で「(土曜日または日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業を) 月に1～2回利用したい」を選んだ方

(7) 土曜日または日曜日・祝日にたまに事業を利用したい理由(複数回答)

《就学前児童調査…問14-1》

「月に数回仕事が入るため」が56.3%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が32.5%、「私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)のため」が28.2%などとなっています。



【年齢別】

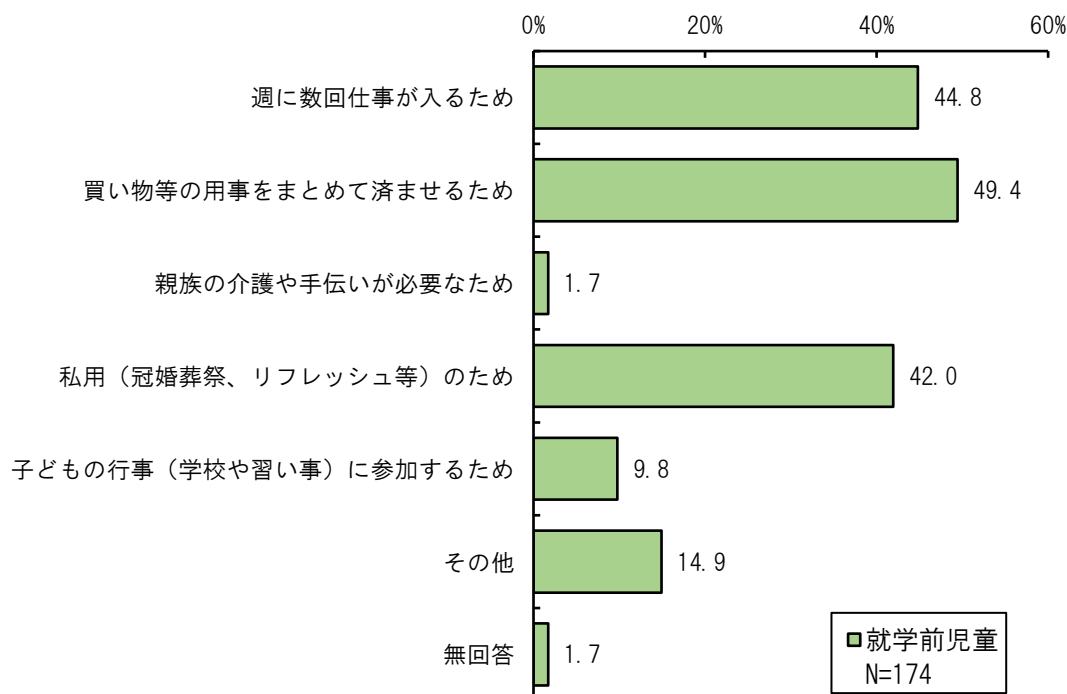
年齢別にみると、どの年齢においても「月に数回仕事が入るため」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)のため	子どもの行事(学校や習い事)に参加するため	その他	無回答
0歳	100	57	29	3	24	6	8	18
	100.0	57.0	29.0	3.0	24.0	6.0	8.0	18.0
1歳	140	68	51	2	46	19	15	25
	100.0	48.6	36.4	1.4	32.9	13.6	10.7	17.9
2歳	118	64	39	1	38	13	6	15
	100.0	54.2	33.1	0.8	32.2	11.0	5.1	12.7
3歳	133	84	51	4	40	20	8	15
	100.0	63.2	38.3	3.0	30.1	15.0	6.0	11.3
4歳	117	74	32	1	30	17	7	13
	100.0	63.2	27.4	0.9	25.6	14.5	6.0	11.1
5歳	108	56	31	5	24	14	10	15
	100.0	51.9	28.7	4.6	22.2	13.0	9.3	13.9
無回答	1	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-

（８）長期休暇中にたまに事業を利用したい理由（複数回答） 《就学前児童調査…問14-2》

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が49.4%と最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」が44.8%、「私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）のため」が42.0%などとなっています。



【年齢別】

年齢別にみると、“2歳”と“3歳”では「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が最も高く、“4歳”では「週に数回仕事が入るため」、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が最も高く、“5歳”では「週に数回仕事が入るため」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	週に数回仕事が入るため	買い物等の用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）のため	子どもの行事（学校や習い事）に参加するため	その他	無回答
0歳	-	-	-	-	-	-	-	-
1歳	-	-	-	-	-	-	-	-
2歳	25	4	18	-	16	1	5	-
	100.0	16.0	72.0	-	64.0	4.0	20.0	-
3歳	58	26	29	1	22	3	7	1
	100.0	44.8	50.0	1.7	37.9	5.2	12.1	1.7
4歳	40	19	19	-	16	6	9	1
	100.0	47.5	47.5	-	40.0	15.0	22.5	2.5
5歳	51	29	20	2	19	7	5	1
	100.0	56.9	39.2	3.9	37.3	13.7	9.8	2.0

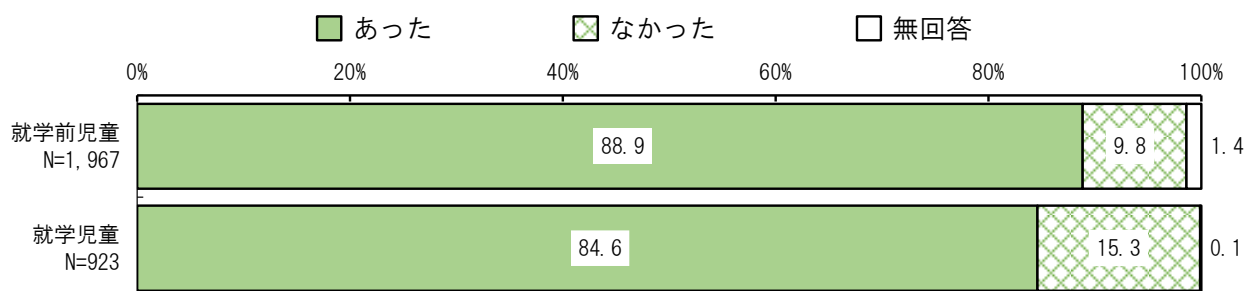
7 病気の際の対応について

就学前児童は平日の定期的な教育・保育事業を利用している方、就学児童はすべての方

- (1) この1年間に子どもが病気やけがで就学前児童は通常利用している教育・保育事業が利用できなかったこと、就学児童は学校を休まなければならなかったことの有無（単数回答）
《就学前児童調査…問15・就学児童調査…問10》

就学前児童では、「あった」が88.9%、「なかった」が9.8%となっています。

就学児童では、「あった」が84.6%、「なかった」が15.3%となっています。



(1)で「(子どもが病気やけがで通常利用している教育・保育事業が利用できなかったことや学校を休まなければならなかったことが)あった」を選んだ方

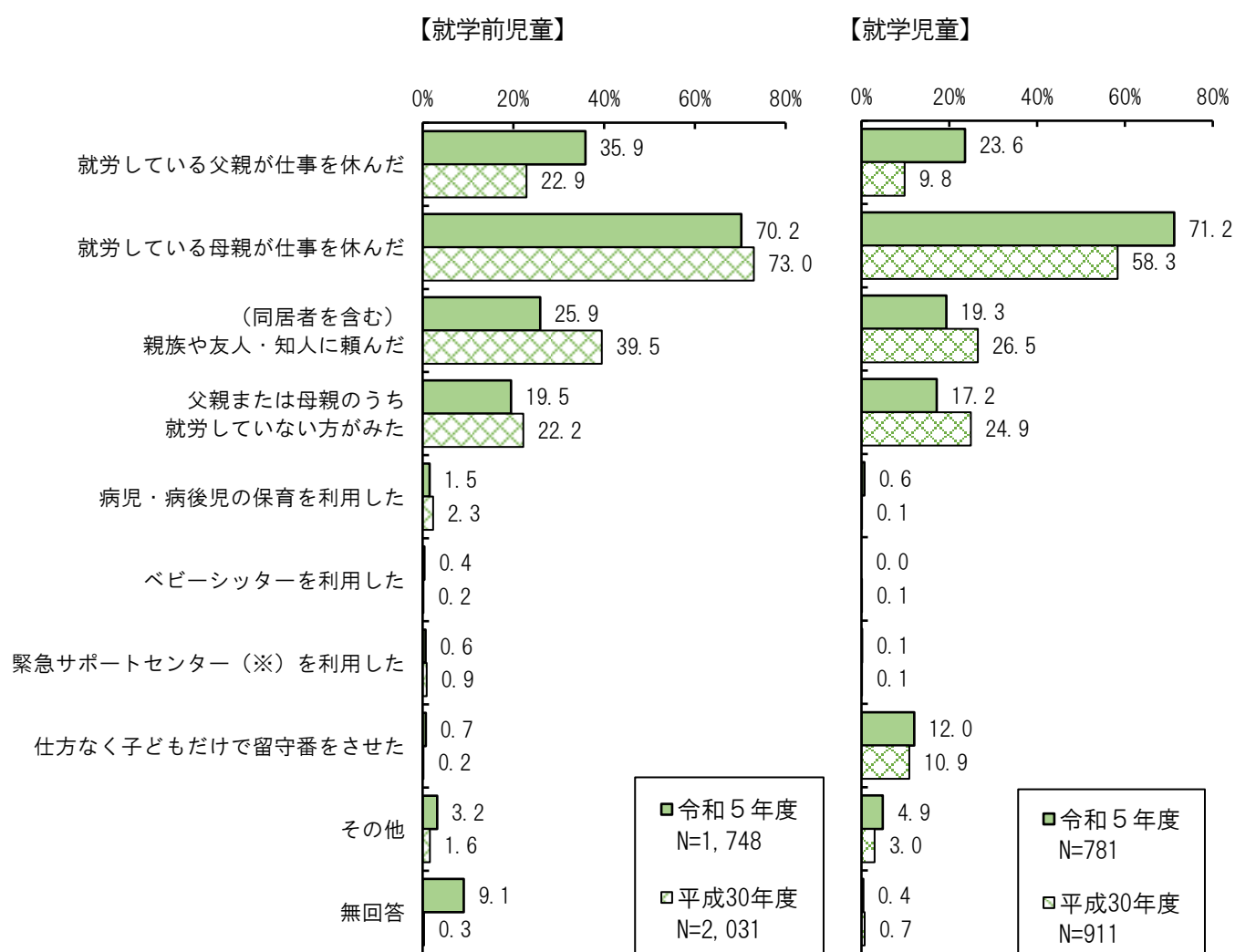
(2) 病気の際の対処方法(複数回答)

《就学前児童調査…問15・就学児童調査…問10》

就学前児童では、「就労している母親が仕事を休んだ」が70.2%と最も高く、次いで「就労している父親が仕事を休んだ」が35.9%、「(同居者を含む)親族や友人・知人に頼んだ」が25.9%などとなっています。

就学児童では、「就労している母親が仕事を休んだ」が71.2%と最も高く、次いで「就労している父親が仕事を休んだ」が23.6%、「(同居者を含む)親族や友人・知人に頼んだ」が19.3%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「就労している母親が仕事を休んだ」が最も高くなっています。



※「緊急サポートセンター」…ファミリー・サポート・センターと同様に、会員組織による子育て支援活動で、病児・病後児の預かりや急な預かりを行います。

【7 病気の際の対応について】

【対処方法別日数】

対処方法別にみると、就学前児童では、“就労している父親が仕事を休んだ”は「5日」が最も高く、“就労している母親が仕事を休んだ”は「10日」が最も高くなっています。

就学児童では、“就労している父親が仕事を休んだ”は「2日」が最も高く、“就労している母親が仕事を休んだ”は「5日」が最も高くなっています。

【就学前児童】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
就労している父親が仕事を休んだ	627	56	117	117	20	143	9	20	10	-	96	31	2	-	-	-	6
	100.0	8.9	18.7	18.7	3.2	22.8	1.4	3.2	1.6	-	15.3	4.9	0.3	-	-	-	1.0
就労している母親が仕事を休んだ	1,227	18	59	68	30	180	28	59	27	2	300	290	100	25	13	12	16
	100.0	1.5	4.8	5.5	2.4	14.7	2.3	4.8	2.2	0.2	24.4	23.6	8.1	2.0	1.1	1.0	1.3
(同居者を含む)親族や友人・知人に頼んだ	453	40	44	45	12	98	2	17	9	-	95	61	15	1	2	3	9
	100.0	8.8	9.7	9.9	2.6	21.6	0.4	3.8	2.0	-	21.0	13.5	3.3	0.2	0.4	0.7	2.0
父親または母親のうち就労していない方がみた	341	8	9	10	8	33	9	10	6	1	71	98	46	10	6	7	9
	100.0	2.3	2.6	2.9	2.3	9.7	2.6	2.9	1.8	0.3	20.8	28.7	13.5	2.9	1.8	2.1	2.6
病児・病後児の保育を利用した	27	6	2	4	1	3	-	2	-	-	5	2	-	-	-	-	2
	100.0	22.2	7.4	14.8	3.7	11.1	-	7.4	-	-	18.5	7.4	-	-	-	-	7.4
ベビーシッターを利用した	7	1	1	1	-	2	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	14.3	14.3	14.3	-	28.6	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	-	-	-
緊急サポートセンター(※)を利用した	11	4	1	1	-	1	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
	100.0	36.4	9.1	9.1	-	9.1	18.2	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-	9.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	12	4	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	33.3	25.0	25.0	-	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3
その他	56	-	5	5	1	6	-	2	4	-	12	11	5	-	-	2	3
	100.0	-	8.9	8.9	1.8	10.7	-	3.6	7.1	-	21.4	19.6	8.9	-	-	3.6	5.4

【就学児童】

(上段：実数、下段：%)

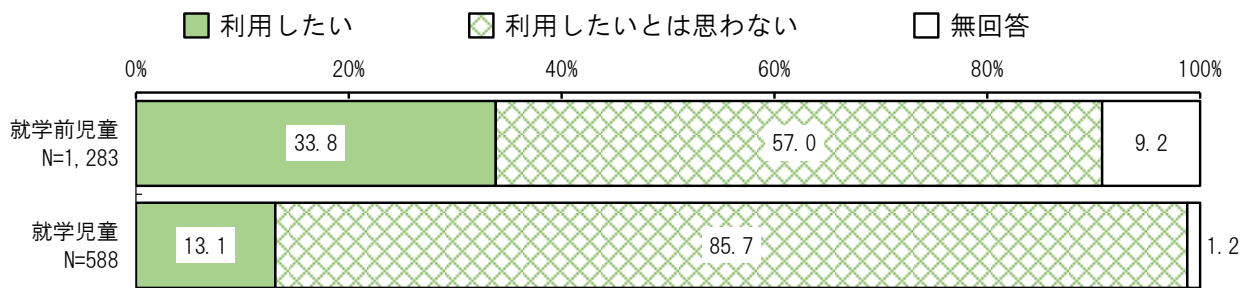
	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
就労している父親が仕事を休んだ	184	43	53	29	7	28	1	2	1	-	12	7	-	-	-	-	1
	100.0	23.4	28.8	15.8	3.8	15.2	0.5	1.1	0.5	-	6.5	3.8	-	-	-	-	0.5
就労している母親が仕事を休んだ	556	58	73	97	22	110	15	30	10	3	84	33	6	3	1	2	9
	100.0	10.4	13.1	17.4	4.0	19.8	2.7	5.4	1.8	0.5	15.1	5.9	1.1	0.5	0.2	0.4	1.6
(同居者を含む)親族や友人・知人に頼んだ	151	25	24	22	10	33	3	5	2	-	15	6	1	-	-	-	5
	100.0	16.6	15.9	14.6	6.6	21.9	2.0	3.3	1.3	-	9.9	4.0	0.7	-	-	-	3.3
父親または母親のうち就労していない方がみた	134	11	20	9	5	26	1	15	1	-	20	11	8	-	-	2	5
	100.0	8.2	14.9	6.7	3.7	19.4	0.7	11.2	0.7	-	14.9	8.2	6.0	-	-	1.5	3.7
病児・病後児の保育を利用した	5	2	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	40.0	20.0	-	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッターを利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
緊急サポートセンター(※)を利用した	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	94	29	18	15	3	16	-	2	2	-	2	3	1	1	-	1	1
	100.0	30.9	19.1	16.0	3.2	17.0	-	2.1	2.1	-	2.1	3.2	1.1	1.1	-	1.1	1.1
その他	38	3	4	8	1	5	2	4	2	-	3	2	-	-	-	-	4
	100.0	7.9	10.5	21.1	2.6	13.2	5.3	10.5	5.3	-	7.9	5.3	-	-	-	-	10.5

(2) で「就労している父親が仕事を休んだ」または「就労している母親が仕事を休んだ」を選んだ方

(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望の有無（単数回答）

《就学前児童調査…問15-1・就学児童調査…問10-1》

就学前児童では、「利用したい」が33.8%、「利用したいと思わない」が57.0%となっています。
就学児童では、「利用したい」が13.1%、「利用したいと思わない」が85.7%となっています。



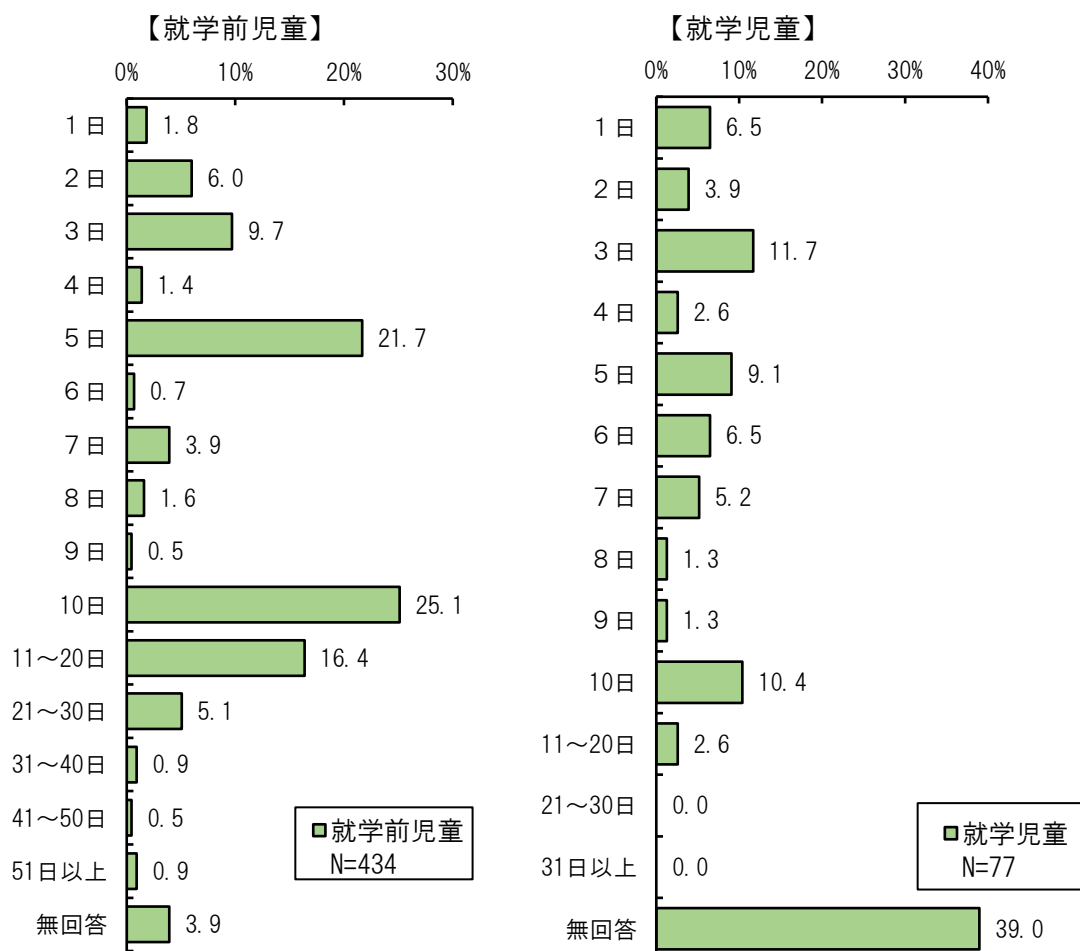
(3) で「(病児・病後児のための保育施設等を) 利用したい」を選んだ方

(4) 病児・病後児のための保育施設等の希望利用日数（数量回答）

《就学前児童調査…問15-1・就学児童調査…問10-1》

就学前児童では、「10日」が25.1%と最も高く、次いで「5日」が21.7%、「11～20日」が16.4%などとなっています。

就学児童では、「3日」が11.7%と最も高く、次いで「10日」が10.4%、「5日」が9.1%などとなっています。



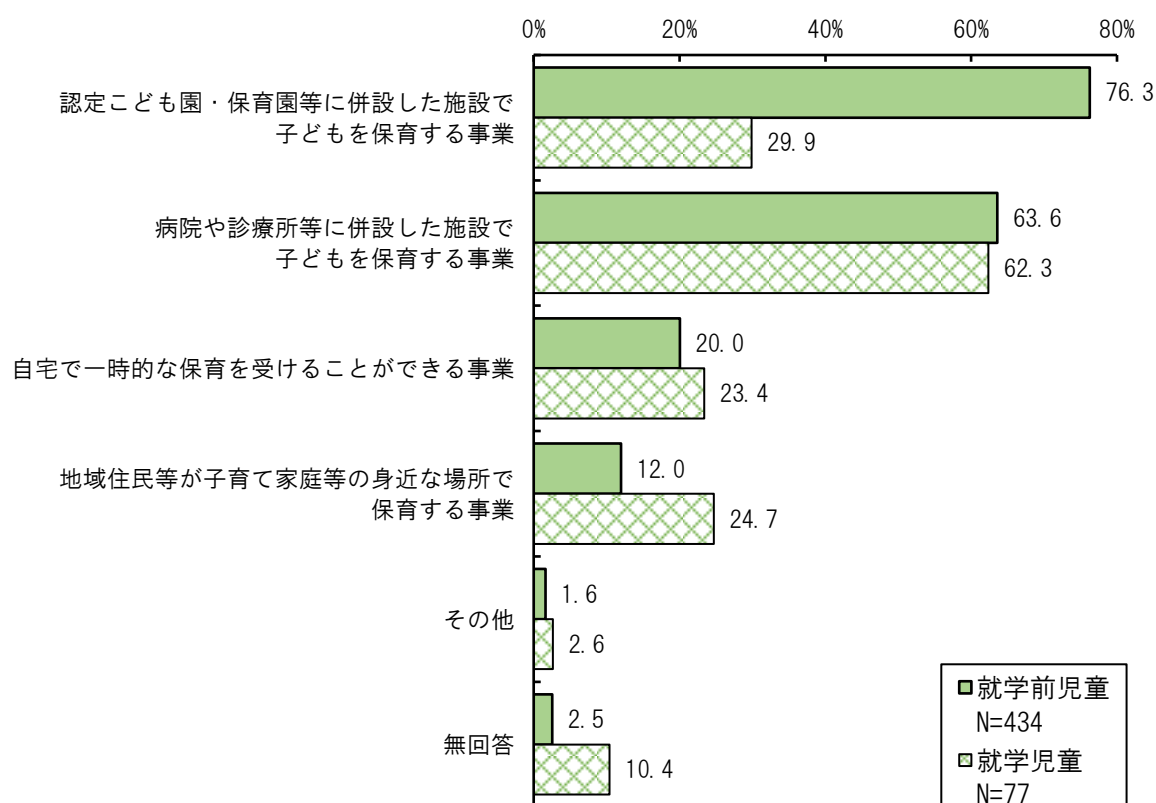
(3) で「(病児・病後児のための保育施設等)を利用したい」を選んだ方

(5) 病児・病後児のための保育施設等の希望事業形態(複数回答)

《就学前児童調査…問15-1・就学児童調査…問10-1》

就学前児童では、「認定こども園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が76.3%と最も高く、次いで「病院や診療所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が63.6%、「自宅で一時的な保育を受けることができる事業」が20.0%などとなっています。

就学児童では、「病院や診療所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が62.3%と最も高く、次いで「認定こども園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が29.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が24.7%などとなっています。



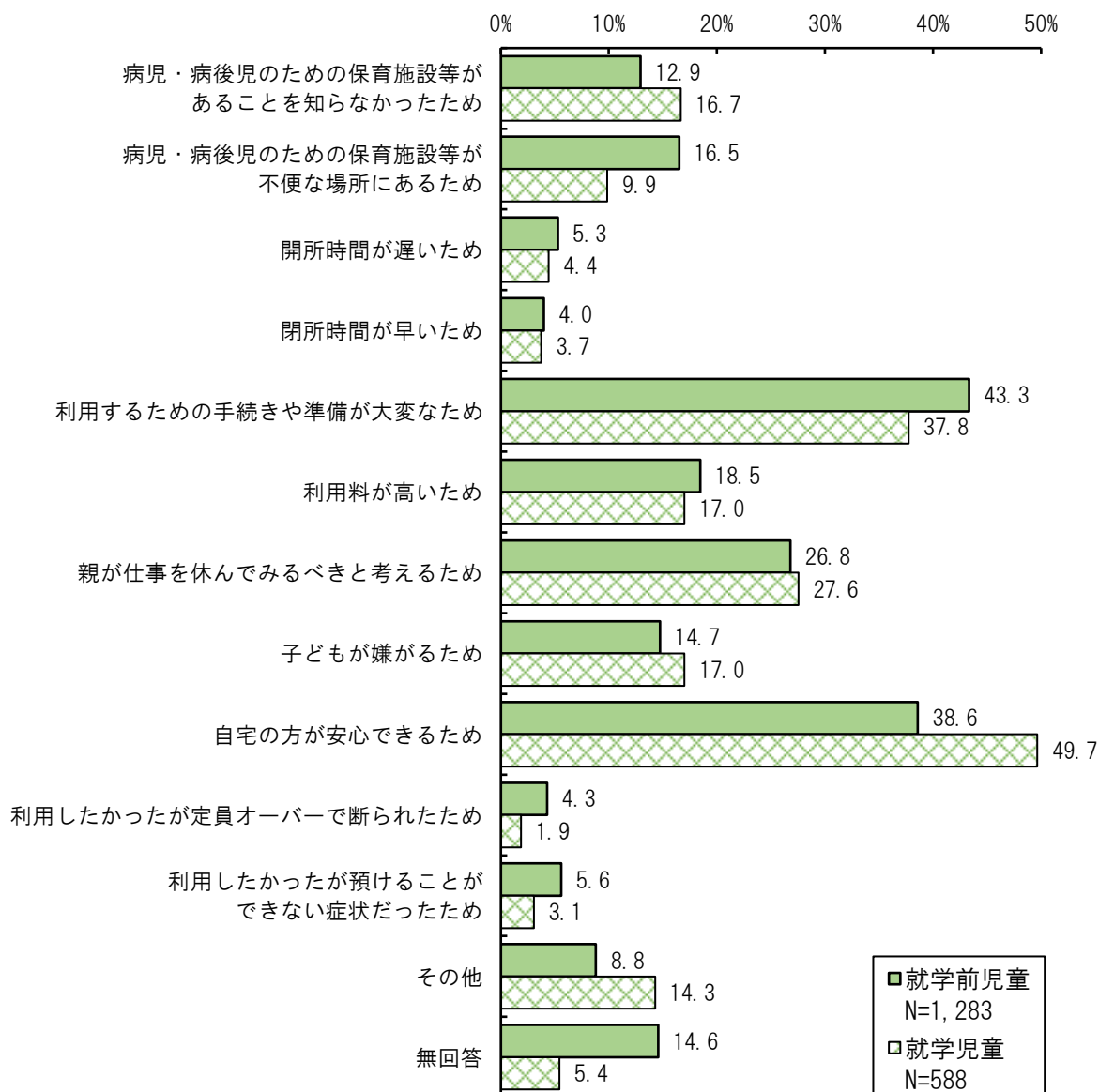
(2)で「就労している父親が仕事を休んだ」または「就労している母親が仕事を休んだ」を選んだ方

(6) 病児・病後児のための保育施設等を利用しなかった（できなかった）理由（複数回答）

《就学前児童調査…問15-2・就学児童調査…問10-2》

就学前児童では、「利用するための手続きや準備が大変なため」が43.3%と最も高く、次いで「自宅の方が安心できるため」が38.6%、「親が仕事を休んでみるべきと考えるため」が26.8%などとなっています。

就学児童では、「自宅の方が安心できるため」が49.7%と最も高く、次いで「利用するための手続きや準備が大変なため」が37.8%、「親が仕事を休んでみるべきと考えるため」が27.6%などとなっています。



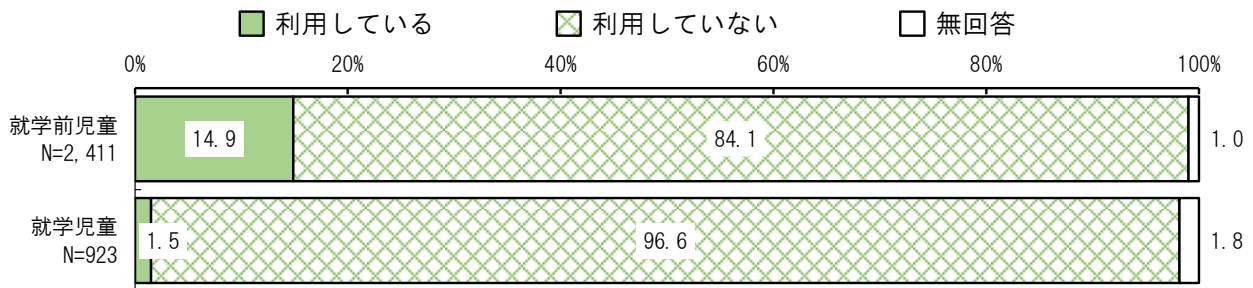
8 教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 一時預かり等の事業を利用しているか（単数回答）

《就学前児童調査…問16・就学児童調査…問11》

就学前児童では、「利用している」が14.9%、「利用していない」が84.1%となっています。

就学児童では、「利用している」が1.5%、「利用していない」が96.6%となっています。



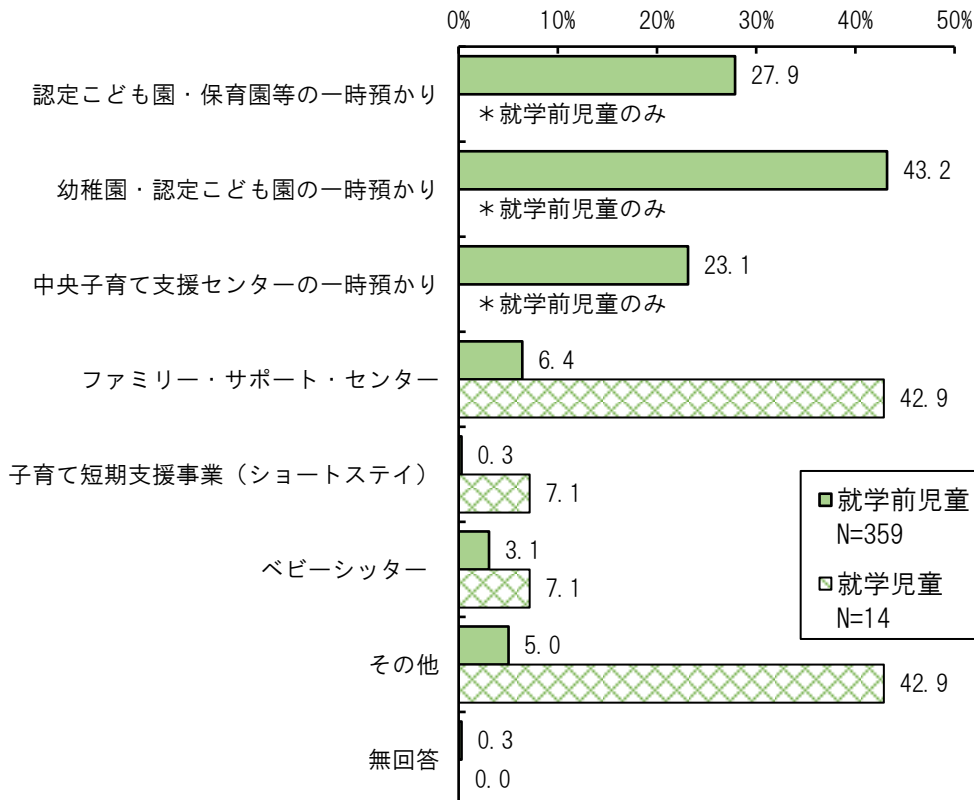
(1) で「(一時預かり等を) 利用している」を選んだ方

(2) 利用している事業（複数回答）

《就学前児童調査…問16・就学児童調査…問11》

就学前児童では、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が43.2%と最も高く、次いで「認定こども園・保育園等の一時預かり」が27.9%、「中央子育て支援センターの一時預かり」が23.1%などとなっています。

就学児童では、「ファミリー・サポート・センター」が42.9%と最も高く、次いで「子育て短期支援事業（ショートステイ）」、「ベビーシッター」が7.1%となっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【利用事業別日数】

利用事業別にみると、就学前児童では、“認定こども園・保育園等の一時預かり”は「10日」が最も高く、“幼稚園・認定こども園の一時預かり”は「51日以上」が最も高く、“中央子育て支援センターの一時預かり”は「2日」が最も高く、“ファミリー・サポート・センター”は「1日」が最も高くなっています。

【就学前児童】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
認定こども園・保育園等の一時預かり	100	10	14	14	1	16	1	3	1	-	18	5	4	-	2	10	1
	100.0	10.0	14.0	14.0	1.0	16.0	1.0	3.0	1.0	-	18.0	5.0	4.0	-	2.0	10.0	1.0
幼稚園・認定こども園の一時預かり	155	7	10	8	4	22	2	3	1	-	20	17	14	3	7	31	6
	100.0	4.5	6.5	5.2	2.6	14.2	1.3	1.9	0.6	-	12.9	11.0	9.0	1.9	4.5	20.0	3.9
中央子育て支援センターの一時預かり	83	16	19	12	2	17	1	-	2	1	5	5	2	-	1	-	-
	100.0	19.3	22.9	14.5	2.4	20.5	1.2	-	2.4	1.2	6.0	6.0	2.4	-	1.2	-	-
ファミリー・サポート・センター	23	8	4	3	-	1	-	-	-	-	2	2	1	-	-	2	-
	100.0	34.8	17.4	13.0	-	4.3	-	-	-	-	8.7	8.7	4.3	-	-	8.7	-
子育て短期支援事業(ショートステイ)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
ベビーシッター	11	2	3	-	-	2	-	1	-	-	1	1	1	-	-	-	-
	100.0	18.2	27.3	-	-	18.2	-	9.1	-	-	9.1	9.1	9.1	-	-	-	-
その他	18	4	1	2	-	3	-	-	-	1	3	2	1	-	1	-	-
	100.0	22.2	5.6	11.1	-	16.7	-	-	-	5.6	16.7	11.1	5.6	-	5.6	-	-

【就学児童】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
ファミリー・サポート・センター	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	-
	100.0	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	-
子育て短期支援事業(ショートステイ)	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
ベビーシッター	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.3	16.7

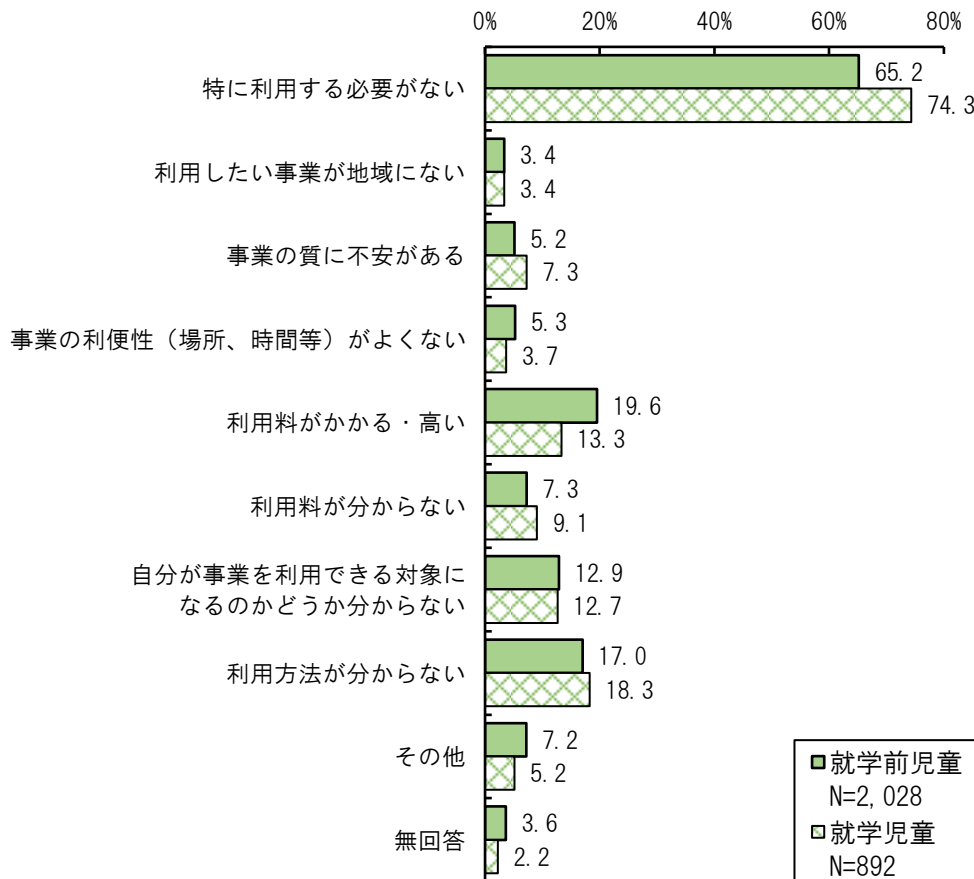
【8 教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について】

(1) で「(一時預かり等を) 利用していない」を選んだ方

(3) 事業を利用していない理由(複数回答) 《就学前児童調査…問16・就学児童調査…問11》

就学前児童では、「特に利用する必要がない」が65.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が19.6%、「利用方法が分からない」が17.0%などとなっています。

就学児童では、「特に利用する必要がない」が74.3%と最も高く、次いで「利用方法が分からない」が18.3%、「利用料がかかる・高い」が13.3%などとなっています。

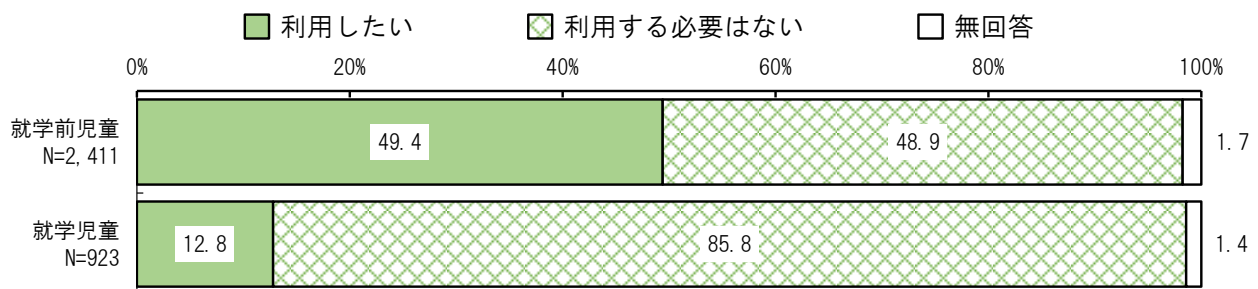


(4) 私用等の目的で一時預かり等の事業を利用したいか(単数回答)

《就学前児童調査…問17・就学児童調査…問12》

就学前児童では、「利用したい」が49.4%、「利用する必要はない」が48.9%となっています。

就学児童では、「利用したい」が12.8%、「利用する必要はない」が85.8%となっています。



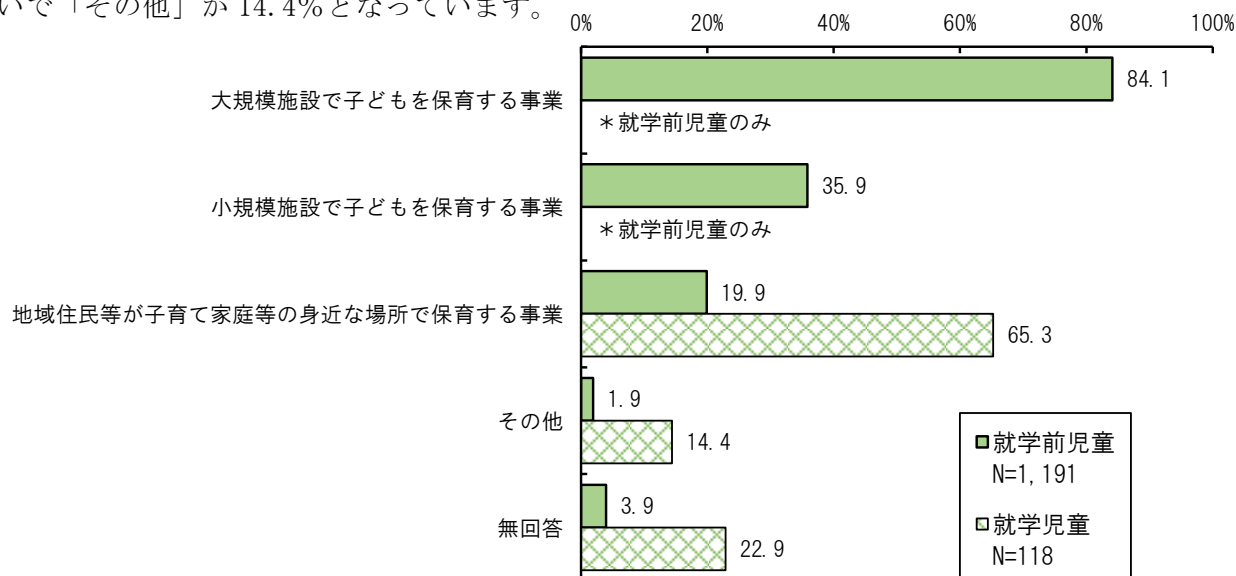
(4)で「(私用等の目的で一時預かり等の事業を)利用したい」を選んだ方

(5)一時預かり等の事業の希望事業形態(複数回答)

《就学前児童調査…問17・就学児童調査…問12》

就学前児童では、「大規模施設で子どもを保育する事業」が84.1%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が35.9%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が19.9%などとなっています。

就学児童では、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」が65.3%と最も高く、次いで「その他」が14.4%となっています。



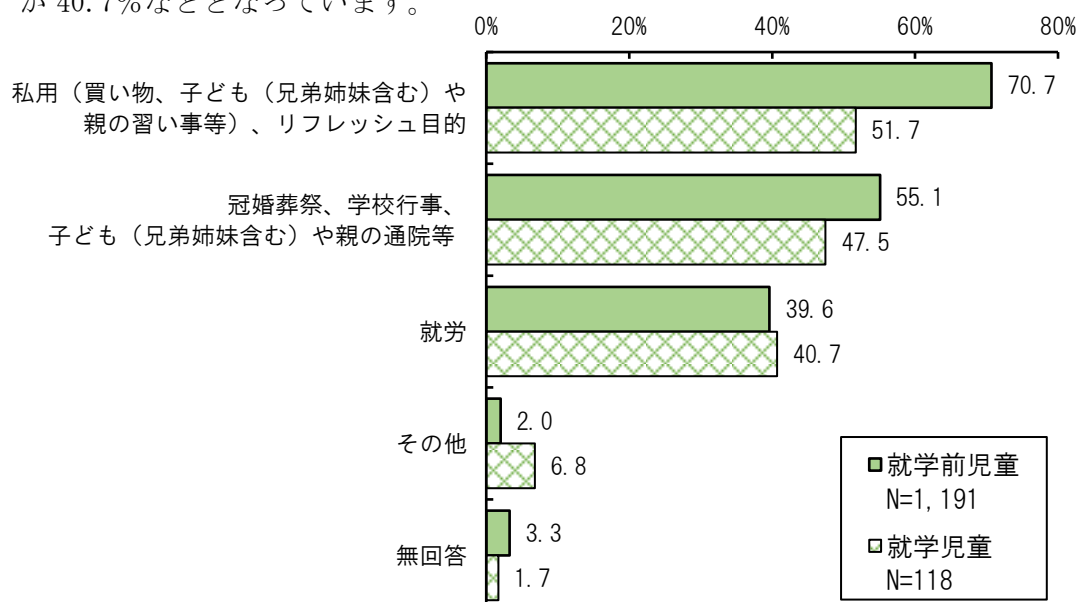
(4)で「(私用等の目的で一時預かり等の事業を)利用したい」を選んだ方

(6)一時預かり等の事業の希望利用目的(複数回答)

《就学前児童調査…問17・就学児童調査…問12》

就学前児童では、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が70.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院等」が55.1%、「就労」が39.6%などとなっています。

就学児童では、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が51.7%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹含む)や親の通院等」が47.5%、「就労」が40.7%などとなっています。



【8 教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について】

【目的別年間希望延べ日数】

目的別にみると、就学前児童では、“私用（買い物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的”と“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院等”は「5日」が最も高く、“就労”は「51日以上」が最も高くなっています。

就学児童では、“私用（買い物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的”と“就労”は「10日」が最も高く、“冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院等”は「5日」が最も高くなっています。

【就学前児童】

（上段：実数、下段：％）

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
私用（買い物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	842	26	51	81	11	168	37	11	6	-	151	161	51	10	28	16	34
	100.0	3.1	6.1	9.6	1.3	20.0	4.4	1.3	0.7	-	17.9	19.1	6.1	1.2	3.3	1.9	4.0
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院等	656	33	44	83	11	169	33	14	3	-	132	71	22	2	6	1	32
	100.0	5.0	6.7	12.7	1.7	25.8	5.0	2.1	0.5	-	20.1	10.8	3.4	0.3	0.9	0.2	4.9
就労	472	8	10	18	-	40	4	6	1	2	49	42	23	4	19	200	46
	100.0	1.7	2.1	3.8	-	8.5	0.8	1.3	0.2	0.4	10.4	8.9	4.9	0.8	4.0	42.4	9.7
その他	24	3	3	2	-	3	1	-	1	-	6	-	4	1	-	-	-
	100.0	12.5	12.5	8.3	-	12.5	4.2	-	4.2	-	25.0	-	16.7	4.2	-	-	-
年間希望延べ日数合計	1,191	12	33	47	19	96	42	24	22	6	150	234	101	32	33	251	89
	100.0	1.0	2.8	3.9	1.6	8.1	3.5	2.0	1.8	0.5	12.6	19.6	8.5	2.7	2.8	21.1	7.5

【就学児童】

（上段：実数、下段：％）

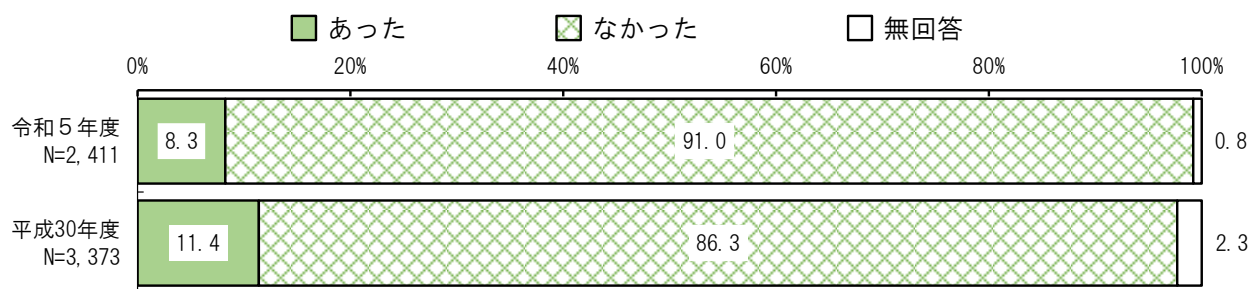
	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
私用（買い物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	61	1	6	9	1	13	-	1	-	-	14	7	3	-	-	-	6
	100.0	1.6	9.8	14.8	1.6	21.3	-	1.6	-	-	23.0	11.5	4.9	-	-	-	9.8
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院等	56	5	3	9	1	17	-	4	-	-	8	3	1	1	-	-	4
	100.0	8.9	5.4	16.1	1.8	30.4	-	7.1	-	-	14.3	5.4	1.8	1.8	-	-	7.1
就労	48	2	3	3	2	7	1	1	-	-	9	6	1	-	2	6	5
	100.0	4.2	6.3	6.3	4.2	14.6	2.1	2.1	-	-	18.8	12.5	2.1	-	4.2	12.5	10.4
その他	8	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	1
	100.0	25.0	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-	12.5	-	25.0	12.5
年間希望延べ日数合計	118	3	5	10	4	18	4	4	1	-	18	23	4	4	2	9	9
	100.0	2.5	4.2	8.5	3.4	15.3	3.4	3.4	0.8	-	15.3	19.5	3.4	3.4	1.7	7.6	7.6

(7) 泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験の有無（単数回答）

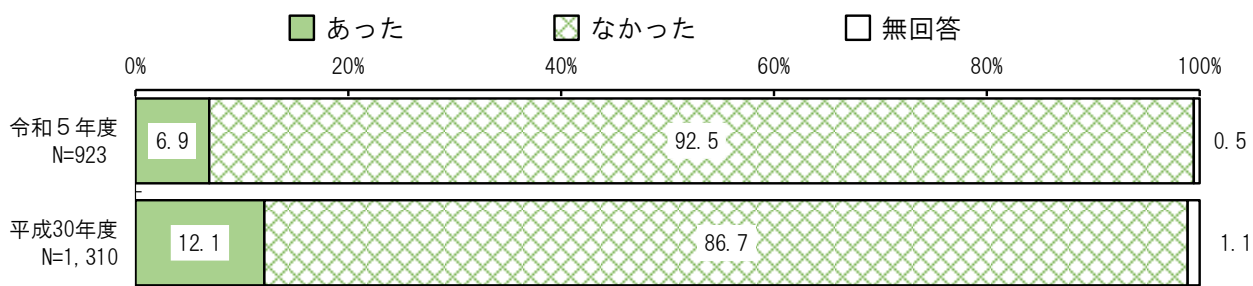
《就学前児童調査…問18・就学児童調査…問13》

就学前児童では、「あった」が8.3%、「なかった」が91.0%となっています。
 就学児童では、「あった」が6.9%、「なかった」が92.5%となっています。
 平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「なかった」が最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



【8 教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について】

(7) で「(泊まりがけで家族以外に預けなければならないことが) あった」を選んだ方

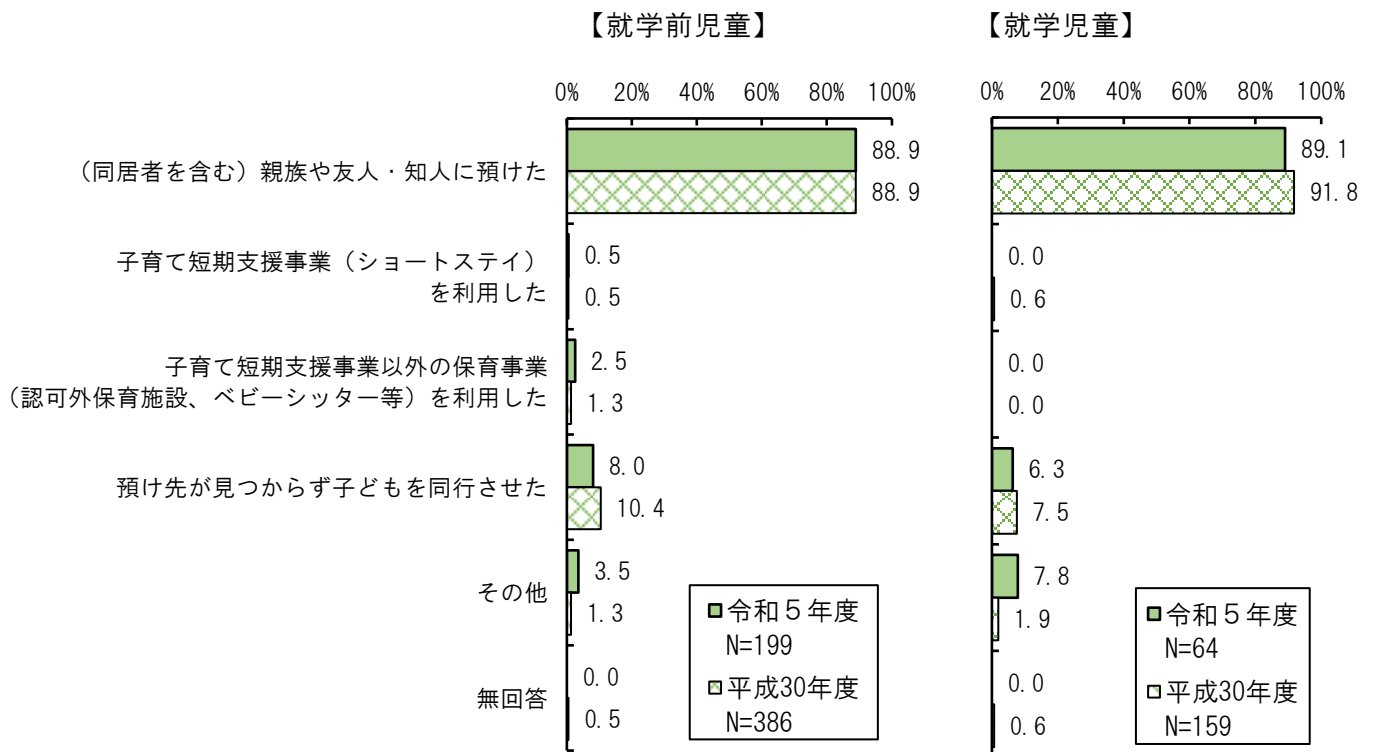
(8) この1年間に泊まりがけで家族以外に預ける際の対処方法(複数回答)

《就学前児童調査…問18・就学児童調査…問13》

就学前児童では、「(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた」が88.9%と最も高く、次いで「預け先が見つからず子どもを同行させた」が8.0%、「子育て短期支援事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」が2.5%などとなっています。

就学児童では、「(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた」が89.1%と最も高く、次いで「預け先が見つからず子どもを同行させた」が6.3%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた」が最も高くなっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【対処方法別日数】

対処方法別にみると、就学前児童では、“(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた” は「1日」が最も高くなっています。

就学児童では、“(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた” は「1日」、「3日」が最も高くなっています。

【就学前児童】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた	177	44	35	27	7	19	2	8	5	-	12	7	5	3	1	1	1
	100.0	24.9	19.8	15.3	4.0	10.7	1.1	4.5	2.8	-	6.8	4.0	2.8	1.7	0.6	0.6	0.6
子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子育て短期支援事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	5	1	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-
預け先が見つからず子どもを同行させた	16	4	2	3	-	2	-	1	-	-	2	1	-	-	-	-	1
	100.0	25.0	12.5	18.8	-	12.5	-	6.3	-	-	12.5	6.3	-	-	-	-	6.3
その他	7	1	1	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	100.0	14.3	14.3	28.6	-	-	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	14.3	-	-

【就学児童】

(上段：実数、下段：%)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11～20日	21～30日	31～40日	41～50日	51日以上	無回答
(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた	57	14	11	14	3	3	-	1	-	-	4	2	3	-	1	-	1
	100.0	24.6	19.3	24.6	5.3	5.3	-	1.8	-	-	7.0	3.5	5.3	-	1.8	-	1.8
子育て短期支援事業(ショートステイ)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子育て短期支援事業以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
預け先が見つからず子どもを同行させた	4	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	100.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
その他	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
	100.0	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0	-	-	-	-	20.0

【8 教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について】

(8) で「(同居者を含む) 親族や友人・知人に預けた」を選んだ方

(9) 親族や友人・知人に預けた場合の困難度(単数回答)

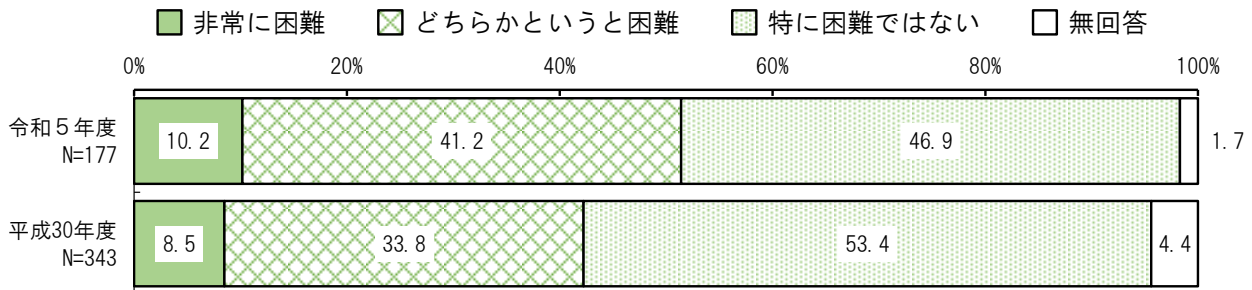
《就学前児童調査…問18-1・就学児童調査…問13-1》

就学前児童では、「非常に困難」が10.2%、「どちらかという困難」が41.2%、「特に困難ではない」が46.9%となっています。

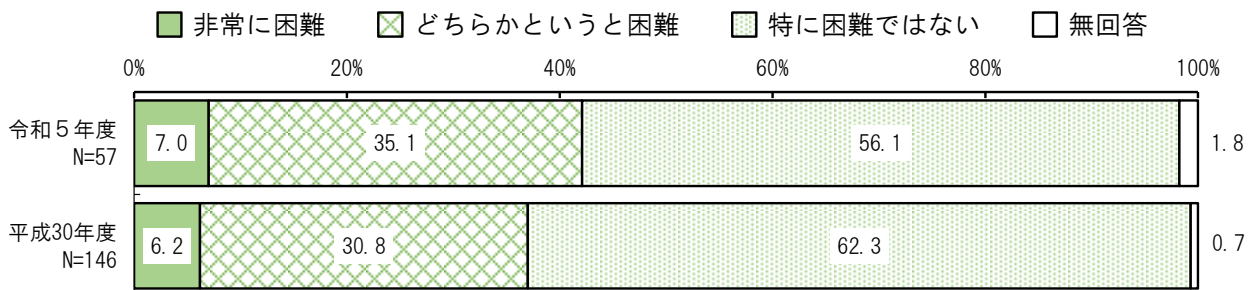
就学児童では、「非常に困難」が7.0%、「どちらかという困難」が35.1%、「特に困難ではない」が56.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童、就学児童ともに『困難』(「非常に困難」+「どちらかという困難」)が増加しています。

【就学前児童】



【就学児童】

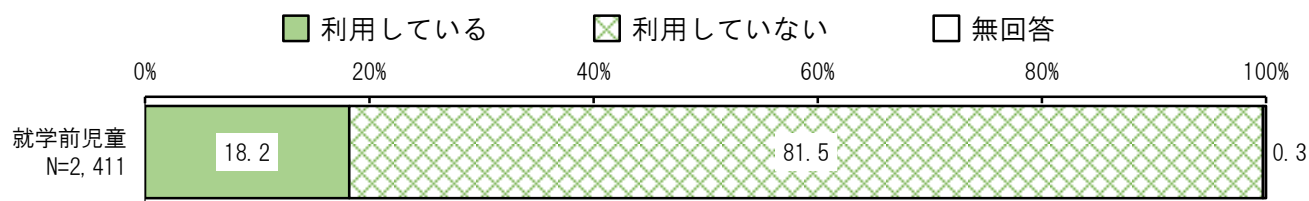


9 子育て支援センター等の利用状況について

(1) 子育て支援センター等の利用の有無（単数回答）

《就学前児童調査…問19》

「利用している」が18.2%、「利用していない」が81.5%となっています。



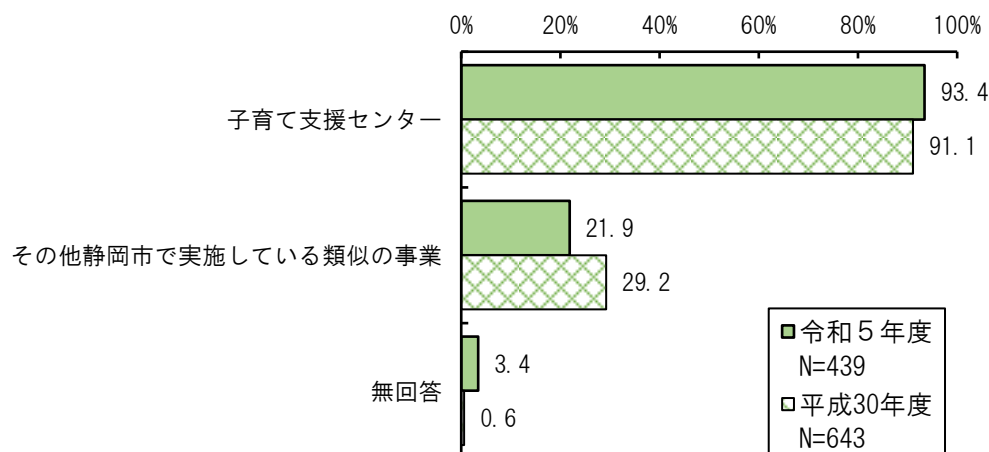
(1) で「(子育て支援センター等を) 利用している」を選んだ方

(2) 現在利用している事業（複数回答）

《就学前児童調査…問19》

「子育て支援センター」が93.4%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が21.9%となっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに「子育て支援センター」が最も高くなっています。

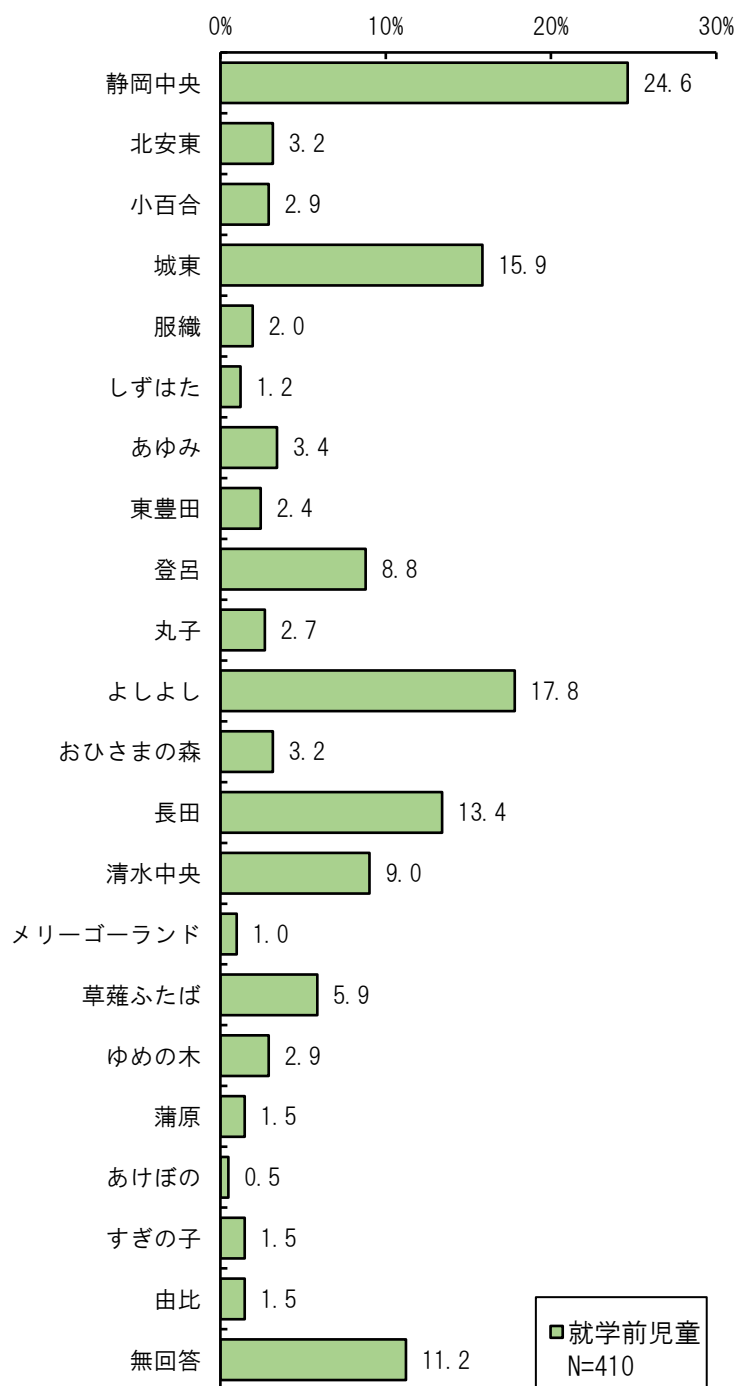


(2) で「子育て支援センター」を選んだ方

(3) 現在利用している子育て支援センター（複数回答）

《就学前児童調査…問19》

「静岡中央」が24.6%と最も高く、次いで「よしよし」が17.8%、「城東」が15.9%などとなっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【年齢別】

年齢別にみると、“0歳”と“1歳”と“2歳”と“4歳”では「静岡中央」が最も高く、“3歳”と“5歳”では「長田」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	しずはた	あゆみ	東豊田	登呂	丸子	よしよし	おひさまの森	長田	清水中央	メリーゴーランド	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
0歳	141	40	8	7	31	1	3	6	6	21	7	39	7	16	11	1	9	4	2	-	2	1	8
	100.0	28.4	5.7	5.0	22.0	0.7	2.1	4.3	4.3	14.9	5.0	27.7	5.0	11.3	7.8	0.7	6.4	2.8	1.4	-	1.4	0.7	5.7
1歳	111	22	3	4	17	3	2	3	2	12	1	16	3	7	12	3	6	5	3	1	2	5	14
	100.0	19.8	2.7	3.6	15.3	2.7	1.8	2.7	1.8	10.8	0.9	14.4	2.7	6.3	10.8	2.7	5.4	4.5	2.7	0.9	1.8	4.5	12.6
2歳	75	17	1	1	10	3	-	2	2	2	3	11	2	9	7	-	8	2	1	1	2	-	9
	100.0	22.7	1.3	1.3	13.3	4.0	-	2.7	2.7	2.7	4.0	14.7	2.7	12.0	9.3	-	10.7	2.7	1.3	1.3	2.7	-	12.0
3歳	39	9	1	-	4	1	-	1	-	1	-	4	-	12	4	-	-	-	-	-	-	-	5
	100.0	23.1	2.6	-	10.3	2.6	-	2.6	-	2.6	-	10.3	-	30.8	10.3	-	-	-	-	-	-	-	12.8
4歳	23	7	-	-	1	-	-	1	-	-	-	3	1	3	2	-	1	-	-	-	-	-	7
	100.0	30.4	-	-	4.3	-	-	4.3	-	-	-	13.0	4.3	13.0	8.7	-	4.3	-	-	-	-	-	30.4
5歳	21	6	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	8	1	-	-	1	-	-	-	-	3
	100.0	28.6	-	-	9.5	-	-	4.8	-	-	-	-	-	38.1	4.8	-	-	4.8	-	-	-	-	14.3

【居住する行政区別】

居住する行政区別にみると、“葵区”では「静岡中央」が最も高く、“駿河区”では「長田」が最も高く、“清水区”では「清水中央」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	しずはた	あゆみ	東豊田	登呂	丸子	よしよし	おひさまの森	長田	清水中央	メリーゴーランド	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
葵区	163	57	8	11	44	8	5	10	1	8	-	26	7	7	7	-	3	2	1	-	1	2	21
	100.0	35.0	4.9	6.7	27.0	4.9	3.1	6.1	0.6	4.9	-	16.0	4.3	4.3	4.3	-	1.8	1.2	0.6	-	0.6	1.2	12.9
駿河区	144	35	3	-	15	-	-	2	8	22	10	35	6	42	3	-	2	-	-	-	1	-	14
	100.0	24.3	2.1	-	10.4	-	-	1.4	5.6	15.3	6.9	24.3	4.2	29.2	2.1	-	1.4	-	-	-	0.7	-	9.7
清水区	103	9	2	1	6	-	-	2	1	6	1	12	-	6	27	4	19	10	5	2	4	4	11
	100.0	8.7	1.9	1.0	5.8	-	-	1.9	1.0	5.8	1.0	11.7	-	5.8	26.2	3.9	18.4	9.7	4.9	1.9	3.9	3.9	10.7

(2) で「子育て支援センター」「その他静岡市で実施している類似の事業」を選んだ方

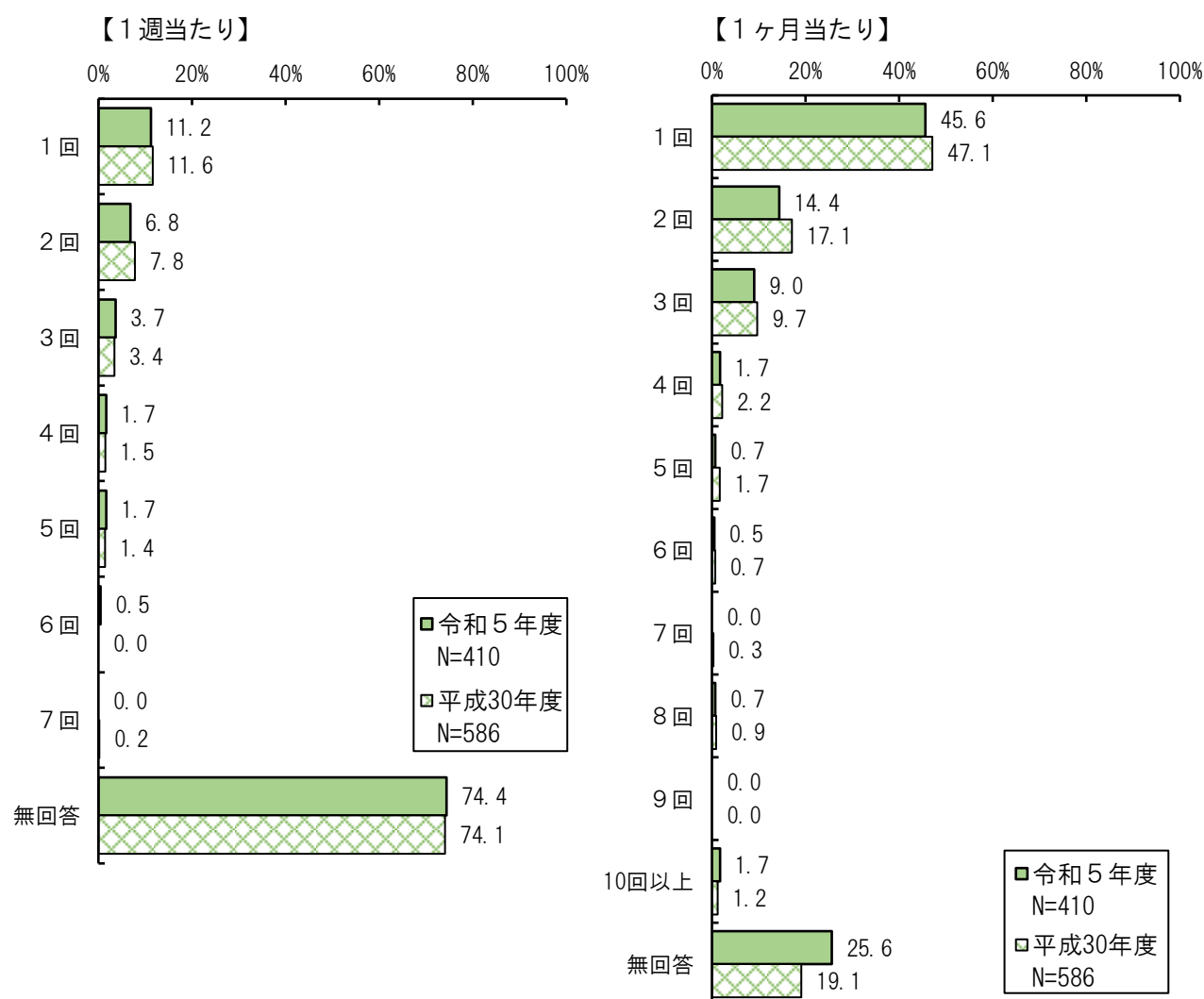
(4) 現在利用している子育て支援センターおよびその他静岡市で実施している類似の事業の利用回数（数量回答）
《就学前児童調査…問19》

【子育て支援センター】

1週当たりでは、「1回」が11.2%と最も高く、次いで「2回」が6.8%、「3回」が3.7%などとなっています。

1ヶ月当たりでは、「1回」が45.6%と最も高く、次いで「2回」が14.4%、「3回」が9.0%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに1週当たり、1ヶ月当たりのいずれにおいても「1回」が最も高くなっています。



※設問では「1週当たり」もしくは「1ヶ月当たり」のどちらかを回答するようになっています。

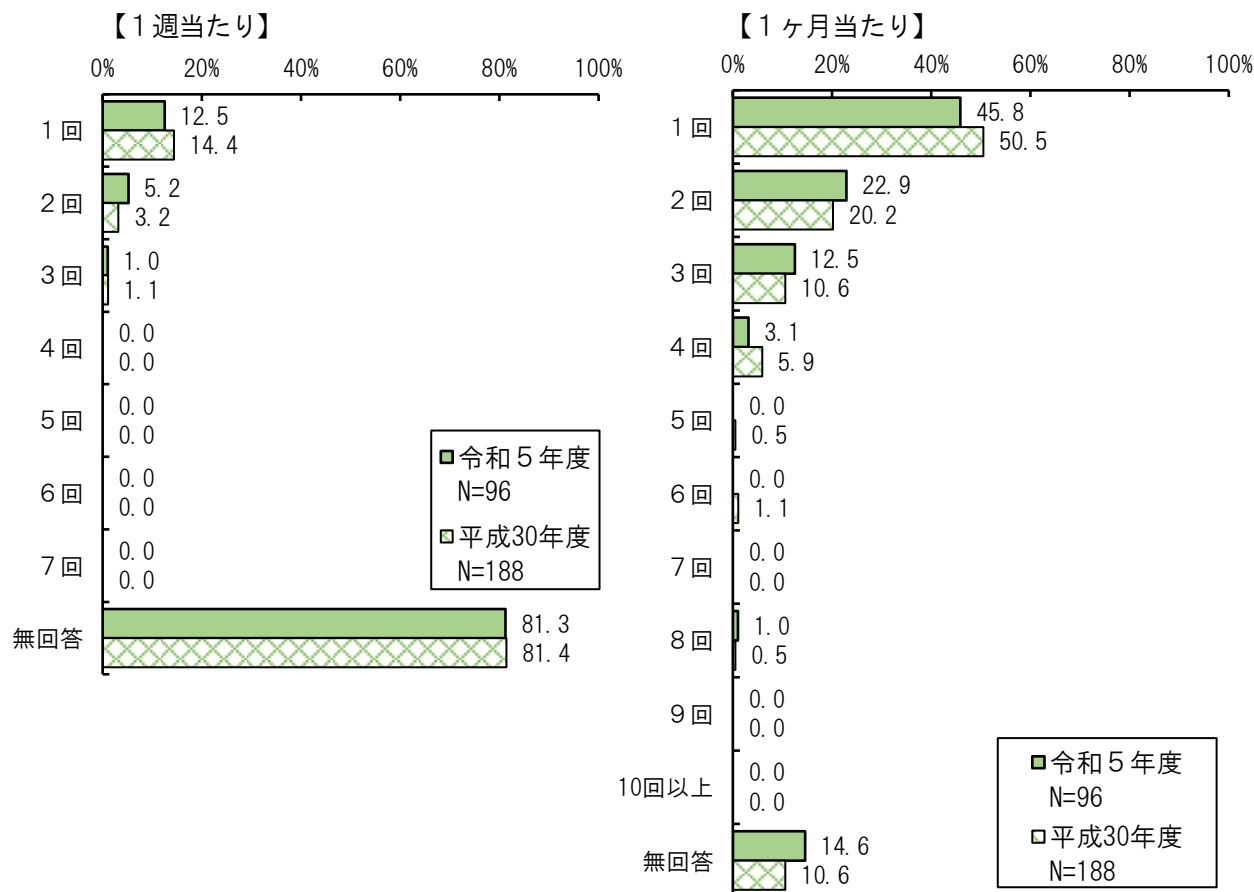
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【その他静岡市で実施している類似の事業】

1週当たりでは、「1回」が12.5%と最も高く、次いで「2回」が5.2%、「3回」が1.0%などとなっています。

1ヶ月当たりでは、「1回」が45.8%と最も高く、次いで「2回」が22.9%、「3回」が12.5%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに1週当たり、1ヶ月当たりのいずれにおいても「1回」が最も高くなっています。

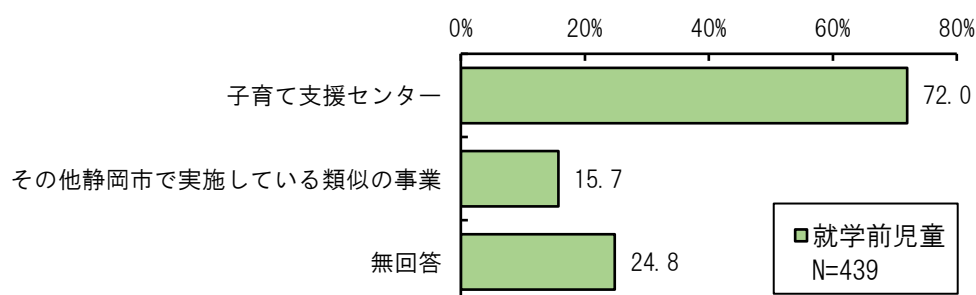


※設問では「1週当たり」もしくは「1ヶ月当たり」のどちらかを回答するようになっています。

(1) で「(子育て支援センター等を) 利用している」を選んだ方

(5) 今後利用を希望する事業(現在利用している方)(複数回答) 《就学前児童調査…問19》

「子育て支援センター」が72.0%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が15.7%となっています。

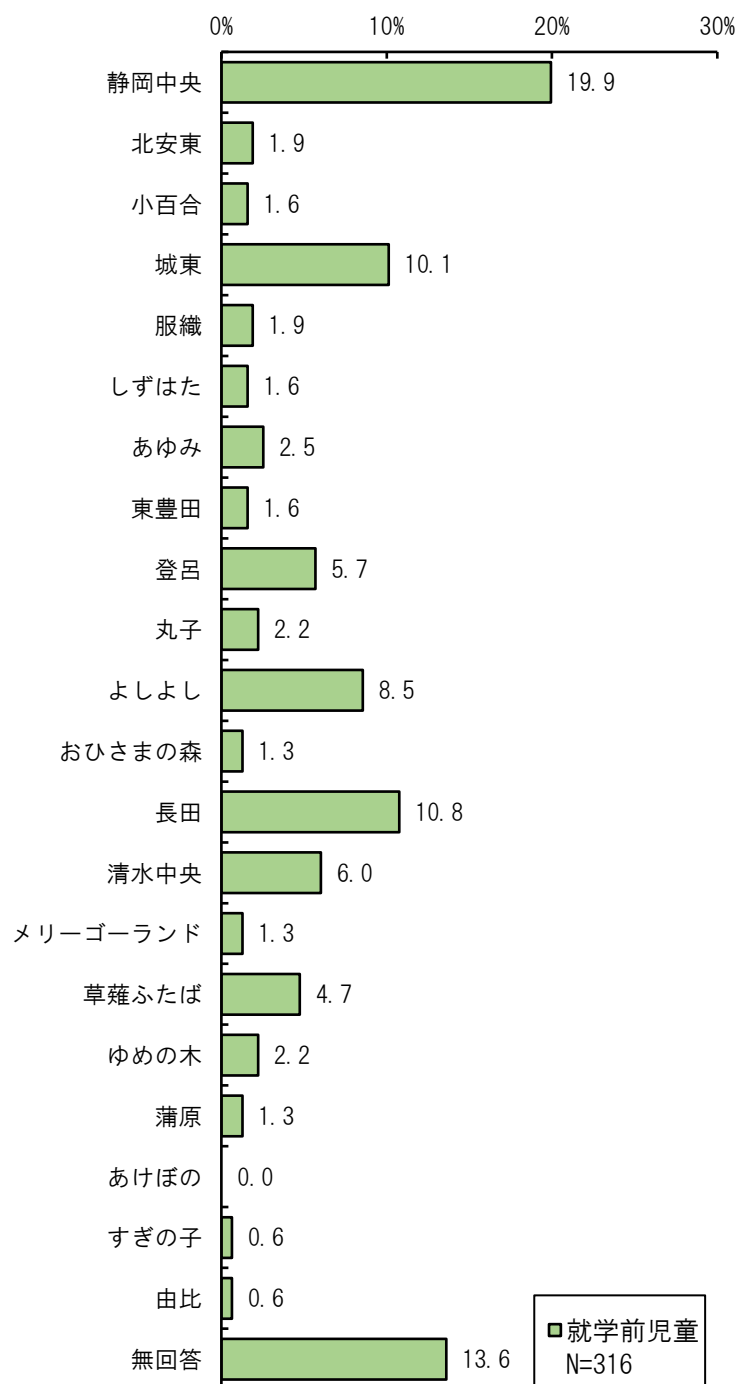


(5) で「子育て支援センター」を選んだ方

(6) 今後利用を希望する子育て支援センター（現在利用している方）（単数回答）

《就学前児童調査…問19》

「静岡中央」が19.9%と最も高く、次いで「長田」が10.8%、「城東」が10.1%などとなっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【年齢別】

年齢別にみると、“0歳”では「静岡中央」、「城東」が最も高く、“1歳”と“2歳”と“4歳”では「静岡中央」が最も高く、“3歳”と“5歳”では「長田」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	しずはた	あゆみ	東豊田	登呂	丸子	よしよし	おひさまの森	長田	清水中央	メリーゴーランド	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
0歳	105	17	5	2	17	-	2	4	2	8	3	12	1	7	4	1	5	2	1	-	1	-	11
	100.0	16.2	4.8	1.9	16.2	-	1.9	3.8	1.9	7.6	2.9	11.4	1.0	6.7	3.8	1.0	4.8	1.9	1.0	-	1.0	-	10.5
1歳	90	14	-	3	6	4	3	2	2	8	3	5	2	4	8	3	4	4	2	-	-	2	11
	100.0	15.6	-	3.3	6.7	4.4	3.3	2.2	2.2	8.9	3.3	5.6	2.2	4.4	8.9	3.3	4.4	4.4	2.2	-	-	2.2	12.2
2歳	57	13	1	-	6	1	-	1	1	1	1	6	1	4	4	-	5	1	1	-	1	-	9
	100.0	22.8	1.8	-	10.5	1.8	-	1.8	1.8	1.8	1.8	10.5	1.8	7.0	7.0	-	8.8	1.8	1.8	-	1.8	-	15.8
3歳	29	7	-	-	1	1	-	-	-	1	-	2	-	10	1	-	-	-	-	-	-	-	6
	100.0	24.1	-	-	3.4	3.4	-	-	-	3.4	-	6.9	-	34.5	3.4	-	-	-	-	-	-	-	20.7
4歳	16	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	3
	100.0	43.8	-	-	-	-	-	6.3	-	-	-	12.5	-	6.3	6.3	-	6.3	-	-	-	-	-	18.8
5歳	19	5	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1	-	-	-	-	-	-	-	3
	100.0	26.3	-	-	10.5	-	-	-	-	-	-	-	-	42.1	5.3	-	-	-	-	-	-	-	15.8

【居住する行政区別】

居住する行政区別にみると、“葵区”では「静岡中央」が最も高く、“駿河区”では「長田」が最も高く、“清水区”では「清水中央」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	しずはた	あゆみ	東豊田	登呂	丸子	よしよし	おひさまの森	長田	清水中央	メリーゴーランド	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
葵区	119	39	2	5	19	5	4	6	-	3	1	7	-	4	3	-	1	-	1	-	-	1	18
	100.0	32.8	1.7	4.2	16.0	4.2	3.4	5.0	-	2.5	0.8	5.9	-	3.4	2.5	-	0.8	-	0.8	-	-	0.8	15.1
駿河区	117	20	2	-	9	1	1	-	4	12	4	18	4	27	-	-	1	-	-	-	1	-	13
	100.0	17.1	1.7	-	7.7	0.9	0.9	-	3.4	10.3	3.4	15.4	3.4	23.1	-	-	0.9	-	-	-	0.9	-	11.1
清水区	80	4	2	-	4	-	-	2	1	3	2	2	-	3	16	4	13	7	3	-	1	1	12
	100.0	5.0	2.5	-	5.0	-	-	2.5	1.3	3.8	2.5	2.5	-	3.8	20.0	5.0	16.3	8.8	3.8	-	1.3	1.3	15.0

(5) で「子育て支援センター」「その他静岡市で実施している類似の事業」を選んだ方

(7) 今後利用を希望する子育て支援センター等の希望利用回数（現在利用している方）

(数量回答)

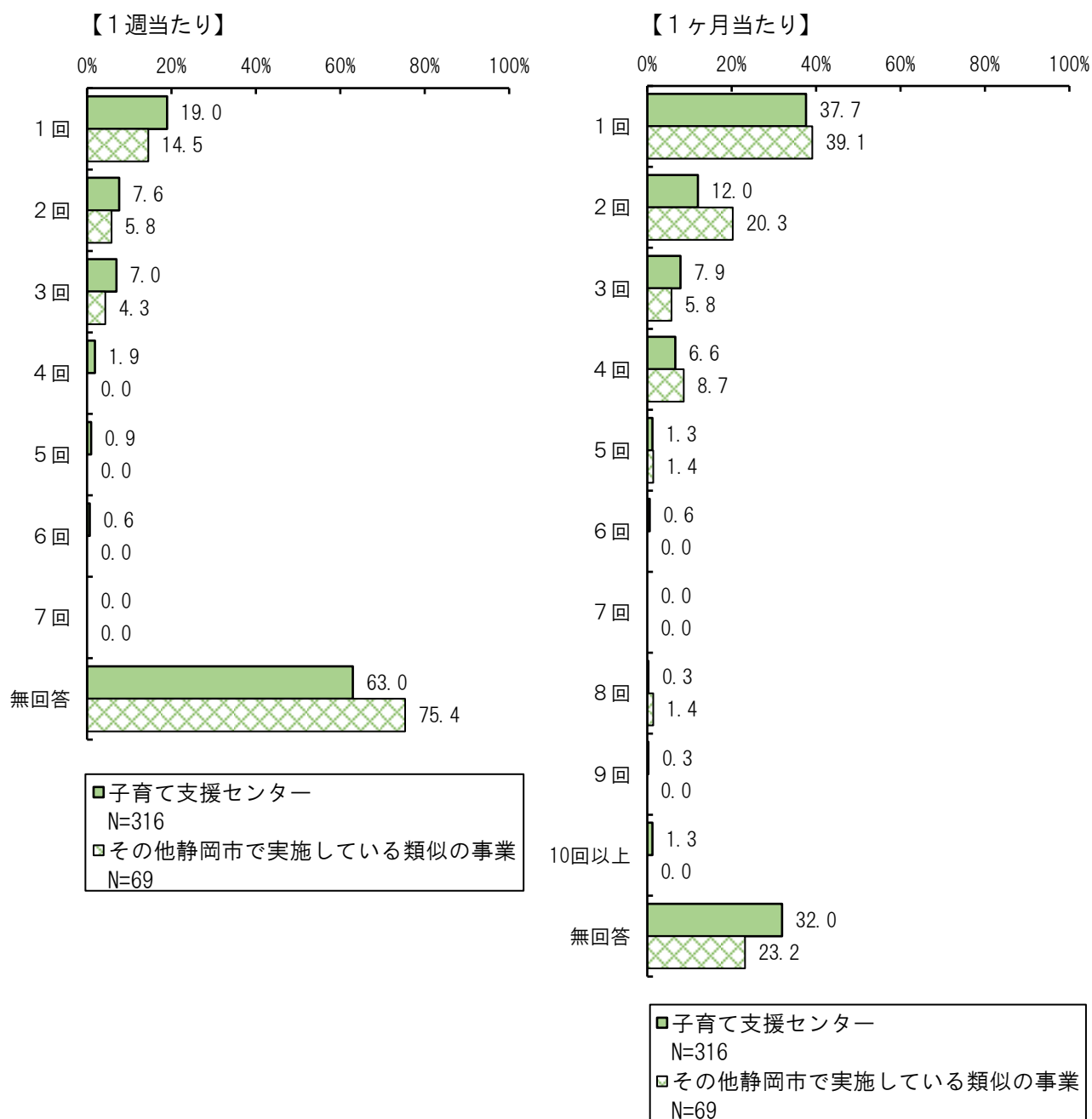
《就学前児童調査…問19》

1週当たりについては、子育て支援センターでは、「1回」が19.0%と最も高く、次いで「2回」が7.6%、「3回」が7.0%などとなっています。

その他静岡市で実施している類似の事業では、「1回」が14.5%と最も高く、次いで「2回」が5.8%、「3回」が4.3%などとなっています。

1ヶ月当たりについては、子育て支援センターでは、「1回」が37.7%と最も高く、次いで「2回」が12.0%、「3回」が7.9%などとなっています。

その他静岡市で実施している類似の事業では、「1回」が39.1%と最も高く、次いで「2回」が20.3%、「4回」が8.7%などとなっています。

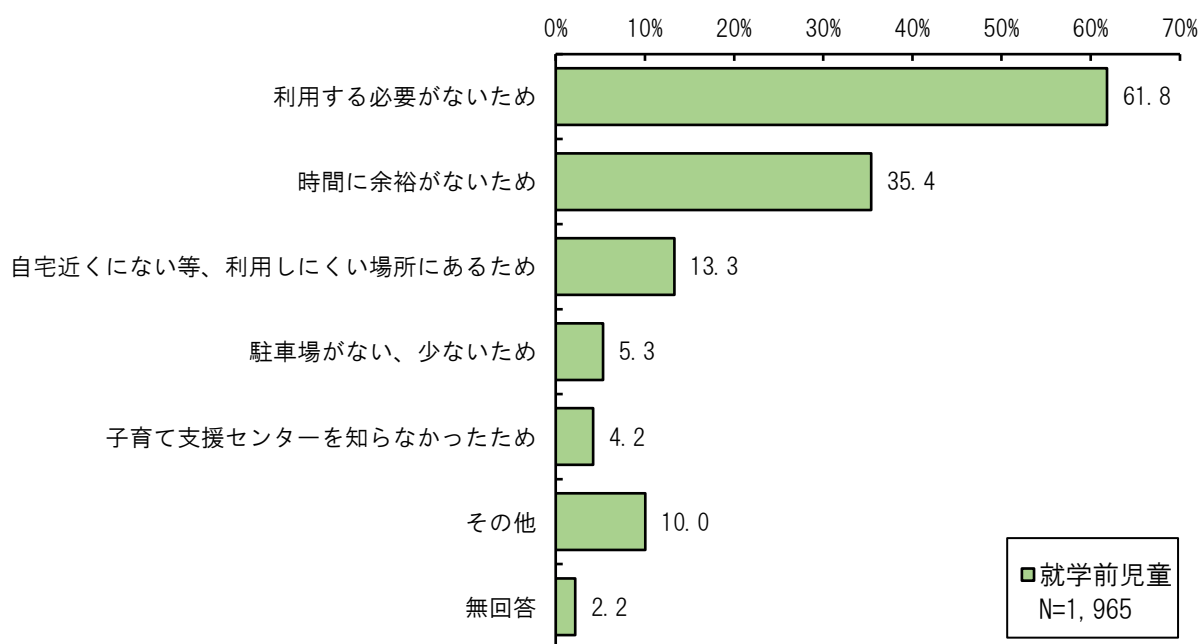


※設問では「1週当たり」もしくは「1ヶ月当たり」のどちらかを回答するようになっています。

(1) で「(子育て支援センター等を) 利用していない」を選んだ方

(8) 子育て支援センター等を利用していない理由(複数回答) 《就学前児童調査…問19》

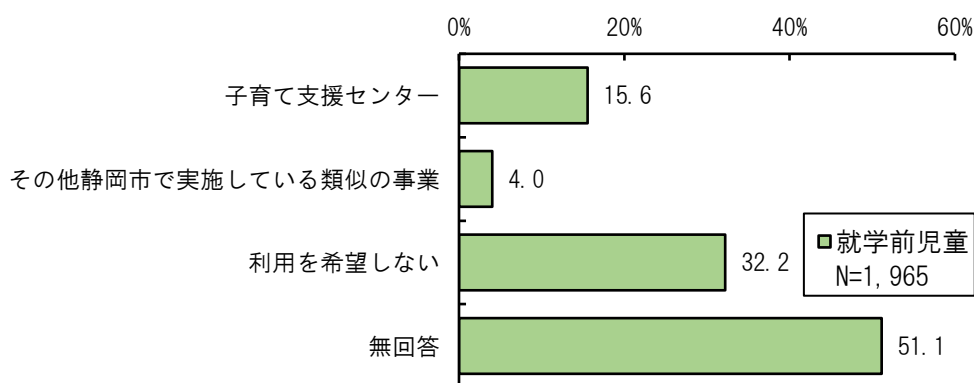
「利用する必要があるため」が61.8%と最も高く、次いで「時間に余裕がないため」が35.4%、「自宅近くにない等、利用しにくい場所にあるため」が13.3%などとなっています。



(1) で「(子育て支援センター等を) 利用していない」を選んだ方

(9) 今後利用を希望する事業(現在利用していない方)(複数回答) 《就学前児童調査…問19》

「利用を希望しない」が32.2%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が15.6%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が4.0%となっています。

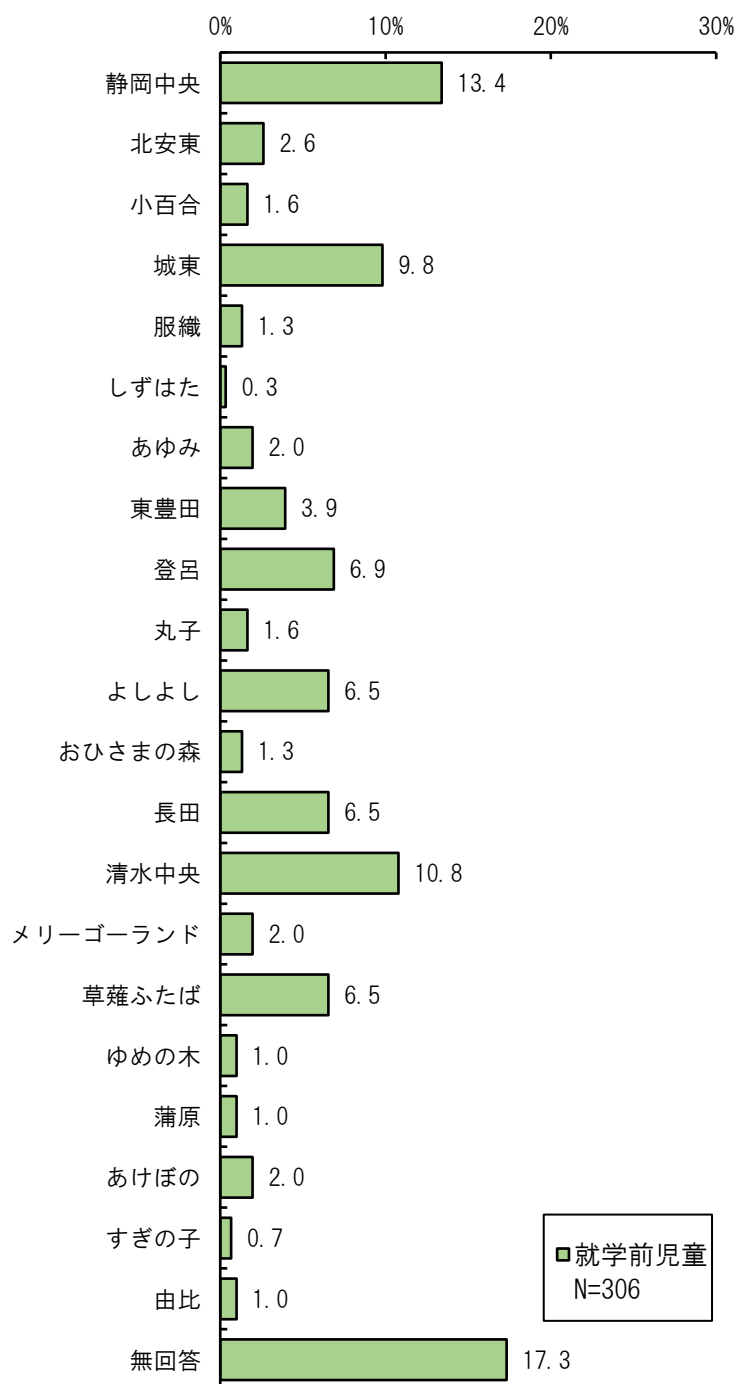


(9) で「子育て支援センター」を選んだ方

(10) 今後利用を希望する子育て支援センター（現在利用していない方）（単数回答）

《就学前児童調査…問19》

「静岡中央」が13.4%と最も高く、次いで「清水中央」が10.8%、「城東」が9.8%などとなっています。



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【年齢別】

年齢別にみると、“0歳”と“2歳”と“4歳”では「城東」が最も高く、“1歳”では「清水中央」が最も高く、“3歳”では「静岡中央」が最も高く、“5歳”では「静岡中央」、「北安東」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	しずはた	あゆみ	東豊田	登呂	丸子	よしよし	おひさまの森	長田	清水中央	メリーゴーランド	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
0歳	72	6	2	3	8	2	-	3	2	5	2	4	1	1	6	2	6	-	1	3	-	-	15
	100.0	8.3	2.8	4.2	11.1	2.8	-	4.2	2.8	6.9	2.8	5.6	1.4	1.4	8.3	2.8	8.3	-	1.4	4.2	-	-	20.8
1歳	53	8	-	1	3	-	-	-	5	7	2	3	1	1	9	1	2	2	-	1	1	1	5
	100.0	15.1	-	1.9	5.7	-	-	-	9.4	13.2	3.8	5.7	1.9	1.9	17.0	1.9	3.8	3.8	-	1.9	1.9	1.9	9.4
2歳	43	5	2	1	6	-	-	1	2	2	-	4	1	3	5	1	4	-	-	-	1	-	5
	100.0	11.6	4.7	2.3	14.0	-	-	2.3	4.7	4.7	-	9.3	2.3	7.0	11.6	2.3	9.3	-	-	-	2.3	-	11.6
3歳	54	11	-	-	4	1	-	1	2	3	-	6	1	6	3	-	2	1	1	-	-	-	12
	100.0	20.4	-	-	7.4	1.9	-	1.9	3.7	5.6	-	11.1	1.9	11.1	5.6	-	3.7	1.9	1.9	-	-	-	22.2
4歳	48	7	-	-	8	-	-	1	1	1	1	1	-	6	7	-	3	-	-	1	-	-	11
	100.0	14.6	-	-	16.7	-	-	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	-	12.5	14.6	-	6.3	-	-	2.1	-	-	22.9
5歳	36	4	4	-	1	1	1	-	-	3	-	2	-	3	3	2	3	-	1	1	-	2	5
	100.0	11.1	11.1	-	2.8	2.8	2.8	-	-	8.3	-	5.6	-	8.3	8.3	5.6	8.3	-	2.8	2.8	-	5.6	13.9

【居住する行政区別】

居住する行政区別にみると、“葵区”では「静岡中央」が最も高く、“駿河区”では「長田」が最も高く、“清水区”では「清水中央」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	しずはた	あゆみ	東豊田	登呂	丸子	よしよし	おひさまの森	長田	清水中央	メリーゴーランド	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
葵区	116	25	7	5	20	2	-	3	3	7	-	6	1	2	8	1	2	-	-	-	-	-	24
	100.0	21.6	6.0	4.3	17.2	1.7	-	2.6	2.6	6.0	-	5.2	0.9	1.7	6.9	0.9	1.7	-	-	-	-	-	20.7
駿河区	105	12	-	-	7	2	1	1	8	14	4	11	2	16	4	2	5	-	-	1	1	1	13
	100.0	11.4	-	-	6.7	1.9	1.0	1.0	7.6	13.3	3.8	10.5	1.9	15.2	3.8	1.9	4.8	-	-	1.0	1.0	1.0	12.4
清水区	85	4	1	-	3	-	-	2	1	-	1	3	1	2	21	3	13	3	3	5	1	2	16
	100.0	4.7	1.2	-	3.5	-	-	2.4	1.2	-	1.2	3.5	1.2	2.4	24.7	3.5	15.3	3.5	3.5	5.9	1.2	2.4	18.8

【9 子育て支援センター等の利用状況について】

(9)で「子育て支援センター」「その他静岡市で実施している類似の事業」を選んだ方

(11) 今後利用を希望する子育て支援センター等の希望利用回数（現在利用していない方）

（数量回答）

《就学前児童調査…問19》

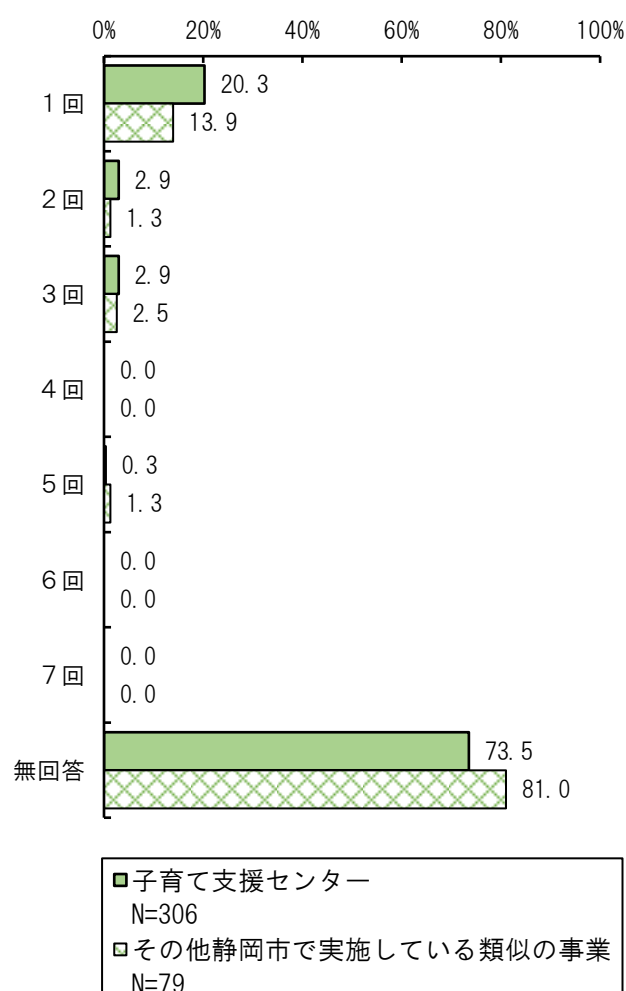
1週当たりについては、子育て支援センターでは、「1回」が20.3%と最も高く、次いで「2回」、「3回」が2.9%などとなっています。

その他静岡市で実施している類似の事業では、「1回」が13.9%と最も高く、次いで「3回」が2.5%、「2回」、「5回」が1.3%などとなっています。

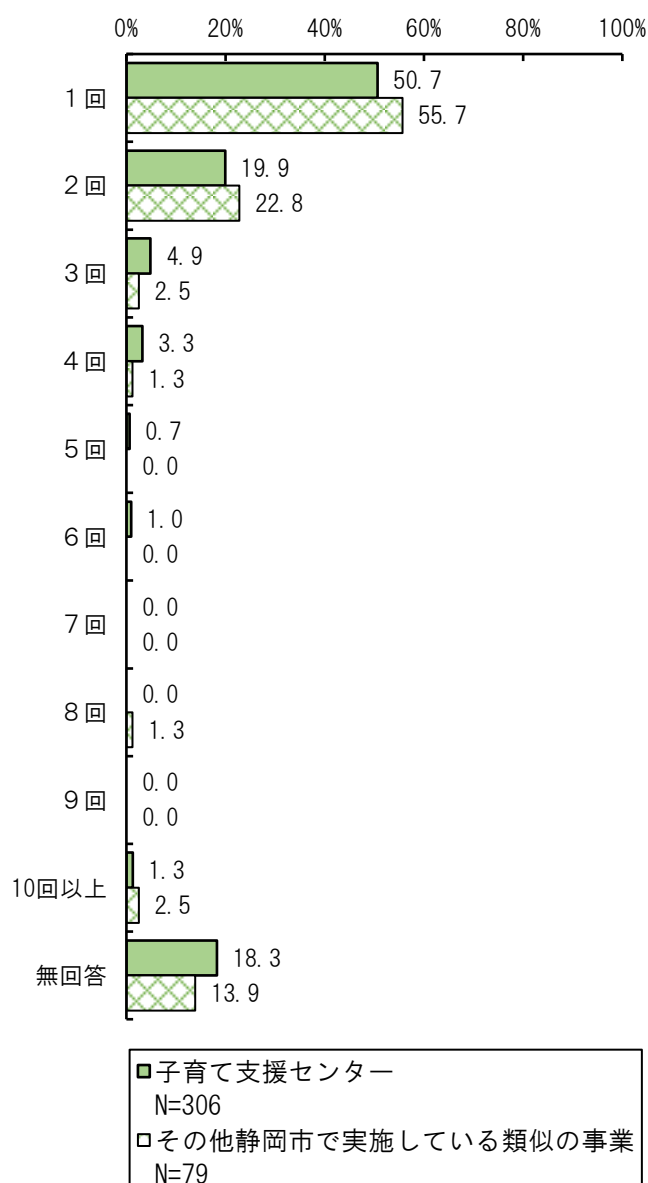
1ヶ月当たりについては、子育て支援センターでは、「1回」が50.7%と最も高く、次いで「2回」が19.9%、「3回」が4.9%などとなっています。

その他静岡市で実施している類似の事業では、「1回」が55.7%と最も高く、次いで「2回」が22.8%、「3回」、「10回以上」が2.5%などとなっています。

【1週当たり】



【1ヶ月当たり】

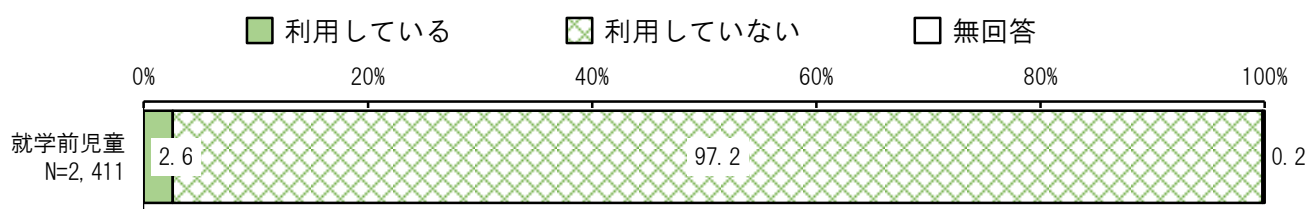


※設問では「1週当たり」もしくは「1ヶ月当たり」のどちらかを回答するようになっています。

(12) 子ども未来サポーター等の利用の有無（単数回答）

《就学前児童調査…問20》

「利用している」が2.6%、「利用していない」が97.2%となっています。

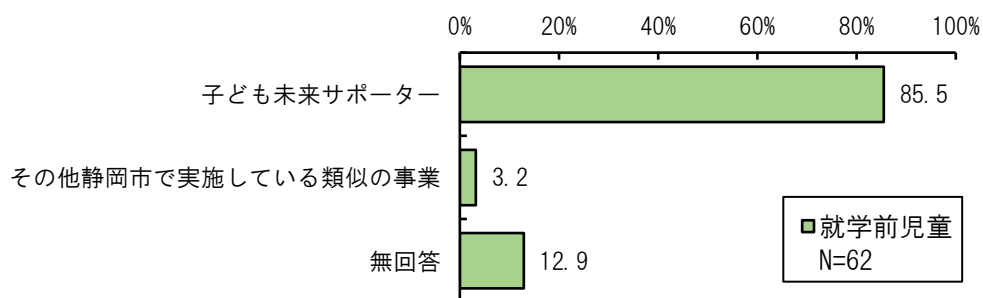


(12) で「利用している」を選んだ方

(13) 現在利用している事業（複数回答）

《就学前児童調査…問20》

「子ども未来サポーター」が85.5%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が3.2%となっています。

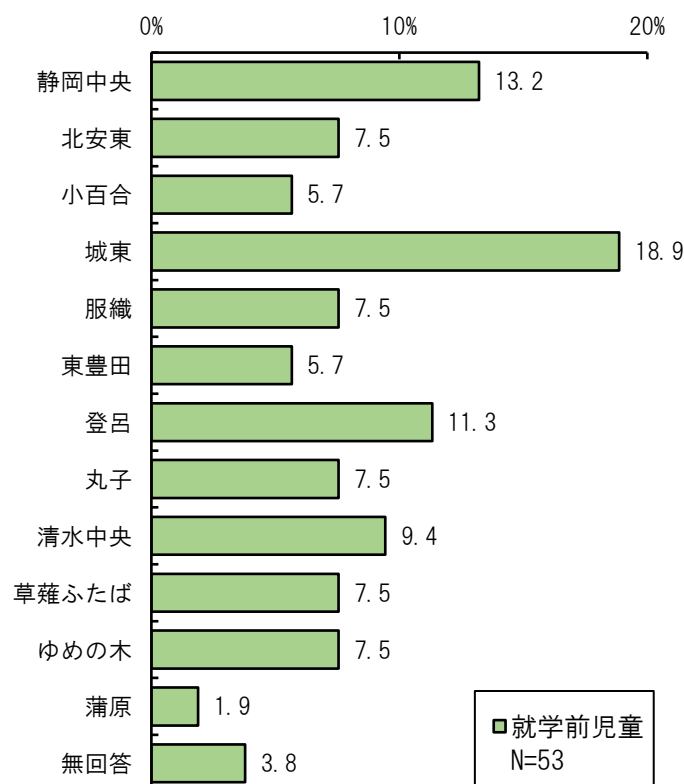


【9 子育て支援センター等の利用状況について】

(13) で「子ども未来サポーター」を選んだ方

(14)現在利用している子ども未来サポーターが配置されている子育て支援センター(複数回答)
《就学前児童調査…問20》

「城東」が18.9%と最も高く、次いで「静岡中央」が13.2%、「登呂」が11.3%などとなっています。



【居住する行政区別】

居住する行政区別にみると、“葵区”では「城東」が最も高く、“駿河区”では「登呂」が最も高く、“清水区”では「清水中央」、「草薙ふたば」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	東豊田	登呂	丸子	清水中央	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	無回答
葵区	20	5	2	1	6	3	-	-	1	-	-	1	-	2
	100.0	25.0	10.0	5.0	30.0	15.0	-	-	5.0	-	-	5.0	-	10.0
駿河区	21	2	2	1	3	1	2	6	3	1	-	1	-	-
	100.0	9.5	9.5	4.8	14.3	4.8	9.5	28.6	14.3	4.8	-	4.8	-	-
清水区	12	-	-	1	1	-	1	-	-	4	4	2	1	-
	100.0	-	-	8.3	8.3	-	8.3	-	-	33.3	33.3	16.7	8.3	-

(13) で「子ども未来サポーター」「その他静岡市で実施している類似の事業」を選んだ方

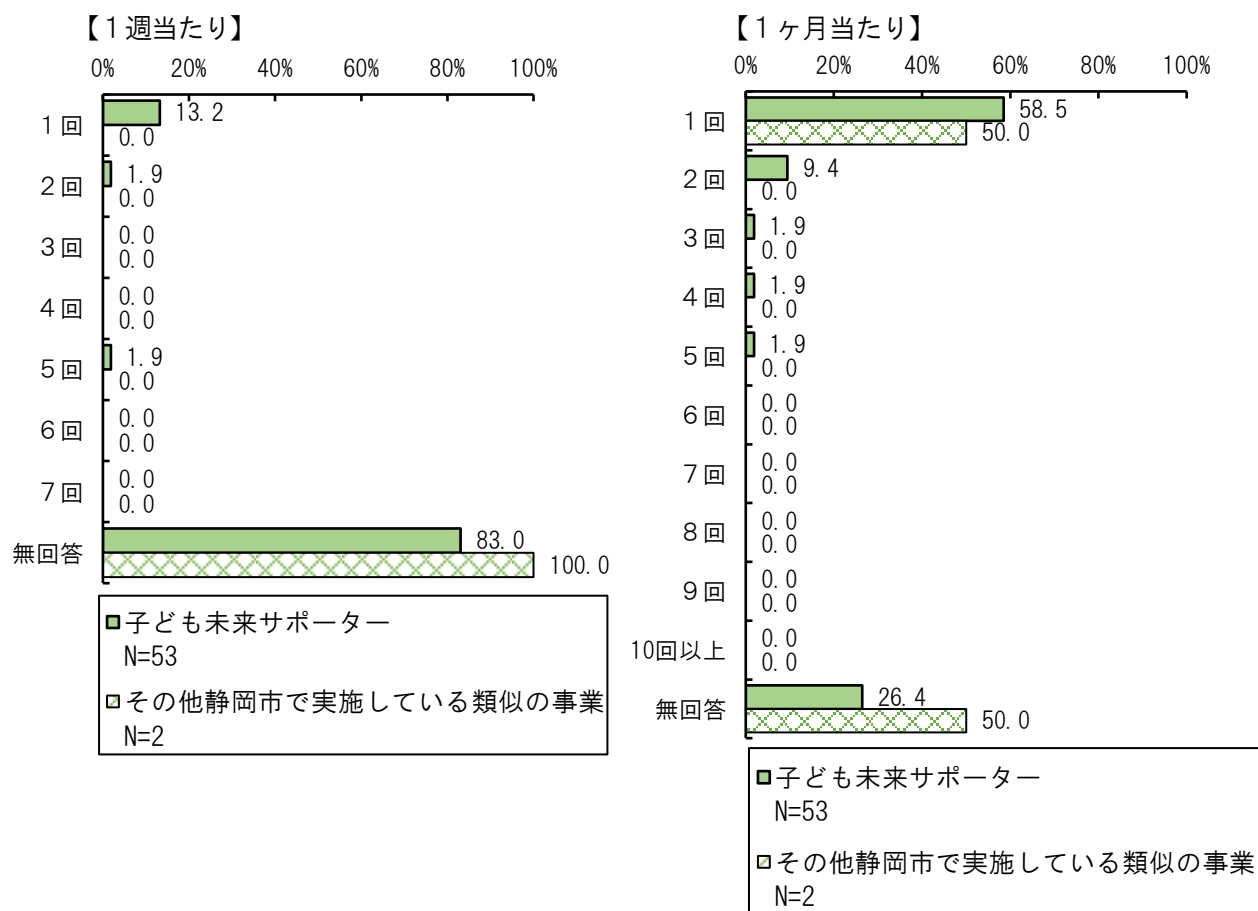
(15) 現在利用している子ども未来サポーター等の利用回数（数量回答）

《就学前児童調査…問20》

1週当たりについては、子ども未来サポーターでは、「1回」が13.2%と最も高く、次いで「2回」、「5回」が1.9%などとなっています。

1ヶ月当たりについては、子ども未来サポーターでは、「1回」が58.5%と最も高く、次いで「2回」が9.4%、「3回」、「4回」、「5回」が1.9%などとなっています。

その他静岡市で実施している類似の事業では、1ヶ月当たりでは、「1回」が50.0%となっています。



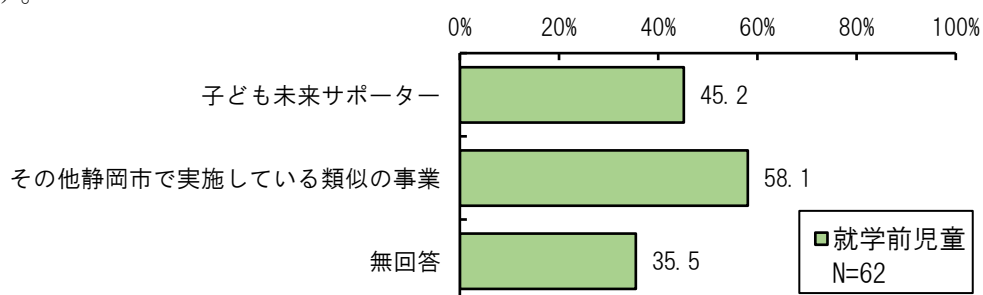
※設問では「1週当たり」もしくは「1ヶ月当たり」のどちらかを回答するようになっています。

(12) で「(子ども未来サポーター等を) 利用している」を選んだ方

(16) 今後利用を希望する事業（現在利用している方）（複数回答）

《就学前児童調査…問20》

「子ども未来サポーター」が45.2%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が58.1%となっています。



【9 子育て支援センター等の利用状況について】

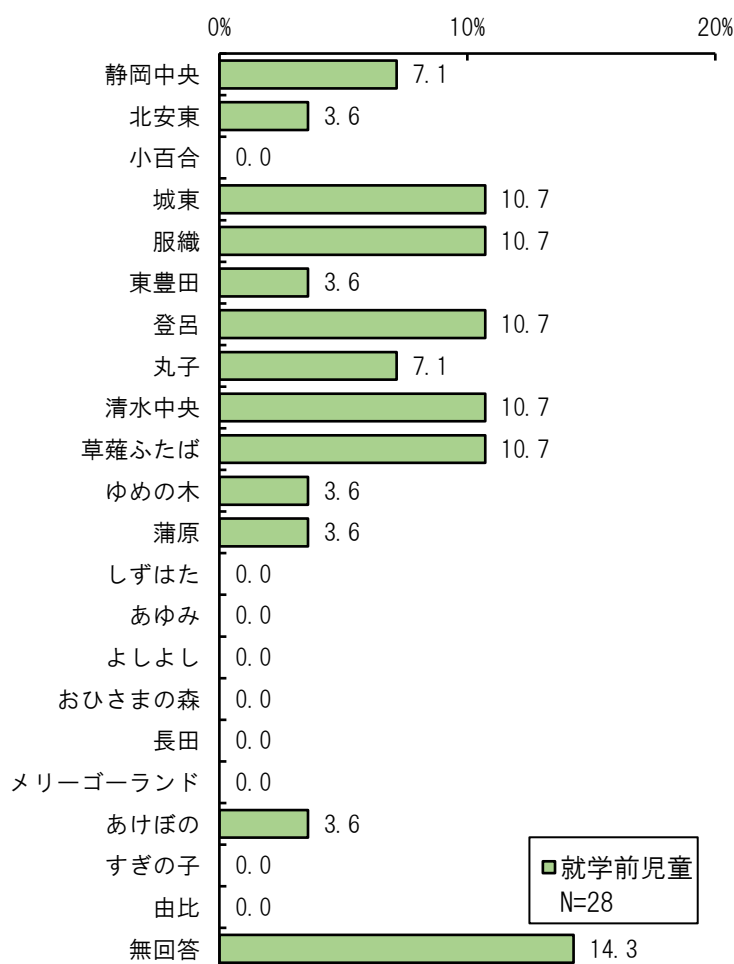
(16) で「子ども未来サポーター」を選んだ方

(17) 今後利用を希望する子ども未来サポーターが配置されている子育て支援センター

(現在利用している方) (単数回答)

《就学前児童調査…問20》

「城東」、「服織」、「登呂」、「清水中央」、「草薙ふたば」が 10.7%と最も高く、次いで「静岡中央」、「丸子」が 7.1%、「北安東」、「東豊田」、「ゆめの木」、「蒲原」、「あけぼの」が 3.6%などとなっています。



【居住する行政区別】

居住する行政区別にみると、「葵区」では「服織」が最も高く、「駿河区」では「登呂」が最も高く、「清水区」では「草薙ふたば」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	東豊田	登呂	丸子	清水中央	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	しずはた	あゆみ	よしよし	おひさまの森	長田	メリーゴーランド	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
葵区	10	1	1	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
	100.0	10.0	10.0	-	20.0	30.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	20.0
駿河区	9	-	-	-	1	-	-	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	100.0	-	-	-	11.1	-	-	33.3	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22.2
清水区	9	1	-	-	-	-	1	-	-	2	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	11.1	-	-	-	-	11.1	-	-	22.2	33.3	11.1	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(16) で「子ども未来サポーター」「その他静岡市で実施している類似の事業」を選んだ方

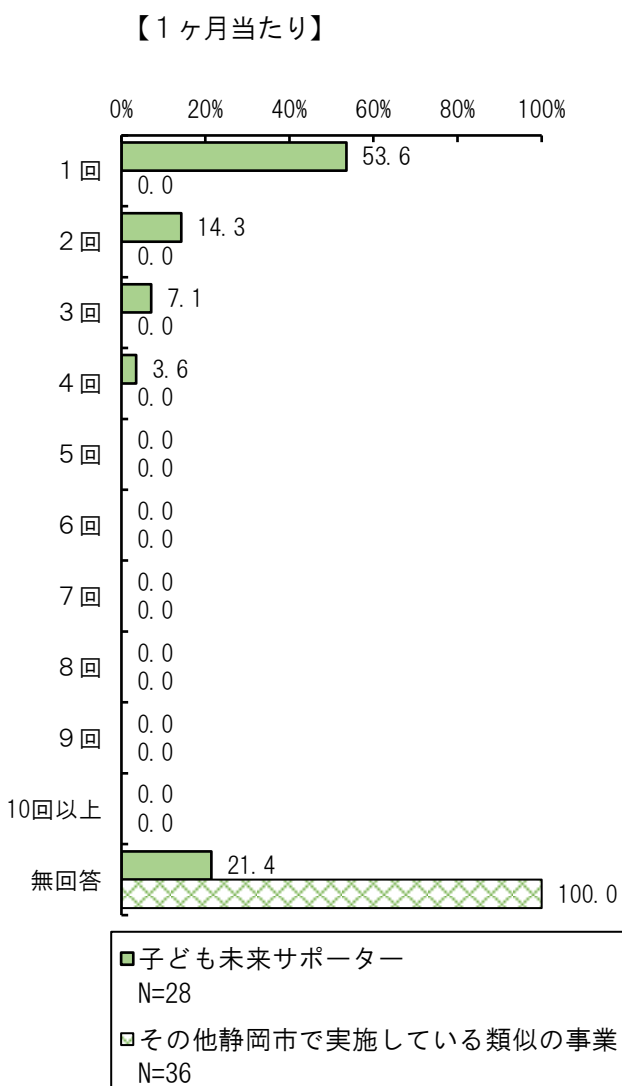
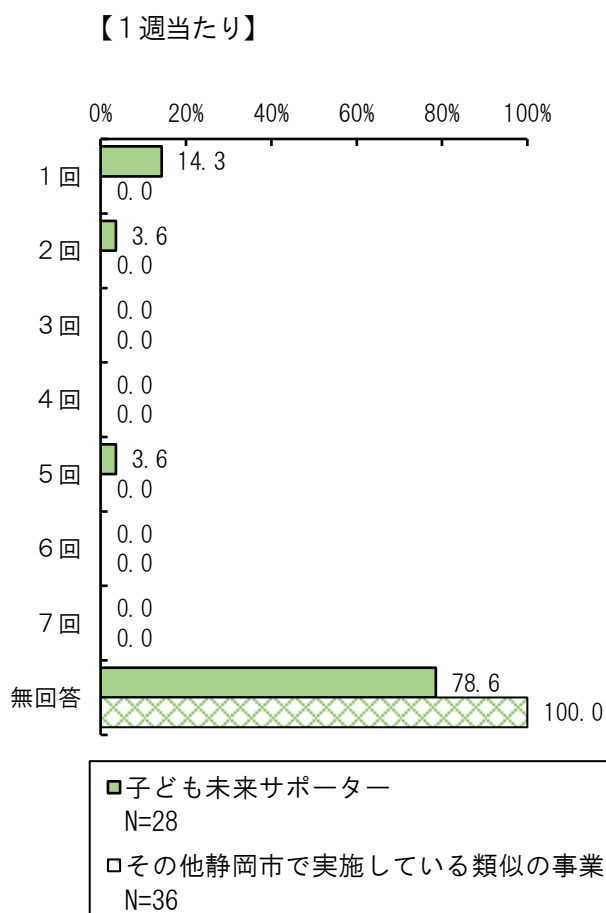
(18) 今後利用を希望する子ども未来サポーターの希望利用回数（現在利用している方）

（数量回答）

《就学前児童調査…問20》

1週当たりについては、子ども未来サポーターでは、「1回」が14.3%と最も高く、次いで「2回」、「5回」が3.6%となっています。

1ヶ月当たりについては、子ども未来サポーターでは、「1回」が53.6%と最も高く、次いで「2回」が14.3%、「3回」が7.1%などとなっています。



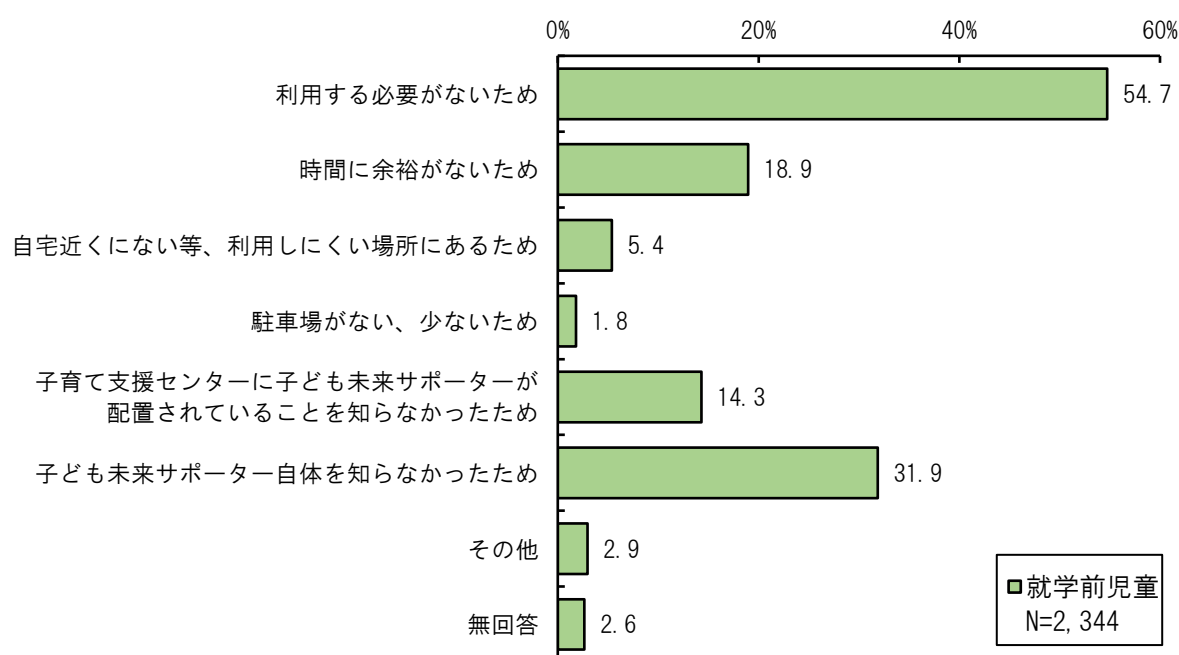
※設問では「1週当たり」もしくは「1ヶ月当たり」のどちらかを回答するようになっています。

【9 子育て支援センター等の利用状況について】

(12) で「(子ども未来サポーター等を) 利用していない」を選んだ方

(19) 子ども未来サポーター等を利用していない理由（複数回答） 《就学前児童調査…問20》

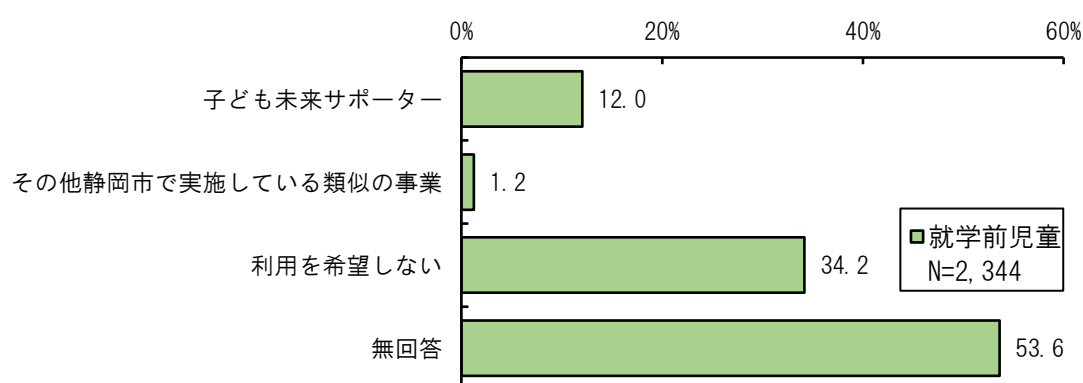
「利用する必要がないため」が 54.7%と最も高く、次いで「子ども未来サポーター自体を知らなかったため」が 31.9%、「時間に余裕がないため」が 18.9%などとなっています。



(12) で「(子ども未来サポーター等を) 利用していない」を選んだ方

(20) 今後利用を希望する事業（現在利用していない方）（複数回答） 《就学前児童調査…問20》

「利用を希望しない」が 34.2%と最も高く、次いで「子ども未来サポーター」が 12.0%、「その他静岡市で実施している類似の事業」が 1.2%となっています。



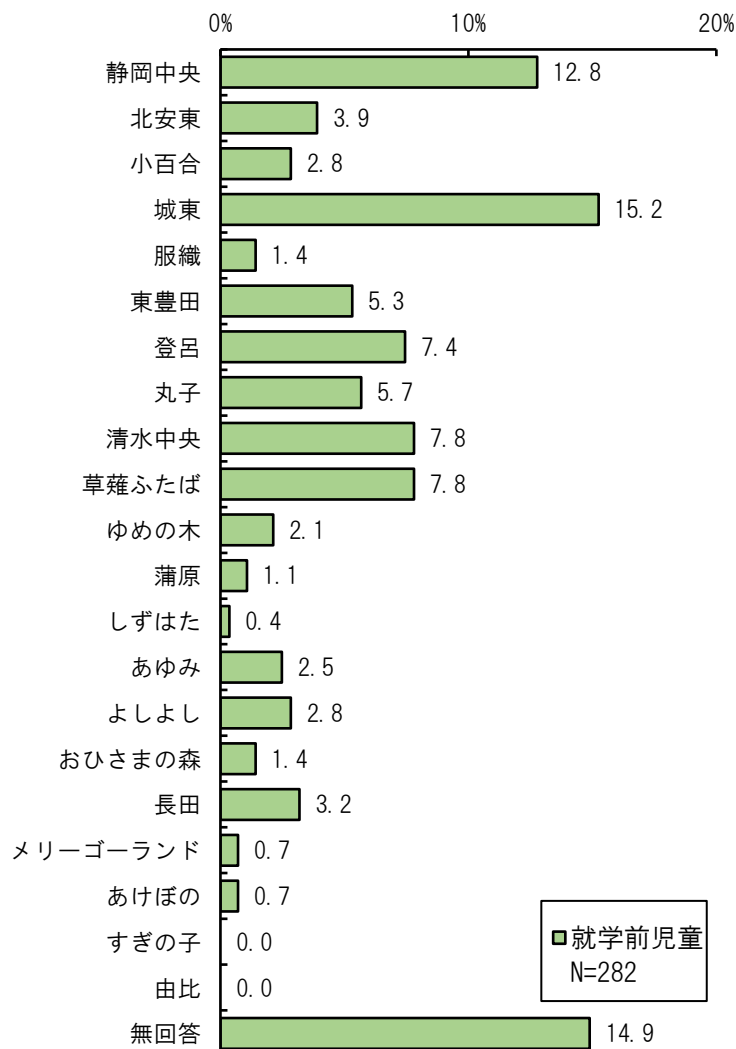
(20) で「子ども未来サポーター」を選んだ方

(21) 今後利用を希望する子ども未来サポーターが配置されている子育て支援センター

(現在利用していない方) (単数回答)

《就学前児童調査…問20》

「城東」が15.2%と最も高く、次いで「静岡中央」が12.8%、「清水中央」、「草薙ふたば」が7.8%などとなっています。



【居住する行政区別】

居住する行政区別にみると、“葵区”では「城東」が最も高く、“駿河区”では「静岡中央」が最も高く、“清水区”では「清水中央」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	静岡中央	北安東	小百合	城東	服織	東豊田	登呂	丸子	清水中央	草薙ふたば	ゆめの木	蒲原	しずはた	あゆみ	よしよし	おひさまの森	長田	メリーゴーランド	あけぼの	すぎの子	由比	無回答
葵区	110	17	7	7	31	2	3	5	4	3	7	1	-	-	2	4	-	1	1	-	-	-	15
	100.0	15.5	6.4	6.4	28.2	1.8	2.7	4.5	3.6	2.7	6.4	0.9	-	-	1.8	3.6	-	0.9	0.9	-	-	-	13.6
駿河区	88	16	-	1	6	2	11	13	10	2	6	-	-	1	1	2	-	5	-	1	-	-	11
	100.0	18.2	-	1.1	6.8	2.3	12.5	14.8	11.4	2.3	6.8	-	-	1.1	1.1	2.3	-	5.7	-	1.1	-	-	12.5
清水区	84	3	4	-	6	-	1	3	2	17	9	5	3	-	4	2	4	3	1	1	-	-	16
	100.0	3.6	4.8	-	7.1	-	1.2	3.6	2.4	20.2	10.7	6.0	3.6	-	4.8	2.4	4.8	3.6	1.2	1.2	-	-	19.0

(20) で「子ども未来サポーター」「その他静岡市で実施している類似の事業」を選んだ方

(22) 今後利用を希望する子ども未来サポーター等の希望利用回数（現在利用していない方）

（数量回答）

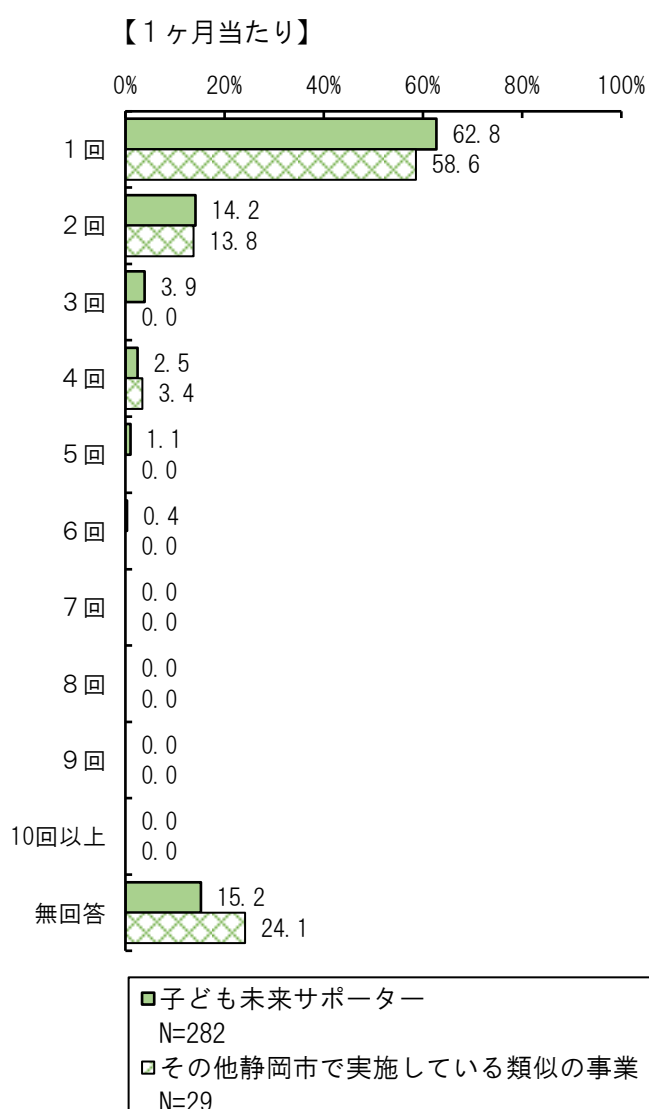
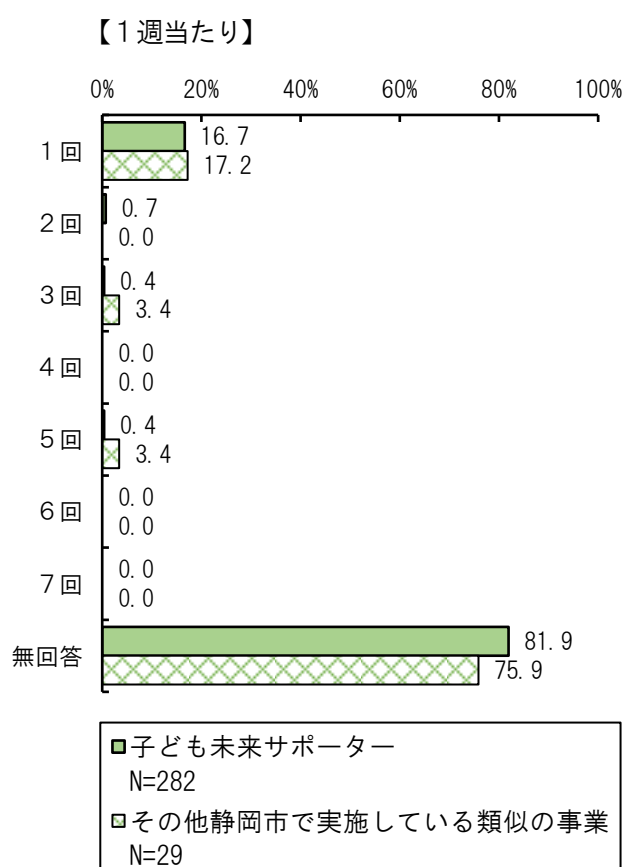
《就学前児童調査…問20》

1週当たりについては、子ども未来サポーターでは、「1回」が16.7%と最も高く、次いで「2回」が0.7%、「3回」、「5回」が0.4%などとなっています。

その他静岡市で実施している類似の事業では、「1回」が17.2%と最も高く、次いで「3回」、「5回」が3.4%などとなっています。

1ヶ月当たりについては、子ども未来サポーターでは、「1回」が62.8%と最も高く、次いで「2回」が14.2%、「3回」が3.9%などとなっています。

その他静岡市で実施している類似の事業では、「1回」が58.6%と最も高く、次いで「2回」が13.8%、「4回」が3.4%などとなっています。

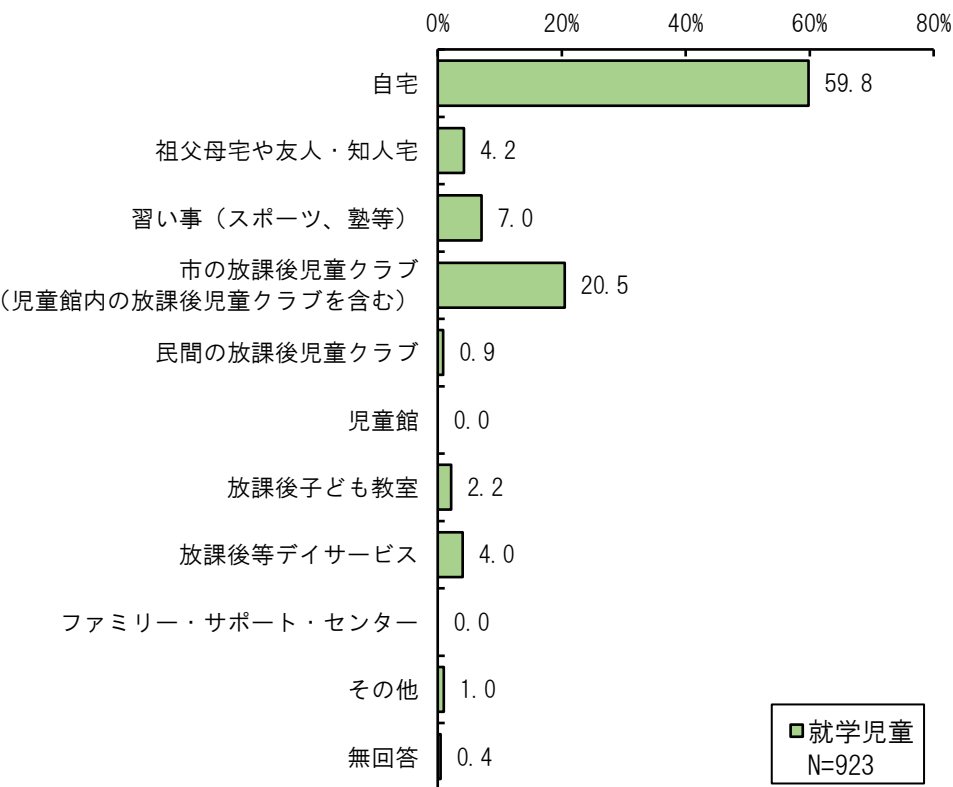


※設問では「1週当たり」もしくは「1ヶ月当たり」のどちらかを回答するようになっています。

10 放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用について

(1) 放課後に過ごす場所（単数回答） 《就学児童調査…問14》

「自宅」が59.8%と最も高く、次いで「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が20.5%、「習い事（スポーツ、塾等）」が7.0%などとなっています。



【学年別】

学年別にみると、“1年生”では「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が最も高く、“2年生以上”では「自宅」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（スポーツ、塾等）	市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）	民間の放課後児童クラブ	児童館	放課後子ども教室	放課後等デイサービス	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
1年生	145	57	5	8	63	1	-	4	7	-	-	-
	100.0	39.3	3.4	5.5	43.4	0.7	-	2.8	4.8	-	-	-
2年生	162	86	10	9	49	2	-	2	4	-	-	-
	100.0	53.1	6.2	5.6	30.2	1.2	-	1.2	2.5	-	-	-
3年生	162	96	3	13	33	3	-	4	8	-	2	-
	100.0	59.3	1.9	8.0	20.4	1.9	-	2.5	4.9	-	1.2	-
4年生	146	98	8	13	14	-	-	5	4	-	4	-
	100.0	67.1	5.5	8.9	9.6	-	-	3.4	2.7	-	2.7	-
5年生	137	93	6	14	12	1	-	3	6	-	-	2
	100.0	67.9	4.4	10.2	8.8	0.7	-	2.2	4.4	-	-	1.5
6年生	169	121	7	8	18	1	-	2	8	-	3	1
	100.0	71.6	4.1	4.7	10.7	0.6	-	1.2	4.7	-	1.8	0.6
無回答	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0

【10 放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用について】

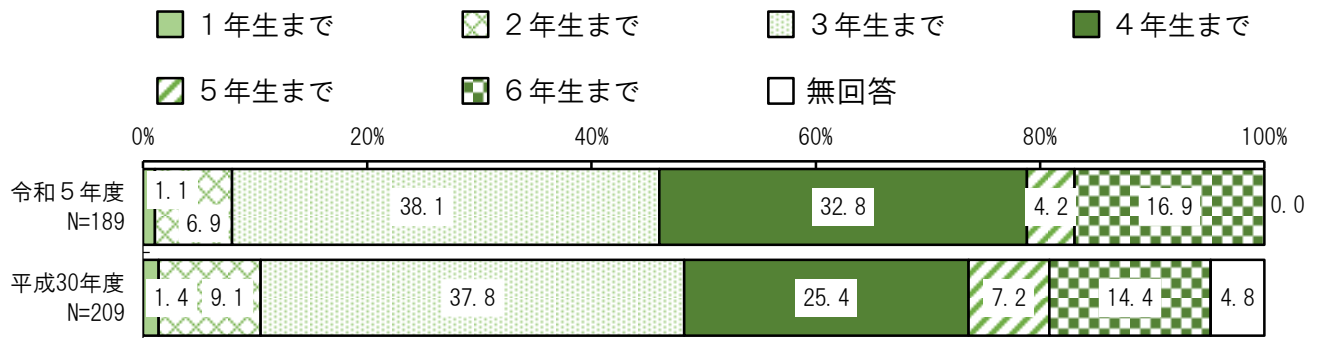
(1) で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

(2) 市の放課後児童クラブを利用予定の学年（単数回答）

《就学児童調査…問15》

「3年生まで」が38.1%と最も高く、次いで「4年生まで」が32.8%、「6年生まで」が16.9%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに「3年生まで」が最も高くなっています。



【学年別】

学年別にみると、“1年生”～“3年生”では「3年生まで」が最も高く、“4年生”～“6年生”では「4年生まで」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

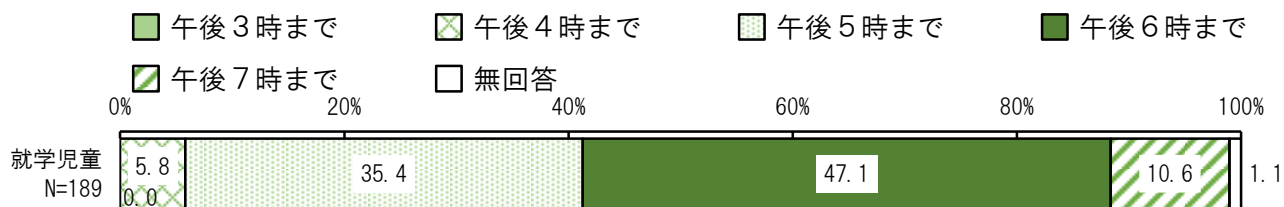
	調査数	1年生まで	2年生まで	3年生まで	4年生まで	5年生まで	6年生まで	無回答
1年生	63	2	6	28	15	1	11	-
	100.0	3.2	9.5	44.4	23.8	1.6	17.5	-
2年生	49	-	6	23	12	2	6	-
	100.0	-	12.2	46.9	24.5	4.1	12.2	-
3年生	33	-	-	13	10	2	8	-
	100.0	-	-	39.4	30.3	6.1	24.2	-
4年生	14	-	-	3	7	1	3	-
	100.0	-	-	21.4	50.0	7.1	21.4	-
5年生	12	-	-	3	8	-	1	-
	100.0	-	-	25.0	66.7	-	8.3	-
6年生	18	-	1	2	10	2	3	-
	100.0	-	5.6	11.1	55.6	11.1	16.7	-

(1) で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

(3) 市の放課後児童クラブの迎えの予定時間（単数回答）

《就学児童調査…問15》

「午後6時まで」が47.1%と最も高く、次いで「午後5時まで」が35.4%、「午後7時まで」が10.6%などとなっています。



【学年別】

学年別にみると、“1年生”と“3年生”～“6年生”では「午後6時まで」が最も高く、“2年生”では「午後5時まで」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

	調査数	午後3時まで	午後4時まで	午後5時まで	午後6時まで	午後7時まで	無回答
1年生	63	－	3	21	34	3	2
	100.0	－	4.8	33.3	54.0	4.8	3.2
2年生	49	－	4	23	18	4	－
	100.0	－	8.2	46.9	36.7	8.2	－
3年生	33	－	2	8	16	7	－
	100.0	－	6.1	24.2	48.5	21.2	－
4年生	14	－	－	6	8	－	－
	100.0	－	－	42.9	57.1	－	－
5年生	12	－	1	4	6	1	－
	100.0	－	8.3	33.3	50.0	8.3	－
6年生	18	－	1	5	7	5	－
	100.0	－	5.6	27.8	38.9	27.8	－

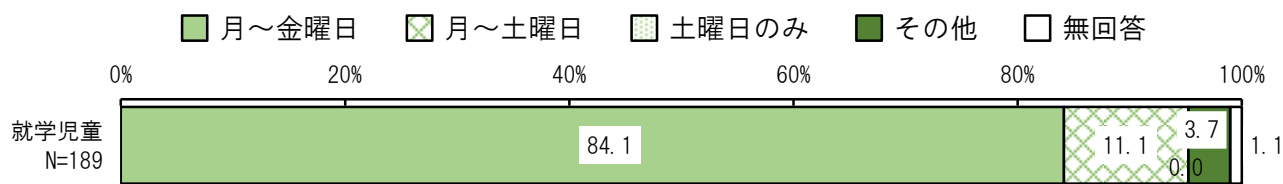
【10 放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用について】

(1) で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

(4) 市の放課後児童クラブの利用予定曜日（単数回答）

《就学児童調査…問15》

「月～金曜日」が 84.1%と最も高く、次いで「月～土曜日」が 11.1%などとなっています。



【居住する行政区別】

居住する行政区別にみると、どの行政区でも「月～金曜日」が最も高くなっています。

(上段：実数、下段：%)

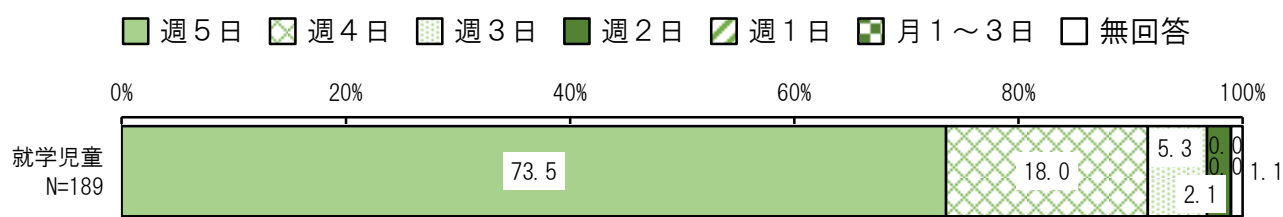
	調査数	月～金曜日	月～土曜日	土曜日のみ	その他	無回答
葵区	71	55	12	－	3	1
	100.0	77.5	16.9	－	4.2	1.4
駿河区	61	51	8	－	2	－
	100.0	83.6	13.1	－	3.3	－
清水区	57	53	1	－	2	1
	100.0	93.0	1.8	－	3.5	1.8

(1) で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

(5) 市の放課後児童クラブの平日の利用予定日数（単数回答）

《就学児童調査…問15》

「週 5 日」が 73.5%と最も高く、次いで「週 4 日」が 18.0%、「週 3 日」が 5.3%などとなっています。

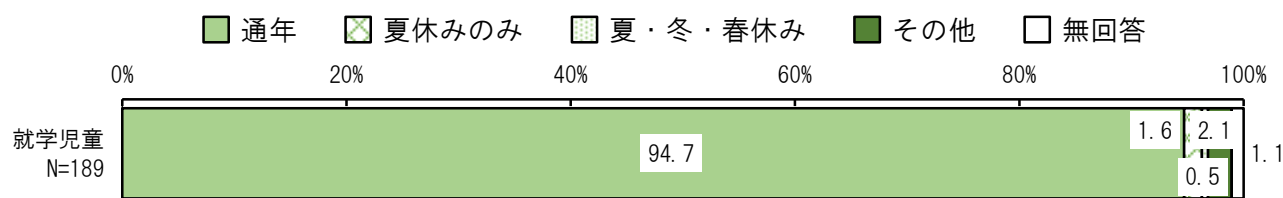


(1) で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

(6) 市の放課後児童クラブの利用予定期間（単数回答）

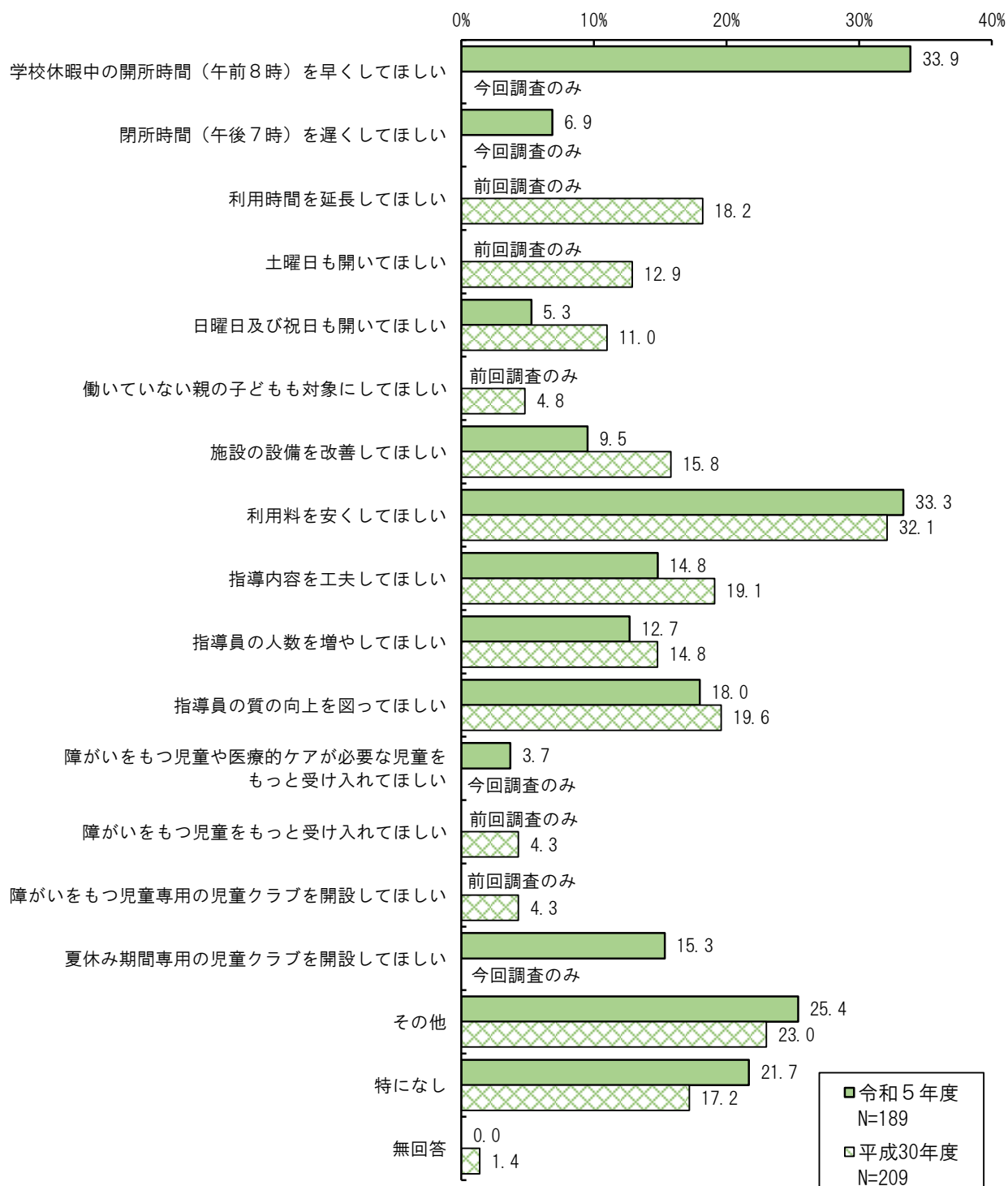
《就学児童調査…問15》

「通年」が 94.7%と最も高く、次いで「夏休みのみ」が 1.6%、「夏・冬・春休み」が 0.5%などとなっています。



「学校休暇中の開所時間（午前8時）を早くしてほしい」が33.9%と最も高く、次いで「利用料を安くしてほしい」が33.3%、「指導員の質の向上を図ってほしい」が18.0%などとなっています。「特になし」が21.7%となっています。

平成30年度調査では「利用料を安くしてほしい」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査では「学校休暇中の開所時間（午前8時）を早くしてほしい」が最も高くなっています。



※平成30年度では、「利用料を安くしてほしい」が「利用料（負担金）が高いので安くしてほしい」となっています。

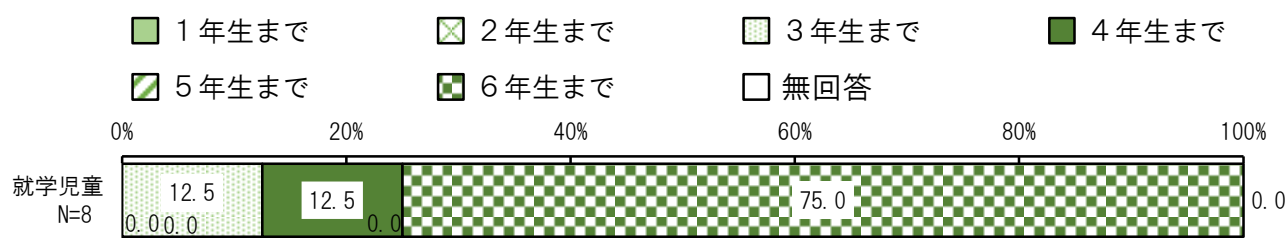
【10 放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用について】

(1) で「民間の放課後児童クラブ」を選んだ方

(8) 民間の放課後児童クラブを利用予定の学年（単数回答）

《就学児童調査…問17》

「6年生まで」が75.0%と最も高く、次いで「3年生まで」、「4年生まで」が12.5%などとなっています。

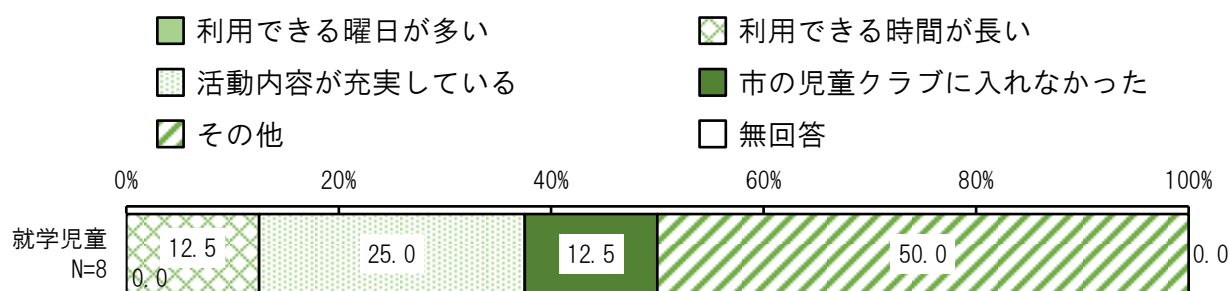


(1) で「民間の放課後児童クラブ」を選んだ方

(9) 民間の放課後児童クラブを利用する主な理由（単数回答）

《就学児童調査…問17》

「活動内容が充実している」が25.0%と最も高く、次いで「利用できる時間が長い」、「市の児童クラブに入れなかった」が12.5%などとなっています。

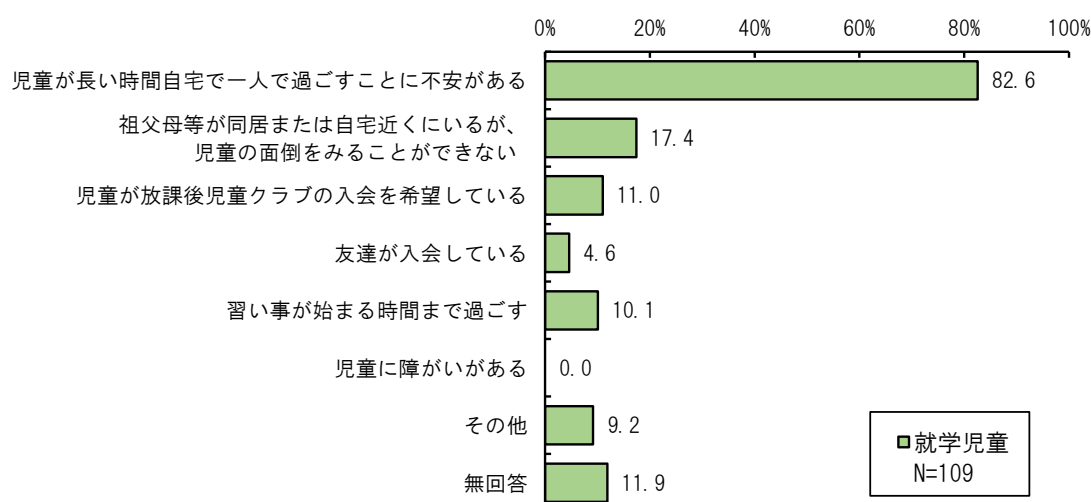


(2) で市の放課後児童クラブの利用予定の学年として「4年生まで」「5年生まで」「6年生まで」を選んだ方、(8) で民間の放課後児童クラブの利用予定の学年として「4年生まで」「5年生まで」「6年生まで」を選んだ方

(10) 放課後児童クラブを利用する理由（複数回答）

《就学児童調査…問18》

「児童が長い時間自宅で一人で過ごすことに不安がある」が82.6%と最も高く、次いで「祖父母等が同居または自宅近くにいるが、児童の面倒をみることができない」が17.4%、「児童が放課後児童クラブの入会を希望している」が11.0%などとなっています。



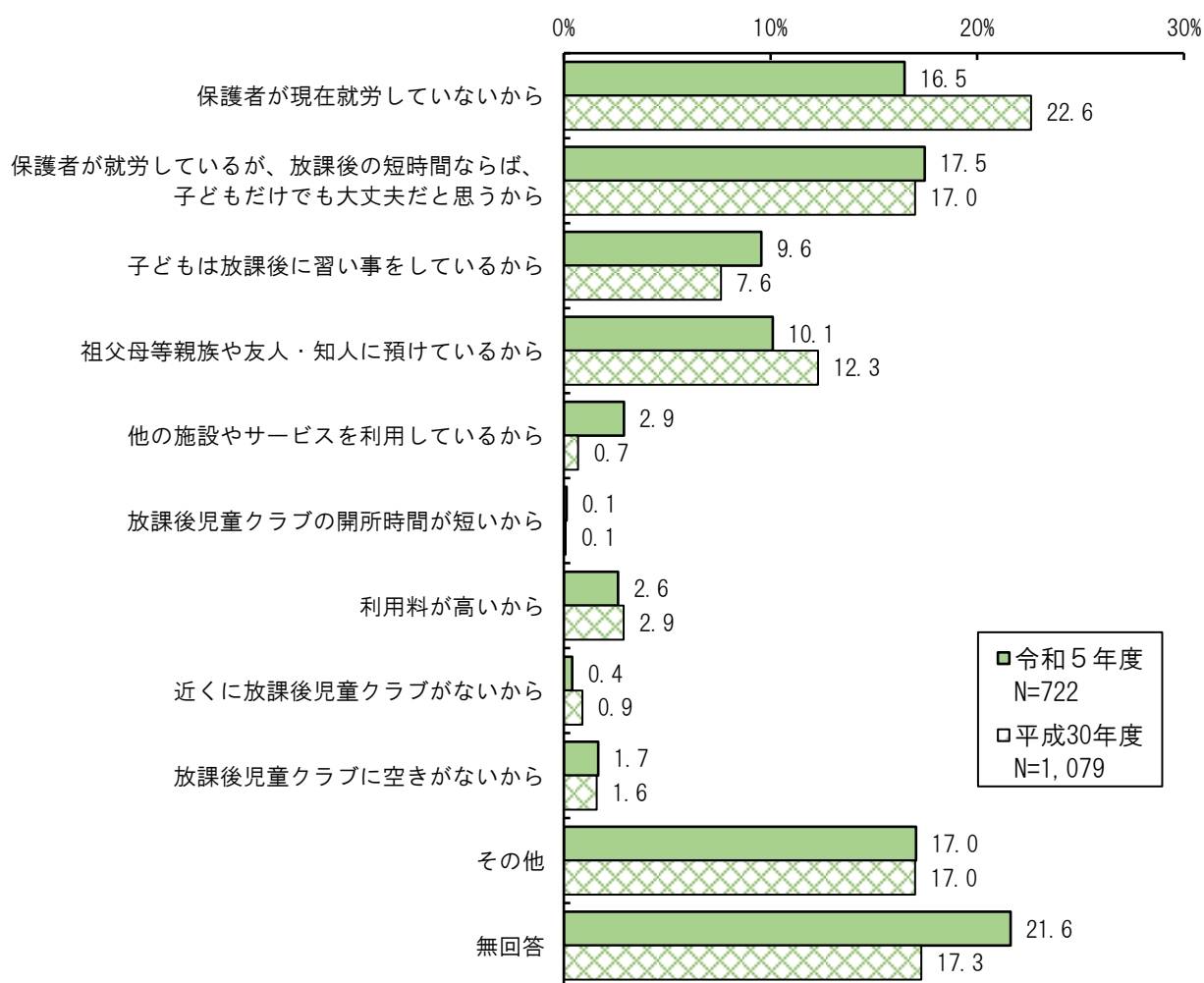
(1)で「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事(スポーツ、塾等)」「児童館」「放課後子ども教室」「放課後等デイサービス」「ファミリー・サポート・センター」「その他」を選んだ方

(11) 放課後児童クラブを利用していない主な理由(単数回答)

《就学児童調査…問19》

「保護者が就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が17.5%と最も高く、次いで「保護者が現在就労していないから」が16.5%、「祖父母等親族や友人・知人に預けているから」が10.1%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、平成30年度調査では「保護者が現在就労していないから」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査では「保護者が就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が最も高くなってしています。



※平成30年度では、「祖父母等親族や友人・知人に預けているから」が「祖父母等親族に預けているから」、「利用料が高いから」が「利用料(負担金)が高いから」となっています。

【10 放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用について】

(1) で「ファミリー・サポート・センター」を選んだ方

(12) ファミリー・サポート・センターの利用状況および利用予定（数量回答）

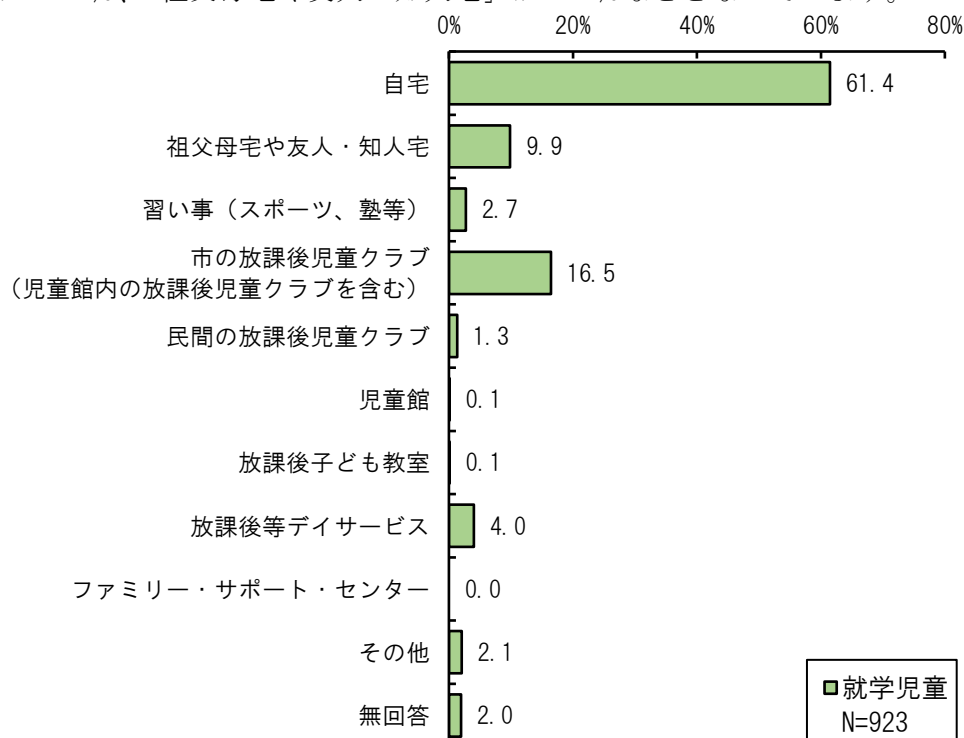
《就学児童調査…問20》

放課後に過ごす場所について、ファミリー・サポート・センターを選んだ方は0人（0.0%）でした。

(13) 長期休暇中の日中を過ごす場所（単数回答）

《就学児童調査…問21》

「自宅」が61.4%と最も高く、次いで「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が16.5%、「祖父母宅や友人・知人宅」が9.9%などとなっています。



【学年別】

学年別にみると、どの学年でも「自宅」が最も高くなっています。

（上段：実数、下段：%）

	調査数	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（スポーツ、塾等）	市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）	民間の放課後児童クラブ	児童館	放課後子ども教室	放課後等デイサービス	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
1年生	145	66	7	3	53	1	1	-	6	-	5	3
	100.0	45.5	4.8	2.1	36.6	0.7	0.7	-	4.1	-	3.4	2.1
2年生	162	90	17	5	37	4	-	-	5	-	3	1
	100.0	55.6	10.5	3.1	22.8	2.5	-	-	3.1	-	1.9	0.6
3年生	162	97	18	3	26	4	-	1	8	-	2	3
	100.0	59.9	11.1	1.9	16.0	2.5	-	0.6	4.9	-	1.2	1.9
4年生	146	99	14	7	12	-	-	-	5	-	4	5
	100.0	67.8	9.6	4.8	8.2	-	-	-	3.4	-	2.7	3.4
5年生	137	98	13	6	8	1	-	-	6	-	2	3
	100.0	71.5	9.5	4.4	5.8	0.7	-	-	4.4	-	1.5	2.2
6年生	169	116	22	1	15	2	-	-	7	-	3	3
	100.0	68.6	13.0	0.6	8.9	1.2	-	-	4.1	-	1.8	1.8
無回答	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-

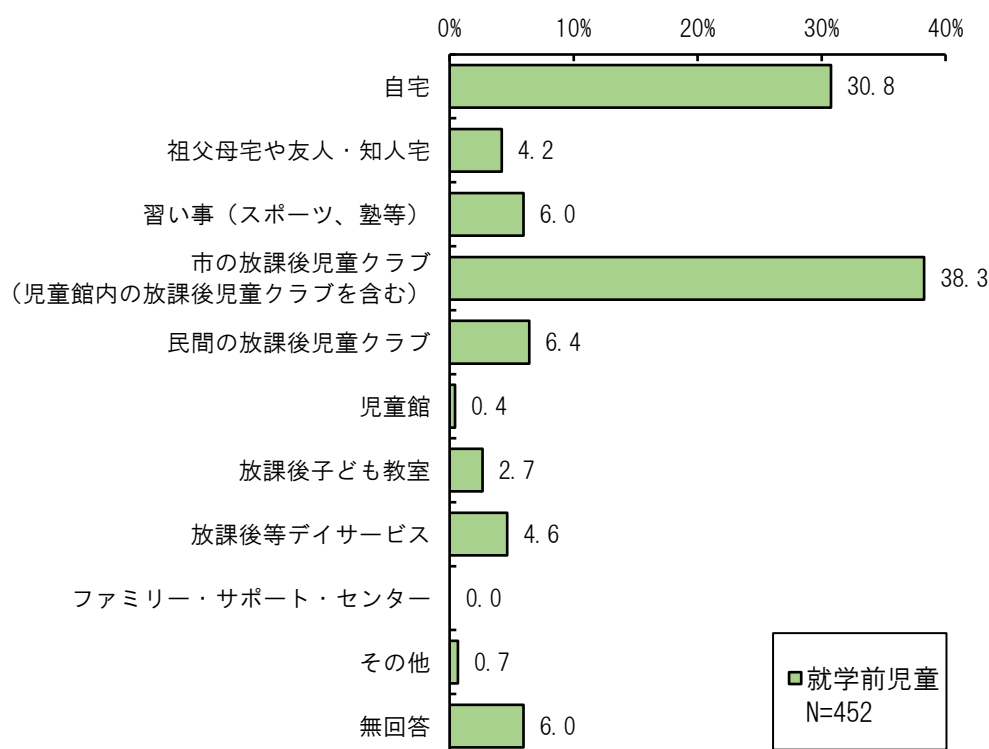
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について

5歳以上（令和5年4月1日時点）の方

（1）就学後の放課後に過ごす場所（単数回答）

《就学前児童調査…問21》

「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」が38.3%と最も高く、次いで「自宅」が30.8%、「民間の放課後児童クラブ」が6.4%などとなっています。

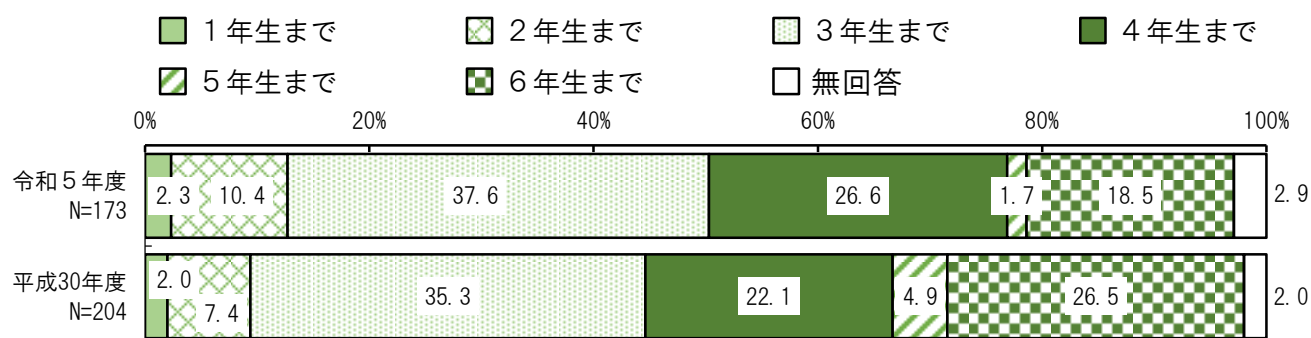


（1）で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

（2）市の放課後児童クラブを何年生まで利用する予定か（単数回答）《就学前児童調査…問22》

「3年生まで」が37.6%と最も高く、次いで「4年生まで」が26.6%、「6年生まで」が18.5%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに「3年生まで」が最も高くなっています。

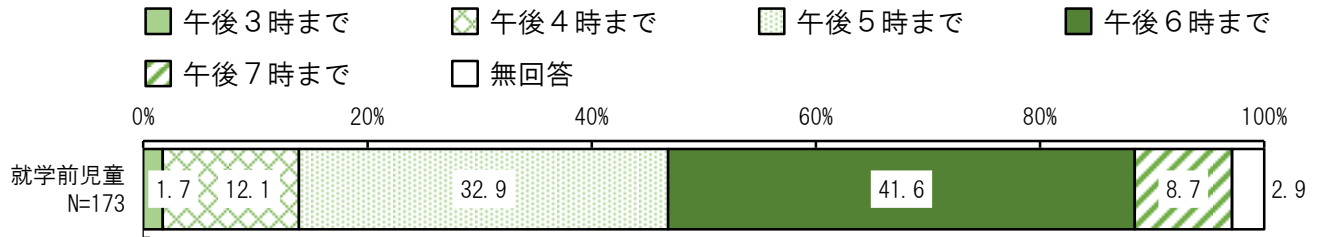


【11 小学校就学後の放課後の過ごし方について】

(1) で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

(3) 市の放課後児童クラブの迎えの予定時間（単数回答） 《就学前児童調査…問22》

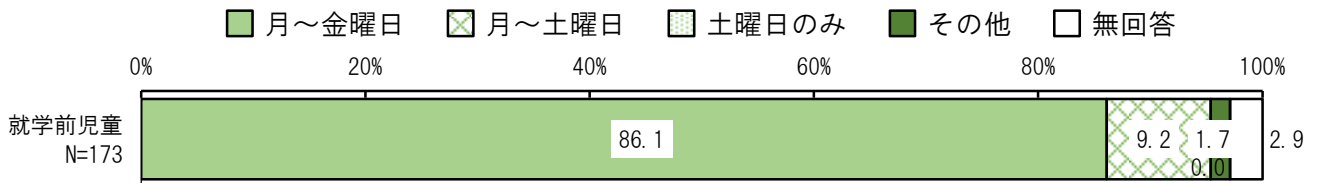
「午後6時まで」が41.6%と最も高く、次いで「午後5時まで」が32.9%、「午後4時まで」が12.1%などとなっています。



(1) で「市の放課後児童クラブ（児童館内の放課後児童クラブを含む）」を選んだ方

(4) 市の放課後児童クラブの利用予定曜日（単数回答） 《就学前児童調査…問22》

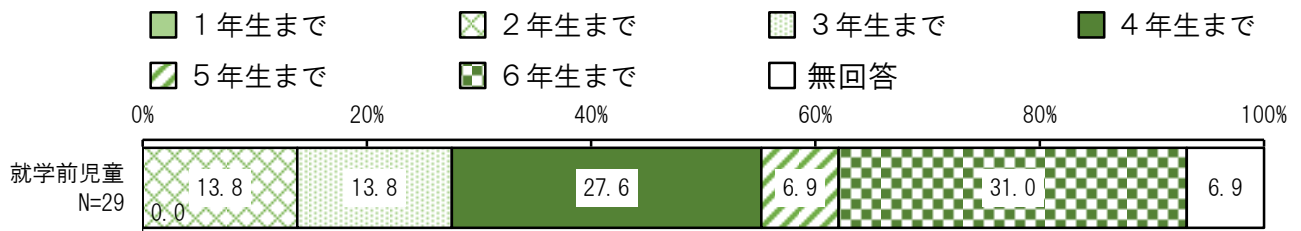
「月～金曜日」が86.1%と最も高く、次いで「月～土曜日」が9.2%などとなっています。



(1) で「民間の放課後児童クラブ」を選んだ方

(5) 民間の放課後児童クラブを利用予定の学年（単数回答） 《就学前児童調査…問23》

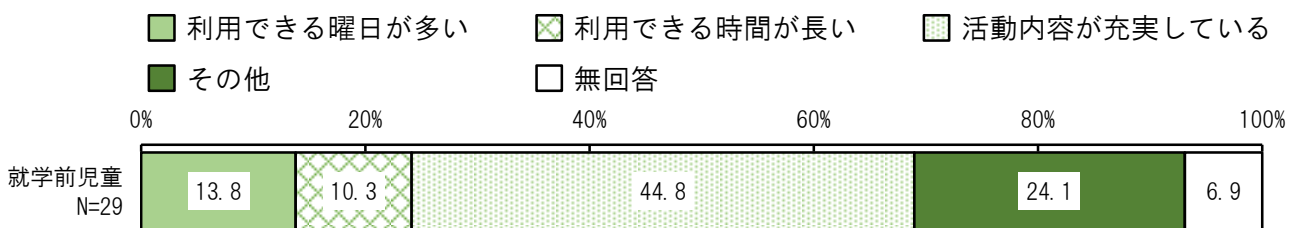
「6年生まで」が31.0%と最も高く、次いで「4年生まで」が27.6%、「2年生まで」、「3年生まで」が13.8%などとなっています。



(1) で「民間の放課後児童クラブ」を選んだ方

(6) 民間の放課後児童クラブの利用を希望する理由（単数回答） 《就学前児童調査…問23》

「活動内容が充実している」が44.8%と最も高く、次いで「利用できる曜日が長い」が13.8%、「利用できる時間が長い」が10.3%などとなっています。



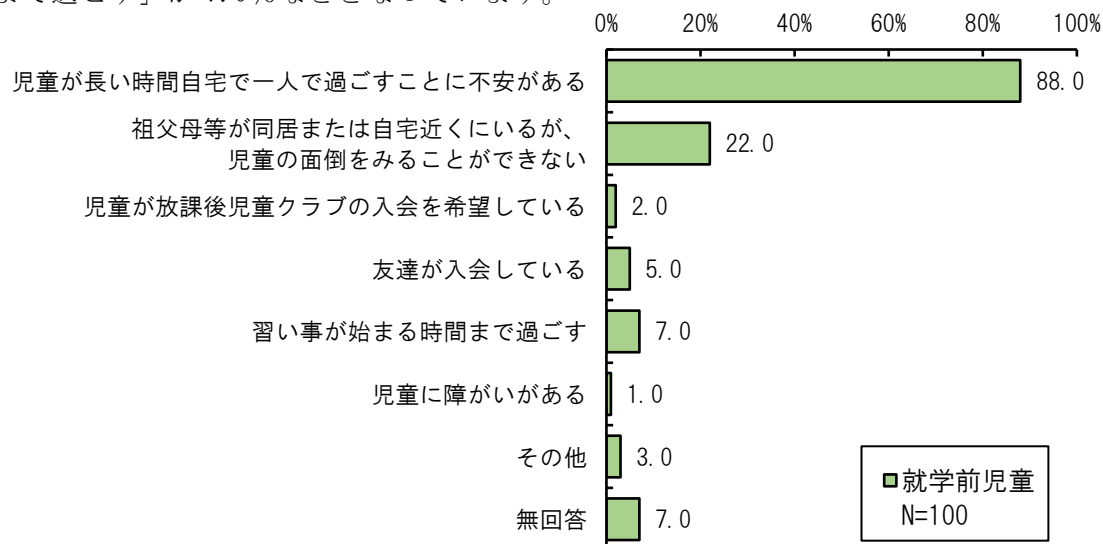
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

(2) で市の放課後児童クラブの利用予定の学年として「4年生まで」「5年生まで」「6年生まで」を選んだ方、(5) で民間の放課後児童クラブの利用予定の学年として「4年生まで」「5年生まで」「6年生まで」を選んだ方

(7) 放課後児童クラブを利用する理由(複数回答)

《就学前児童調査…問24》

「児童が長い時間自宅で一人で過ごすことに不安がある」が88.0%と最も高く、次いで「祖父母等が同居または自宅近くにいるが、児童の面倒をみることができない」が22.0%、「習い事が始まる時間まで過ごす」が7.0%などとなっています。



(1) で「ファミリー・サポート・センター」を選んだ方

(8) ファミリー・サポート・センターの利用予定(数量回答)

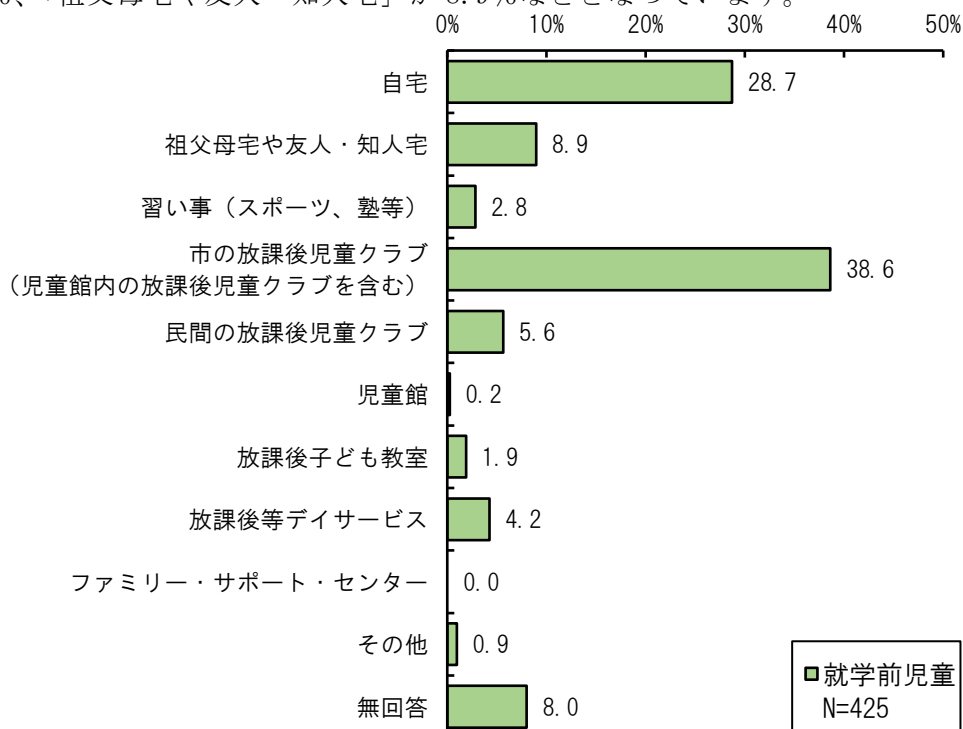
《就学前児童調査…問25》

就学後の放課後に過ごす場所について、ファミリー・サポート・センターを選んだ方は0人(0.0%)でした。

(9) 長期休暇中の日中に過ごす場所(単数回答)

《就学前児童調査…問26》

「市の放課後児童クラブ(児童館内の放課後児童クラブを含む)」が38.6%と最も高く、次いで「自宅」が28.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が8.9%などとなっています。



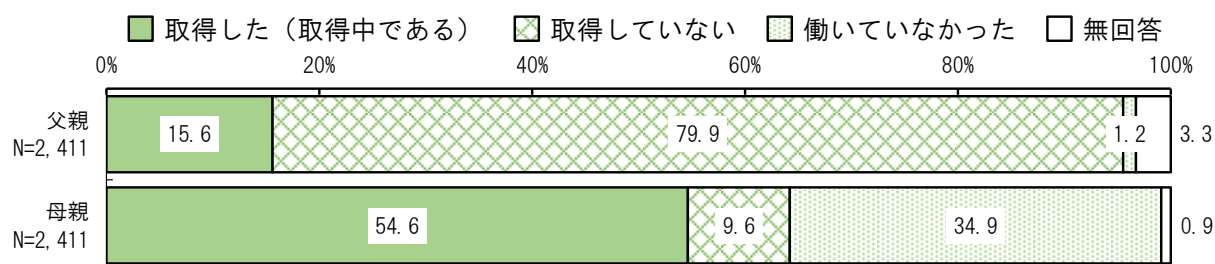
12 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援について

(1) 育児休業の取得状況（単数回答）

《就学前児童調査…問27》

父親では、「取得した（取得中である）」が 15.6%、「取得していない」が 79.9%、「働いていなかった」が 1.2%となっています。

母親では、「取得した（取得中である）」が 54.6%、「取得していない」が 9.6%、「働いていなかった」が 34.9%となっています。



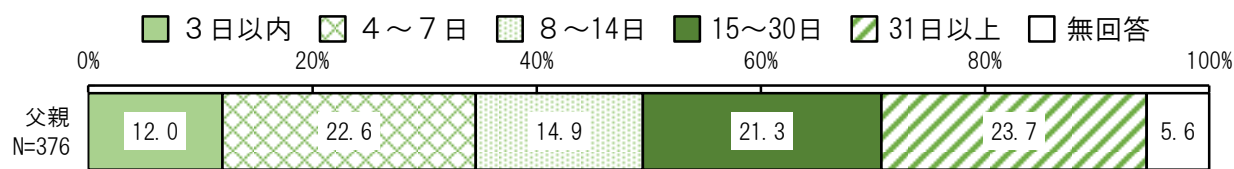
(1) の父親で「取得した（取得中である）」を選んだ方

(2) 育児休業の取得期間（数量回答）

《就学前児童調査…問27》

【父親】

父親では、「31 日以上」が 23.7%と最も高く、次いで「4～7 日」が 22.6%、「15～30 日」が 21.3%などとなっています。



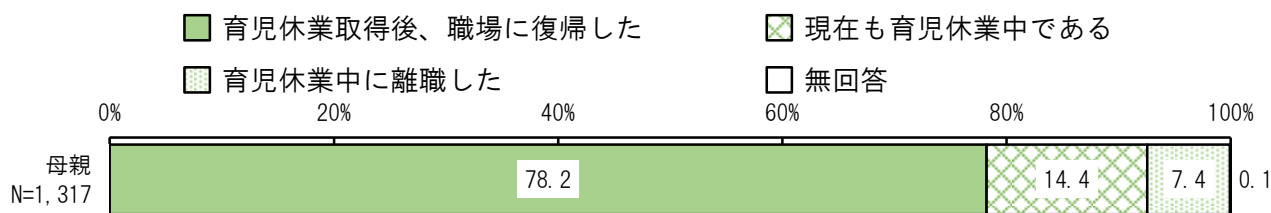
(1) の母親で「取得した（取得中である）」を選んだ方

(3) 育児休業の取得後の状況（単数回答）

《就学前児童調査…問27》

【母親】

母親では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 78.2%、「現在も育児休業中である」が 14.4%、「育児休業中に離職した」が 7.4%となっています。

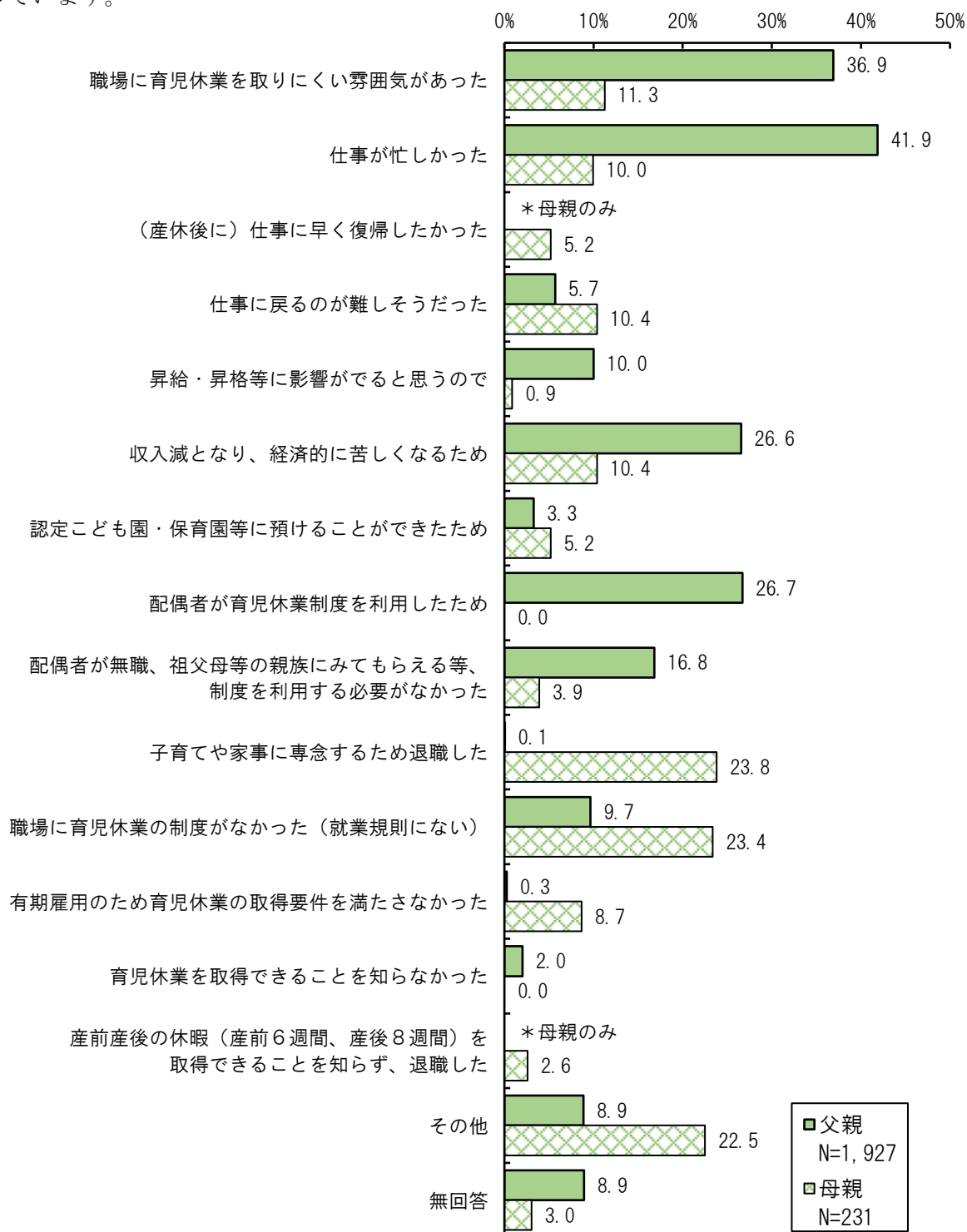


(4) 育児休業を取得していない理由(複数回答)

《就学前児童調査…問27》

父親では、「仕事が忙しかった」が41.9%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が36.9%、「配偶者が育児休業制度を利用したため」が26.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」が26.6%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった」16.8%などとなっています。

母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が23.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則にない)」が23.4%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が11.3%、「仕事に戻るのが難しそうだった」10.4%、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」10.4%などとなっています。



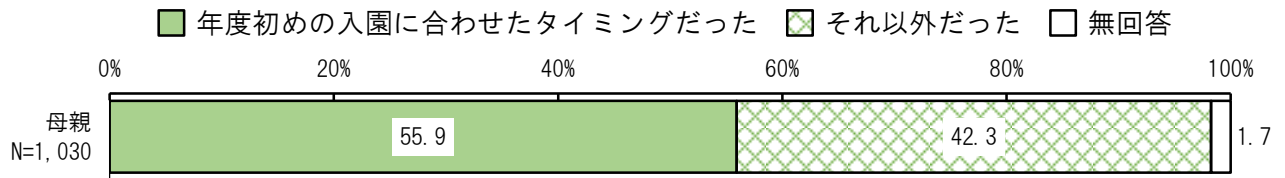
(3)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(5) 職場復帰のタイミング（単数回答）

《就学前児童調査…問28-1》

【母親】

「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が55.9%、「それ以外だった」が42.3%となっています。



(3)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

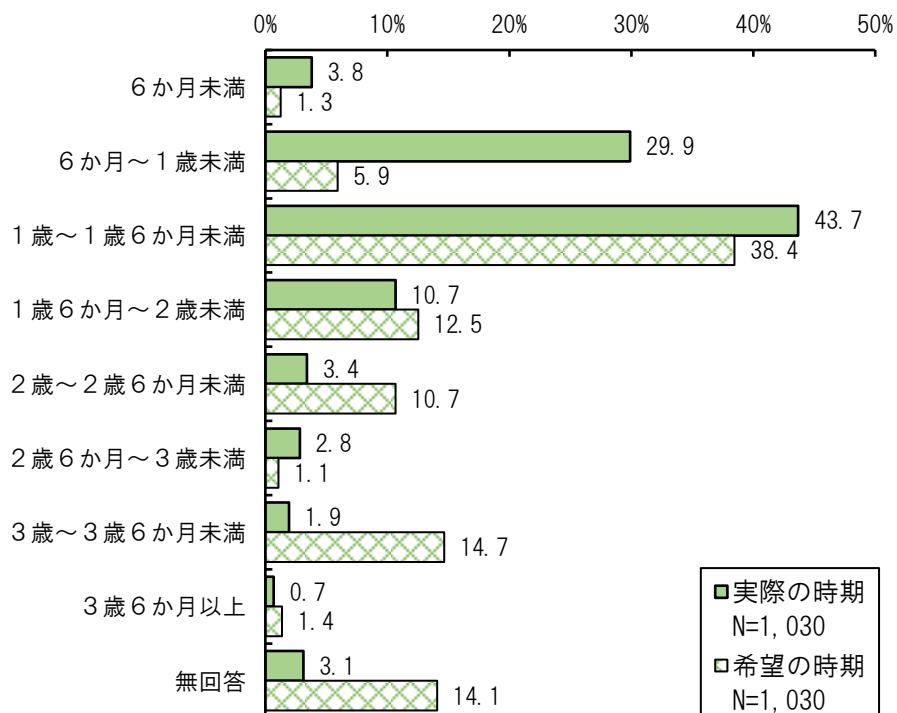
(6) 職場復帰時期の実際と希望（数量回答）

《就学前児童調査…問28-2》

【母親】

実際では、「1歳～1歳6か月未満」が43.7%と最も高く、次いで「6か月～1歳未満」が29.9%、「1歳6か月～2歳未満」が10.7%などとなっています。

希望では、「1歳～1歳6か月未満」が38.4%と最も高く、次いで「3歳～3歳6か月未満」が14.7%、「1歳6か月～2歳未満」が12.5%などとなっています。



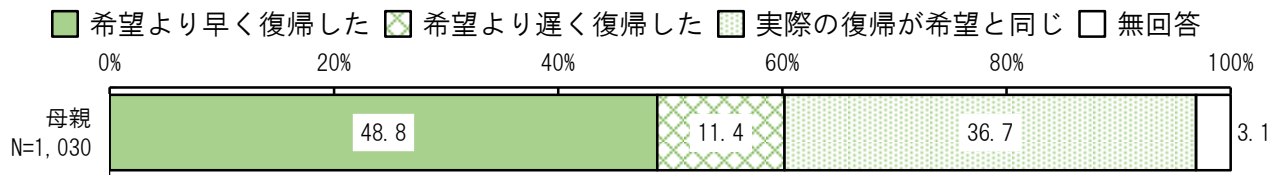
(3)で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(7) 職場復帰の状況（数量回答より算出）

《就学前児童調査…問28-2》

【母親】

「希望より早く復帰した」が48.8%、「希望より遅く復帰した」が11.4%、「実際の復帰が希望と同じ」が36.7%となっています。



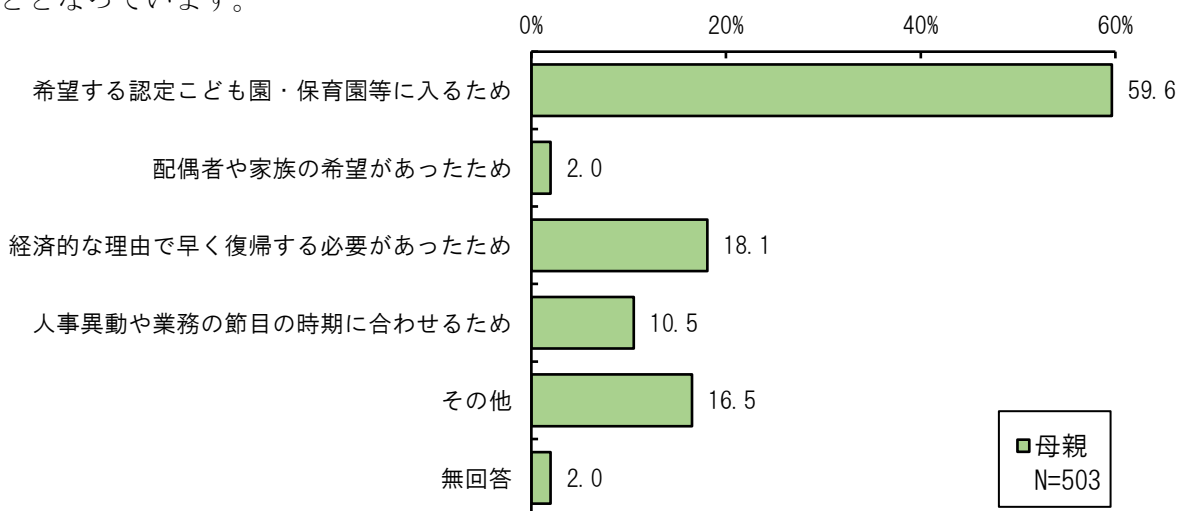
(7)で希望より早く復帰した方

(8) 希望より早く職場復帰した理由（複数回答）

《就学前児童調査…問28-2》

【母親】

「希望する認定こども園・保育園等に入るため」が59.6%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が18.1%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が10.5%などとなっています。



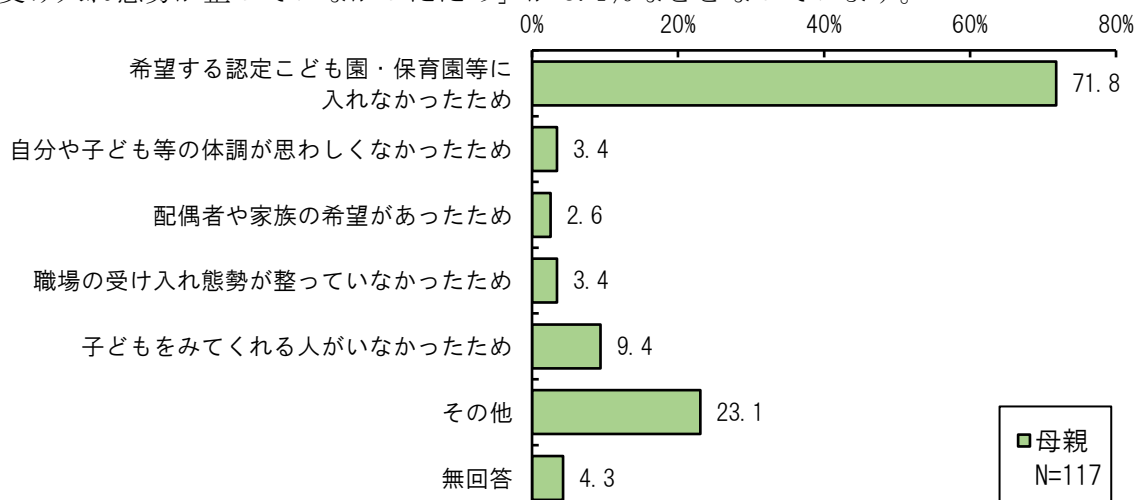
(7)で希望より遅く復帰した方

(9) 希望より遅く職場復帰した理由（複数回答）

《就学前児童調査…問28-2》

【母親】

「希望する認定こども園・保育園等に入れなかったため」が71.8%と最も高く、次いで「子どもをみってくれる人がいなかったため」が9.4%、「自分や子ども等の体調が思わしくなかったため」、「職場の受け入れ態勢が整っていなかったため」が3.4%などとなっています。



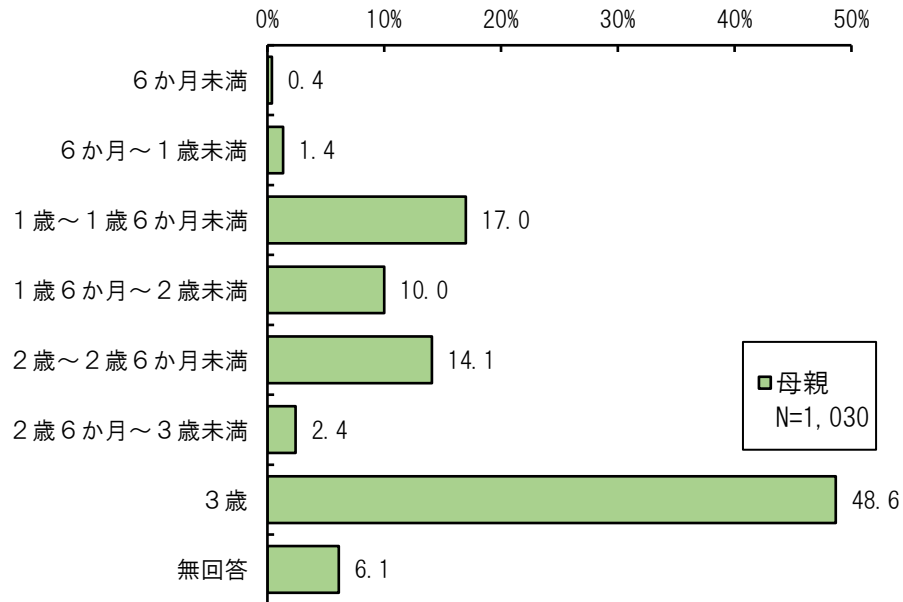
【12 育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援について】

(3) で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(10) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合における取得希望期間（子どもの年齢）
（数量回答） 《就学前児童調査…問28-3》

【母親】

「3歳」が48.6%と最も高く、次いで「1歳～1歳6か月未満」が17.0%、「2歳～2歳6か月未満」が14.1%などとなっています。

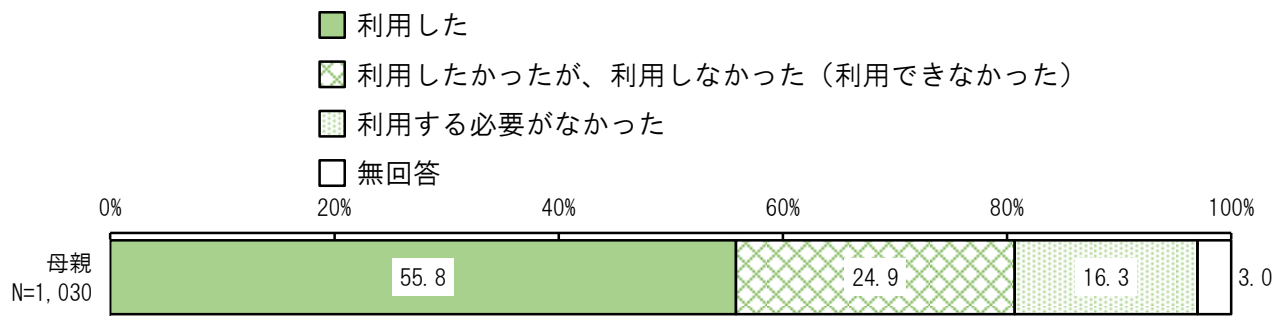


(3) で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(11) 職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無（単数回答） 《就学前児童調査…問28-4》

【母親】

「利用した」が55.8%、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が24.9%、「利用する必要がなかった」が16.3%となっています。



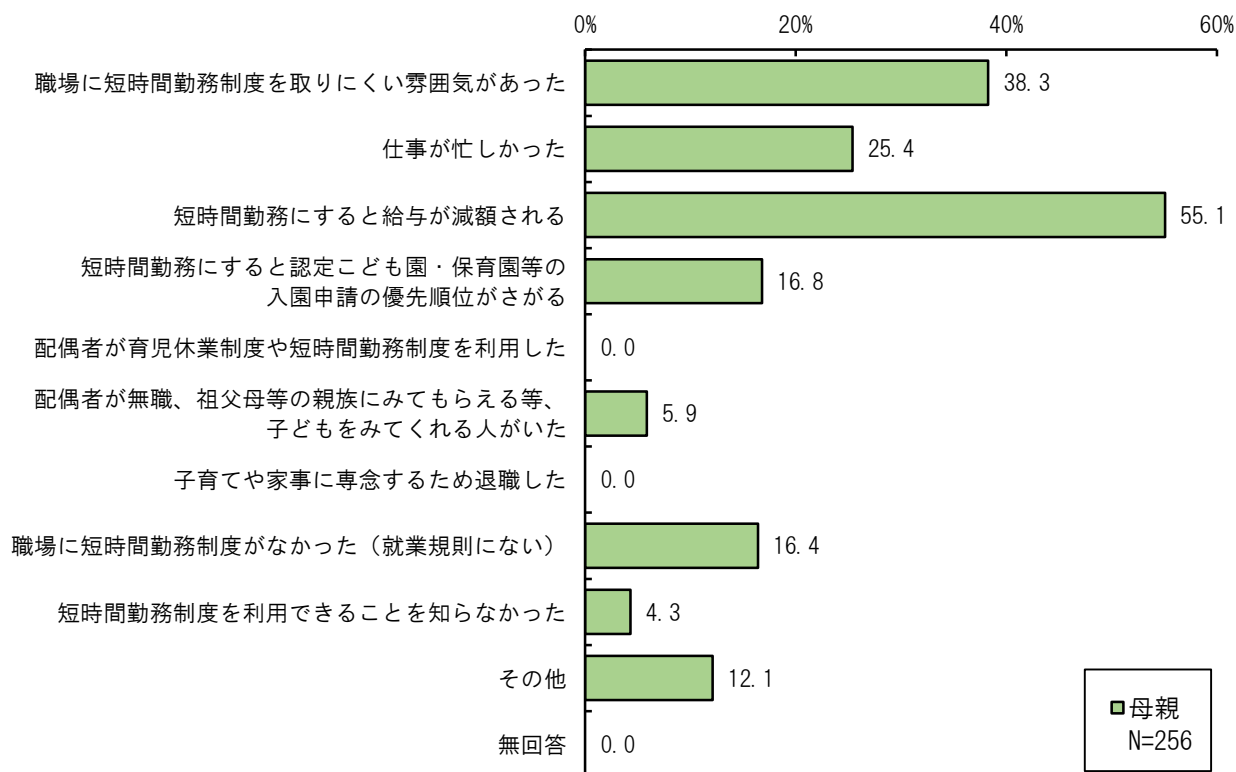
(11) で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」を選んだ方

(12) 短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった理由（複数回答）

《就学前児童調査…問28-4》

【母親】

「短時間勤務にすると給与が減額される」が55.1%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が38.3%、「仕事が忙しかった」が25.4%などとなっています。



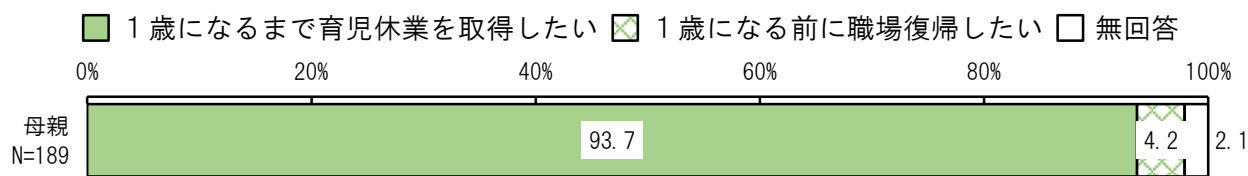
(3) で「現在も育児休業中である」を選んだ方

(13) 1歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があった場合の育児休業取得の時期の希望（単数回答）

《就学前児童調査…問29》

【母親】

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が93.7%、「1歳になる前に職場復帰したい」が4.2%となっています。



13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について

(1) 各種事業の認知度・利用状況（単数回答） 《就学前児童調査…問30・就学児童調査…問22》

就学前児童の認知度をみると、『知っている』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」）が、33事業のうち19事業で50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が89.5%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が85.9%、「児童館」が82.7%、「延長保育」が80.3%、「放課後児童クラブ」が79.6%、「妊婦健康診査」が77.1%、「児童相談所」が76.9%、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が76.7%、「認定こども園・保育園等の一時預かり」が74.0%、「あそび・子育ておしゃべりサロン」が73.7%の順となっています。

利用状況をみると、「利用したことがある」が、「しずおか子育て優待カード」が80.5%が最も高く、次いで「妊婦健康診査」が71.0%、「子育て支援センター」が63.3%、「こんにちは赤ちゃん事業」が60.8%の順となっています。

就学児童の認知度をみると、『知っている』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」）が、33事業のうち16事業で50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が92.1%が最も高く、次いで「放課後児童クラブ」が89.0%、「児童館」が86.0%、「子育て支援センター」が83.6%、「児童相談所」が81.6%、「延長保育」が79.5%、「放課後子ども教室」が76.8%、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が72.6%、「妊婦健康診査」が70.0%の順となっています。

利用状況をみると、「利用したことがある」が、「しずおか子育て優待カード」が83.2%が最も高く、次いで「児童館」が62.8%、「妊婦健康診査」が61.9%、「子育て支援センター」が60.0%の順となっています。

【平成30年度調査との比較】

就学前児童の認知度をみると、『知っている』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」）が32事業のうち15事業で増加しており、「産後ケア」では13.9ポイントと最も大きく増加しています。

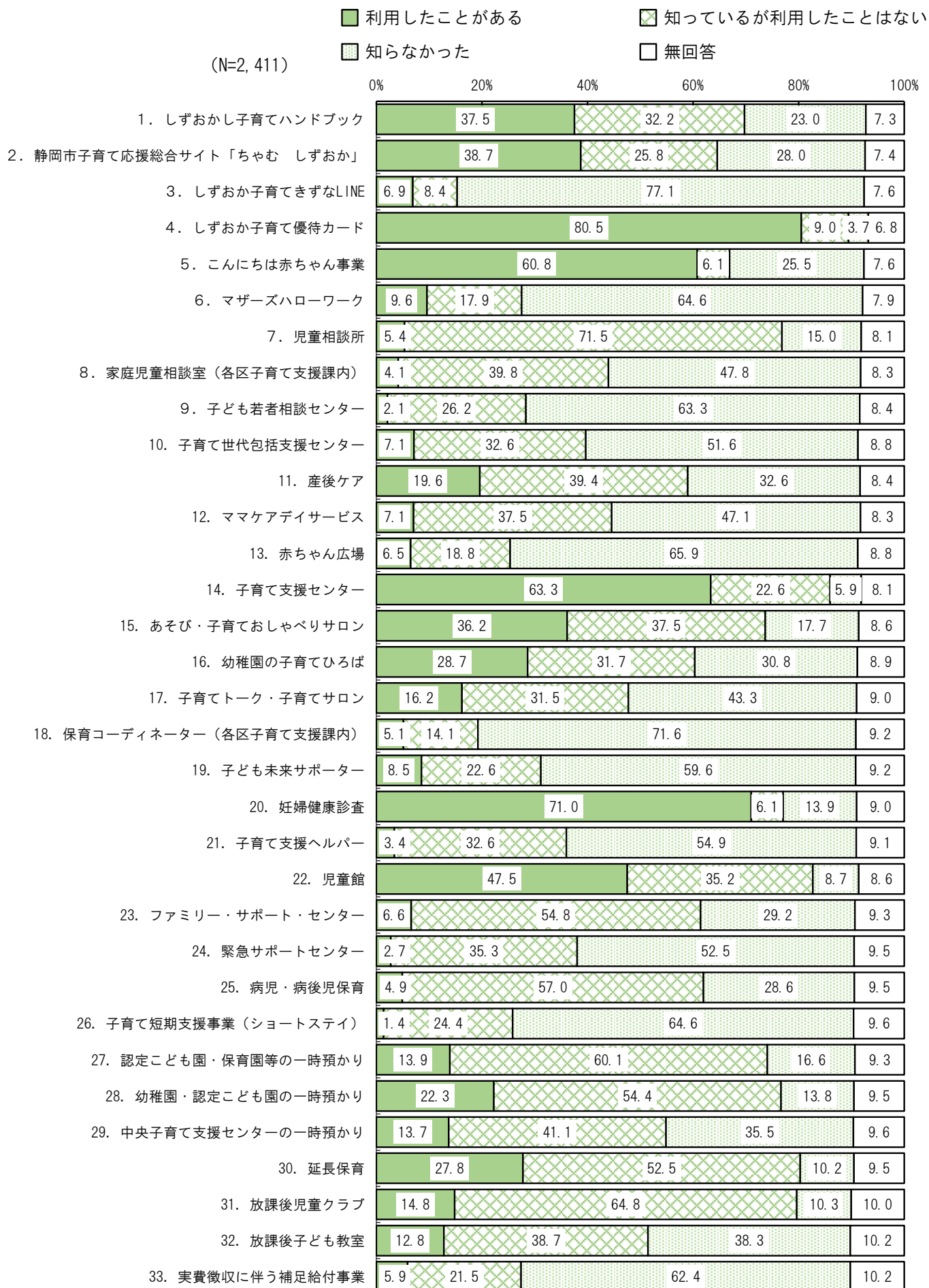
利用状況をみると、「利用したことがある」が32事業のうち16事業で増加しており、「産後ケア」では11.7ポイントと最も大きく増加しています。

就学児童の認知度をみると、『知っている』（「利用したことがある」＋「知っているが利用したことはない」）が32事業のうち16事業で増加しており、「放課後子ども教室」では16.1ポイントと最も大きく増加しています。

利用状況をみると、「利用したことがある」が32事業のうち24事業で増加しており、「放課後子ども教室」では25.1ポイントと最も大きく増加しています。

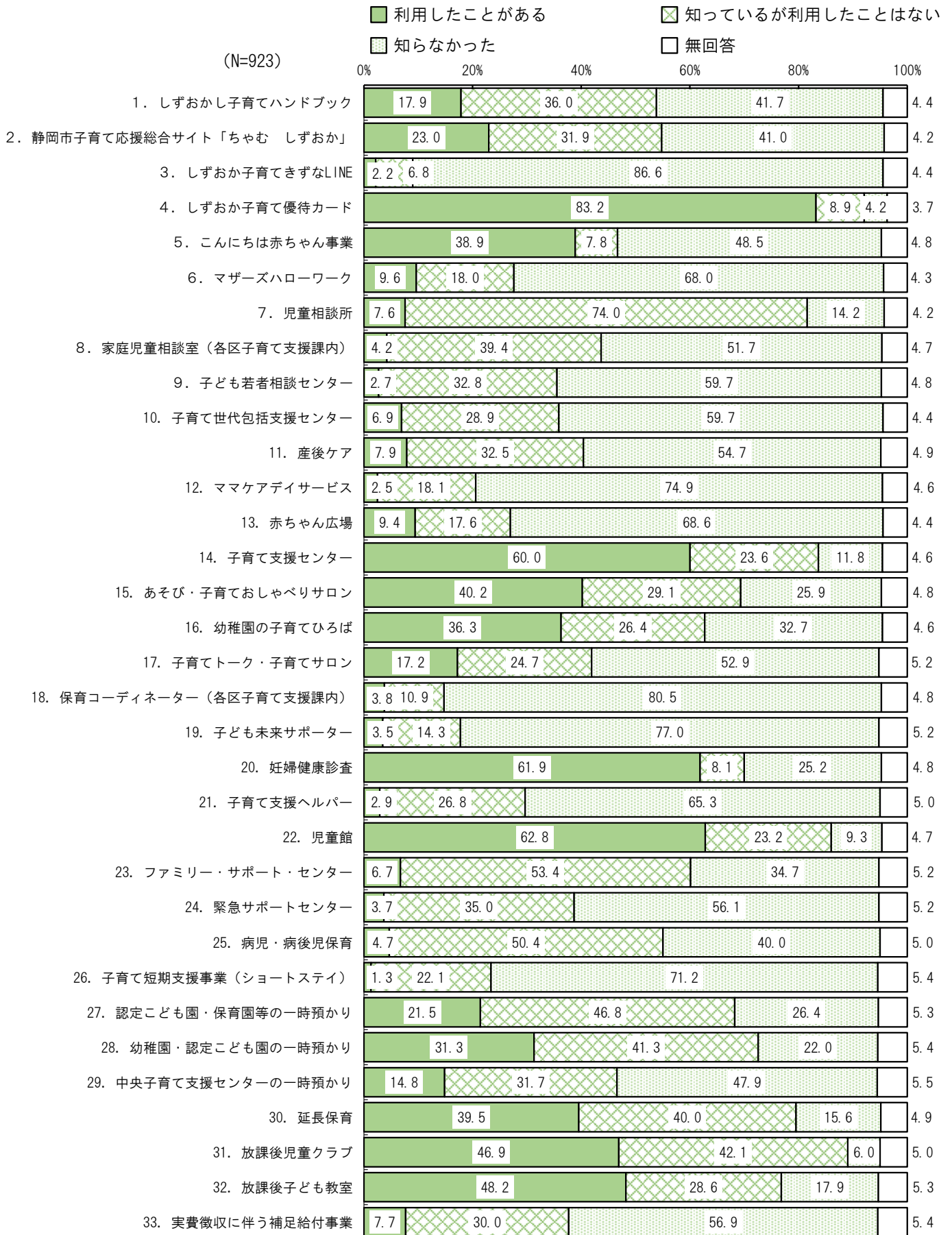
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【就学前児童】



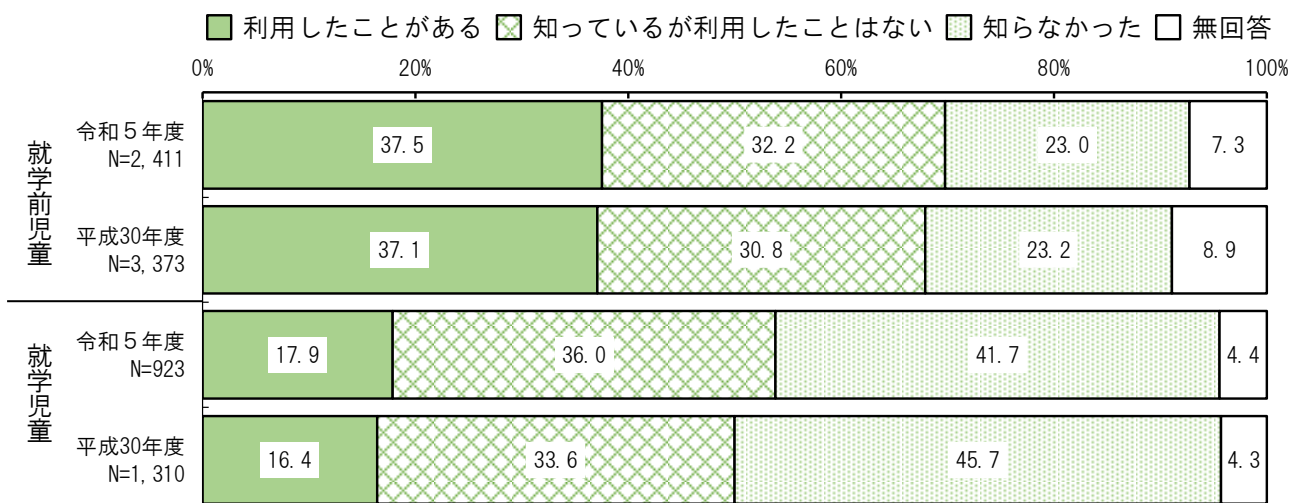
【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

【就学児童】

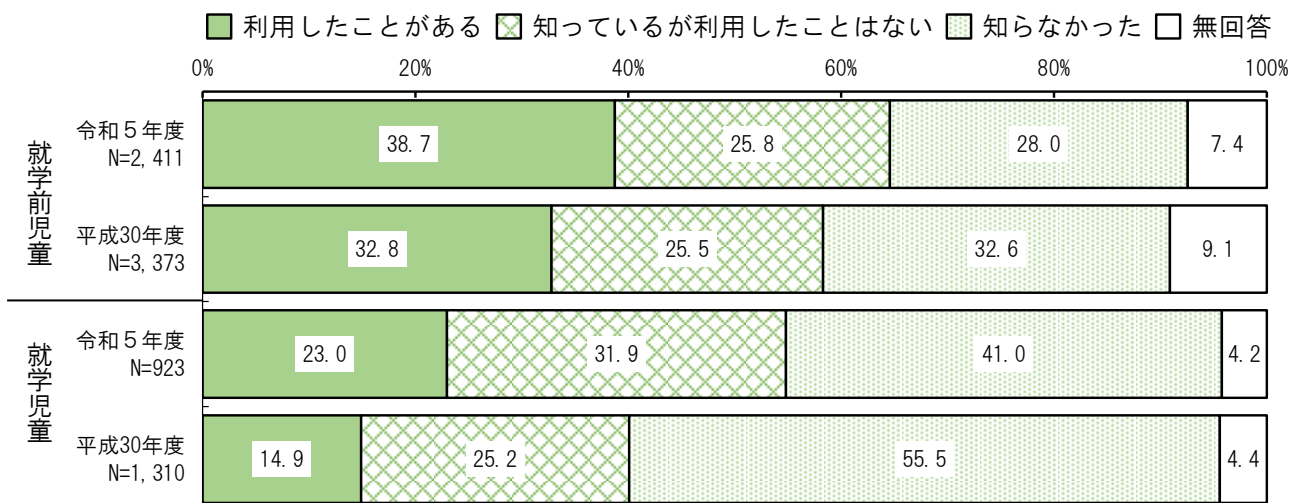


令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

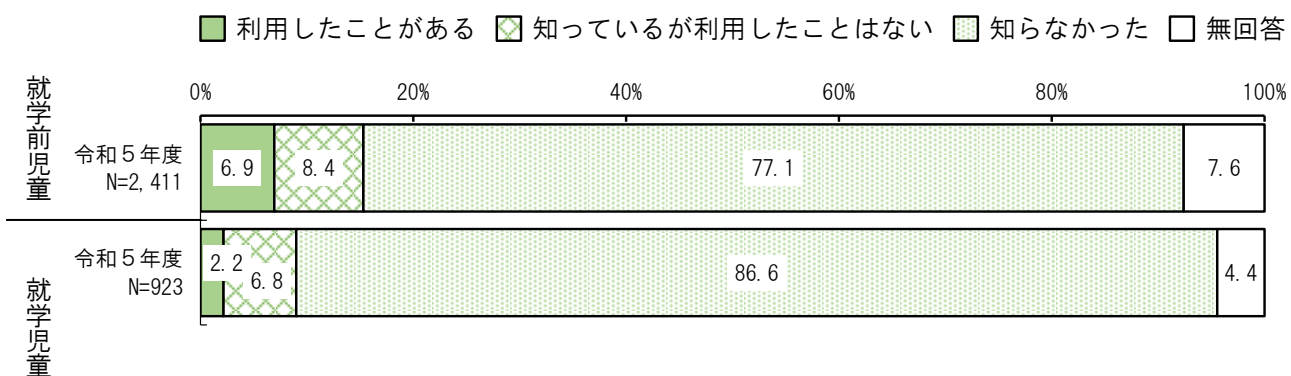
【1. しずおか子育てハンドブック】



【2. 静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ しずおか」】

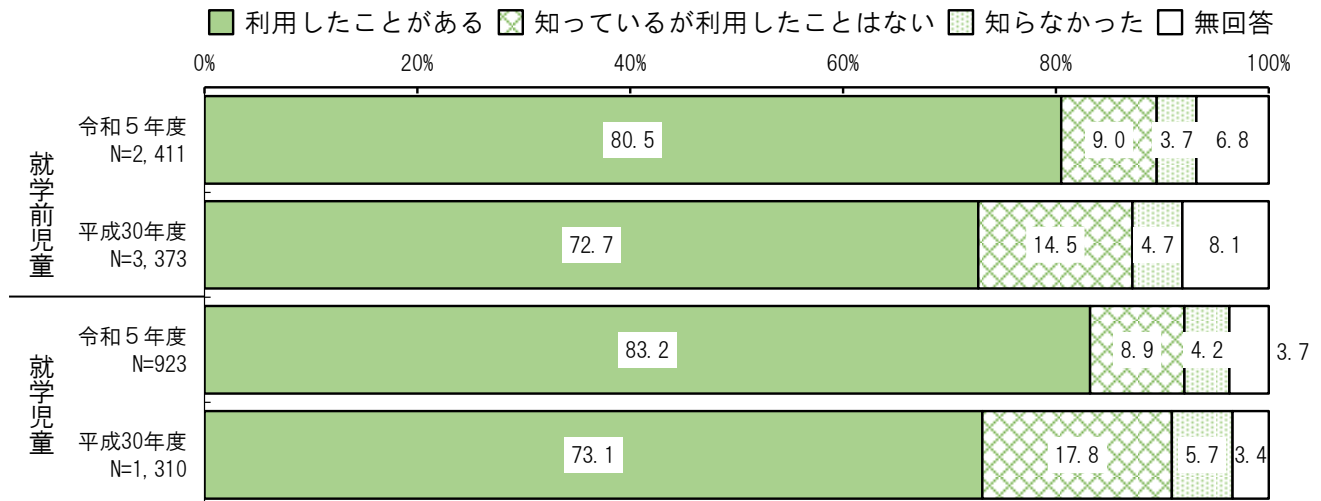


【3. しずおか子育てきずなLINE】

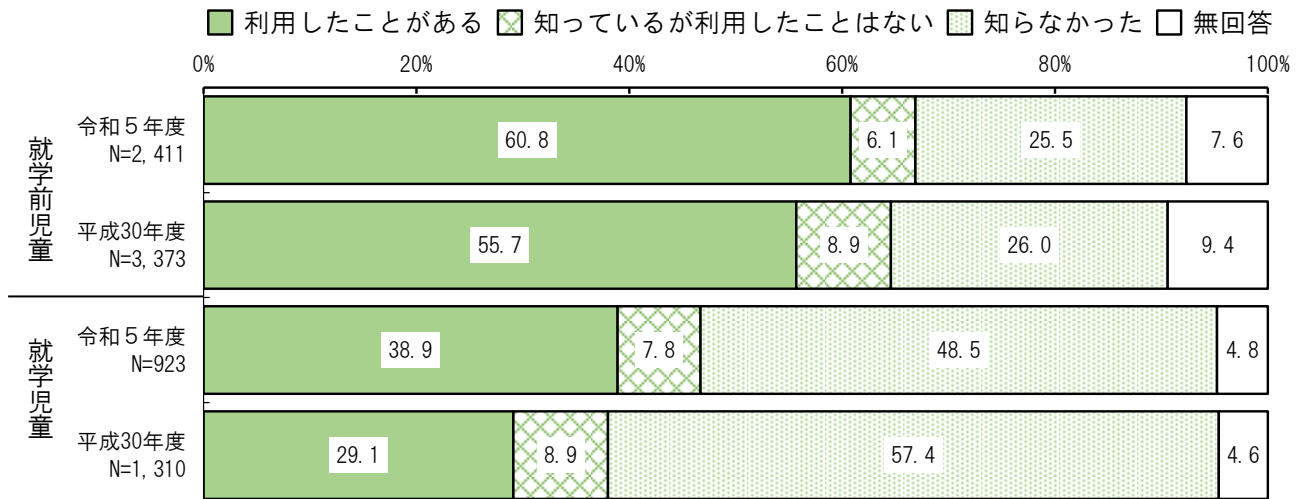


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

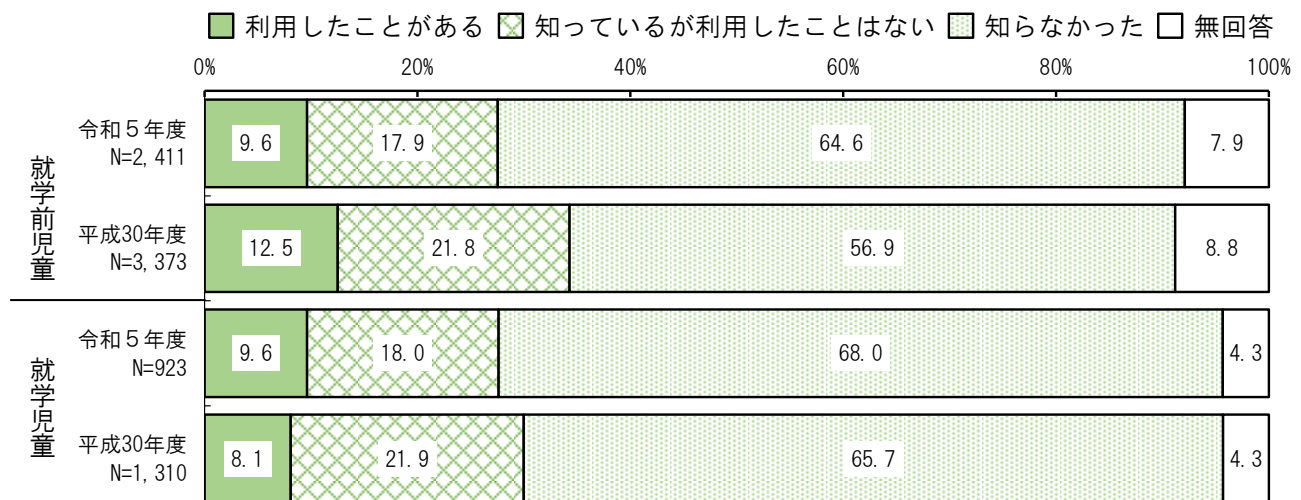
【4. しずおか子育て優待カード】



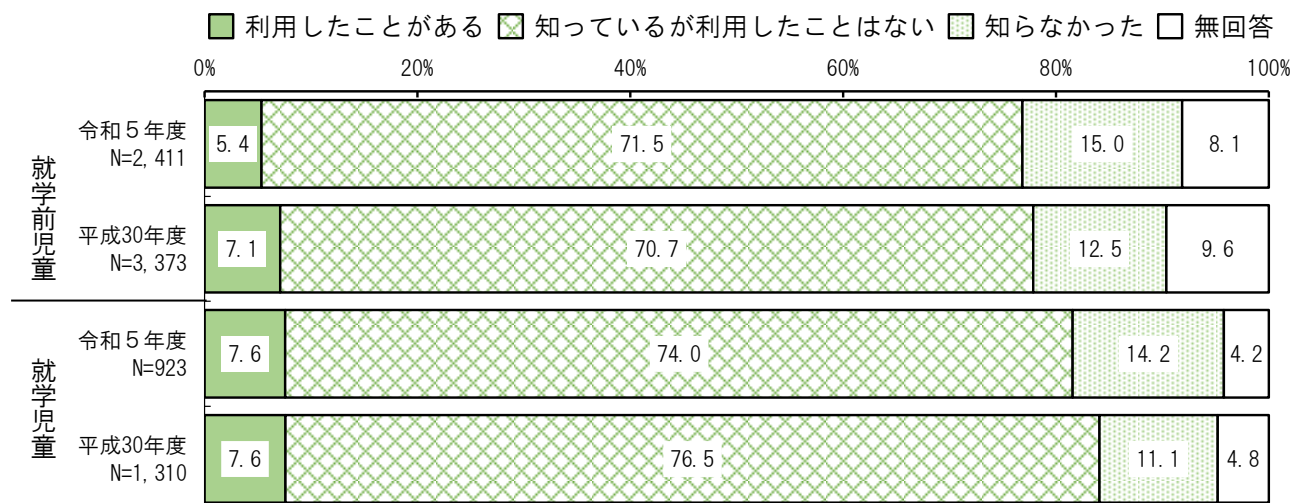
【5. こんにちは赤ちゃん事業】



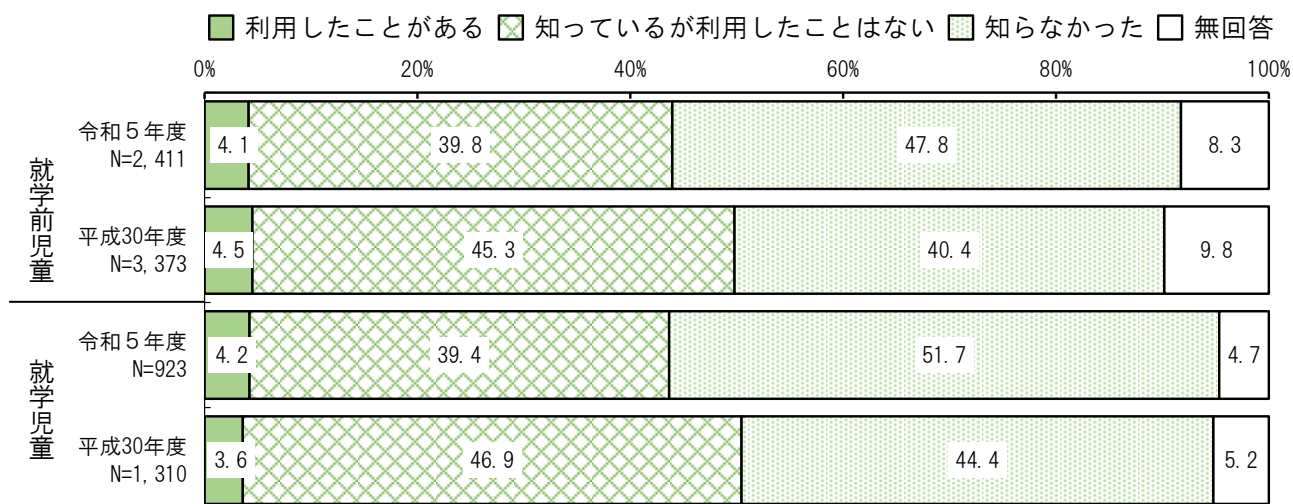
【6. マザーズハローワーク】



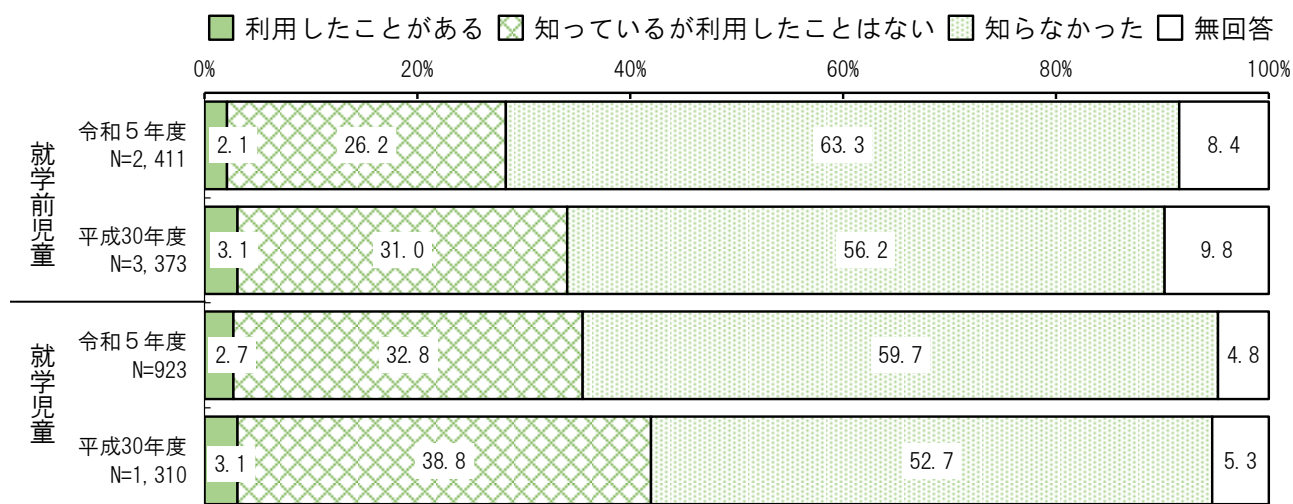
【7. 児童相談所】



【8. 家庭児童相談室（各区子育て支援課内）】

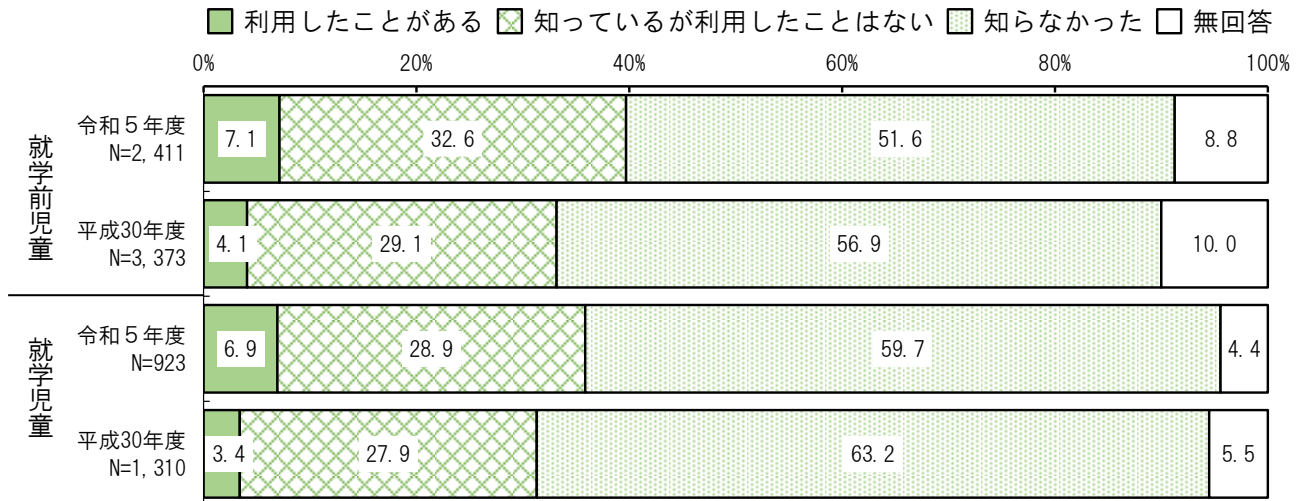


【9. 子ども若者相談センター】

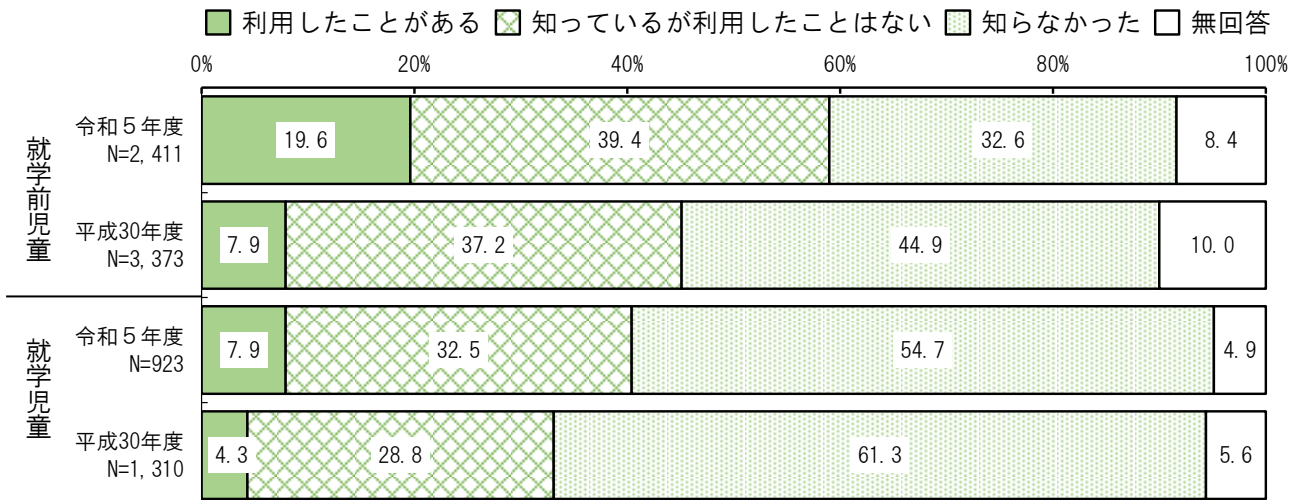


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

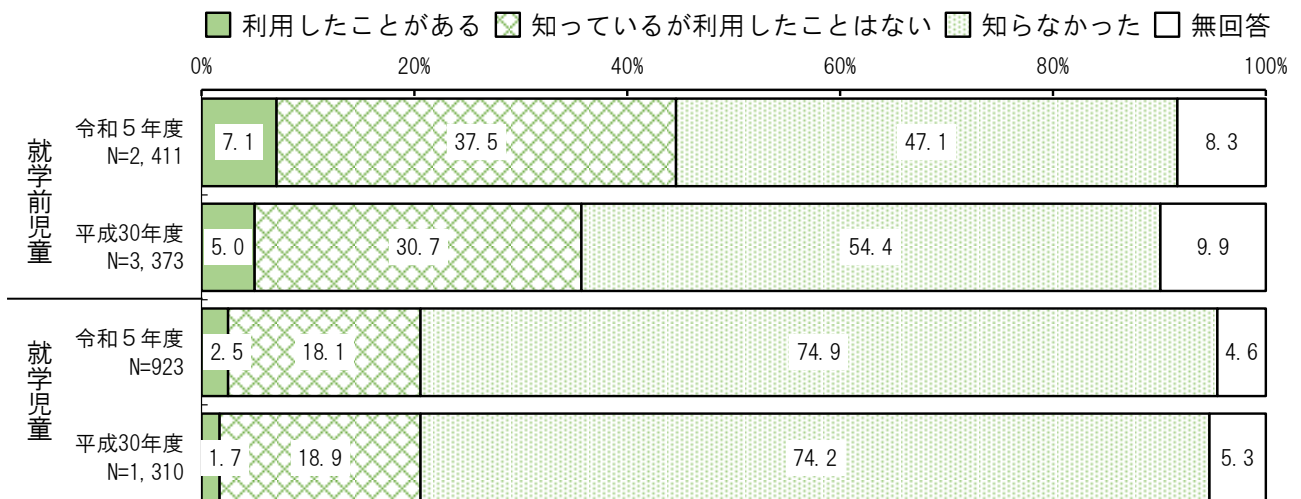
【10. 子育て世代包括支援センター】



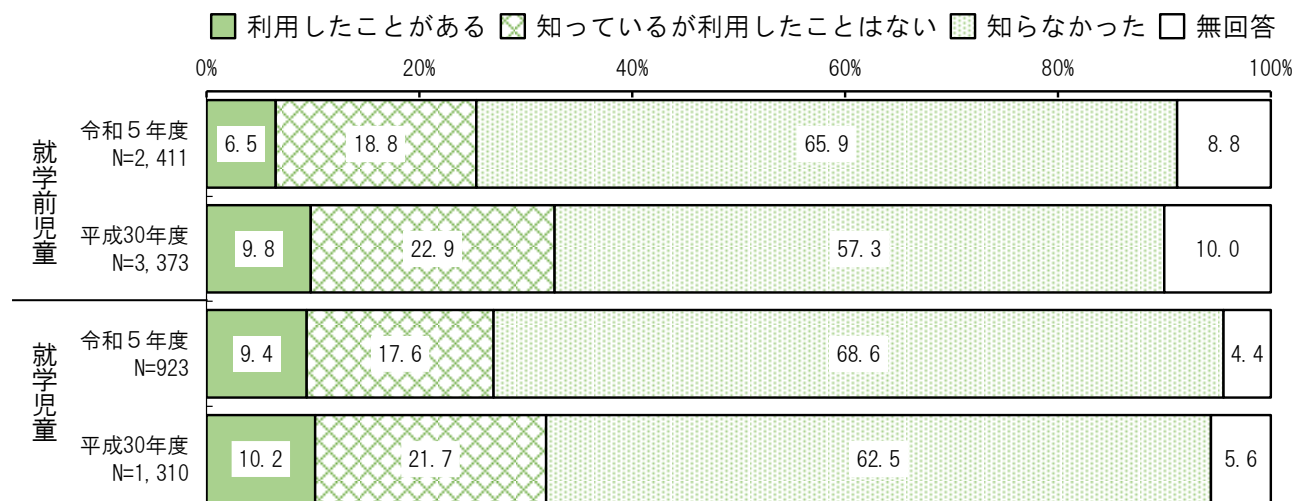
【11. 産後ケア】



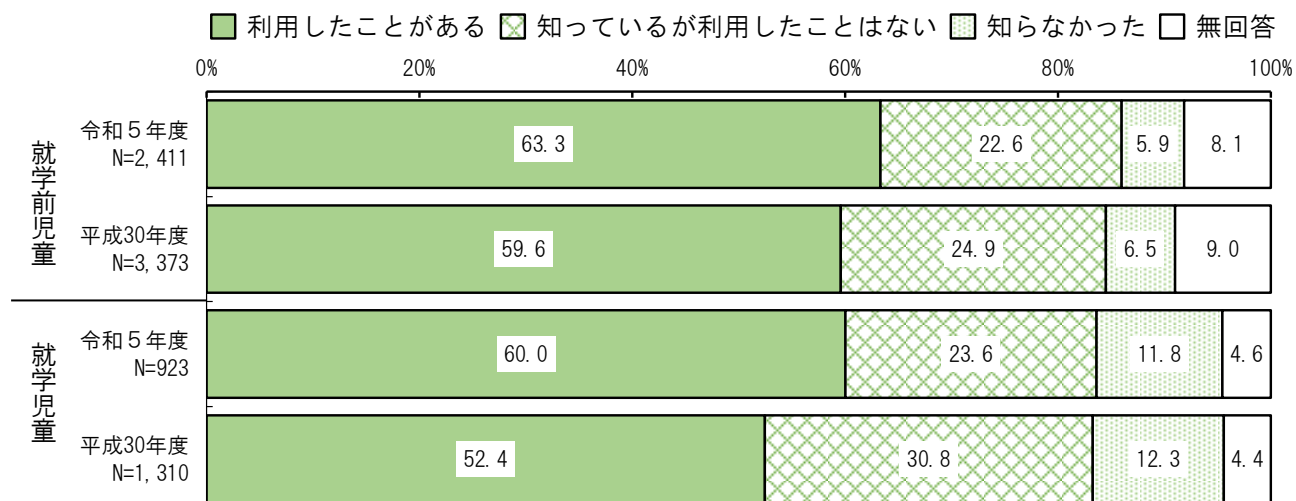
【12. ママケアデイサービス】



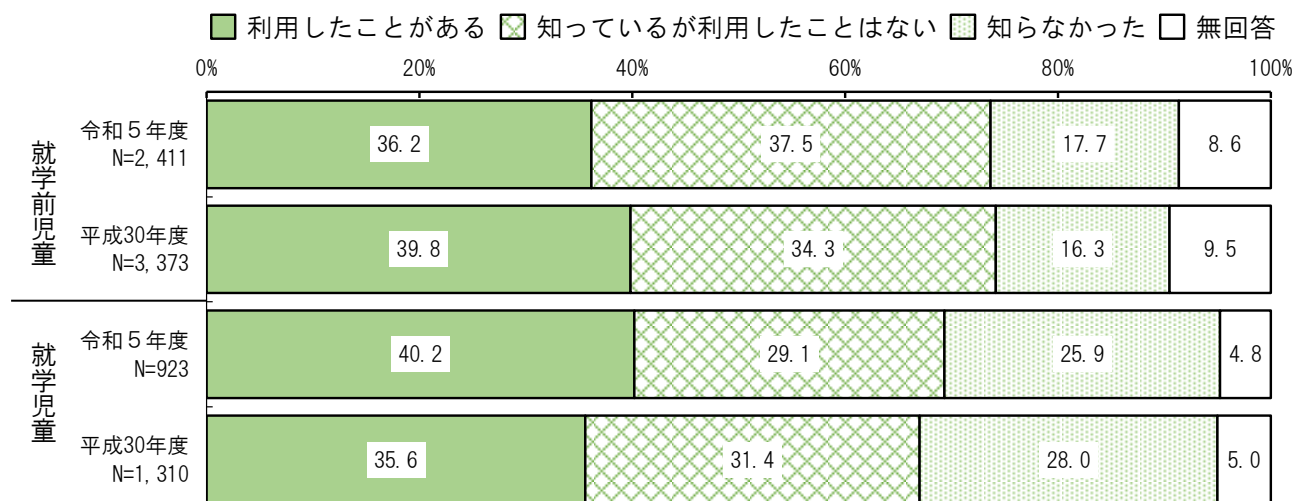
【13. 赤ちゃん広場】



【14. 子育て支援センター】

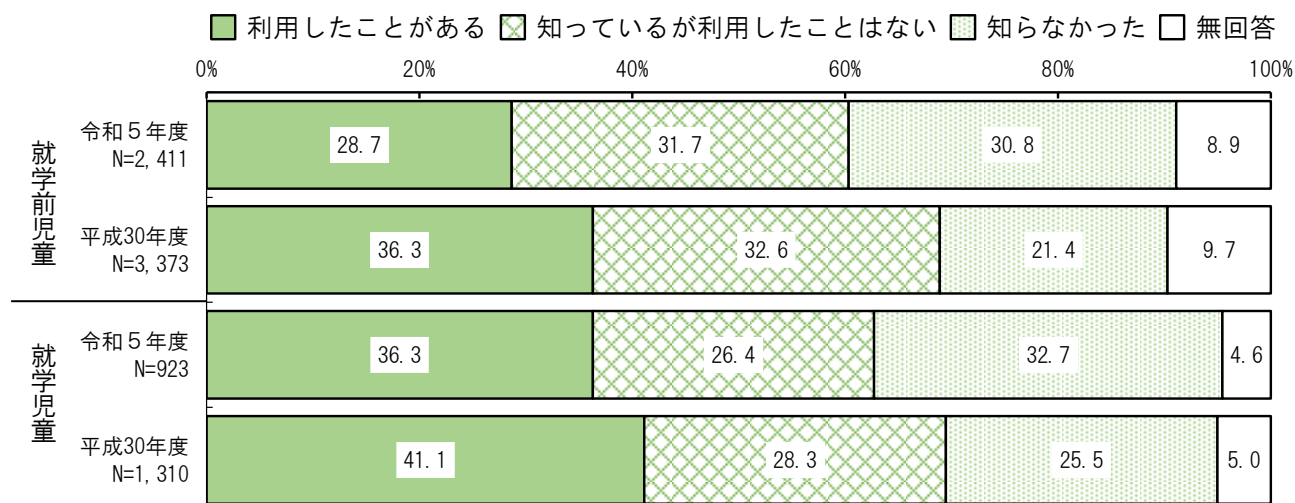


【15. あそび・子育ておしゃべりサロン】

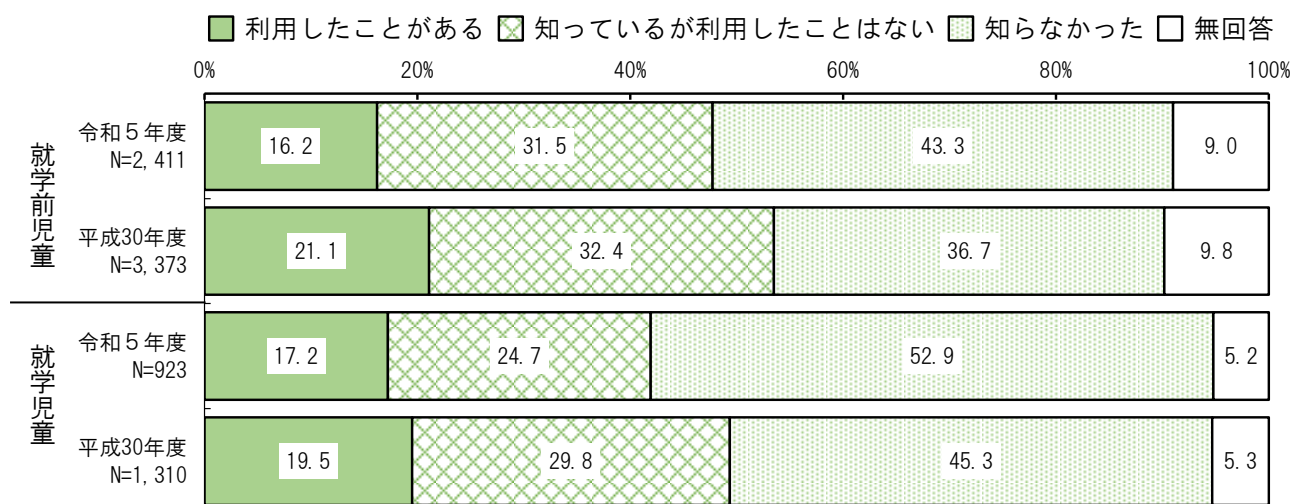


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

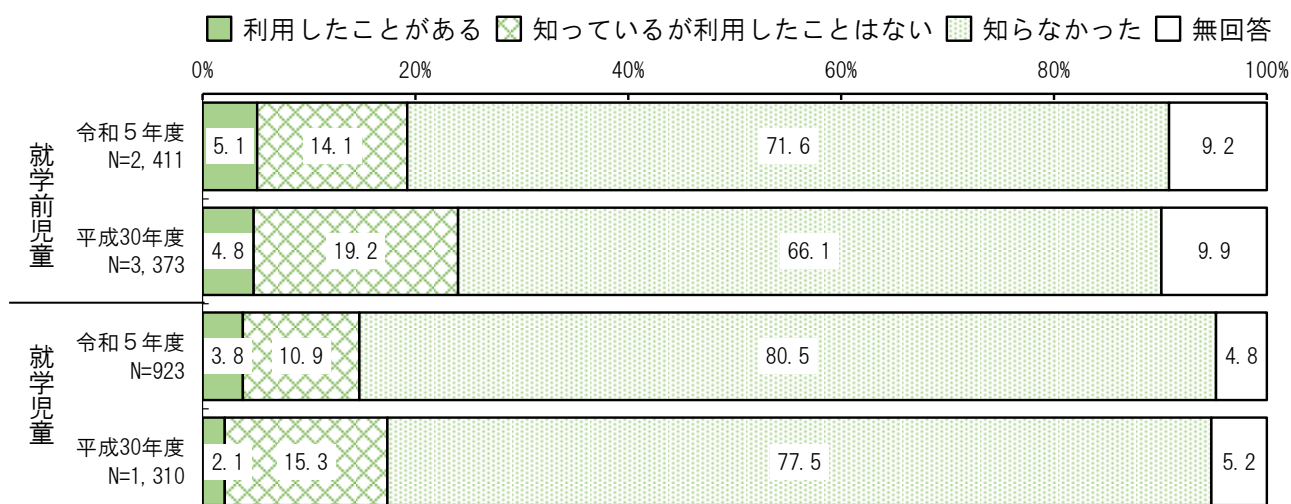
【16. 幼稚園の子育てひろば】



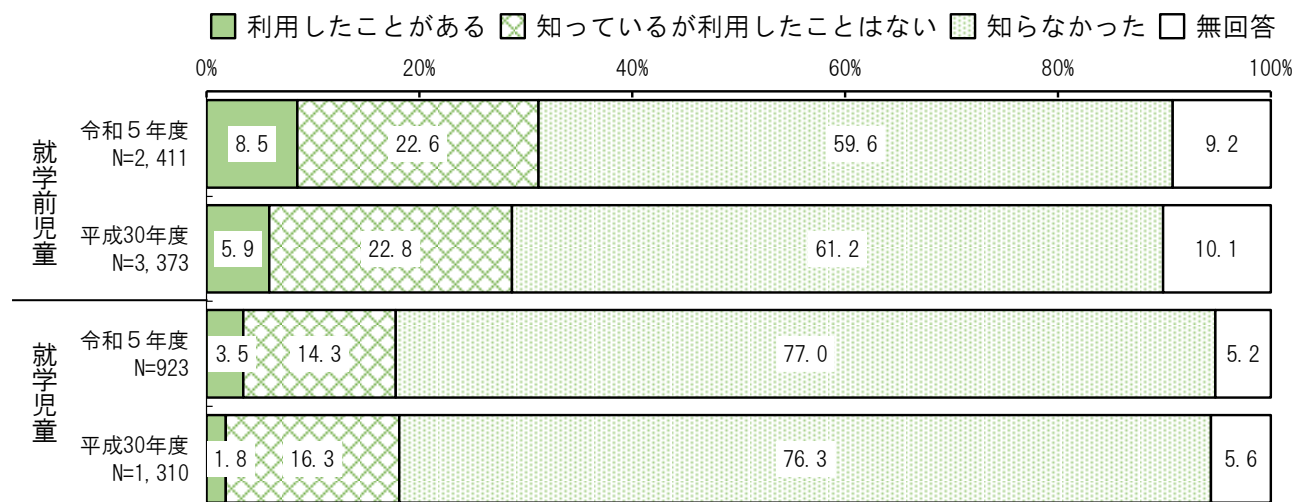
【17. 子育てトーク・子育てサロン】



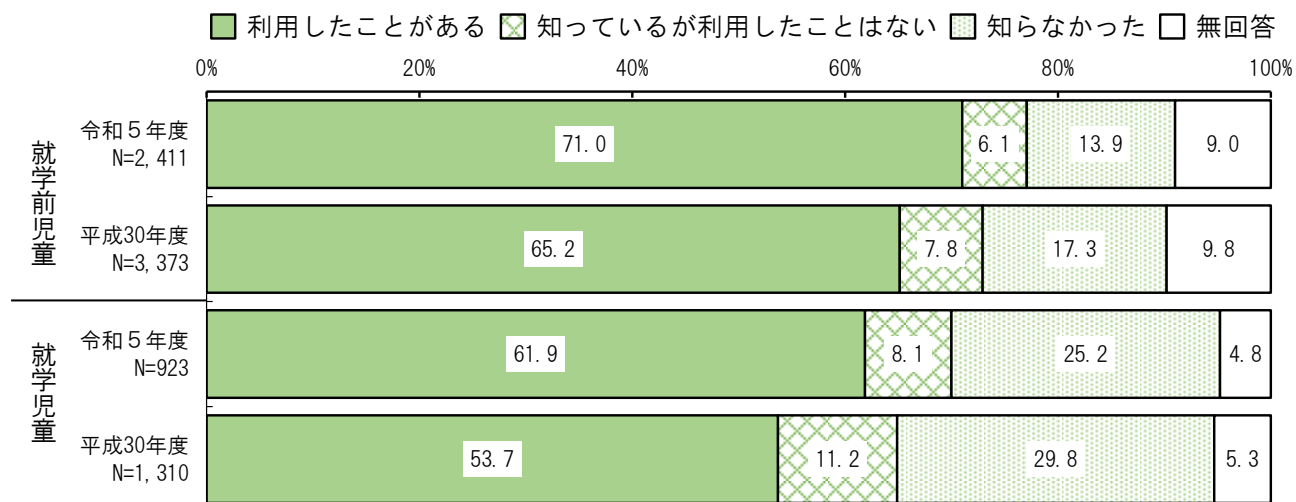
【18. 保育コーディネーター（各区子育て支援課内）】



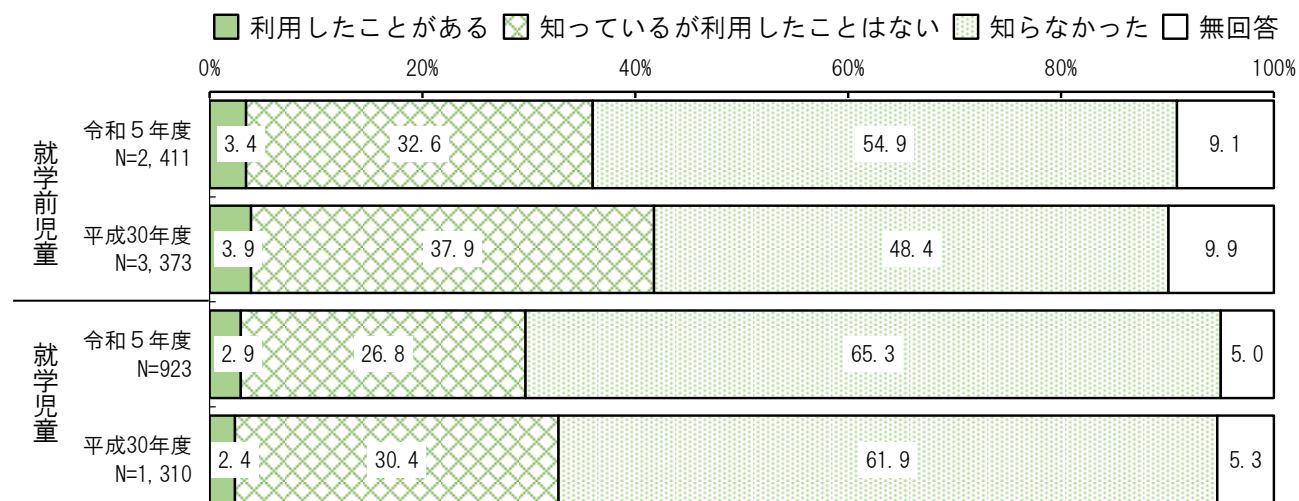
【19. 子ども未来サポーター】



【20. 妊婦健康診査】

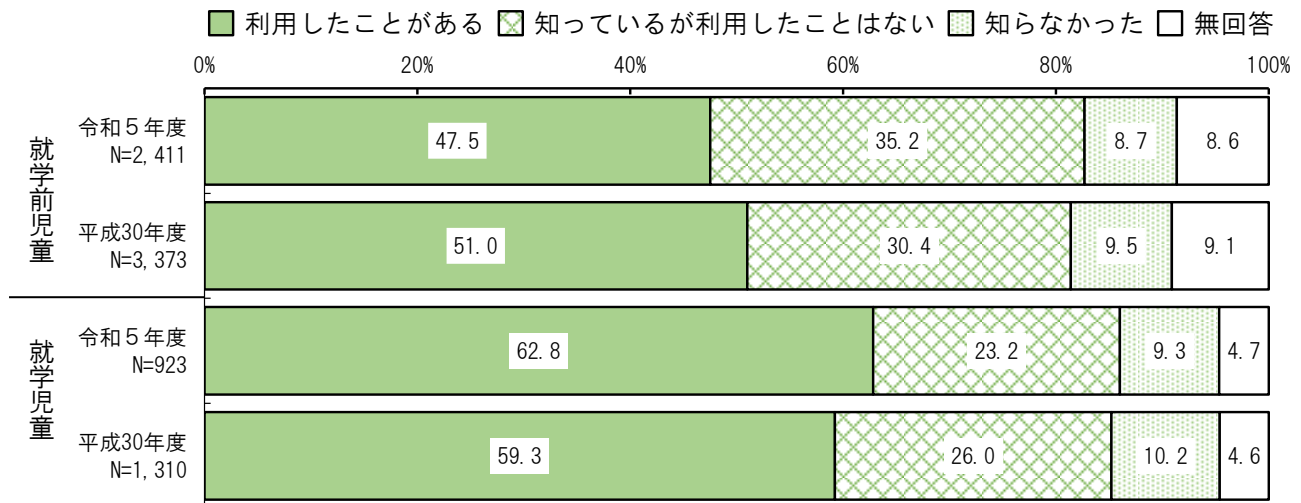


【21. 子育て支援ヘルパー】

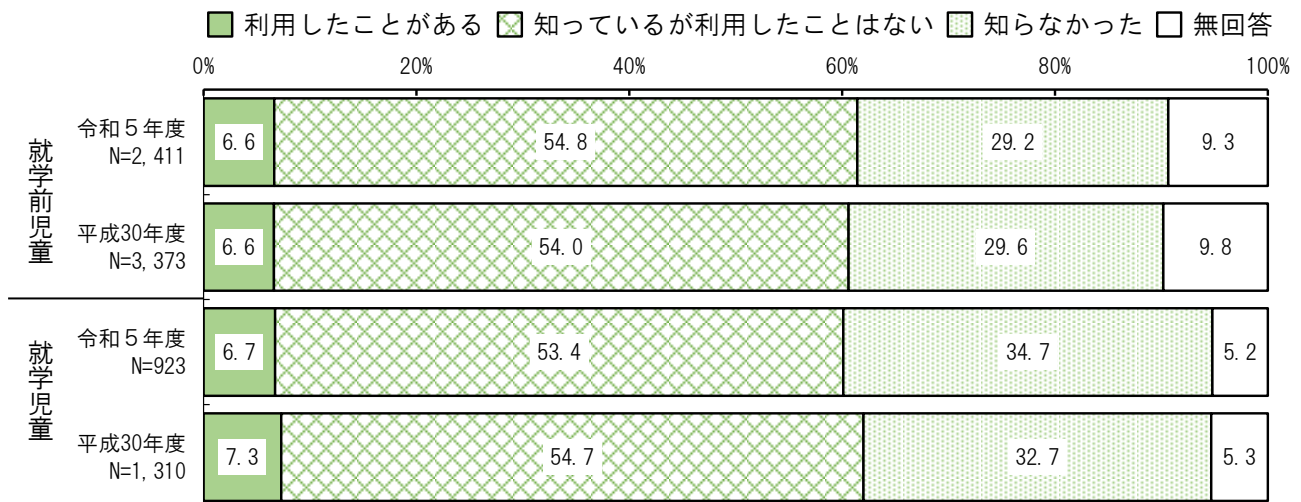


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

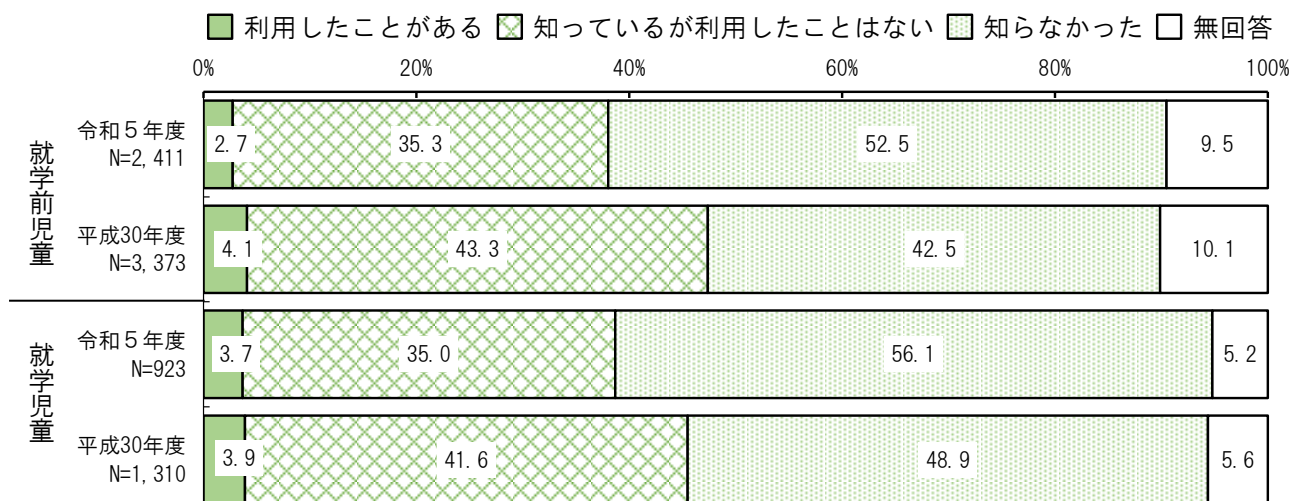
【22. 児童館】



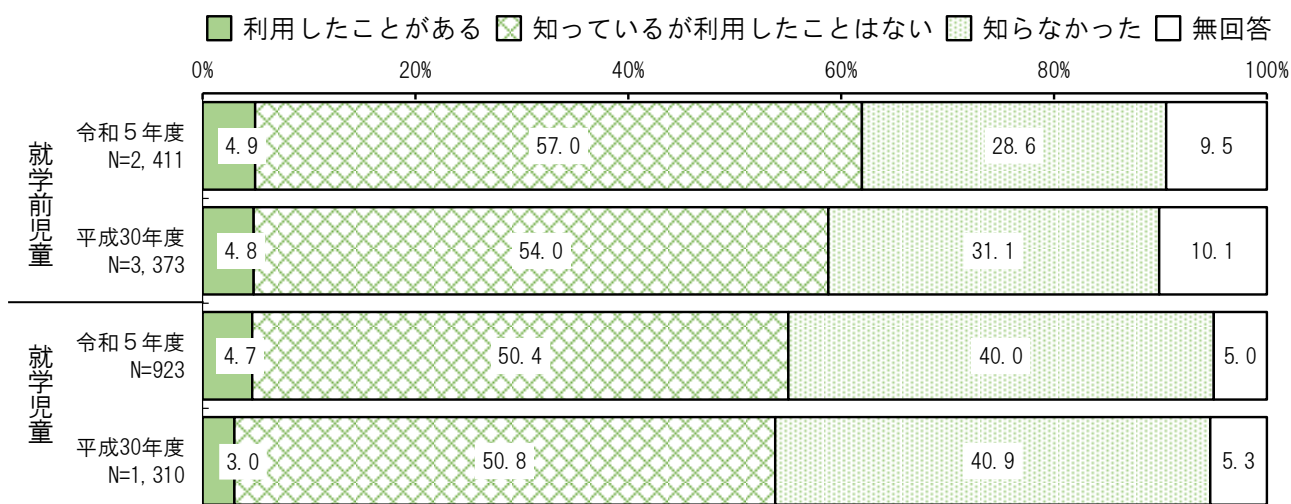
【23. ファミリー・サポート・センター】



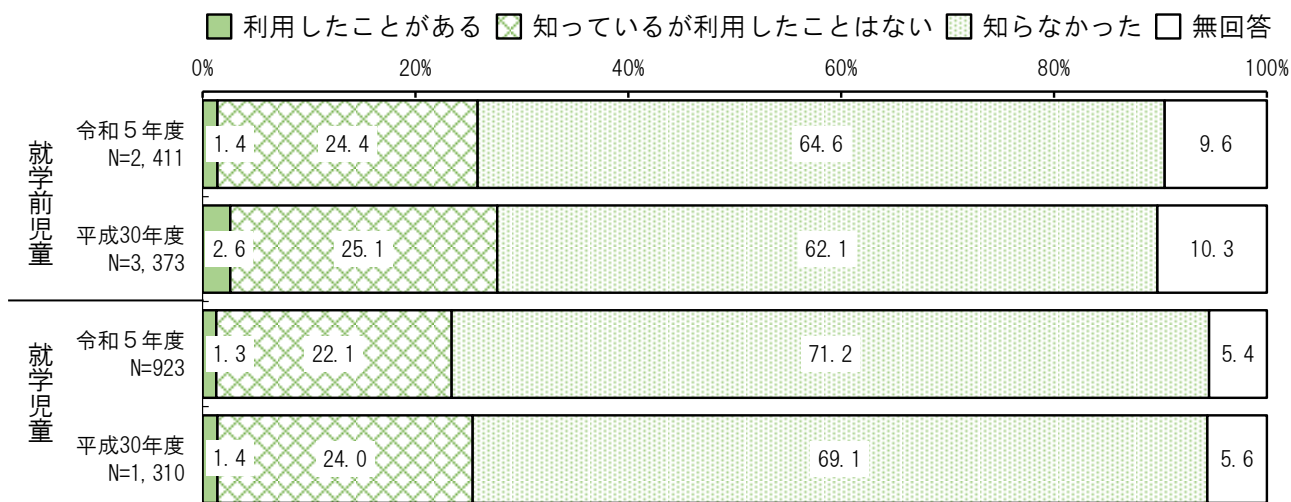
【24. 緊急サポートセンター】



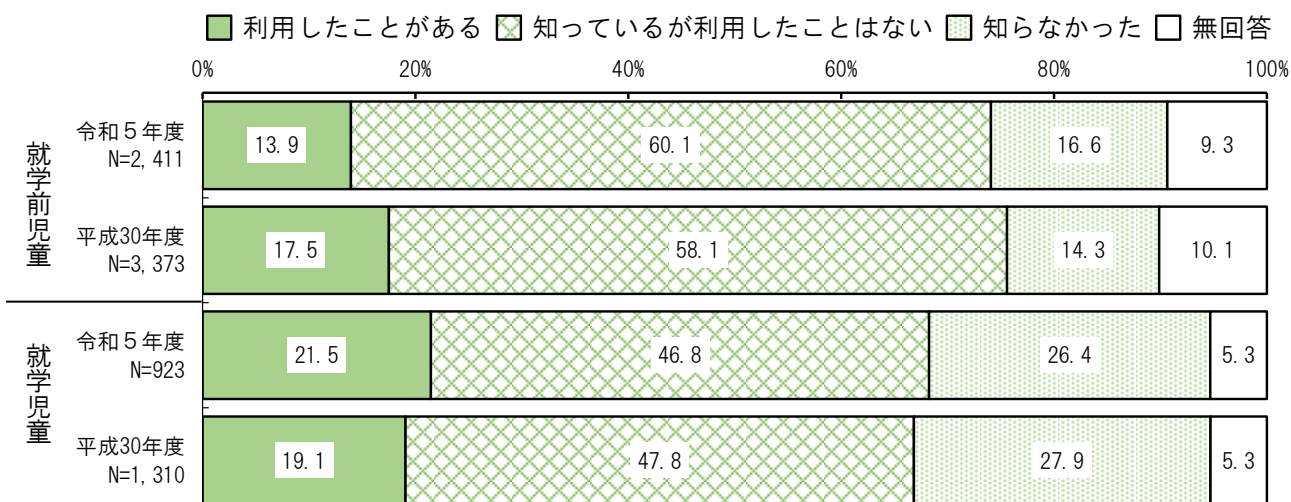
【25. 病児・病後児保育】



【26. 子育て短期支援事業（ショートステイ）】

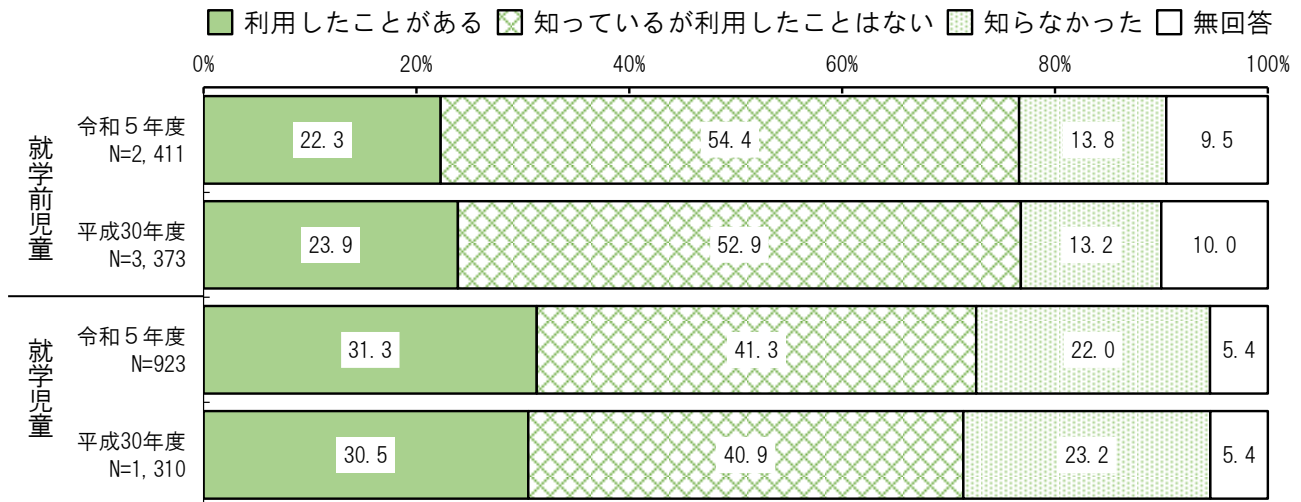


【27. 認定こども園・保育園等の一時預かり】

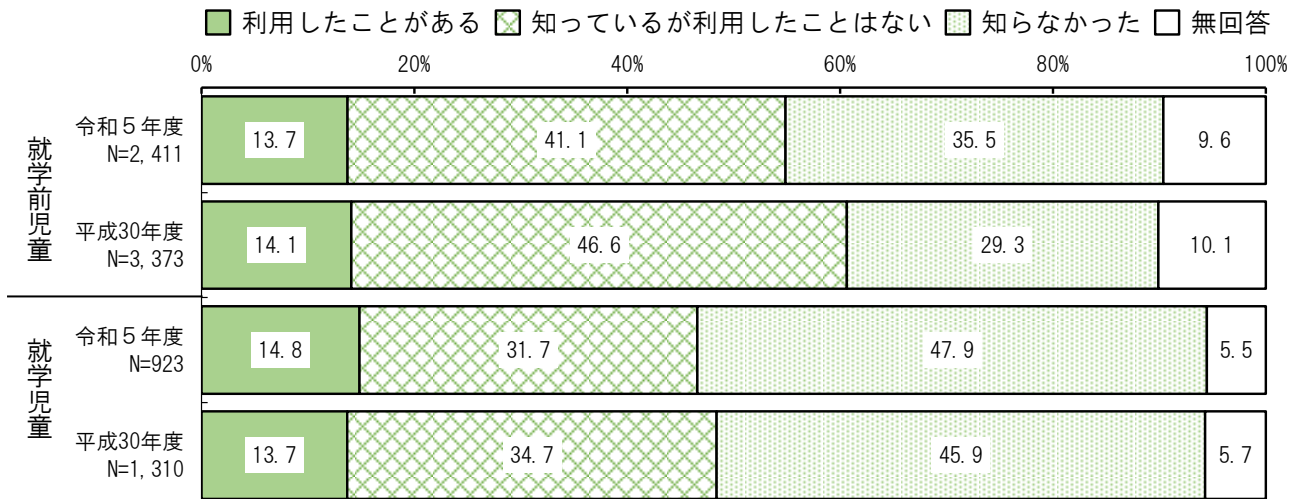


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

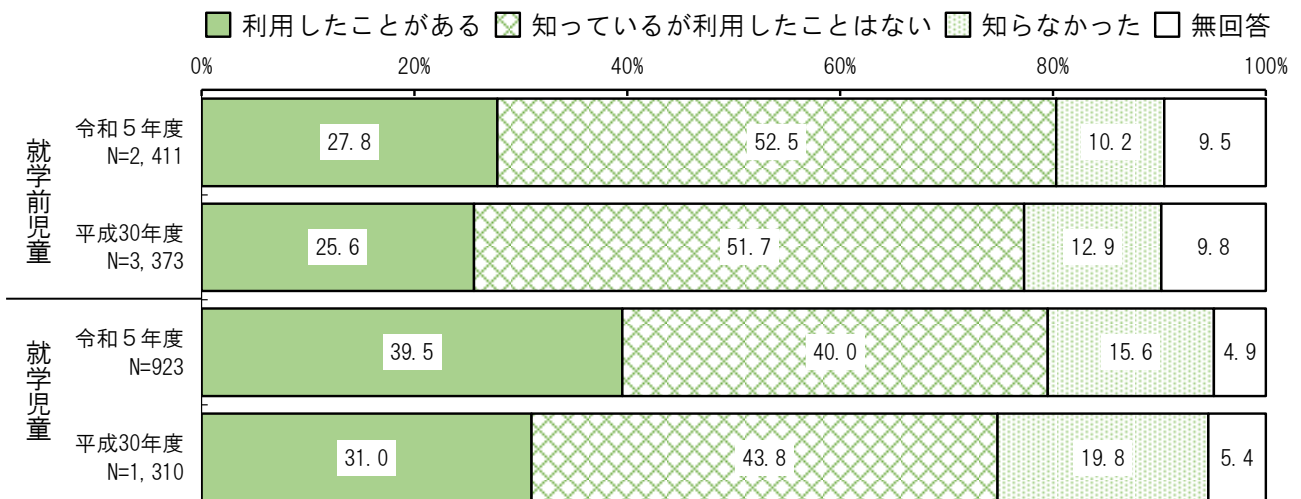
【28. 幼稚園・認定こども園の一時預かり】



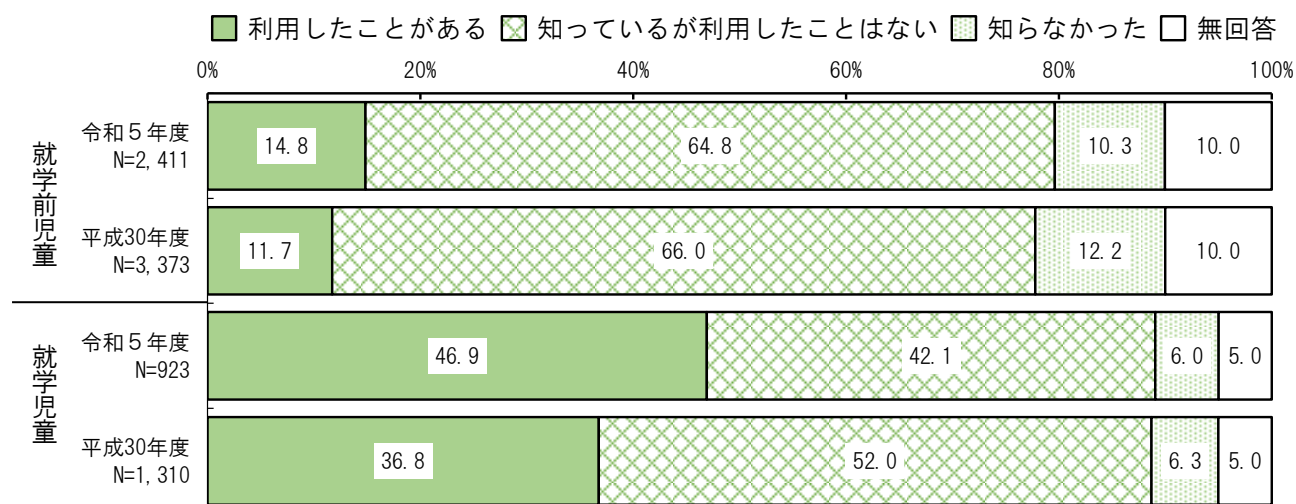
【29. 中央子育て支援センターの一時預かり】



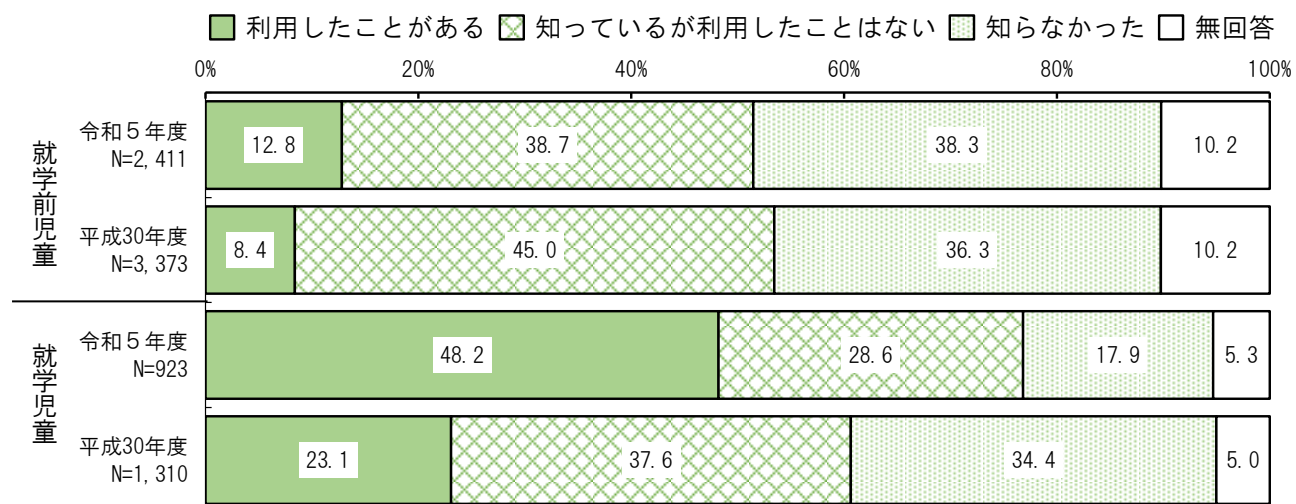
【30. 延長保育】



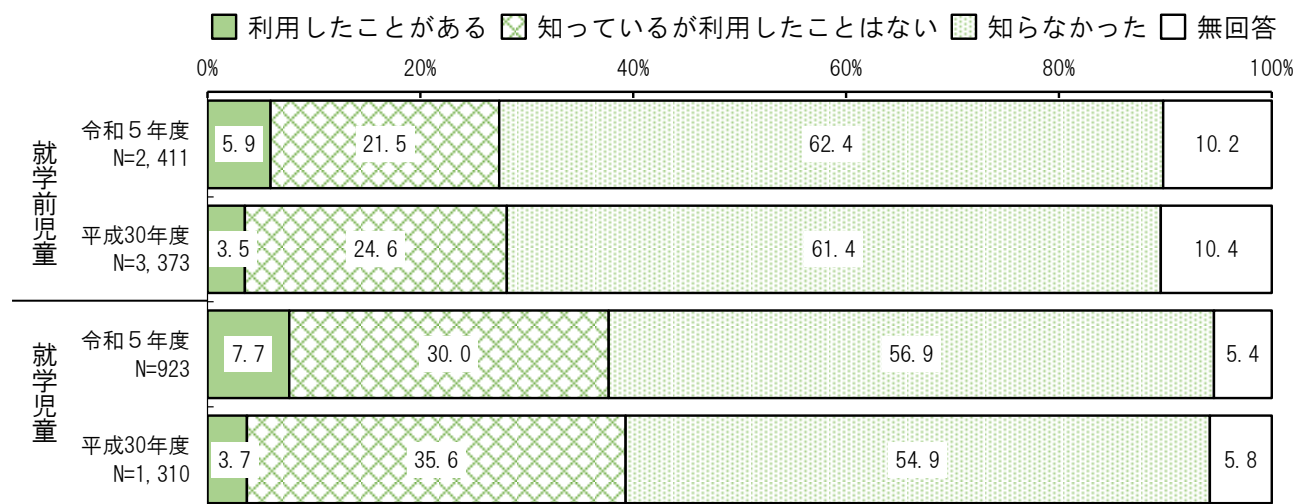
【31. 放課後児童クラブ】



【32. 放課後子ども教室】



【33. 実費徴収に伴う補足給付事業】



(1) で「利用したことがある」を選んだ方

(2) 各種事業の満足度（単数回答）

《就学前児童調査…問30・就学児童調査…問22》

就学前児童の満足度をみると、「良かった」が、33 事業のうち 27 事業で 50%以上になっています。「産後ケア」が 82.7%が最も高く、次いで「幼稚園の子育てひろば」が 79.6%、「ママケアデイサービス」が 79.4%、「中央子育て支援センターの一時預かり」が 77.9%、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が 75.6%、「妊婦健康診査」が 75.4%、「子育てトーク・子育てサロン」が 74.7%、「延長保育」が 74.2%、「実費徴収に伴う補足給付事業」が 73.4%、「あそび・子育ておしゃべりサロン」が 72.2%の順となっています。

就学児童の満足度をみると、「良かった」が、33 事業のうち 25 事業で 50%以上になっています。「中央子育て支援センターの一時預かり」が 75.9%が最も高く、次いで「幼稚園の子育てひろば」が 75.8%、「あそび・子育ておしゃべりサロン」が 75.7%、「妊婦健康診査」が 75.1%、「延長保育」が 74.8%、「子育てトーク・子育てサロン」が 73.6%、「幼稚園・認定こども園の一時預かり」が 73.0%、「産後ケア」が 72.6%、「放課後子ども教室」が 70.1%の順となっています。

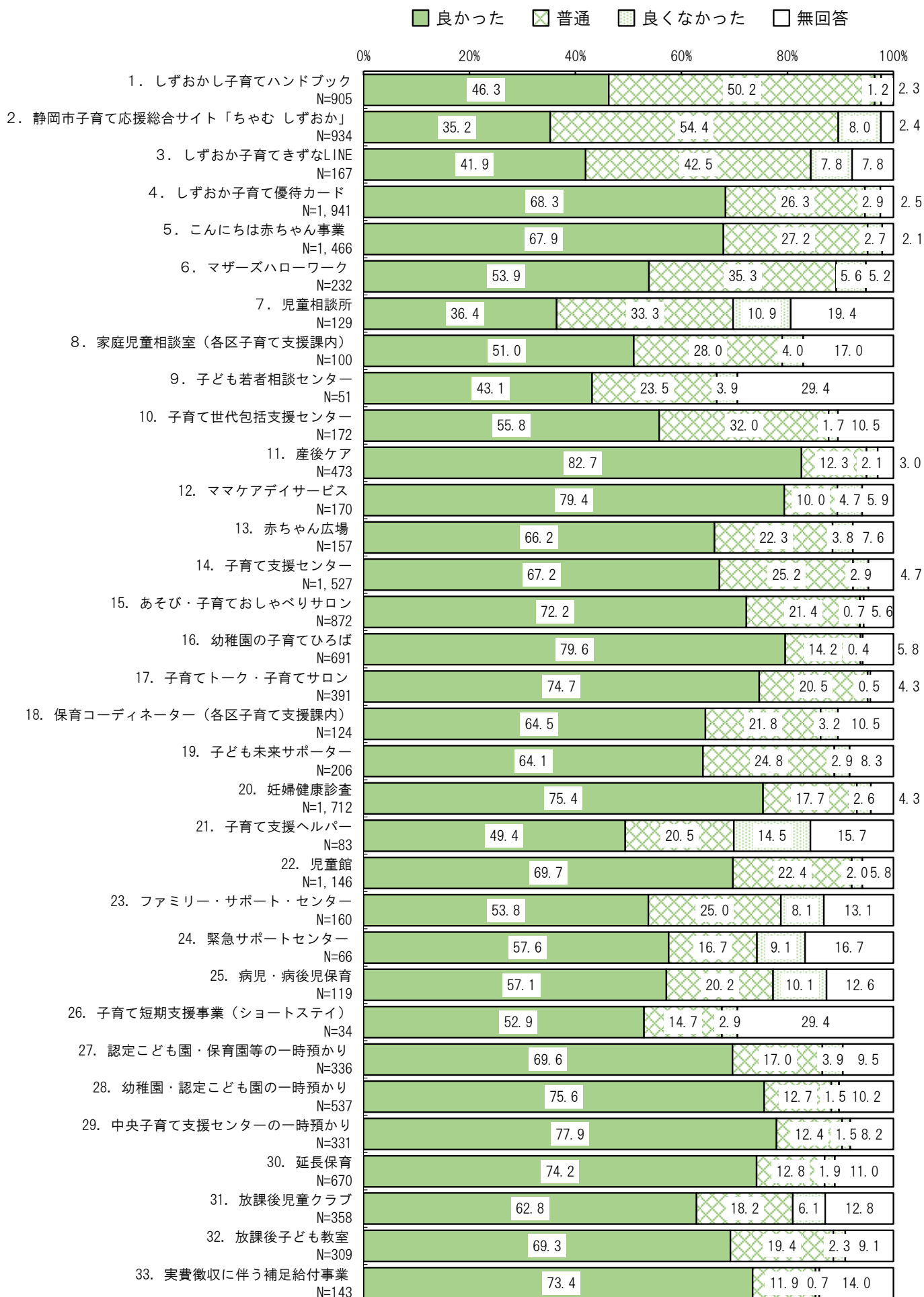
【平成 30 年度調査との比較】

就学前児童の満足度をみると、「良かった」が 32 事業のうち 23 事業で増加しており、「ママケアデイサービス」が 17.5 ポイントと最も大きく増加しています。

就学児童の満足度をみると、「良かった」が 32 事業のうち 26 事業で増加しており、「病児・病後児保育」が 31.5 ポイントと最も大きく増加しています。

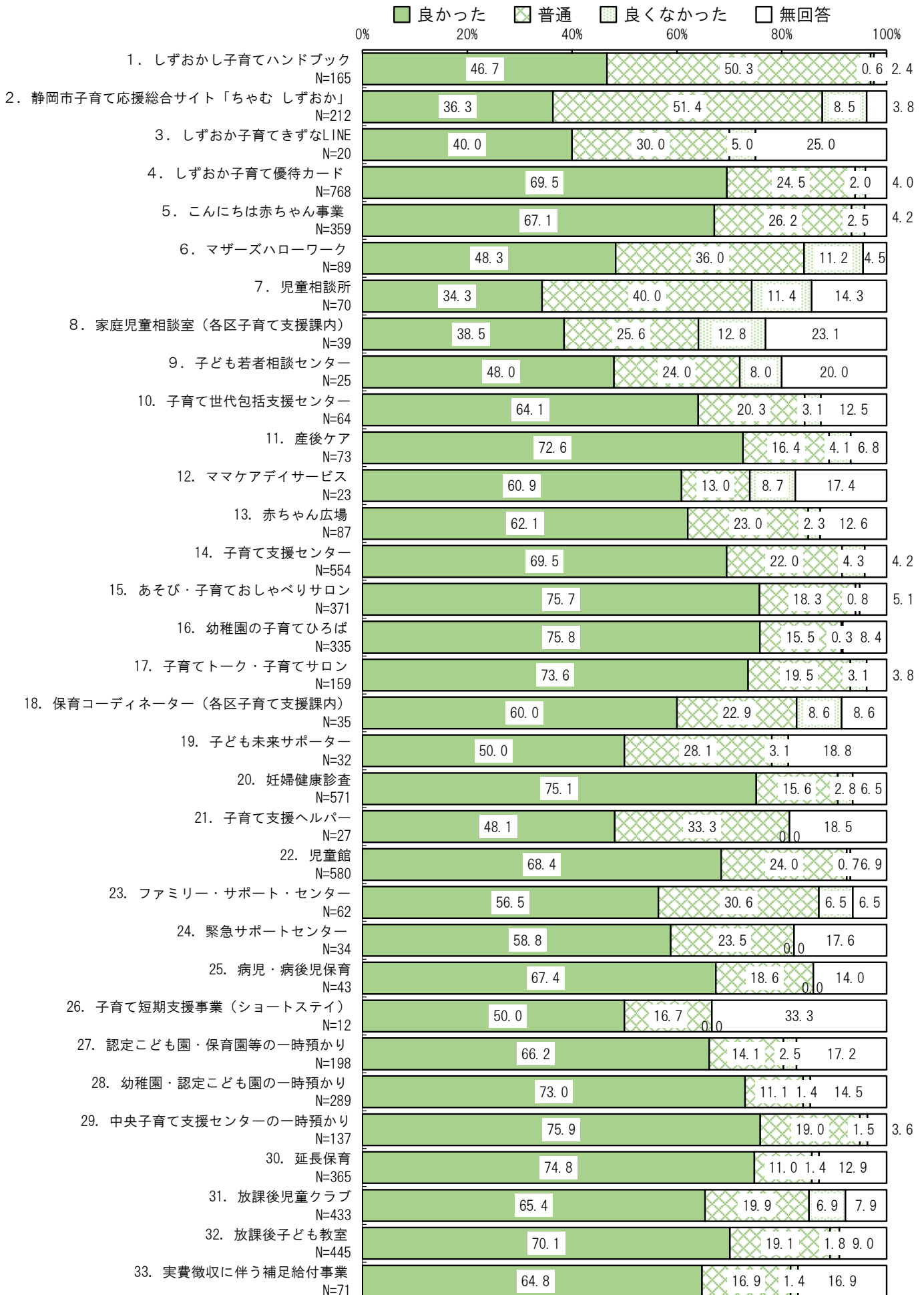
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【就学前児童】



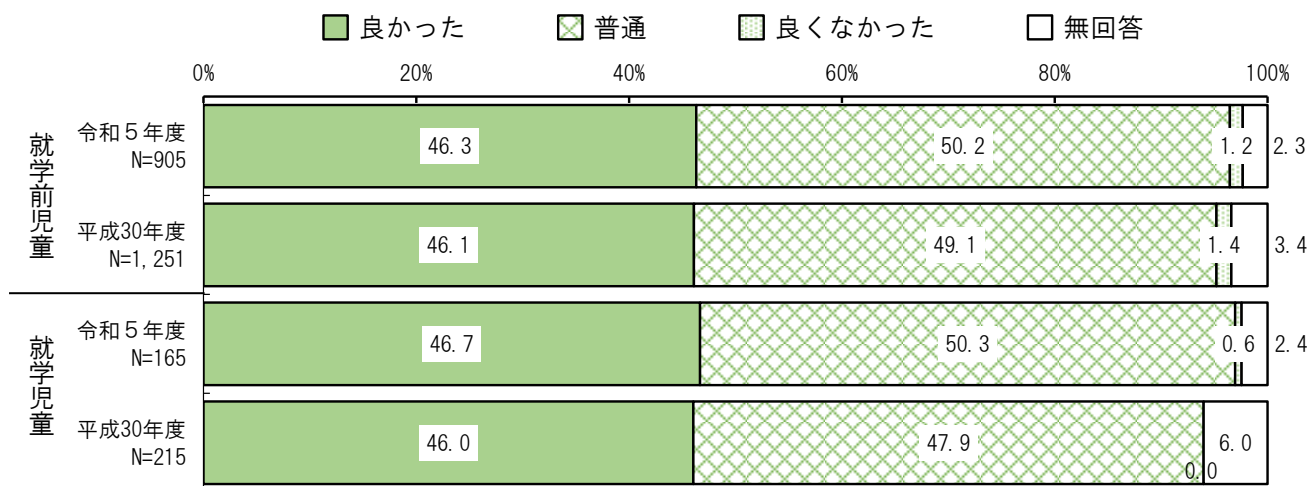
【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

【就学児童】

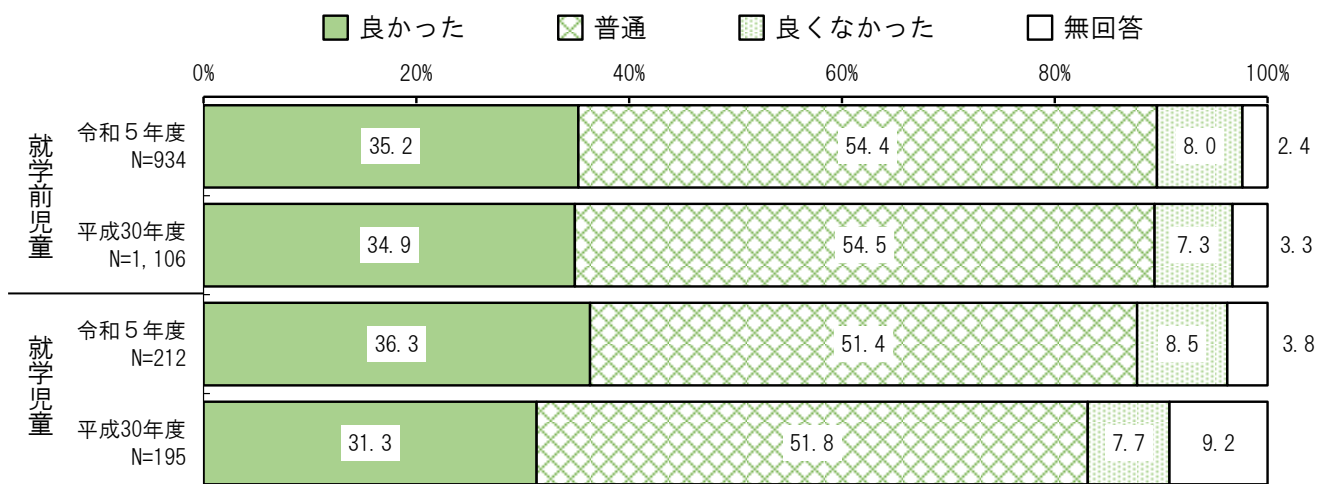


令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

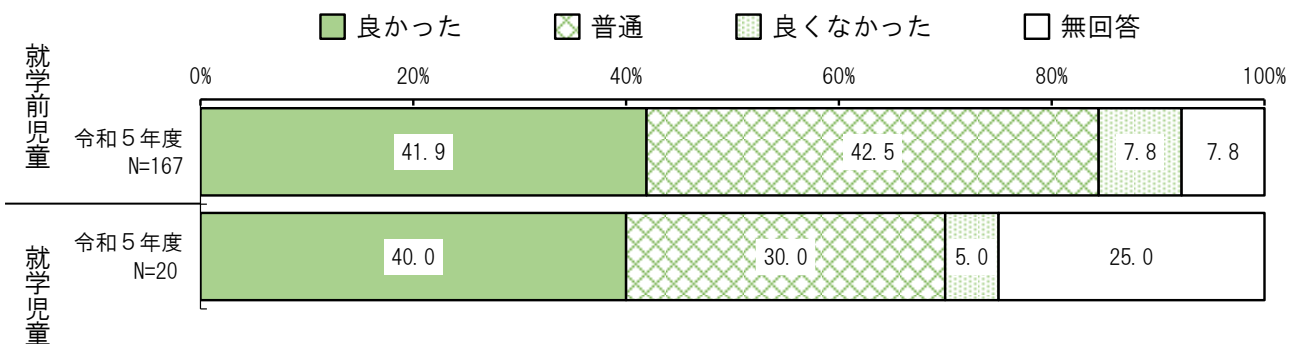
【1. しずおか子育てハンドブック】



【2. 静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ しずおか」】

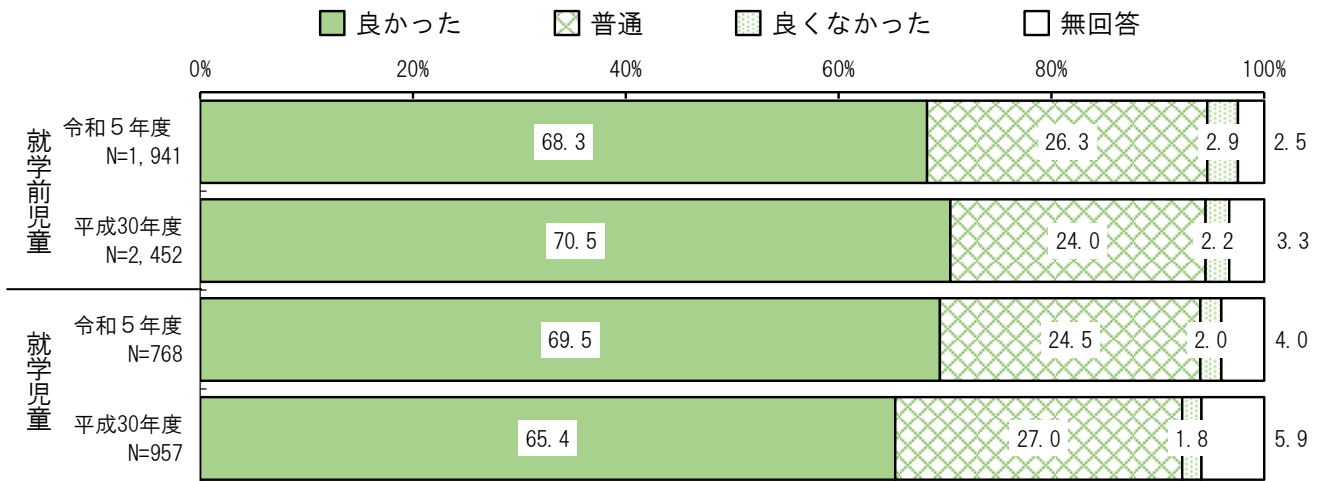


【3. しずおか子育てきずなLINE】

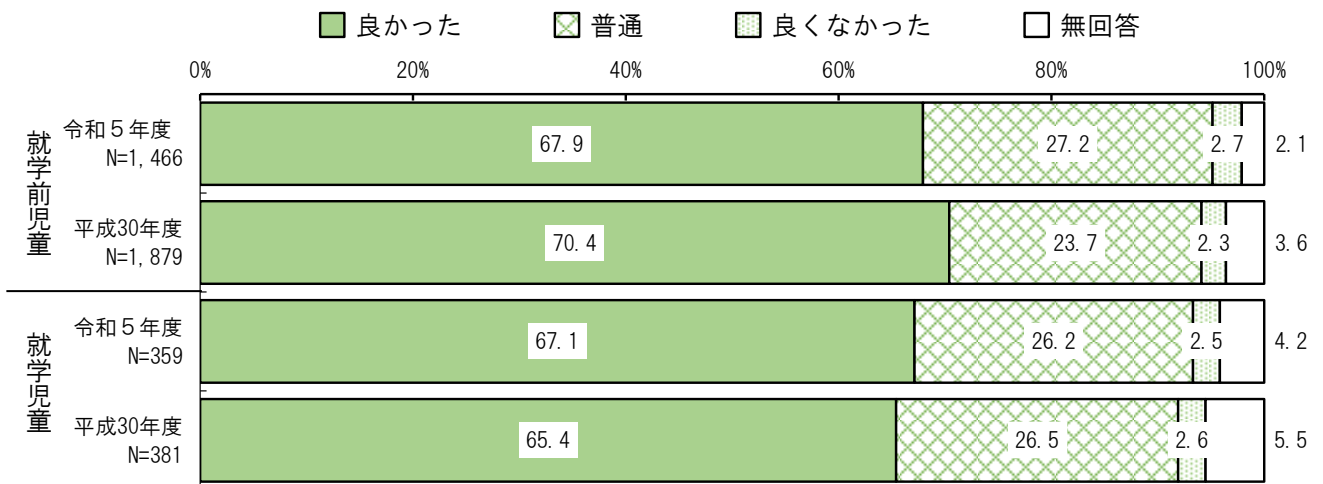


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

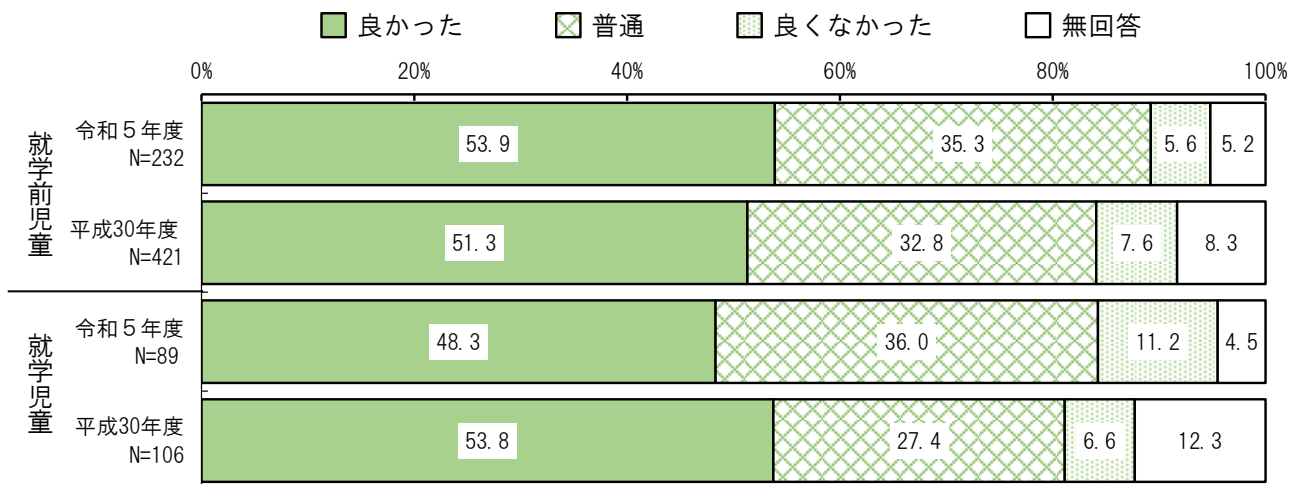
【4. しずおか子育て優待カード】



【5. こんにちは赤ちゃん事業】

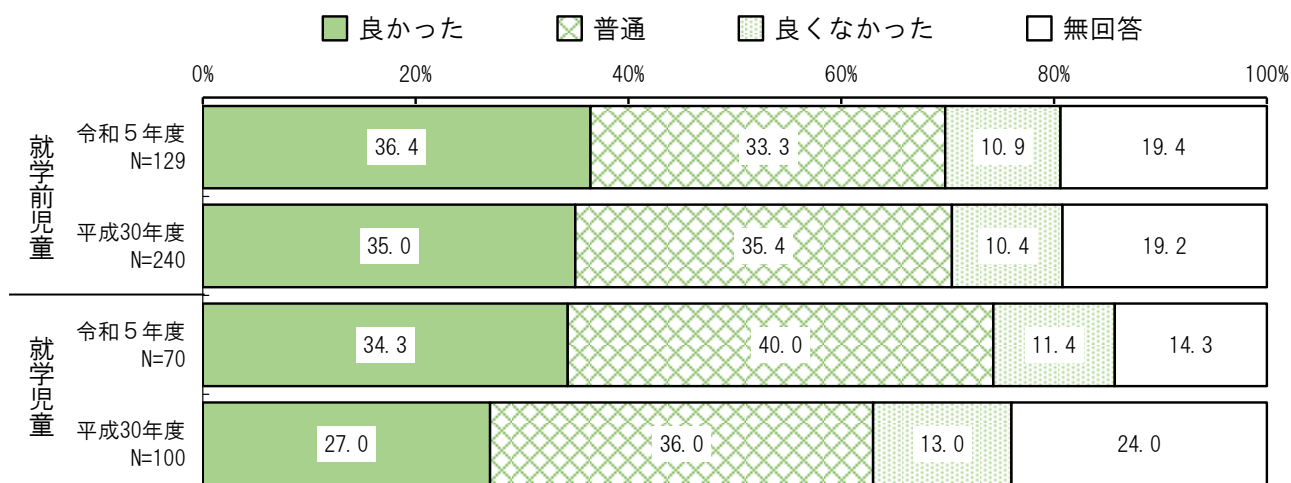


【6. マザーズハローワーク】

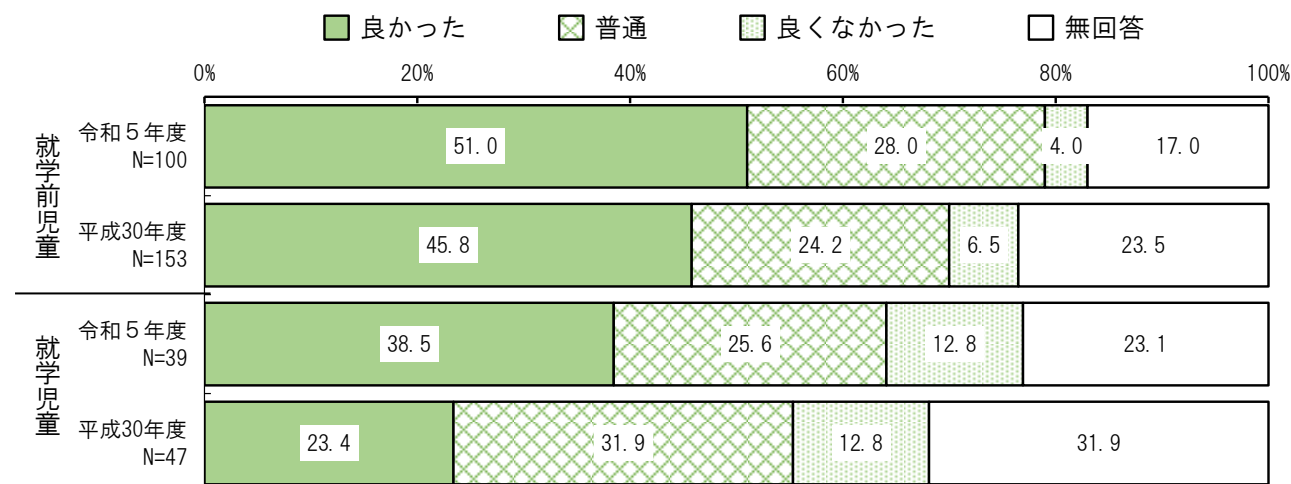


令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

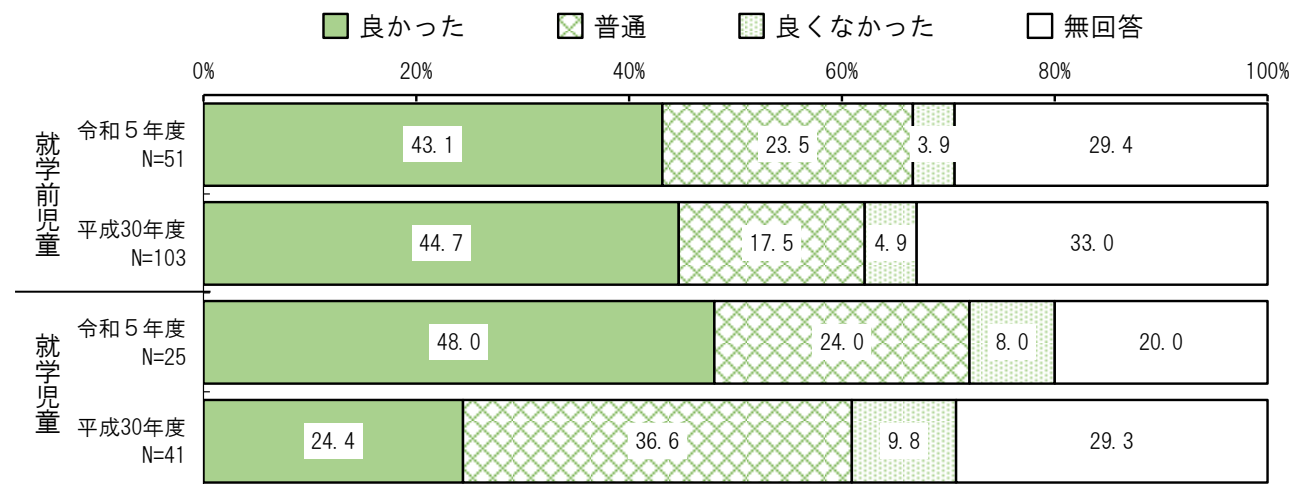
【7. 児童相談所】



【8. 家庭児童相談室（各区子育て支援課内）】

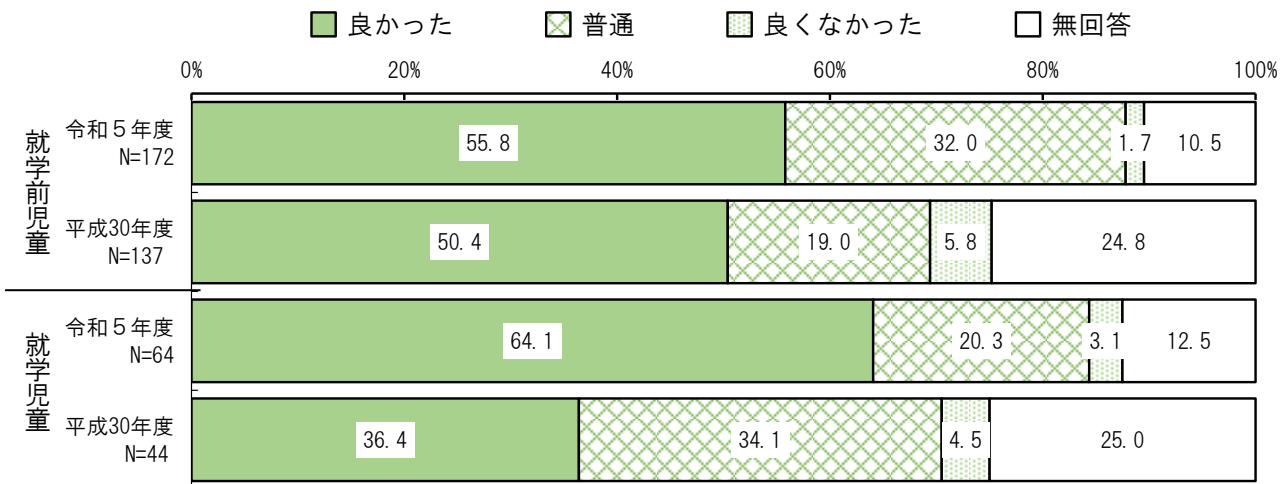


【9. 子ども若者相談センター】

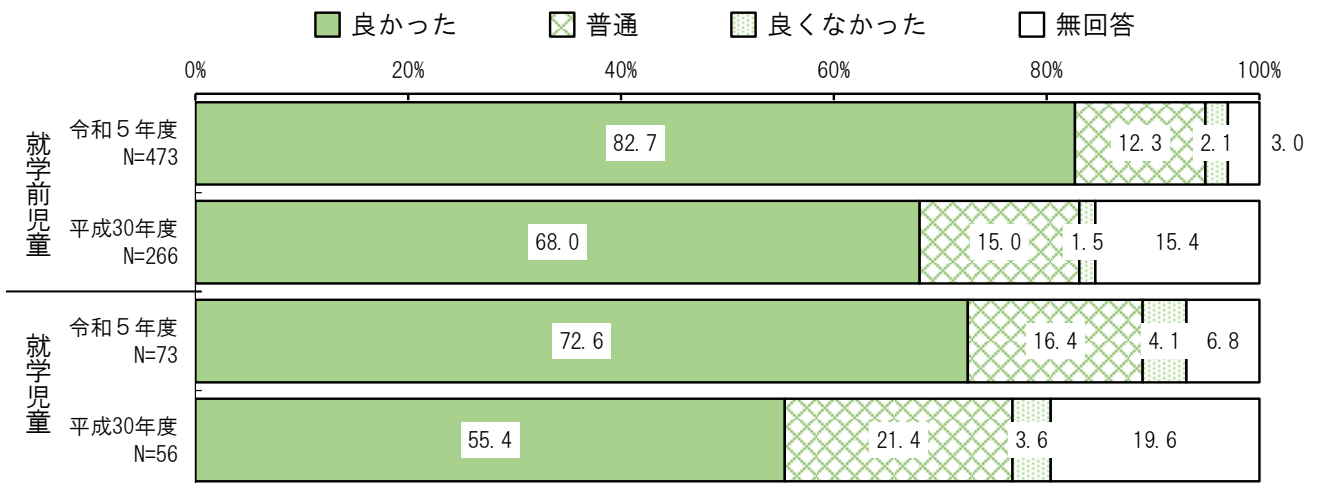


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

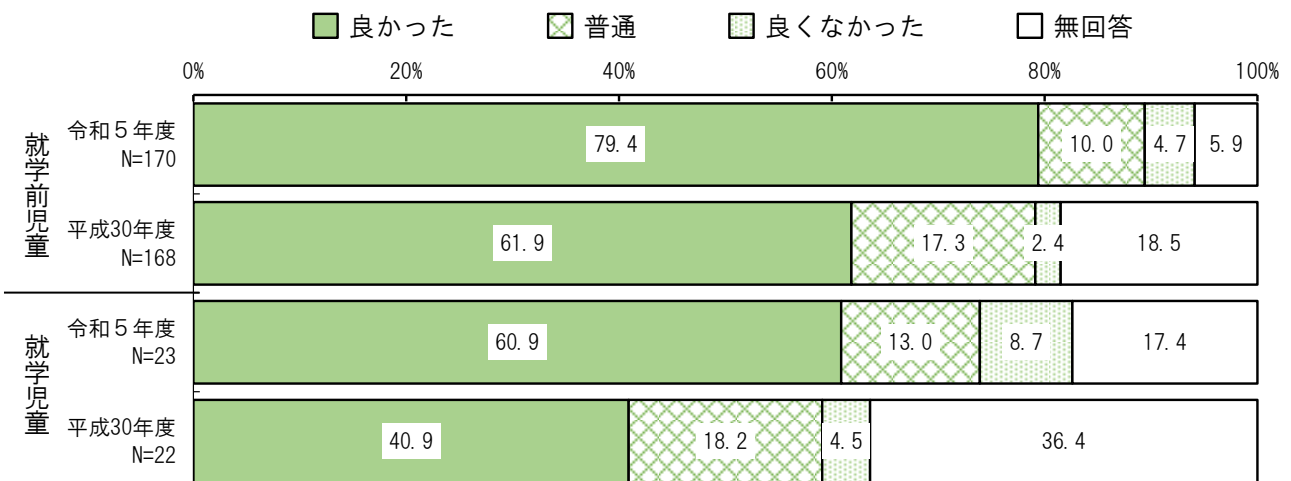
【10. 子育て世代包括支援センター】



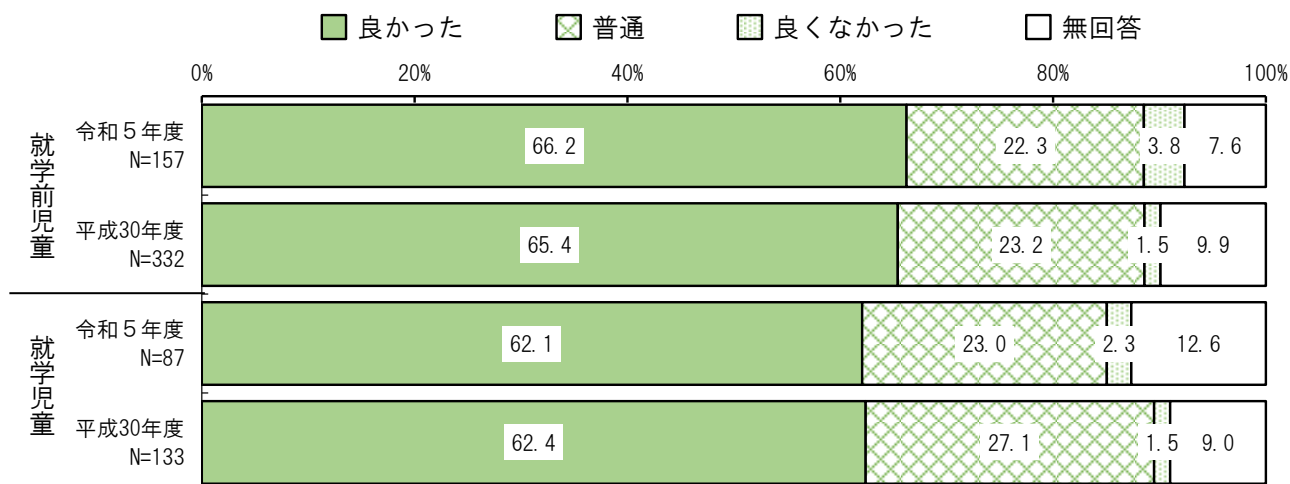
【11. 産後ケア】



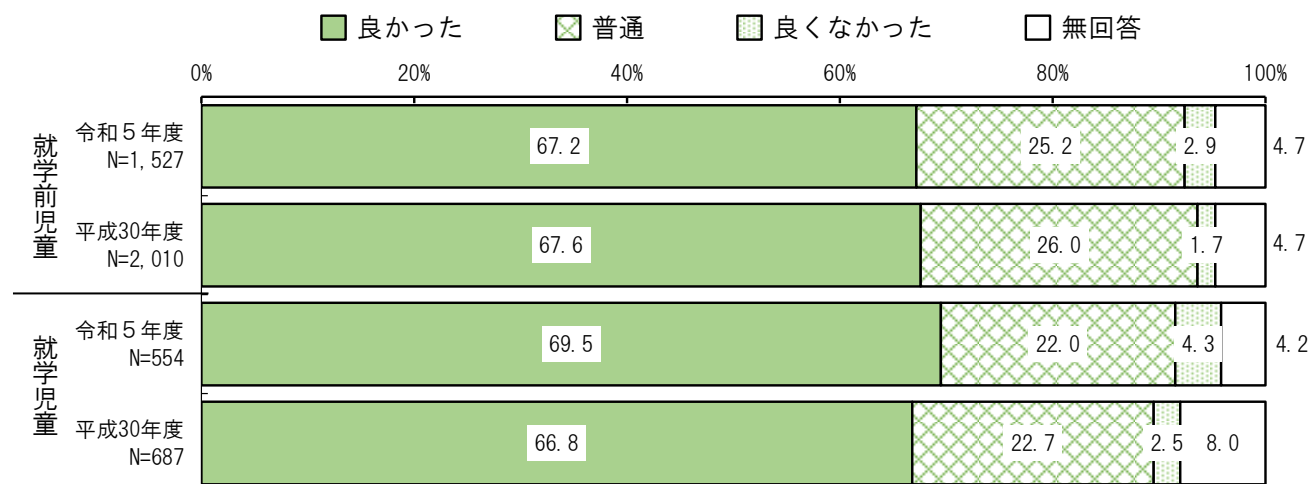
【12. ママケアデイサービス】



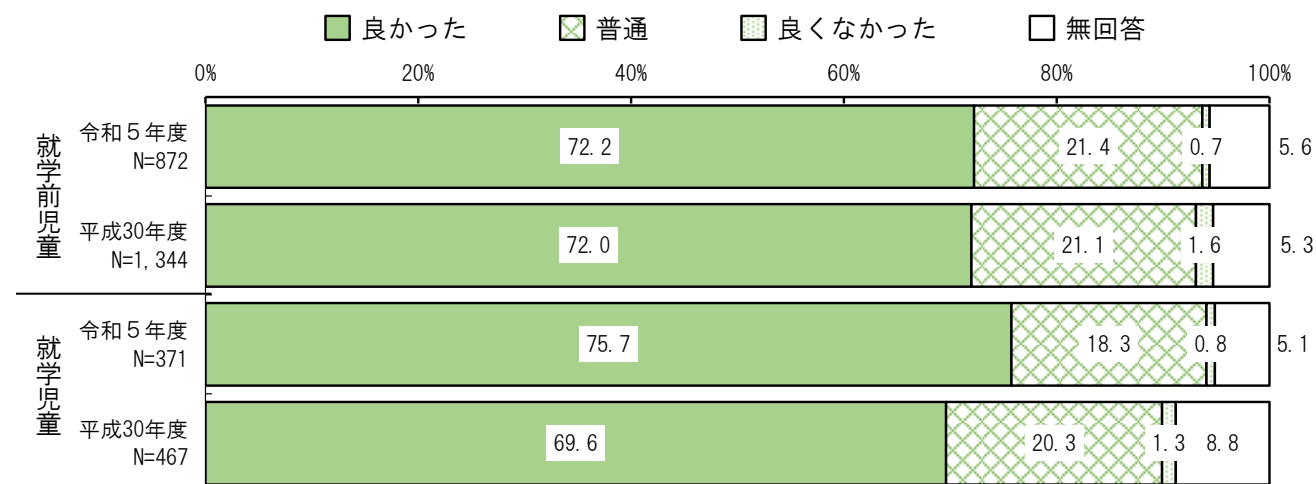
【13. 赤ちゃん広場】



【14. 子育て支援センター】

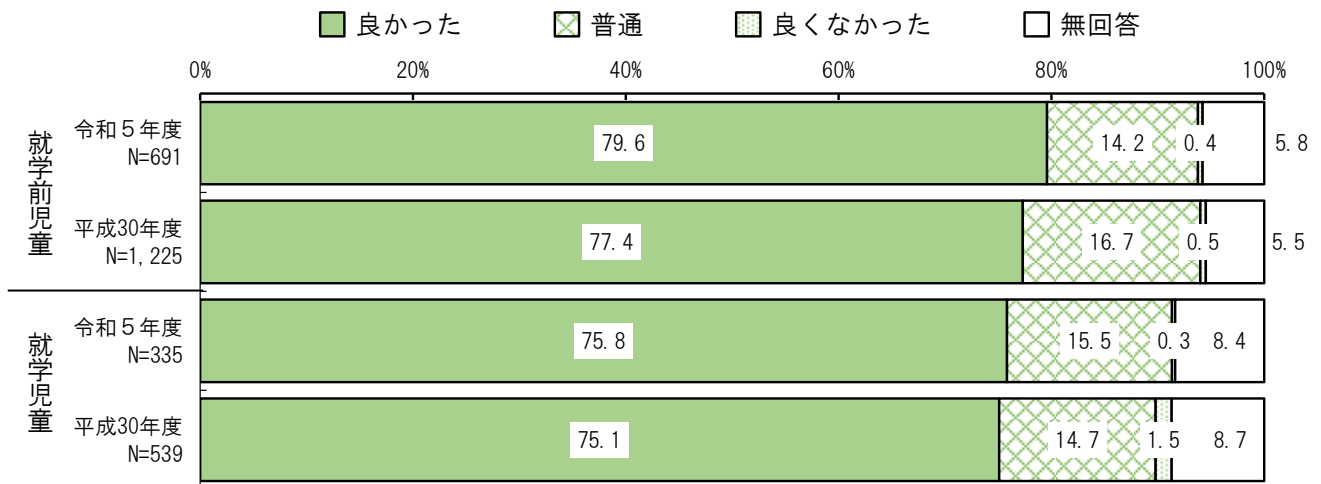


【15. あそび・子育ておしゃべりサロン】

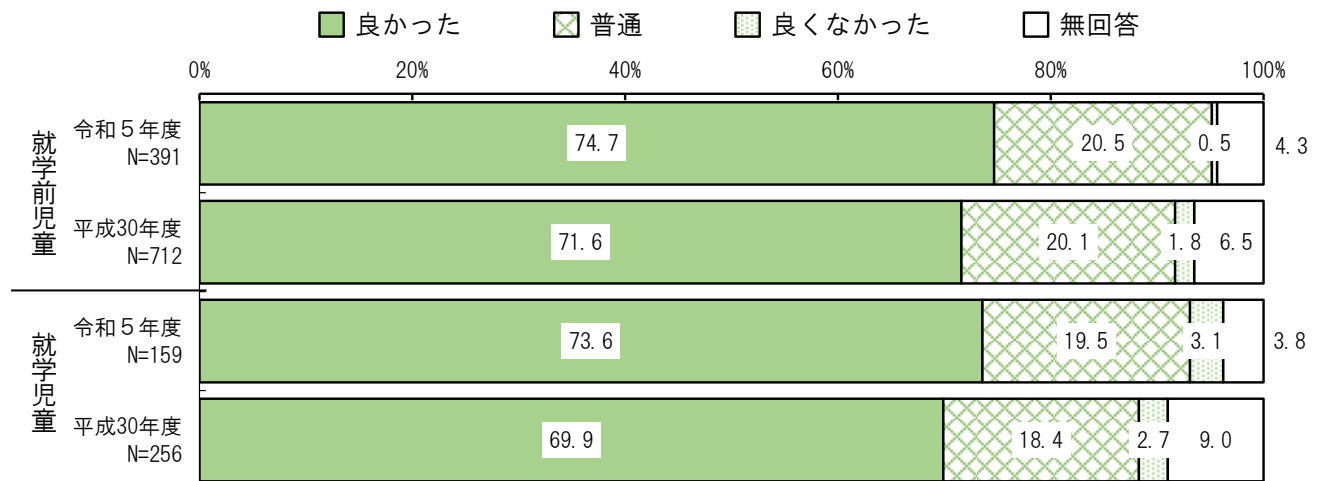


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

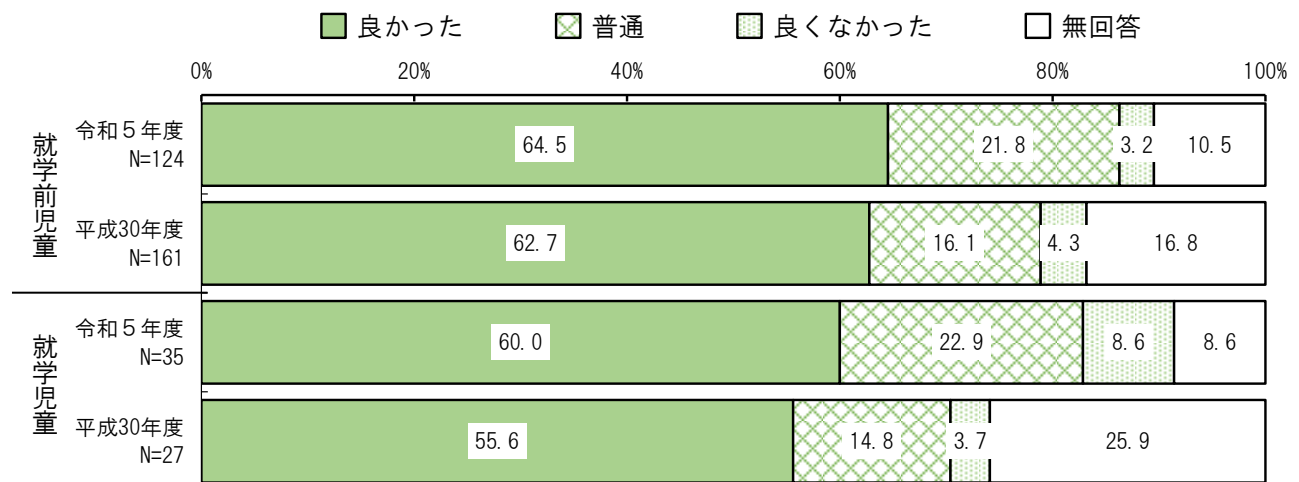
【16. 幼稚園の子育てひろば】



【17. 子育てトーク・子育てサロン】

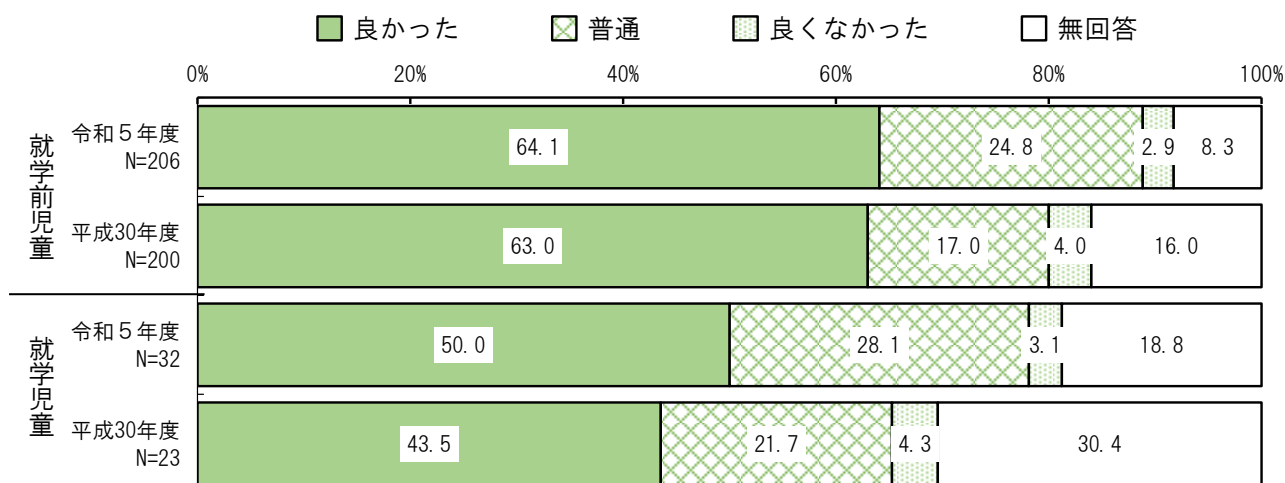


【18. 保育コーディネーター（各区子育て支援課内）】

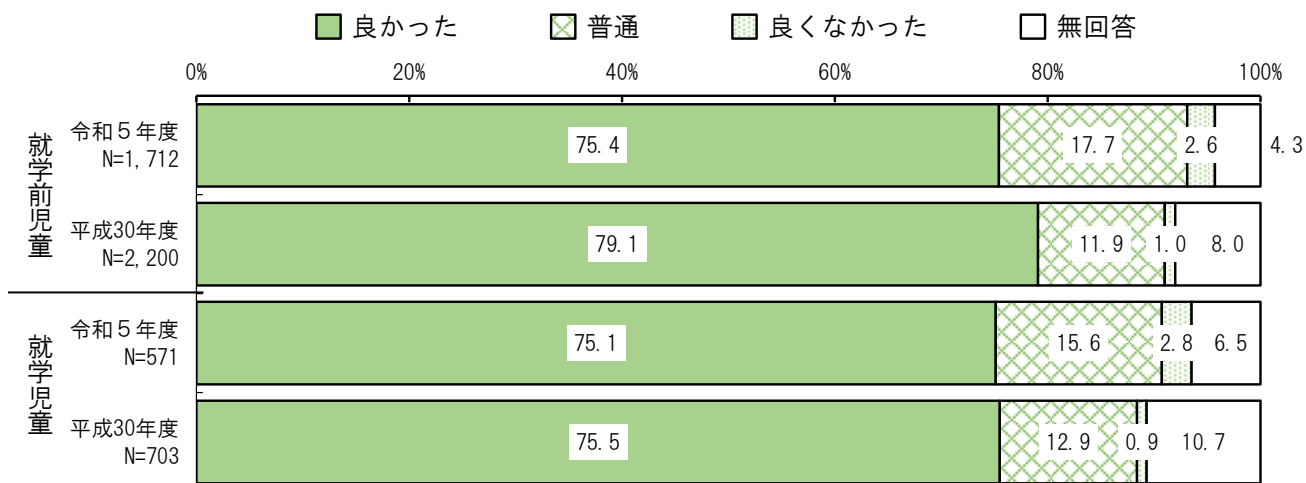


令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

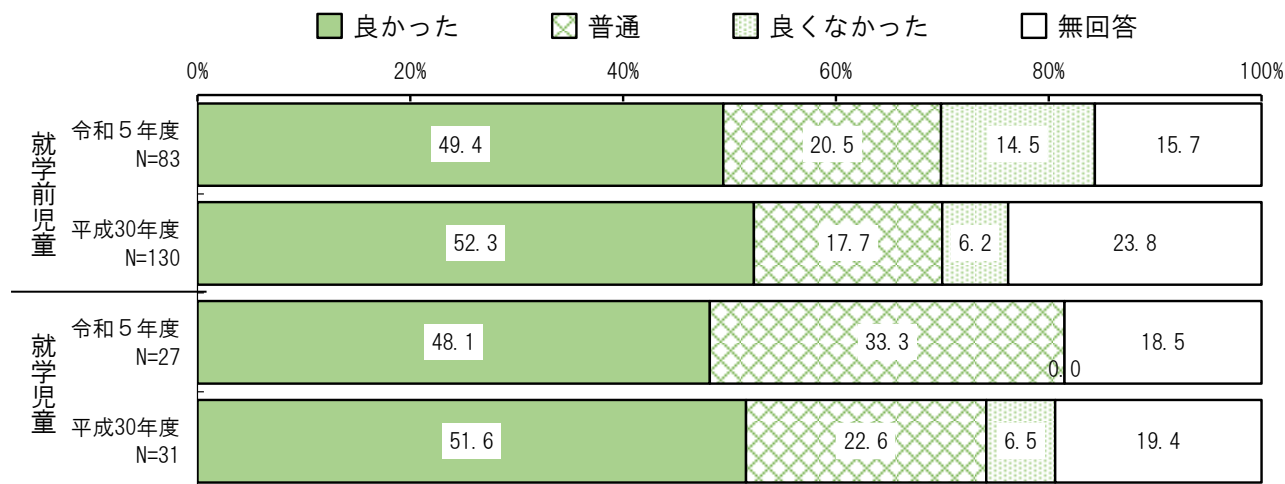
【19. 子ども未来サポーター】



【20. 妊婦健康診査】

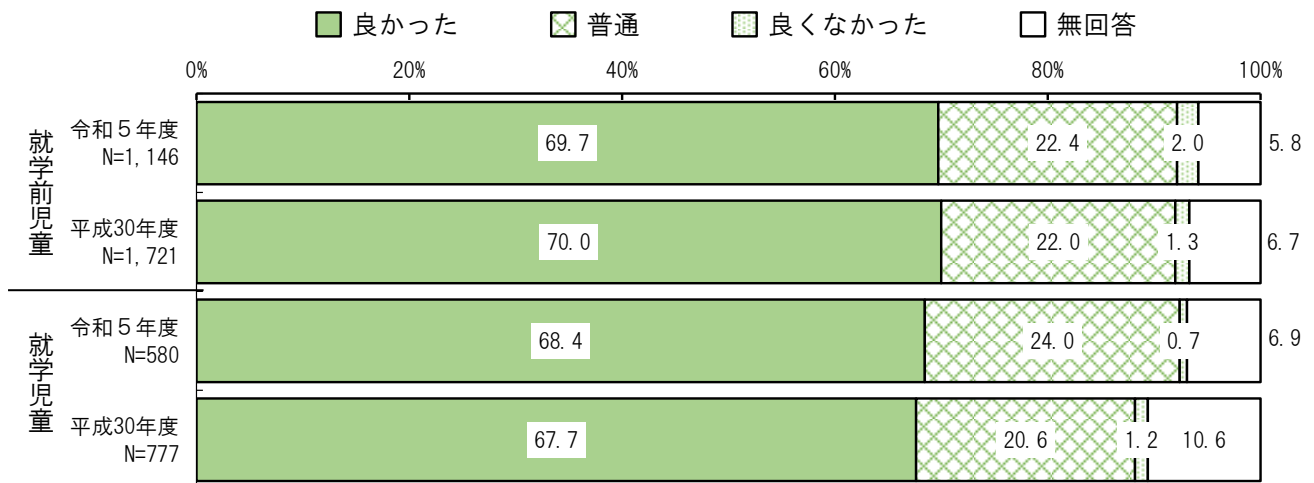


【21. 子育て支援ヘルパー】

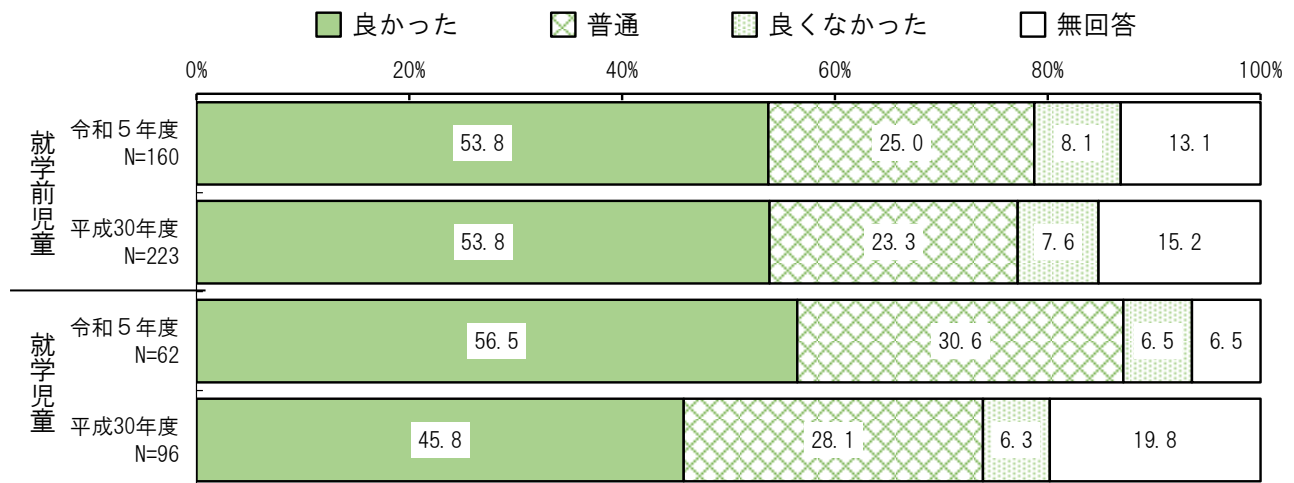


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

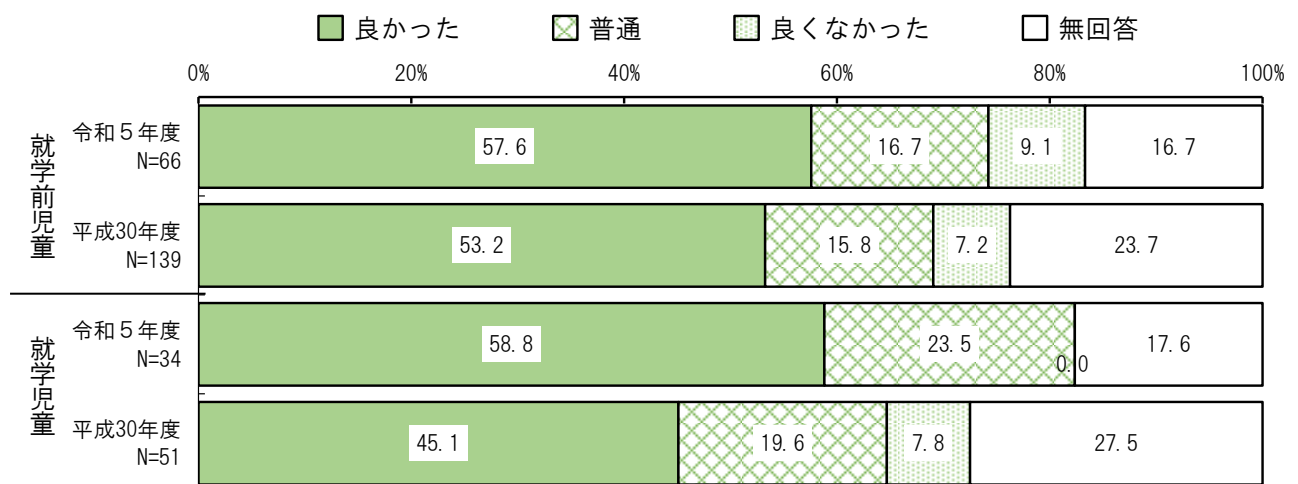
【22. 児童館】



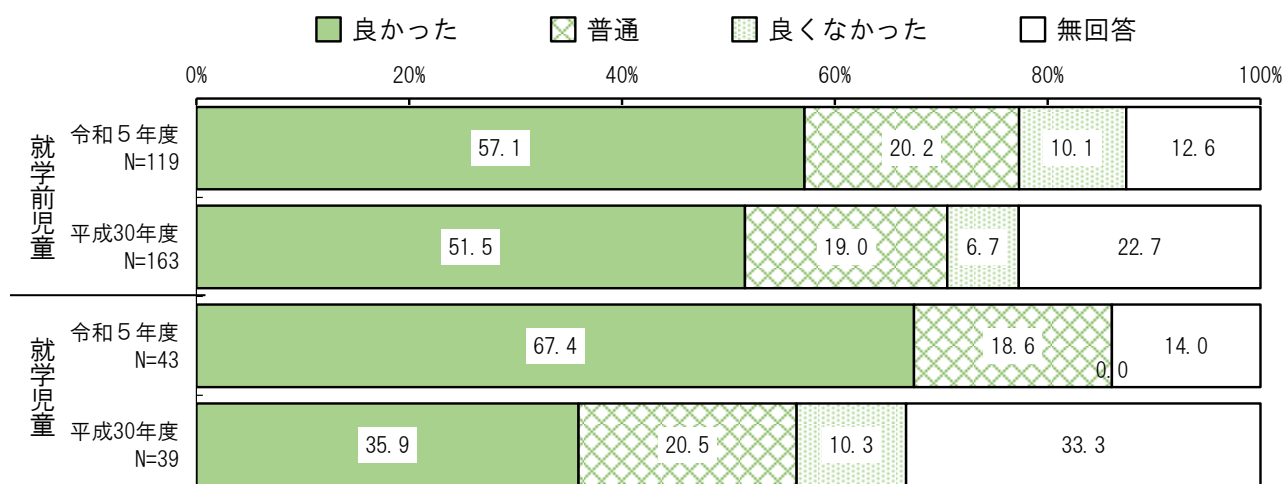
【23. ファミリー・サポート・センター】



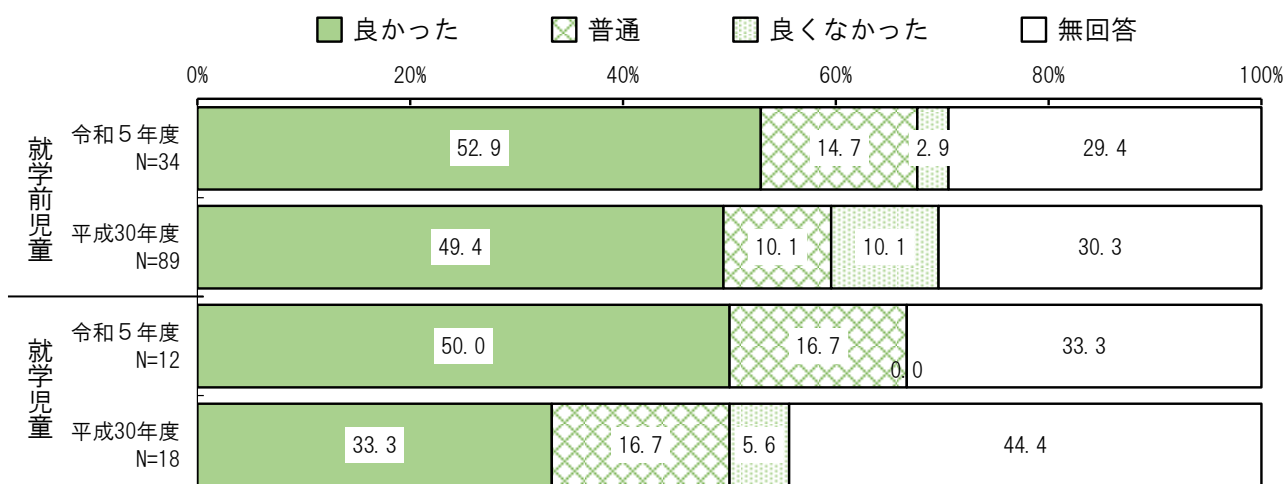
【24. 緊急サポートセンター】



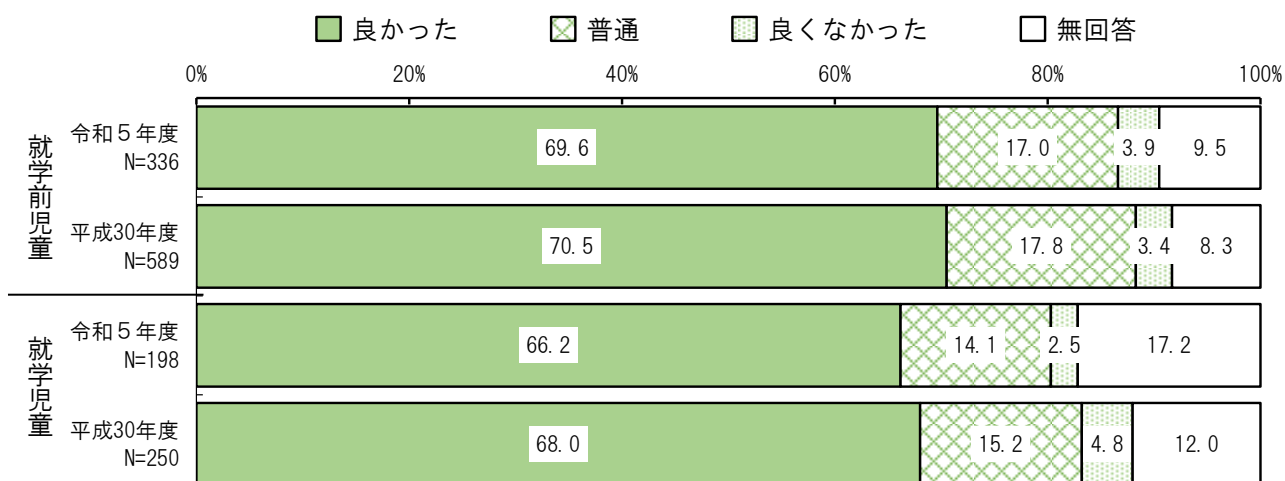
【25. 病児・病後児保育】



【26. 子育て短期支援事業（ショートステイ）】

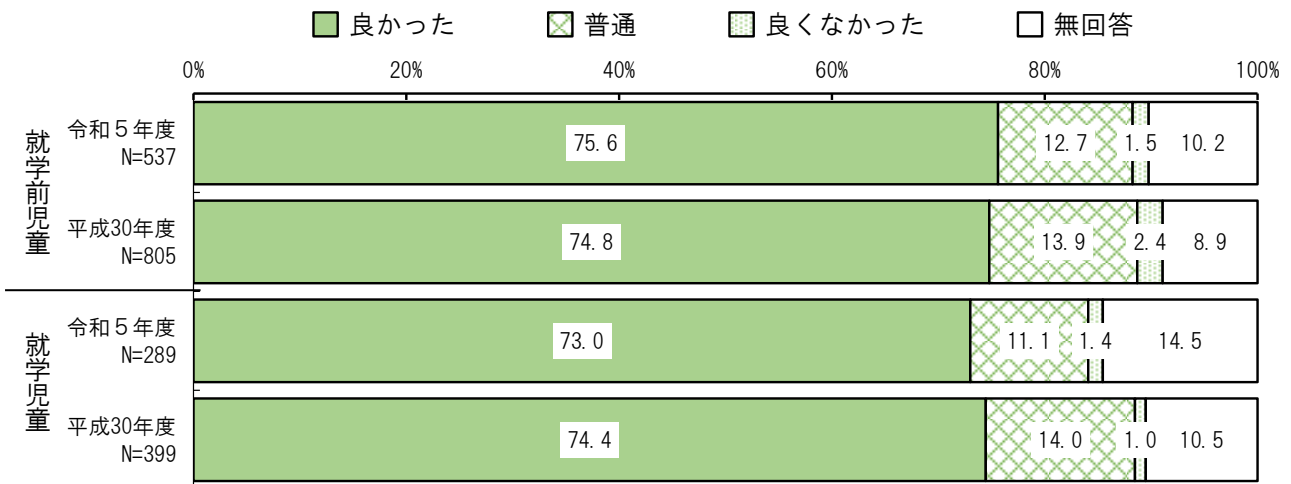


【27. 認定こども園・保育園等の一時預かり】

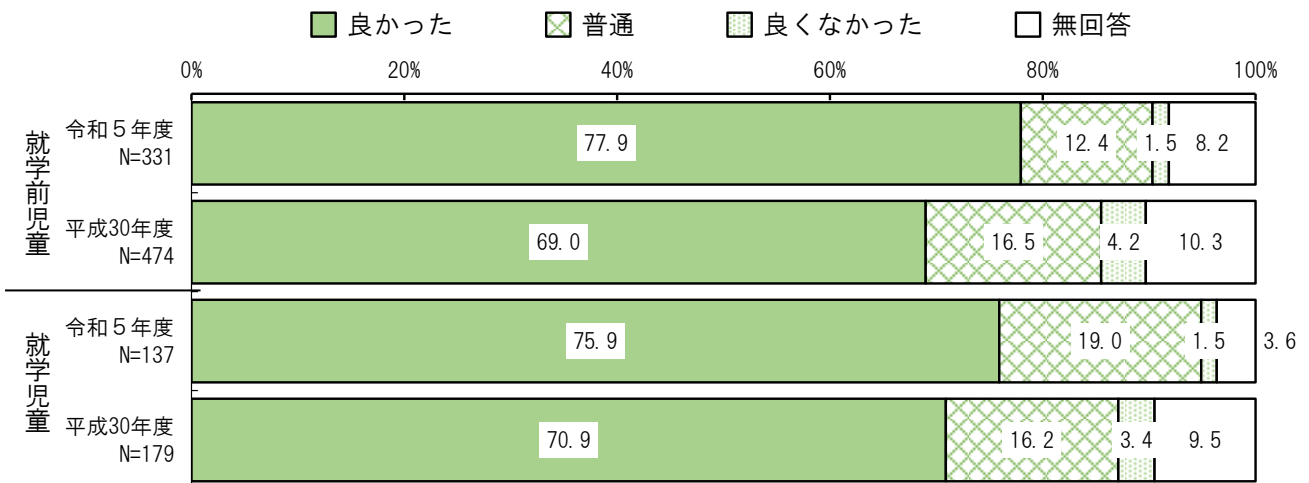


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

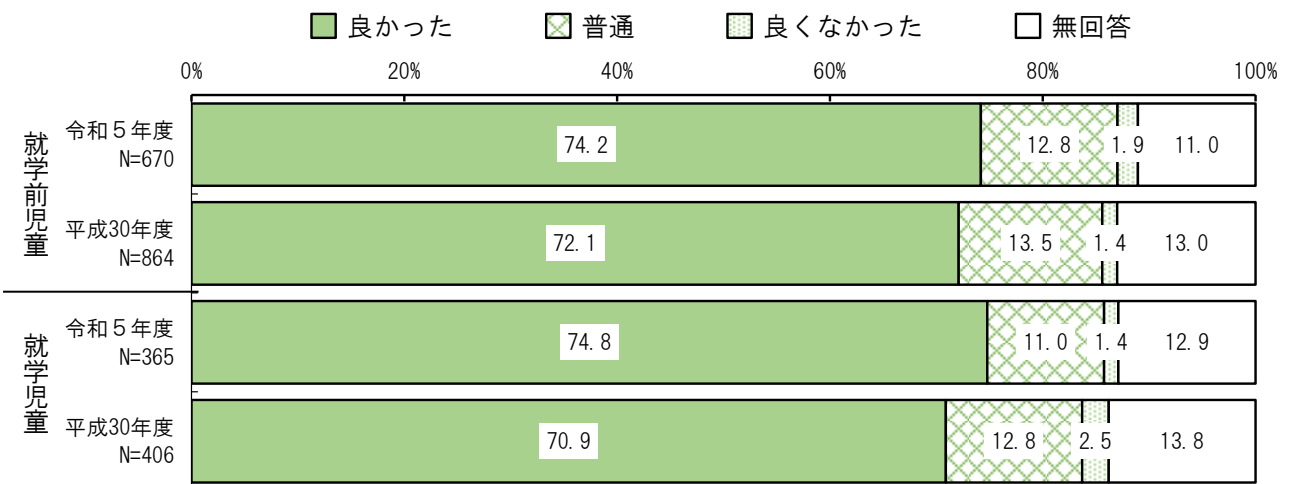
【28. 幼稚園・認定こども園の一時預かり】



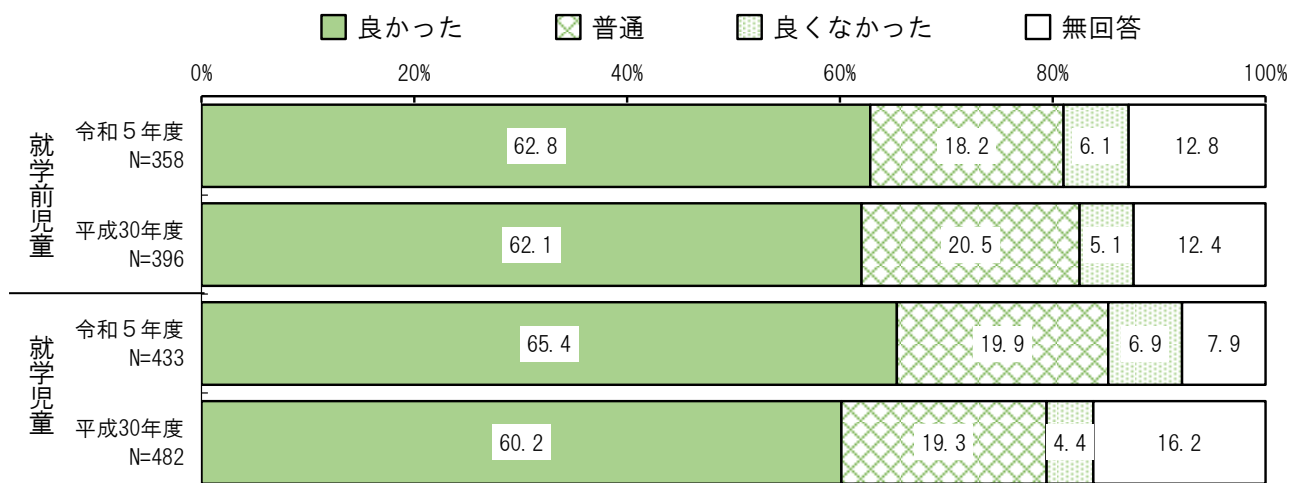
【29. 中央子育て支援センターの一時預かり】



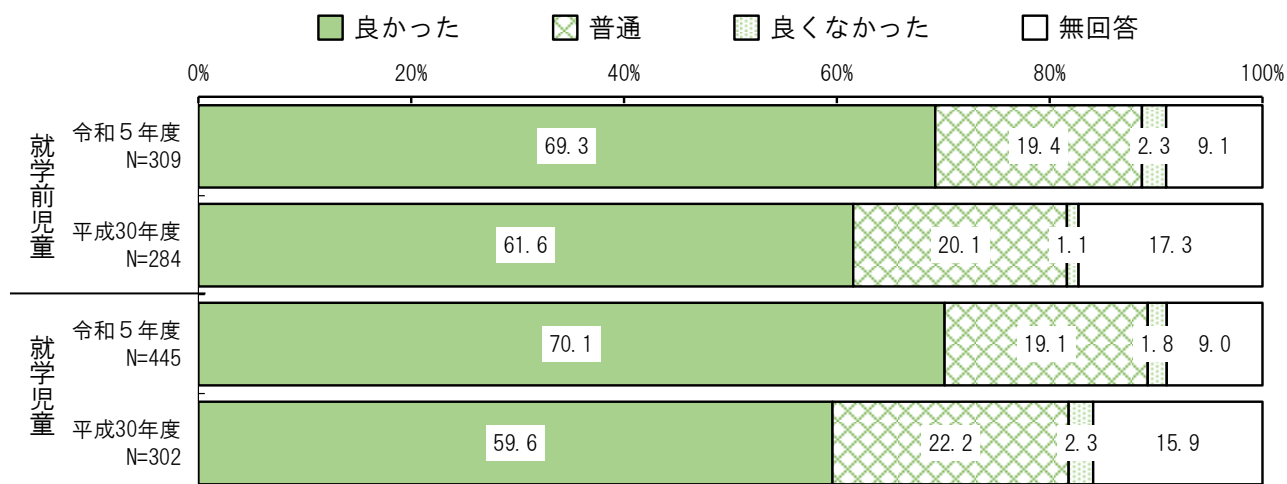
【30. 延長保育】



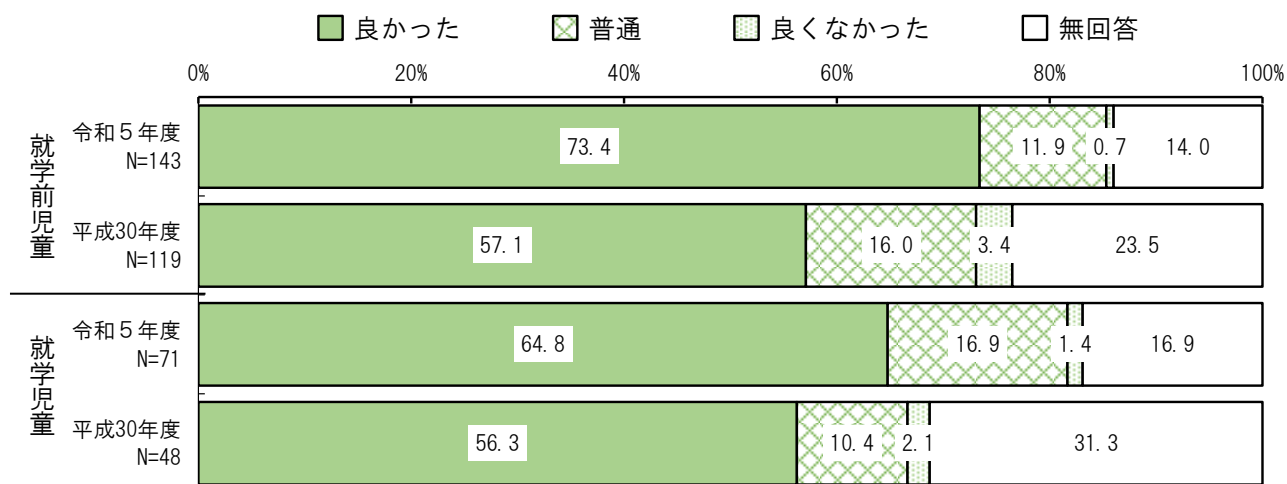
【31. 放課後児童クラブ】



【32. 放課後子ども教室】



【33. 実費徴収に伴う補足給付事業】



(3) 各種事業の今後の利用希望（単数回答） 《就学前児童調査…問30・就学児童調査…問22》

就学前児童の利用希望をみると、『利用したい』（「今後も引き続き利用する」＋「今後利用したい」）が、30 事業のうち 8 事業で 50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が 85.5%が最も高く、次いで「児童館」が 66.1%、「放課後児童クラブ」が 56.8%、「放課後子ども教室」が 54.4%、「しずおかし子育てハンドブック」、「静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ しずおか」」が 51.7%、「子育て支援センター」が 51.4%、「延長保育」が 50.6%の順となっています。

就学児童の利用希望をみると、『利用したい』（「今後も引き続き利用する」＋「今後利用したい」）が、26 事業のうち 2 事業で 50%以上となっています。「しずおか子育て優待カード」が 86.0%と最も高く、次いで「児童館」が 53.8%となっています。

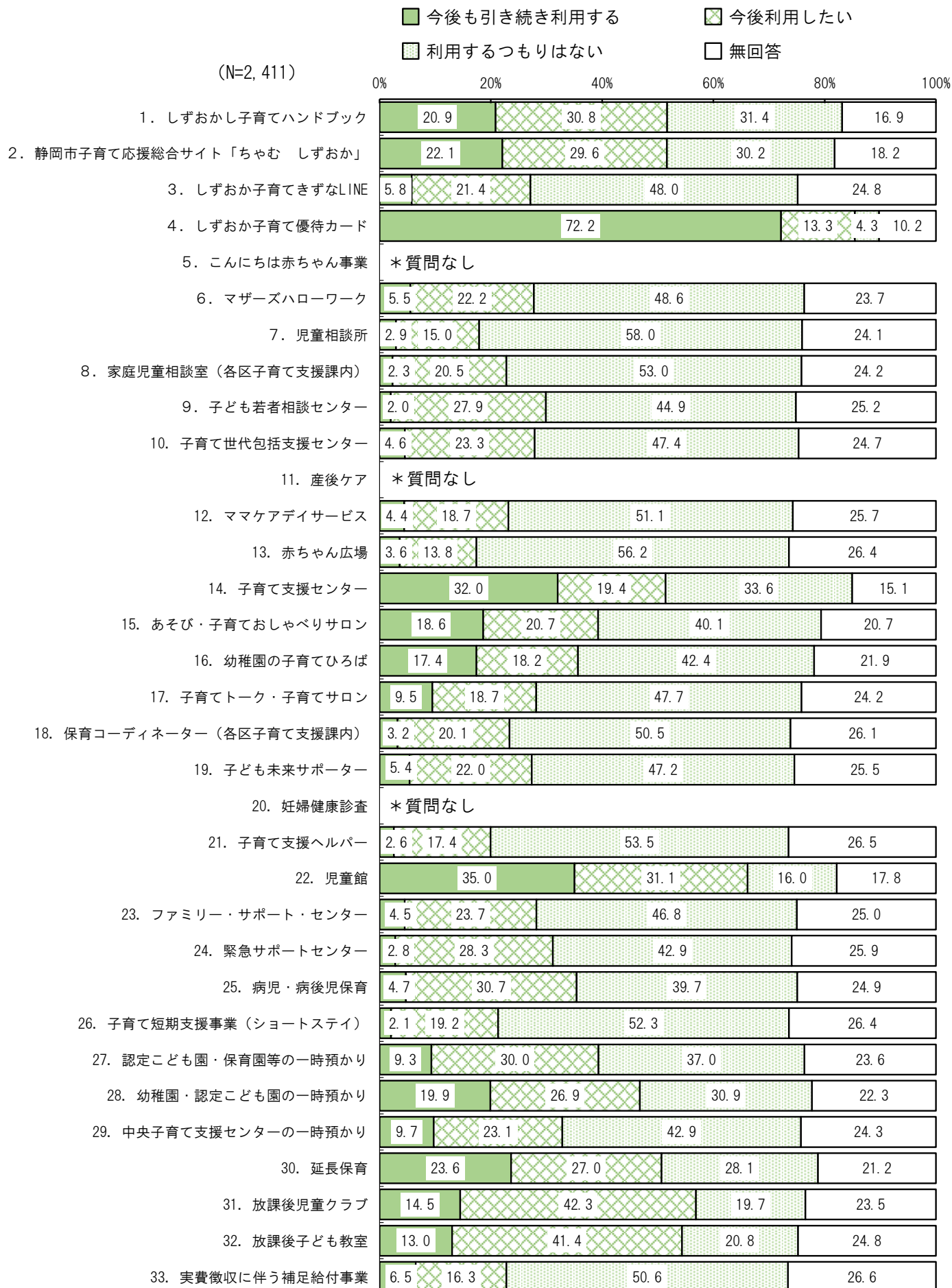
【平成 30 年度調査との比較】

就学前児童の利用希望をみると、『利用したい』（「今後も引き続き利用する」＋「今後利用したい」）が 29 事業のうち 6 事業で増加しており、「しずおか子育て優待カード」が 4.0 ポイントと最も大きく増加しています。

就学児童の利用希望をみると、『利用したい』（「今後も引き続き利用する」＋「今後利用したい」）が 25 事業のうち 2 事業で増加しており、「しずおか子育て優待カード」が 4.0 ポイントと最も大きく増加しています。

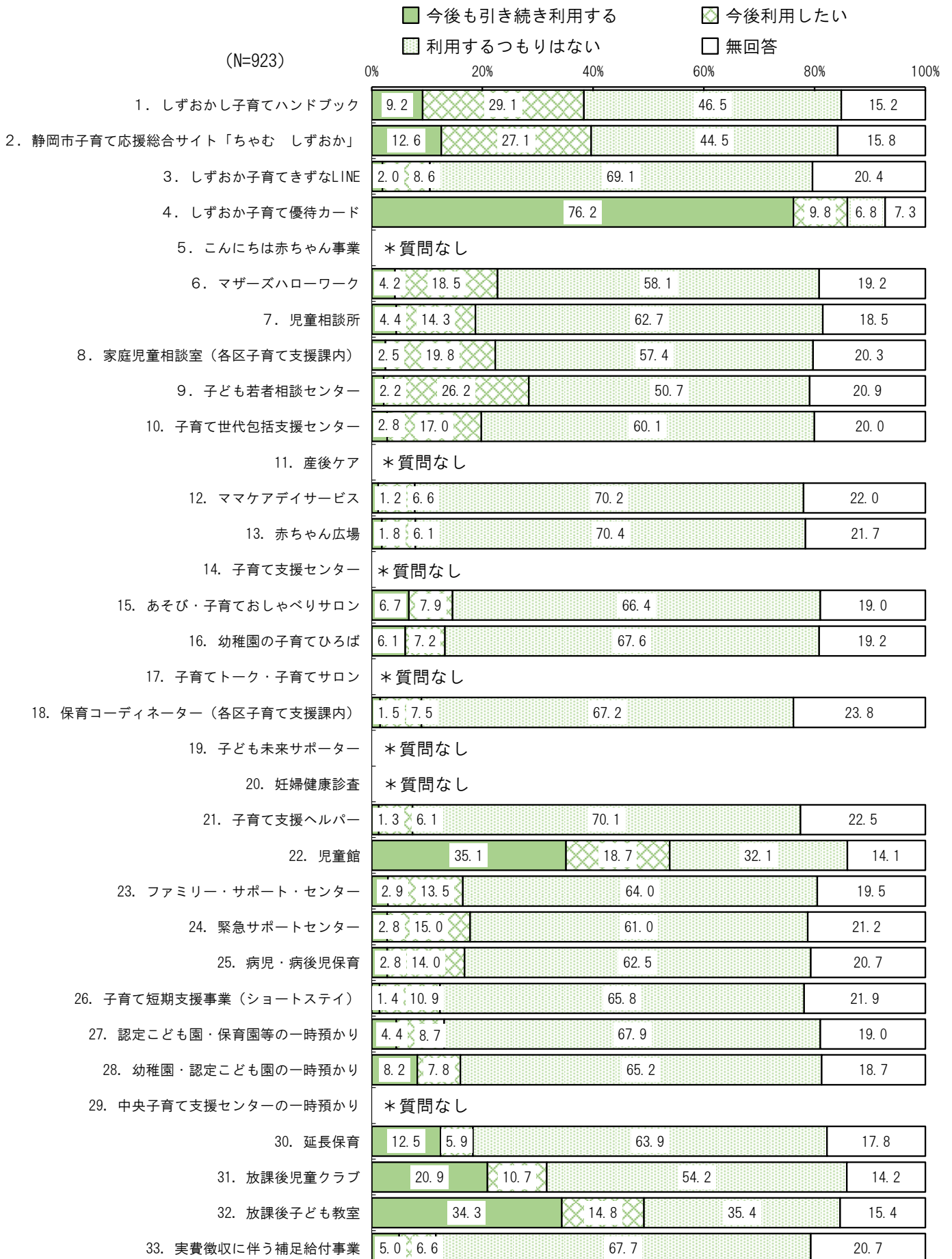
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【就学前児童】



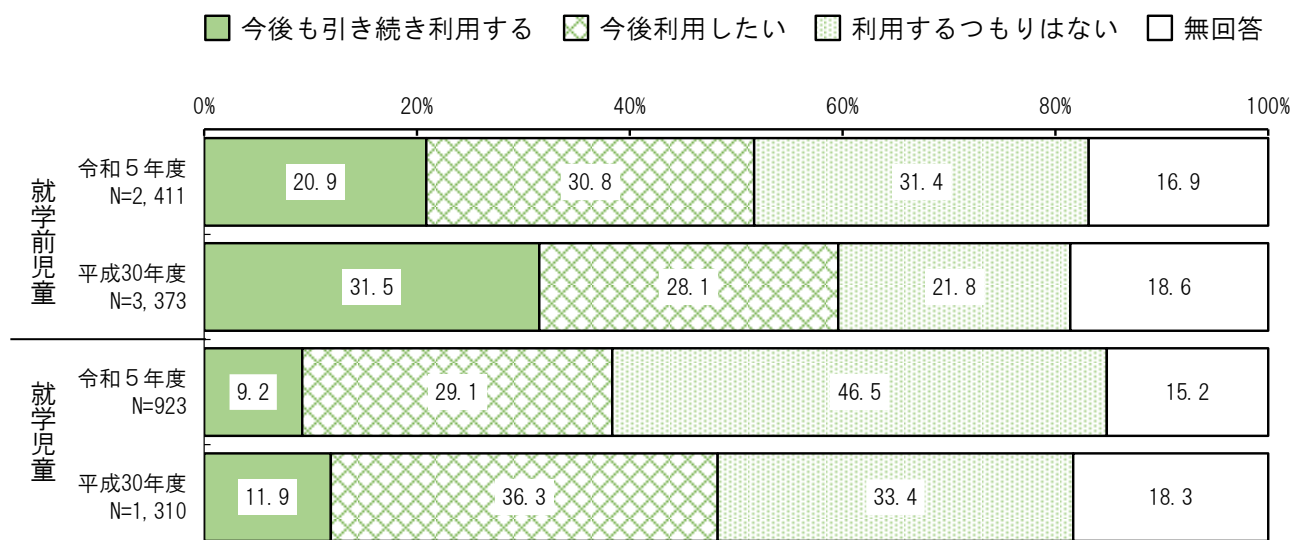
【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

【就学児童】

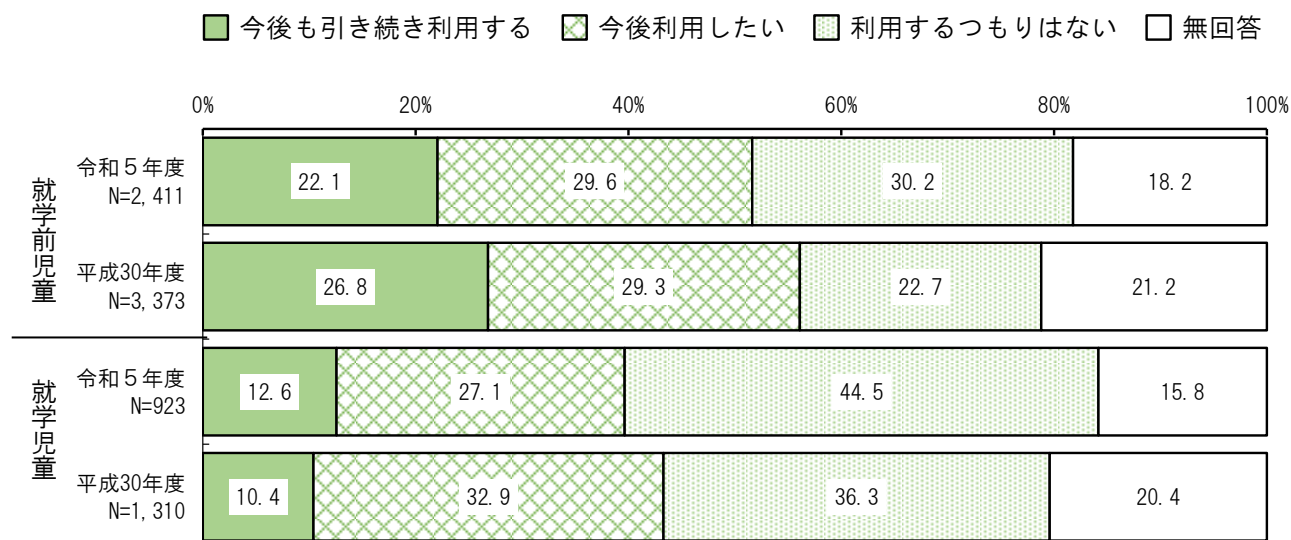


令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

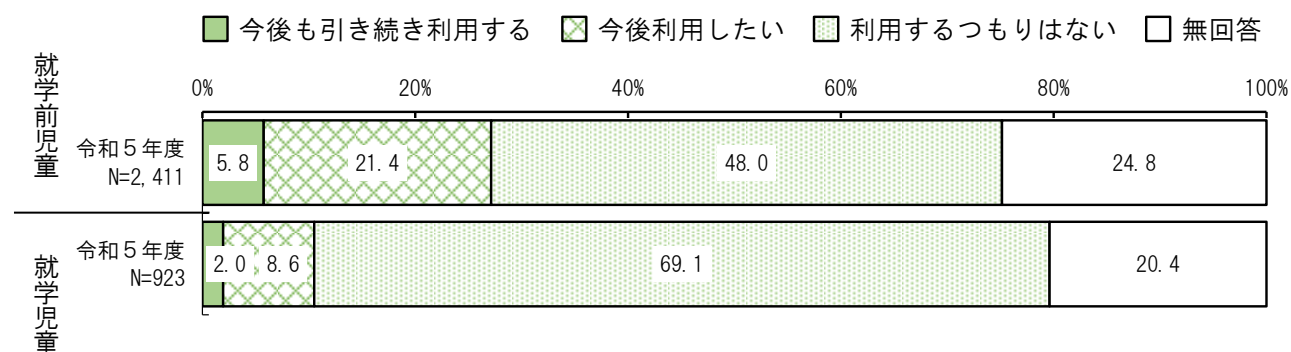
【1. しずおか子育てハンドブック】



【2. 静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ しずおか」】

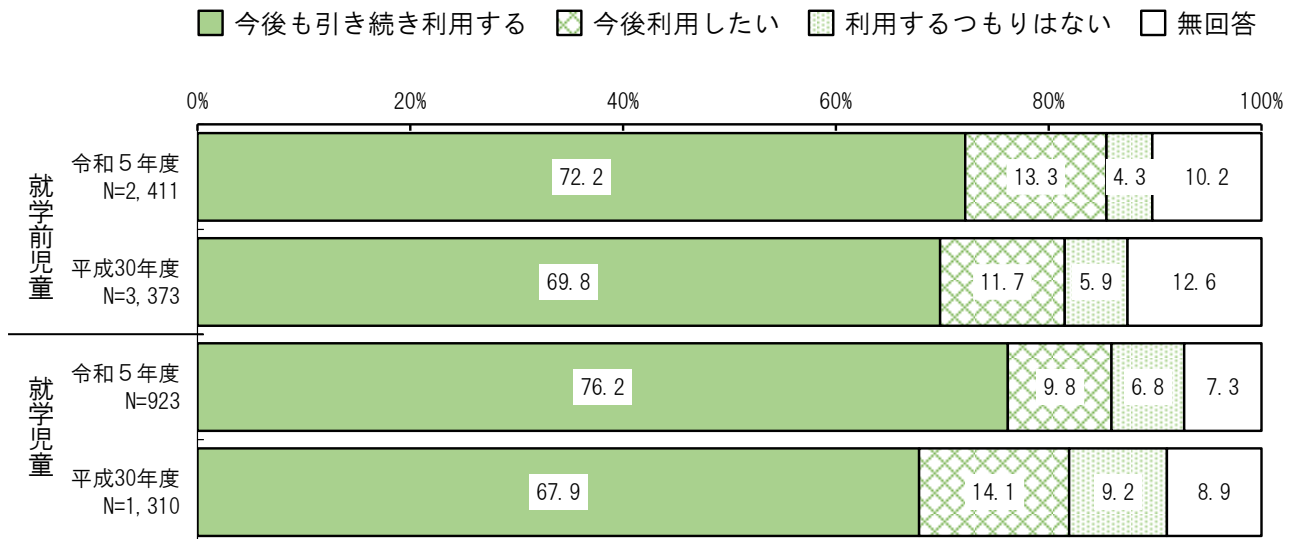


【3. しずおか子育てきずなLINE】

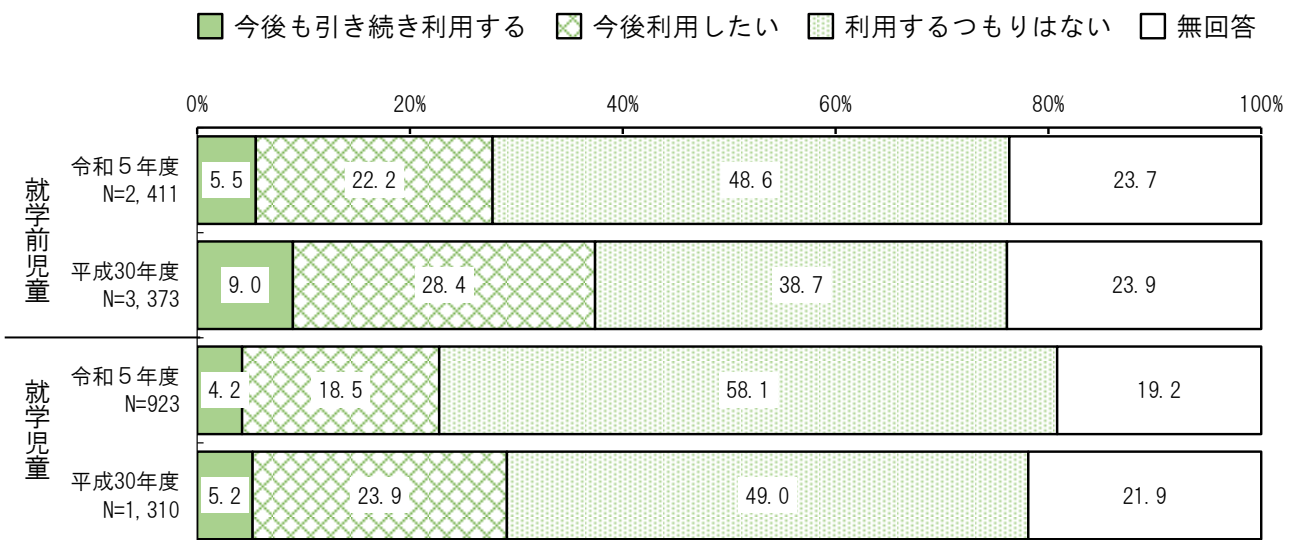


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

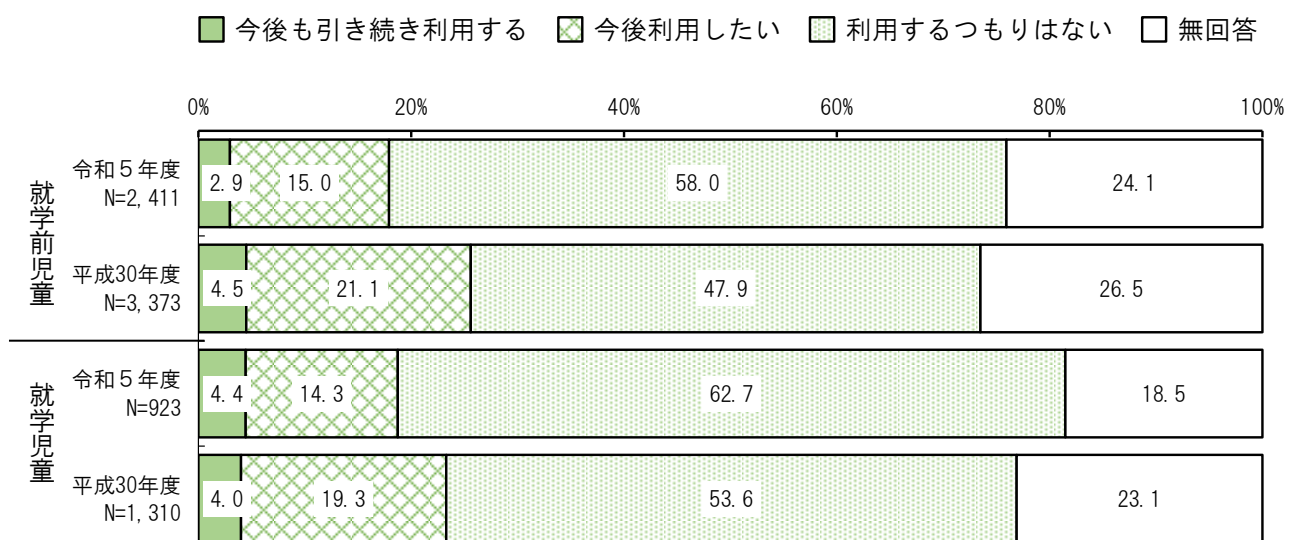
【4. しずおか子育て優待カード】



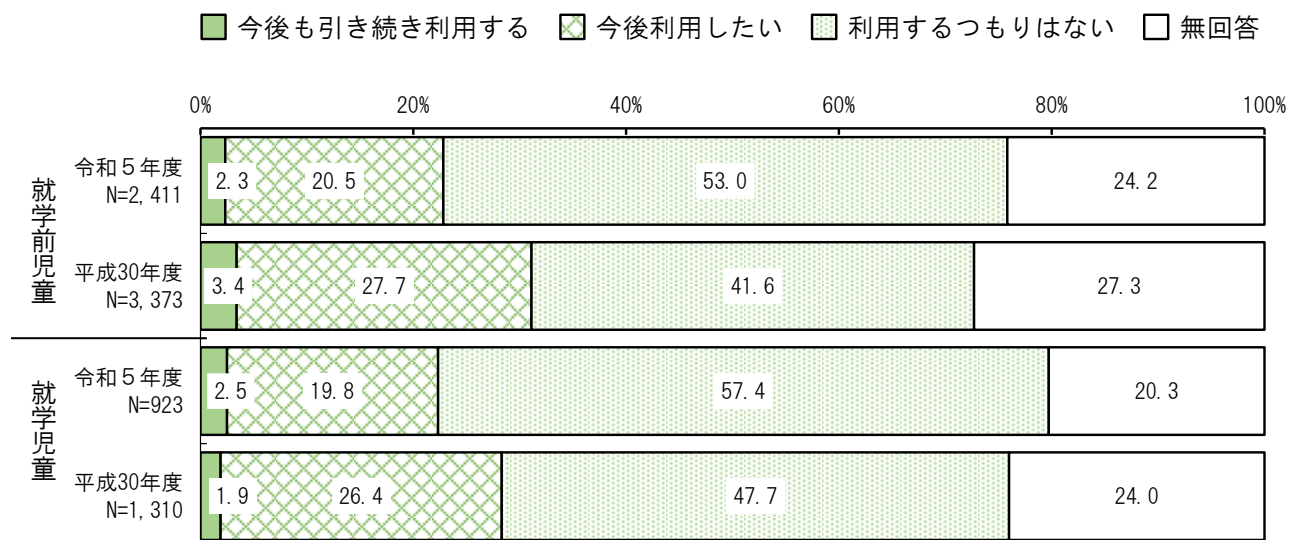
【6. マザーズハローワーク】



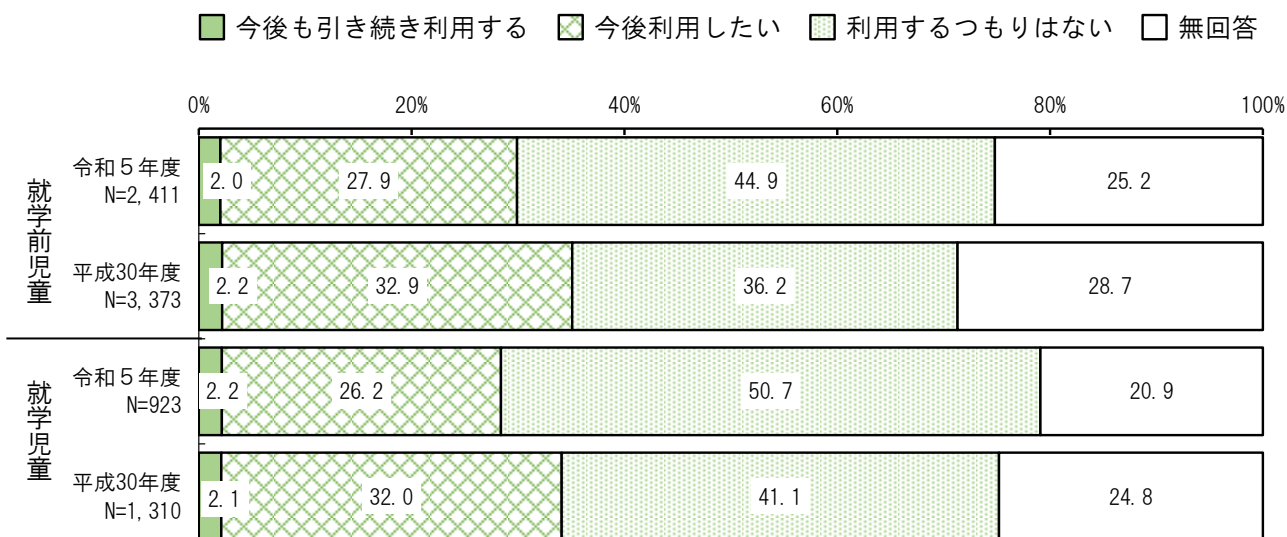
【7. 児童相談所】



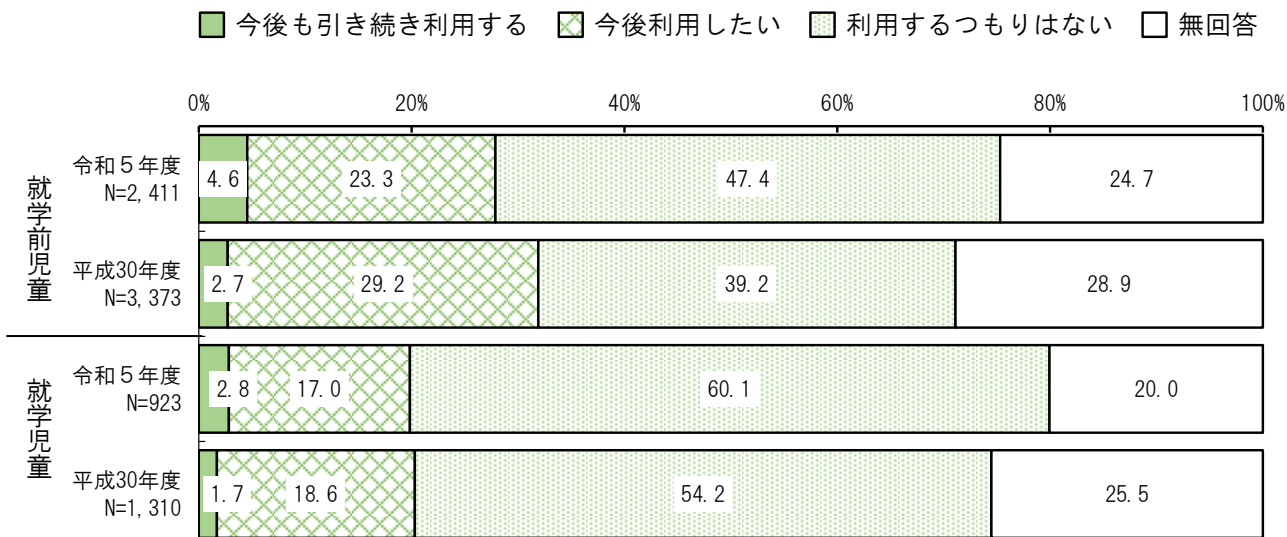
【8. 家庭児童相談室（各区子育て支援課内）】



【9. 子ども若者相談センター】

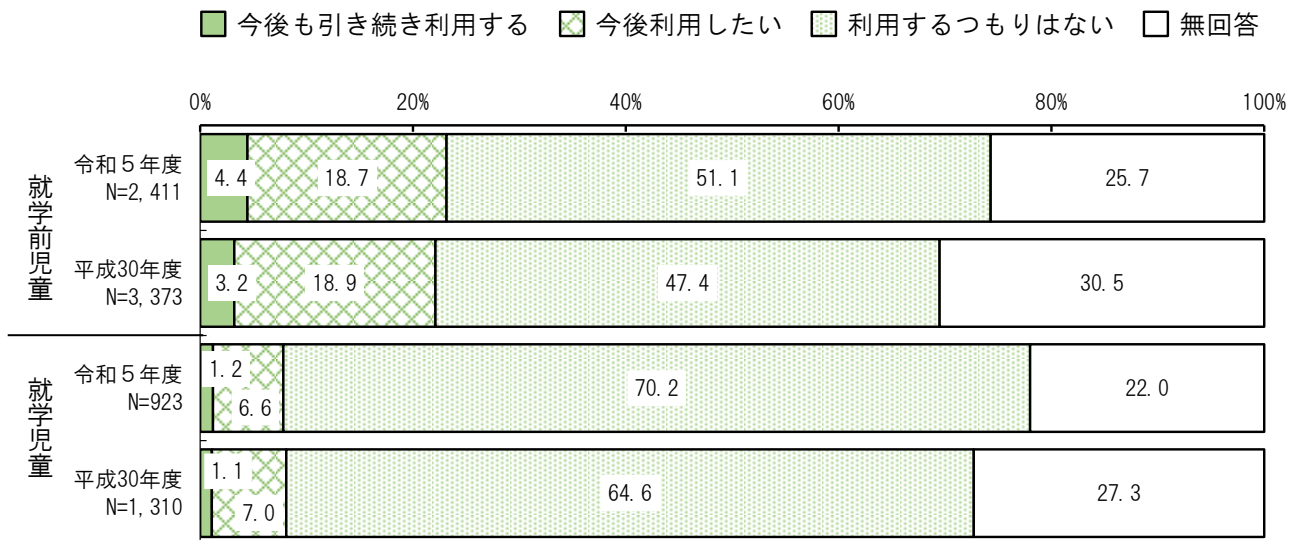


【10. 子育て世代包括支援センター】

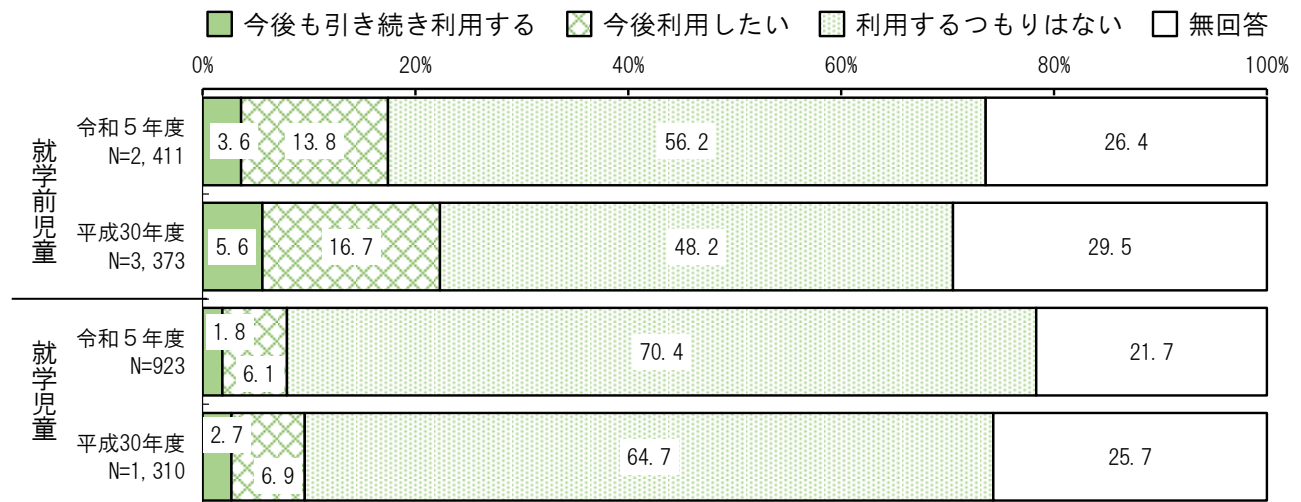


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

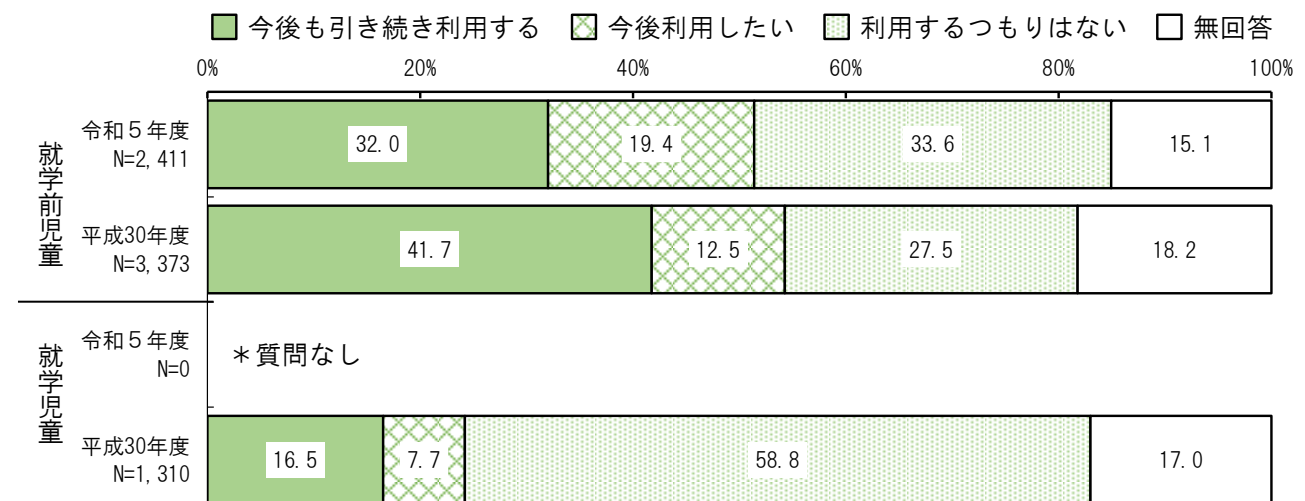
【12. ママケアデイサービス】



【13. 赤ちゃん広場】

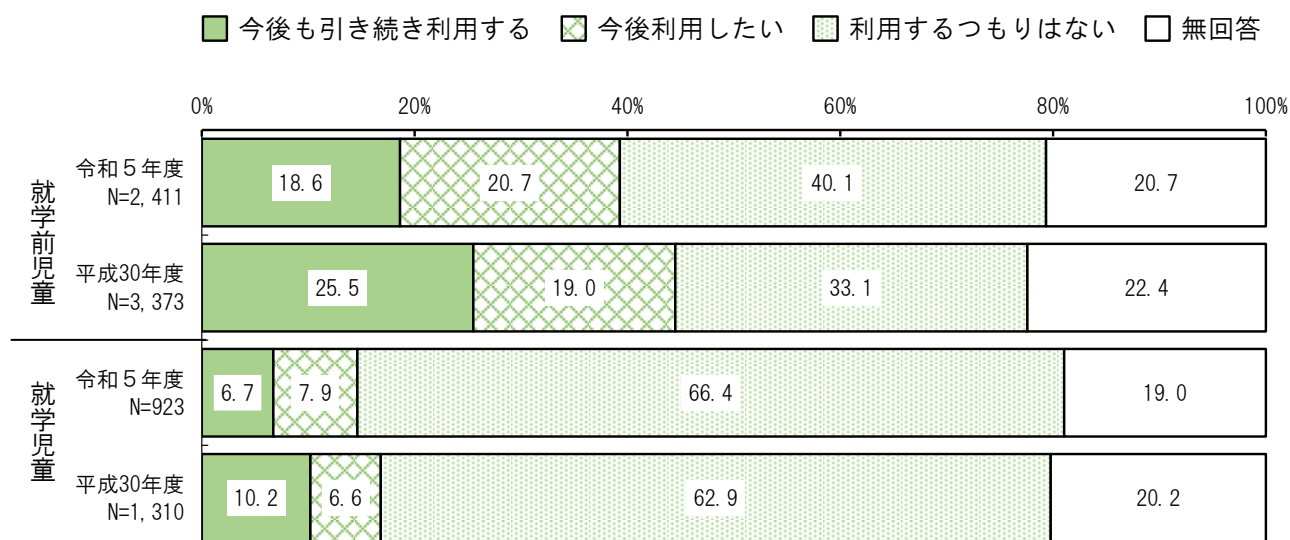


【14. 子育て支援センター】

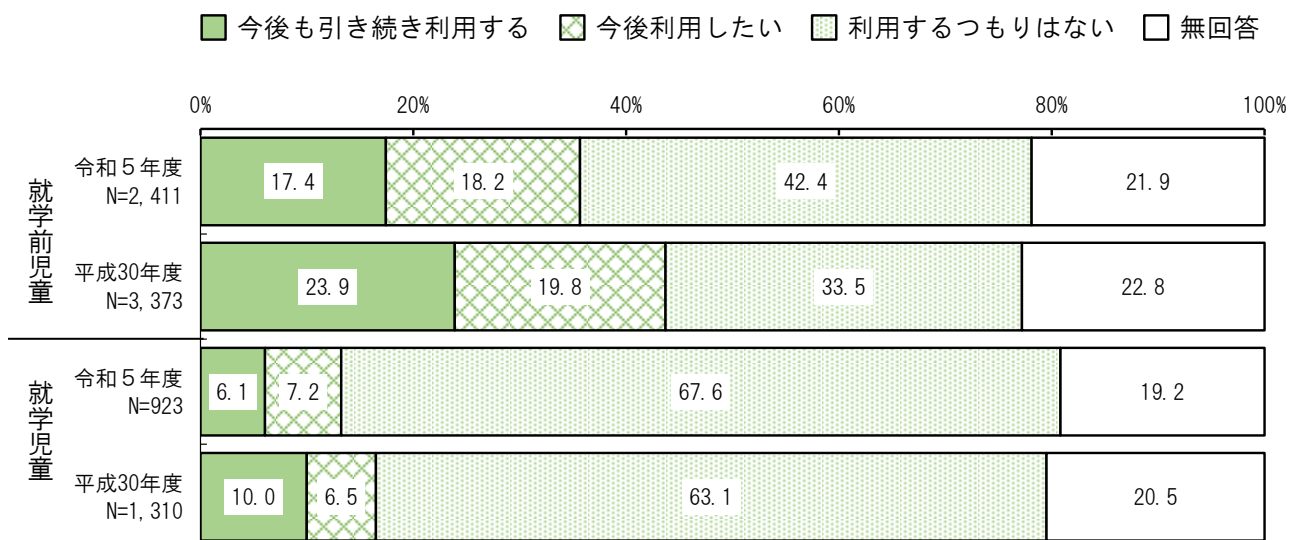


令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

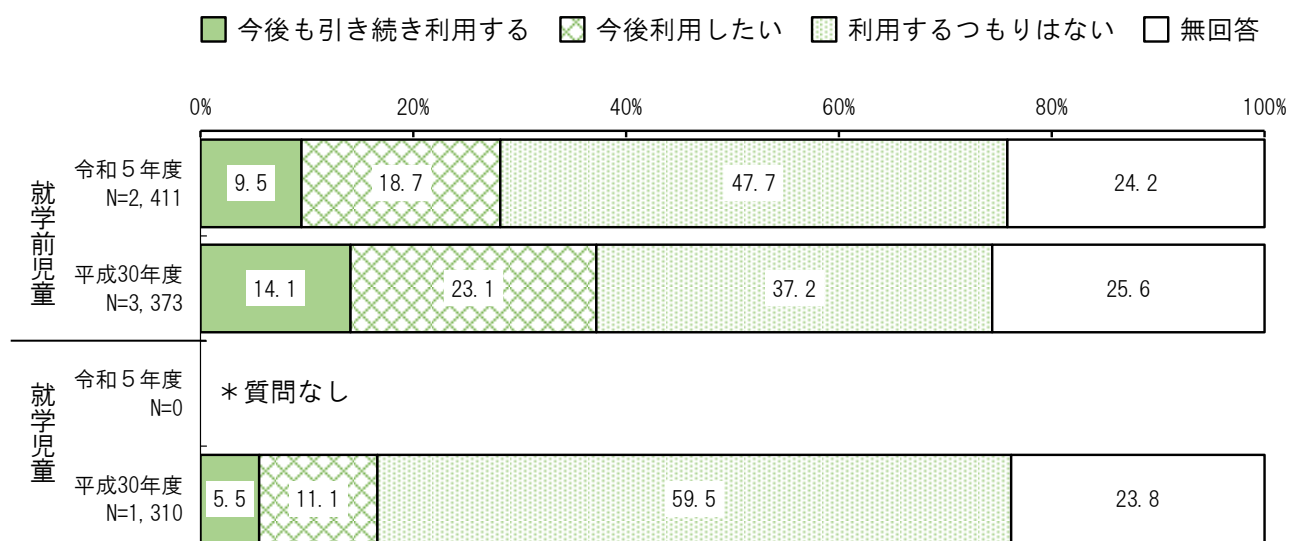
【15. あそび・子育ておしゃべりサロン】



【16. 幼稚園の子育てひろば】



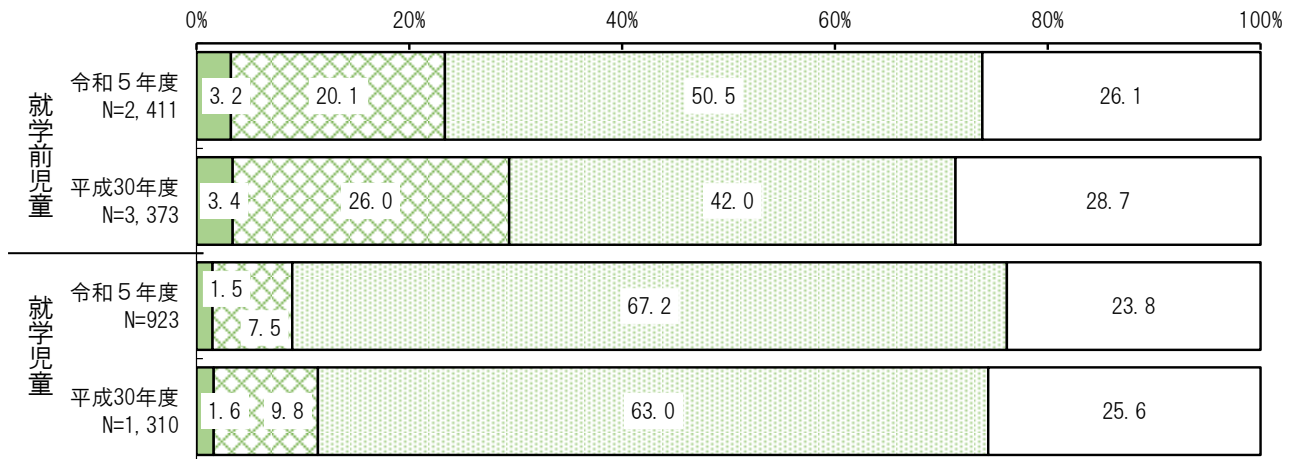
【17. 子育てトーク・子育てサロン】



【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

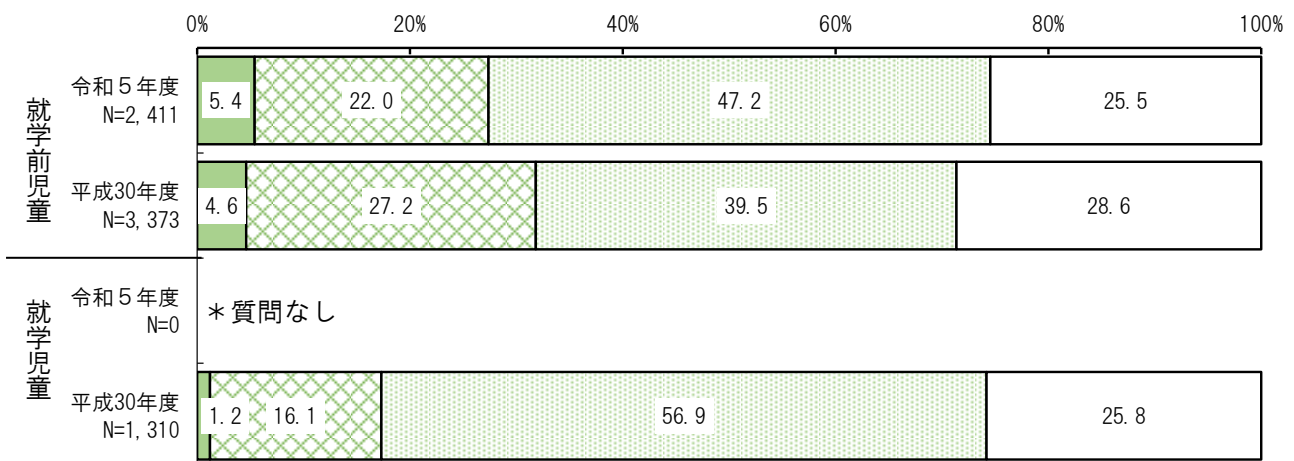
【18. 保育コーディネーター（各区子育て支援課内）】

■ 今後も引き続き利用する ■ 今後利用したい ■ 利用するつもりはない □ 無回答



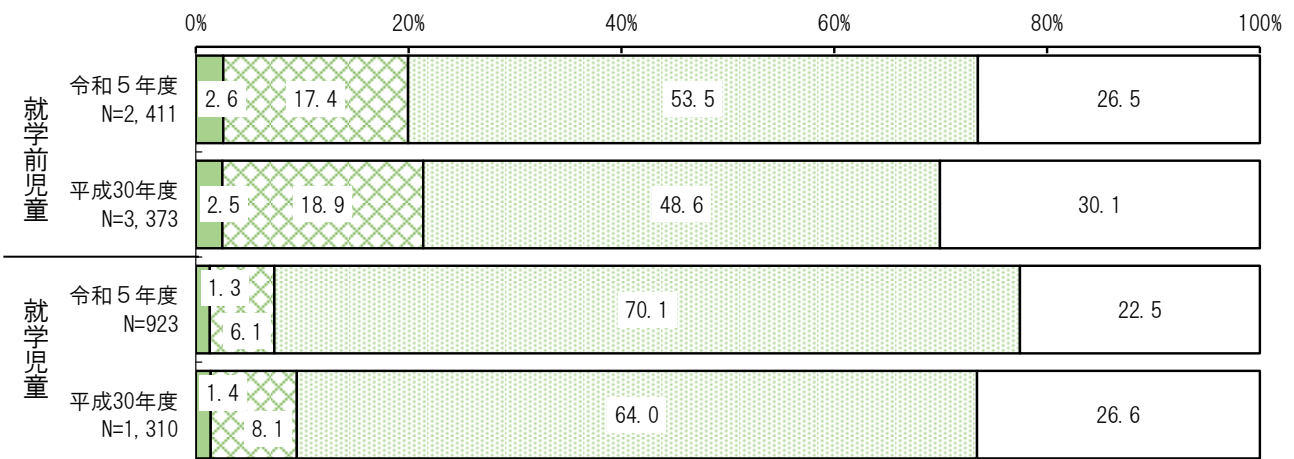
【19. 子ども未来サポーター】

■ 今後も引き続き利用する ■ 今後利用したい ■ 利用するつもりはない □ 無回答

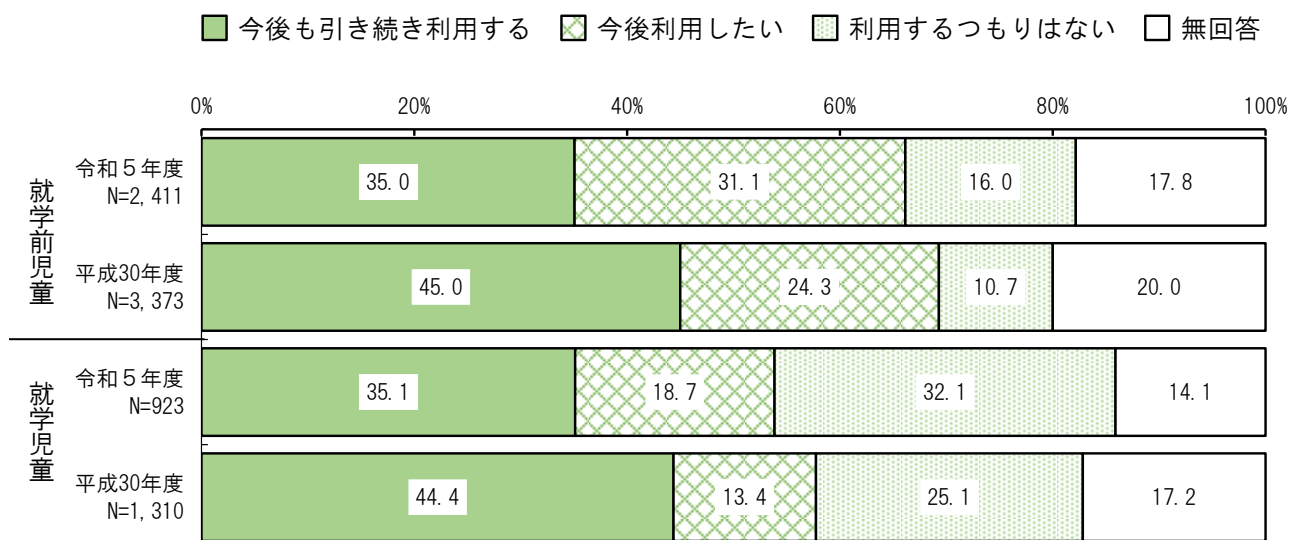


【21. 子育て支援ヘルパー】

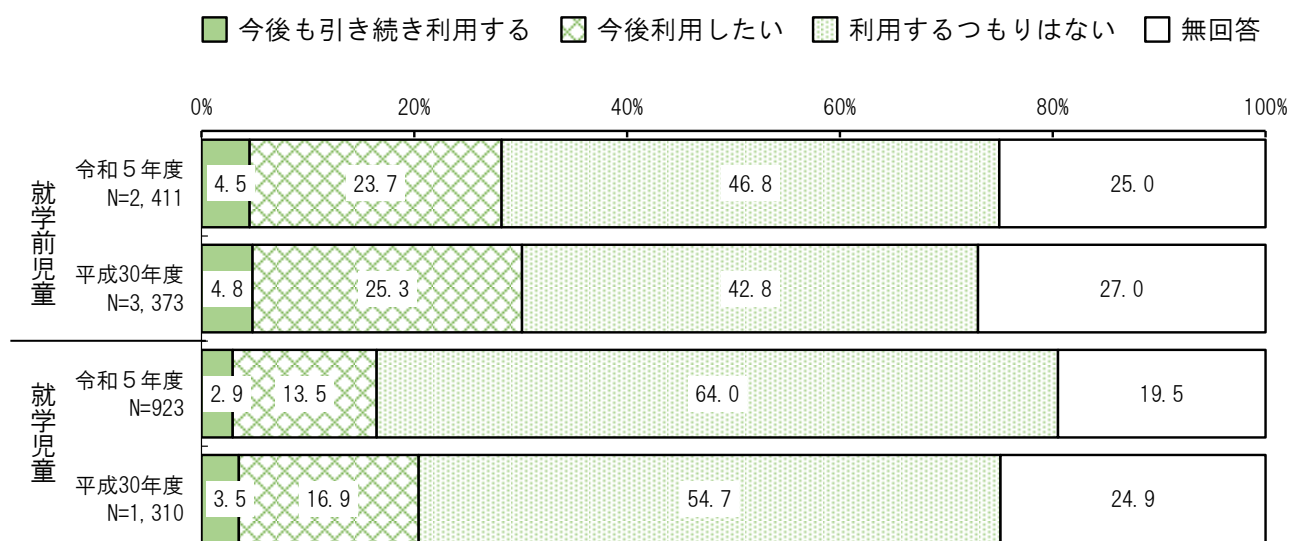
■ 今後も引き続き利用する ■ 今後利用したい ■ 利用するつもりはない □ 無回答



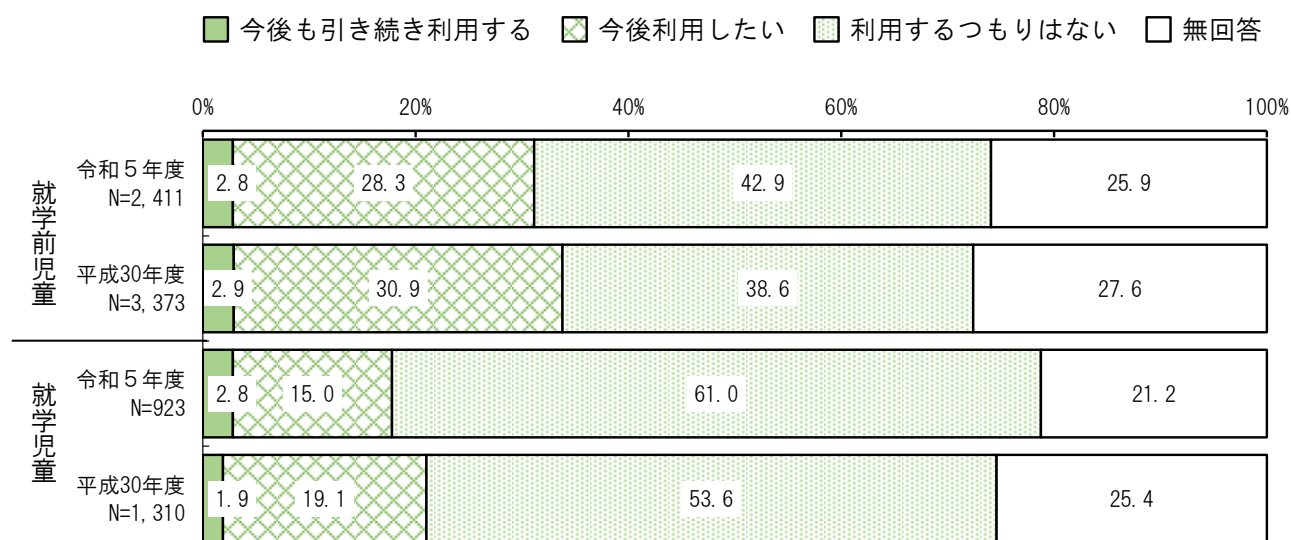
【22. 児童館】



【23. ファミリー・サポート・センター】

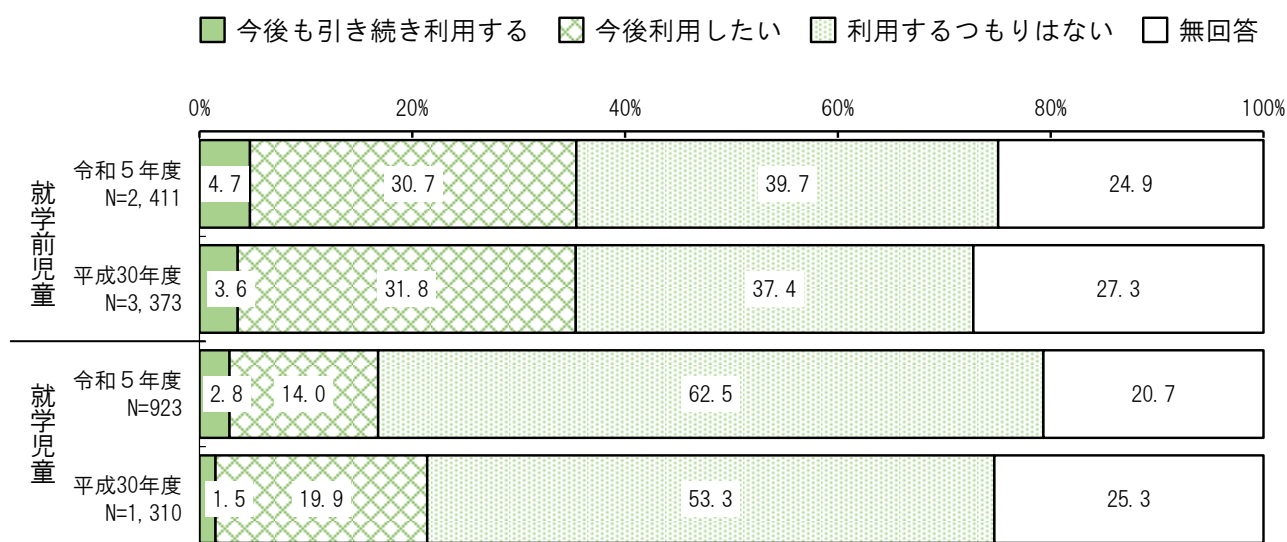


【24. 緊急サポートセンター】

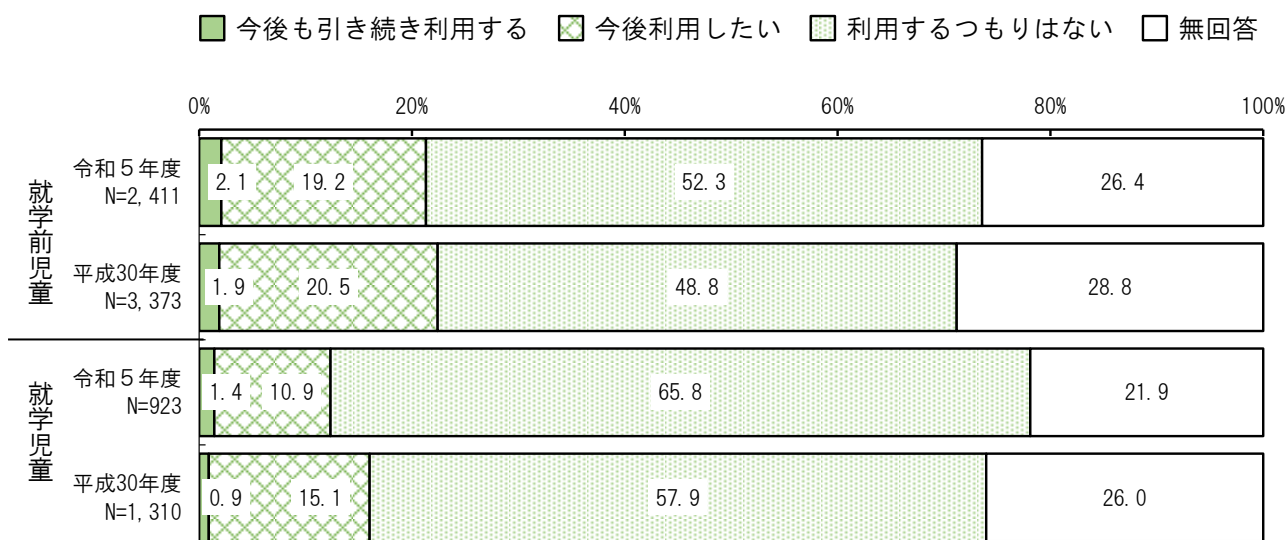


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

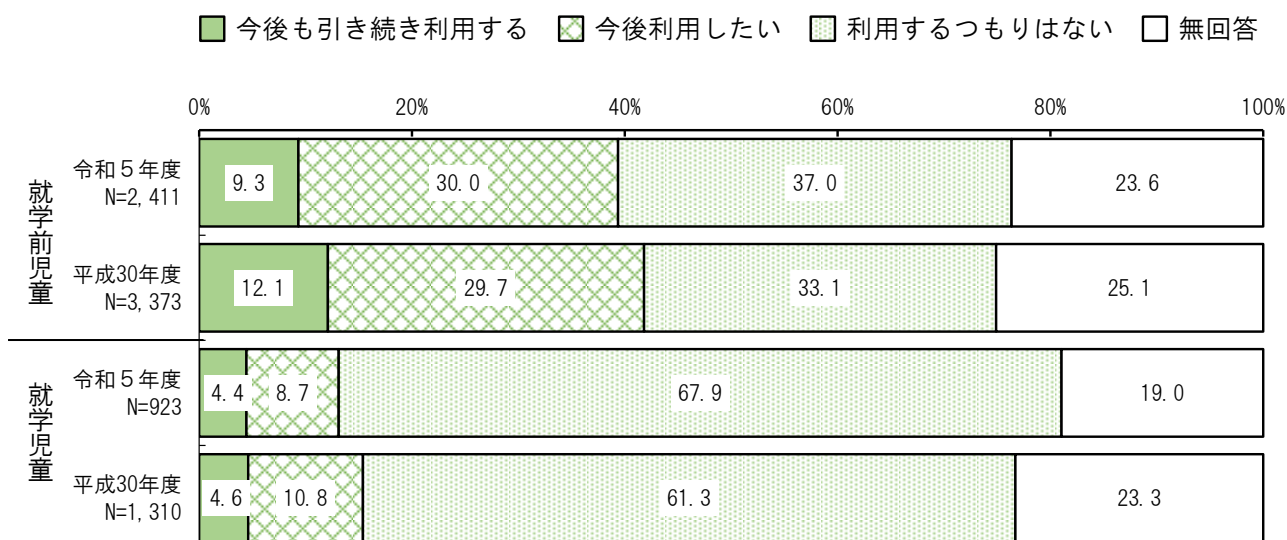
【25. 病児・病後児保育】



【26. 子育て短期支援事業（ショートステイ）】



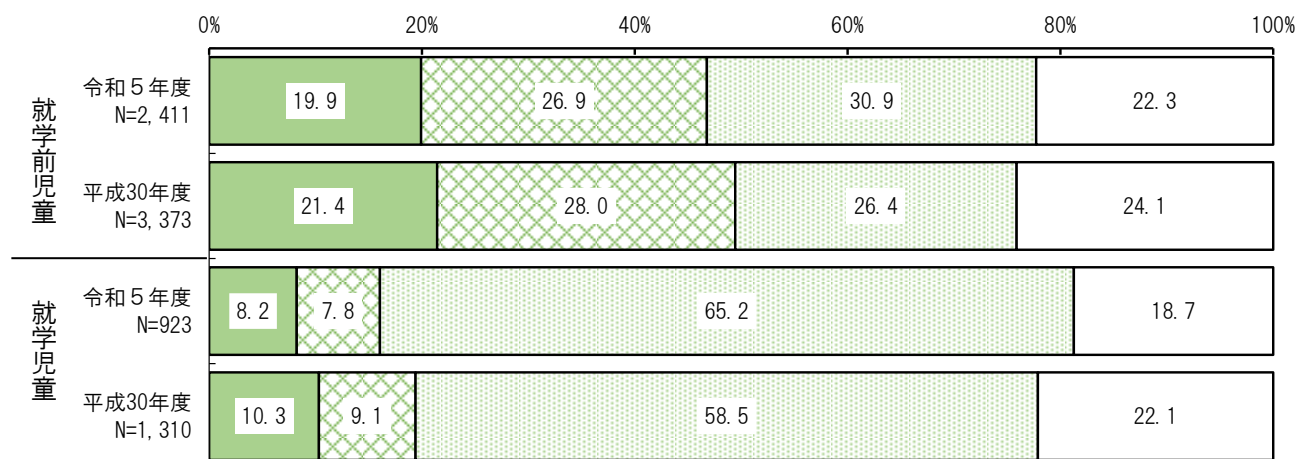
【27. 認定こども園・保育園等の一時預かり】



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

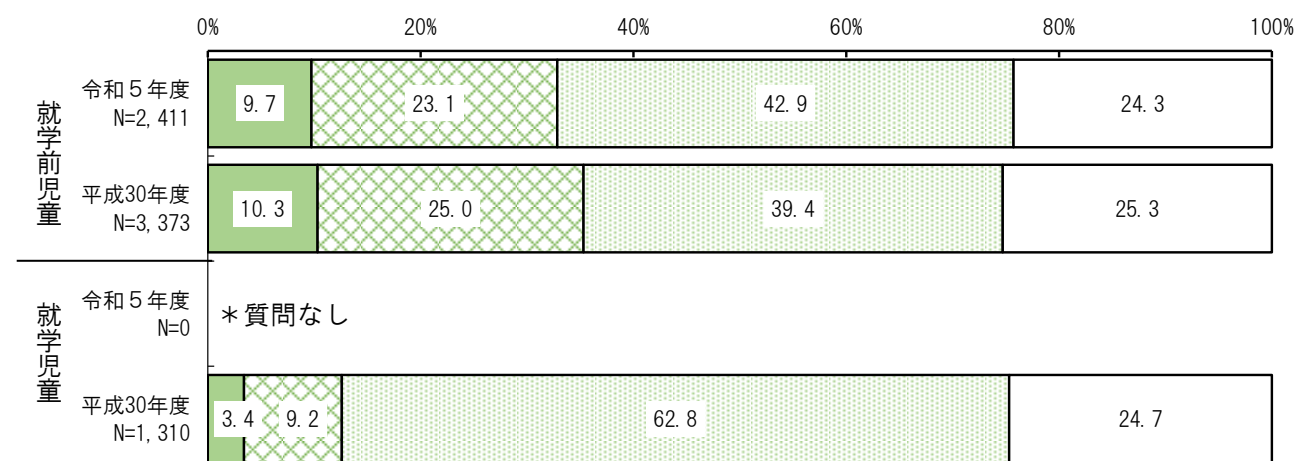
【28. 幼稚園・認定こども園の一時預かり】

■ 今後も引き続き利用する ■ 今後利用したい ■ 利用するつもりはない □ 無回答



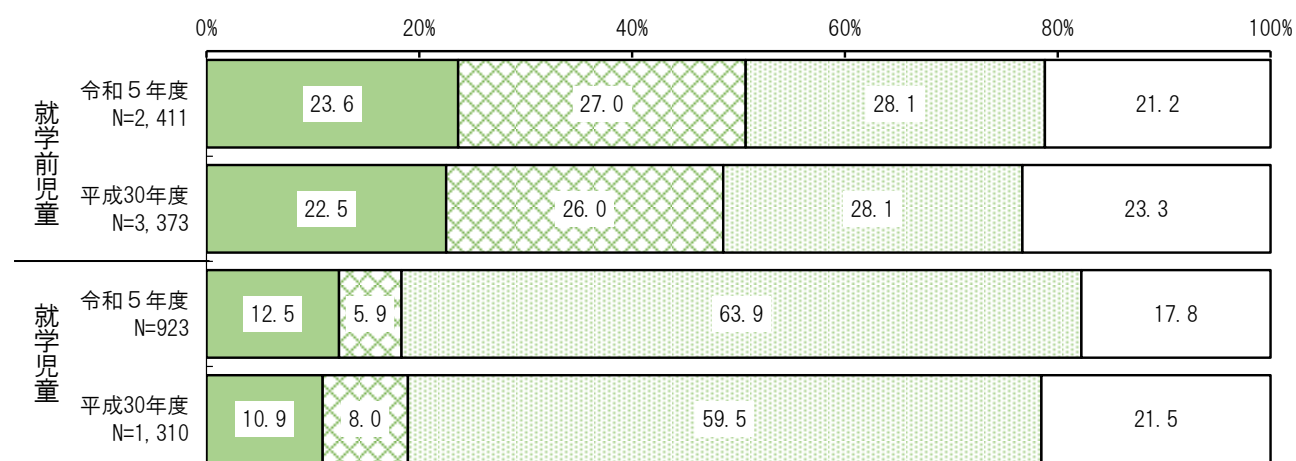
【29. 中央子育て支援センターの一時預かり】

■ 今後も引き続き利用する ■ 今後利用したい ■ 利用するつもりはない □ 無回答



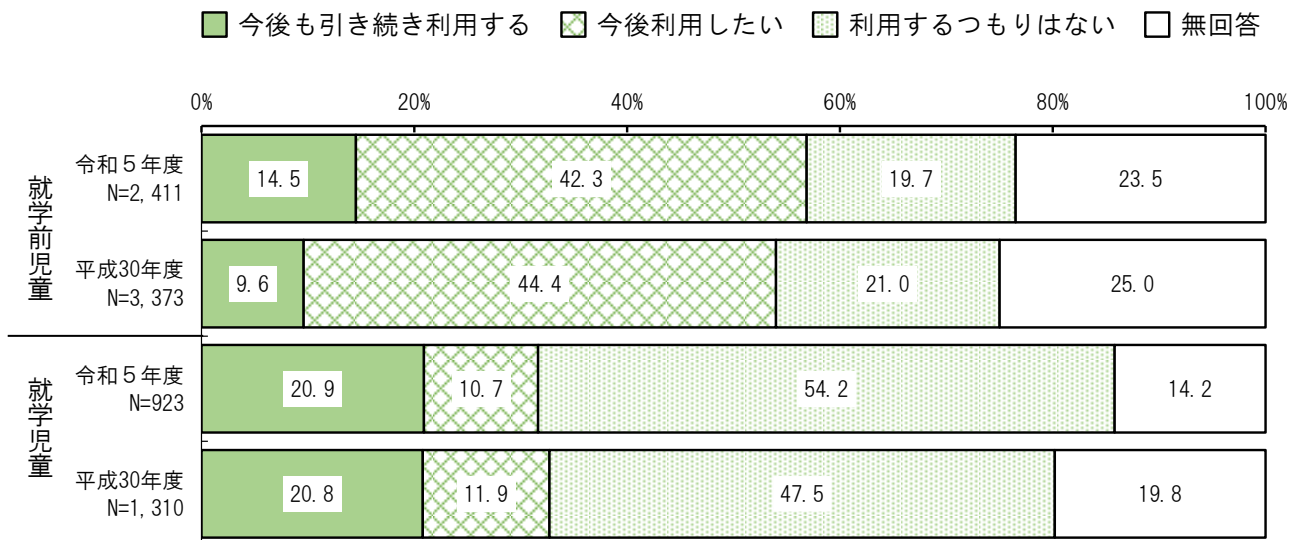
【30. 延長保育】

■ 今後も引き続き利用する ■ 今後利用したい ■ 利用するつもりはない □ 無回答

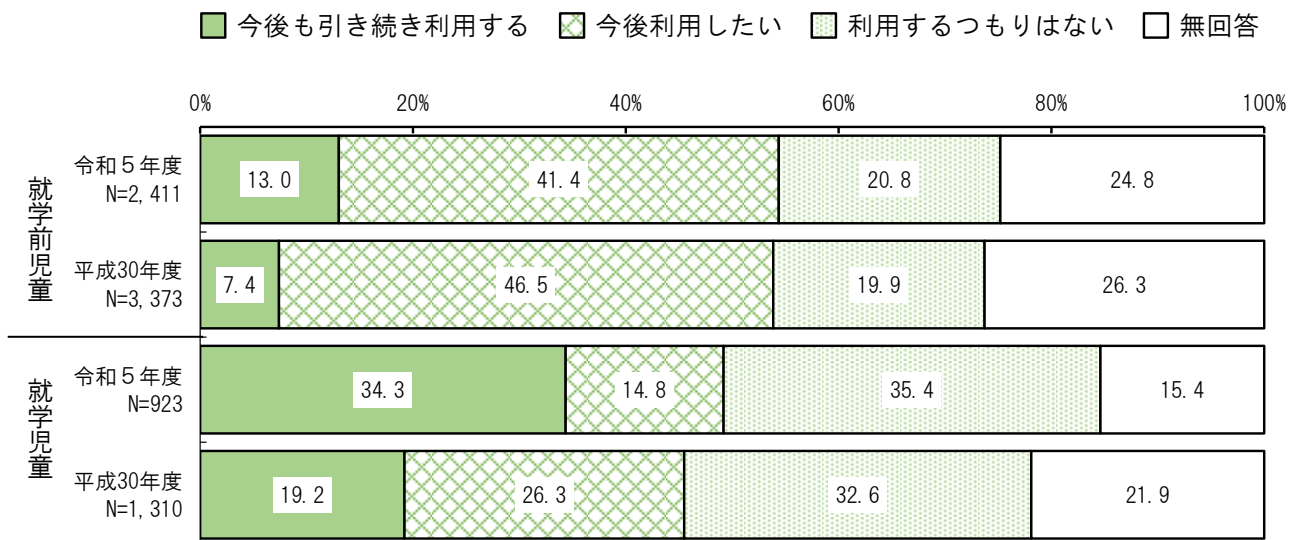


【13 子育て支援サービスの認知度および利用状況等について】

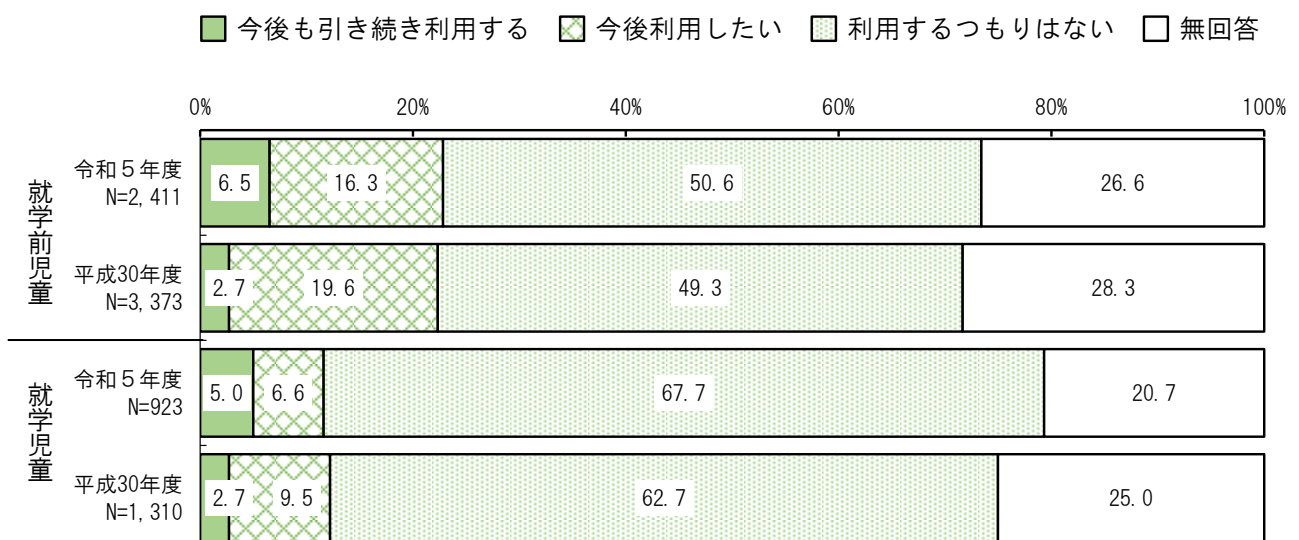
【31. 放課後児童クラブ】



【32. 放課後子ども教室】



【33. 実費徴収に伴う補足給付事業】



(4) 子育て支援や子育て環境の総合的な満足度（単数回答）

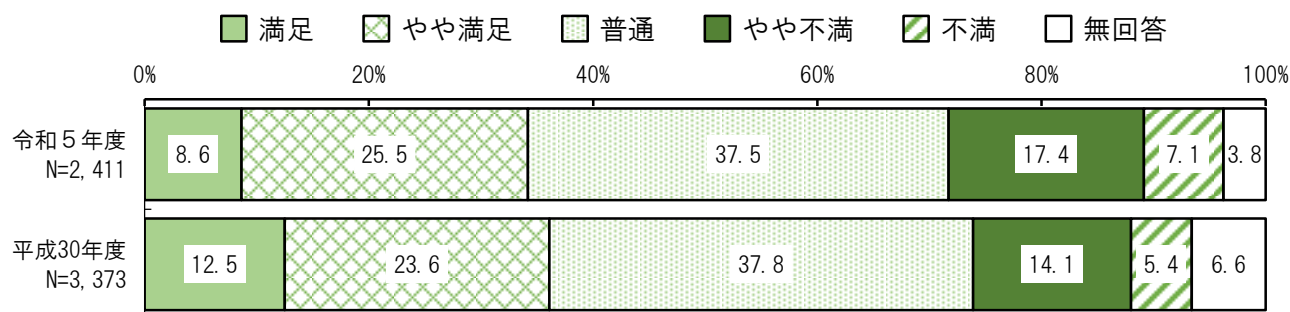
《就学前児童調査…問30-1・就学児童調査…問22-1》

就学前児童では、「普通」が37.5%と最も高く、次いで「やや満足」が25.5%、「やや不満」が17.4%などとなっています。『満足』（「満足」＋「やや満足」）は34.1%、『不満』（「不満」＋「やや不満」）は24.5%となっています。

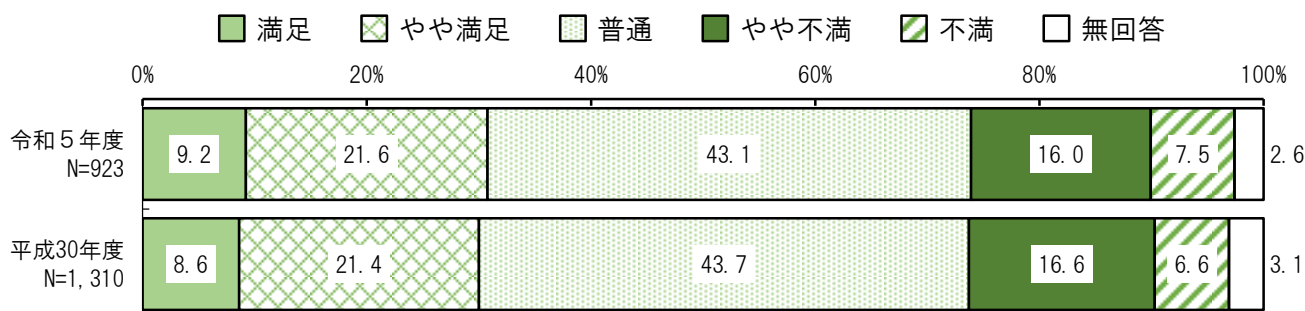
就学児童では、「普通」が43.1%と最も高く、次いで「やや満足」が21.6%、「やや不満」が16.0%などとなっています。『満足』（「満足」＋「やや満足」）は30.8%、『不満』（「不満」＋「やや不満」）は23.5%となっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「普通」が最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



14 子育てに関する意識等について

- (1) 子育てを支援するために、効果が高いと考えられる施策または充実を図って欲しいと期待する施策（複数回答）

《就学前児童調査…問31・就学児童調査…問23》

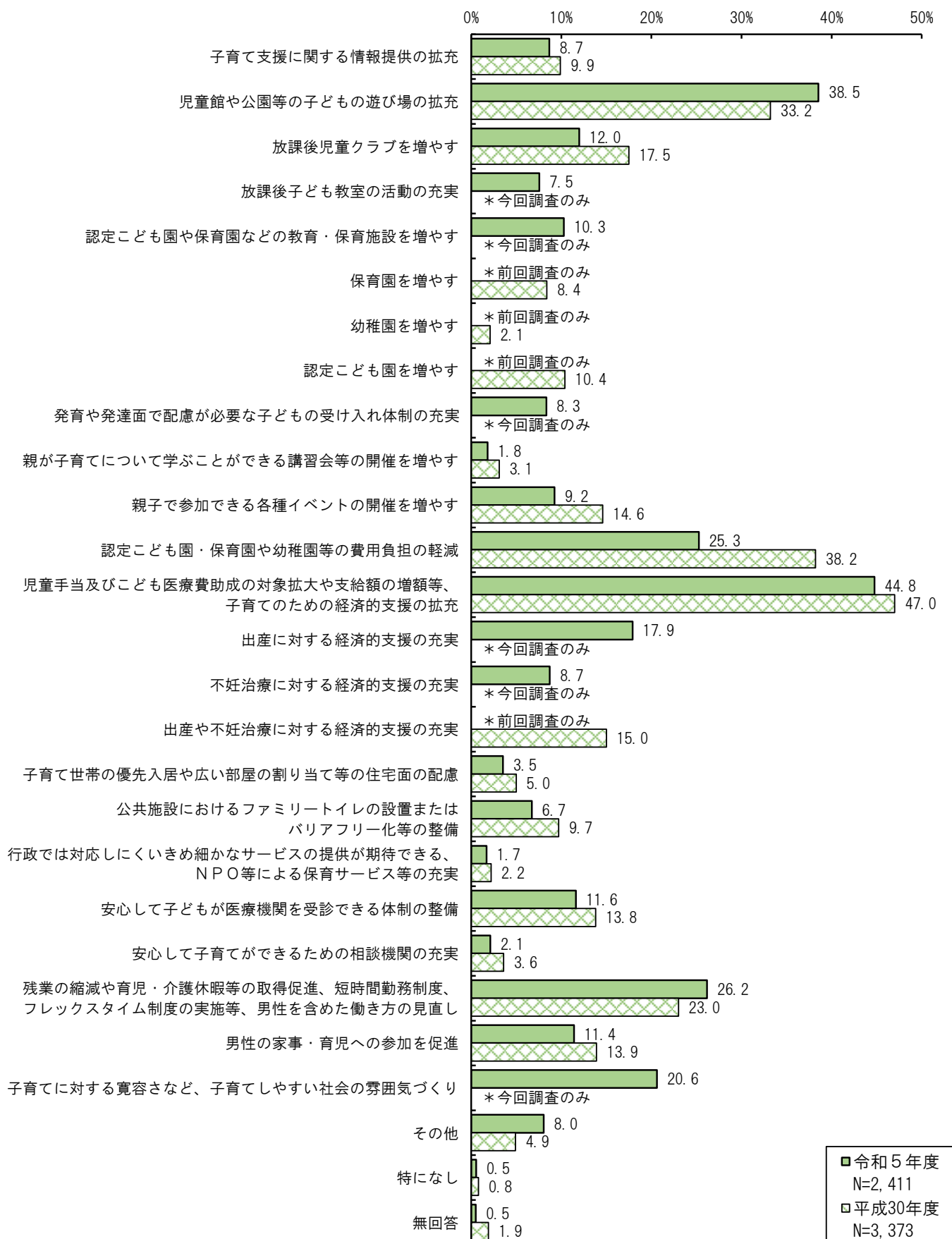
就学前児童では、「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が44.8%と最も高く、次いで「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」が38.5%、「残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、短時間勤務制度、フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し」が26.2%、「認定こども園・保育園や幼稚園等の費用負担の軽減」が25.3%、「子育てに対する寛容さなど、子育てしやすい社会の雰囲気づくり」が20.6%などとなっています。

就学児童では、「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が48.1%と最も高く、次いで「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」が34.5%、「子育てに対する寛容さなど、子育てしやすい社会の雰囲気づくり」が27.1%、「残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、短時間勤務制度、フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し」が21.2%、「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」が18.7%などとなっています。

平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童のいずれにおいても「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」が最も高くなっています。平成30年度調査と比較すると、就学前児童では、「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」は5.3ポイント増加し、「認定こども園・保育園や幼稚園等の費用負担の軽減」は12.9ポイント減少しました。就学児童では、「児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充」は9.2ポイント減少し、「児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充」は7.3ポイント減少しましたが、大きな傾向の差はみられませんでした。

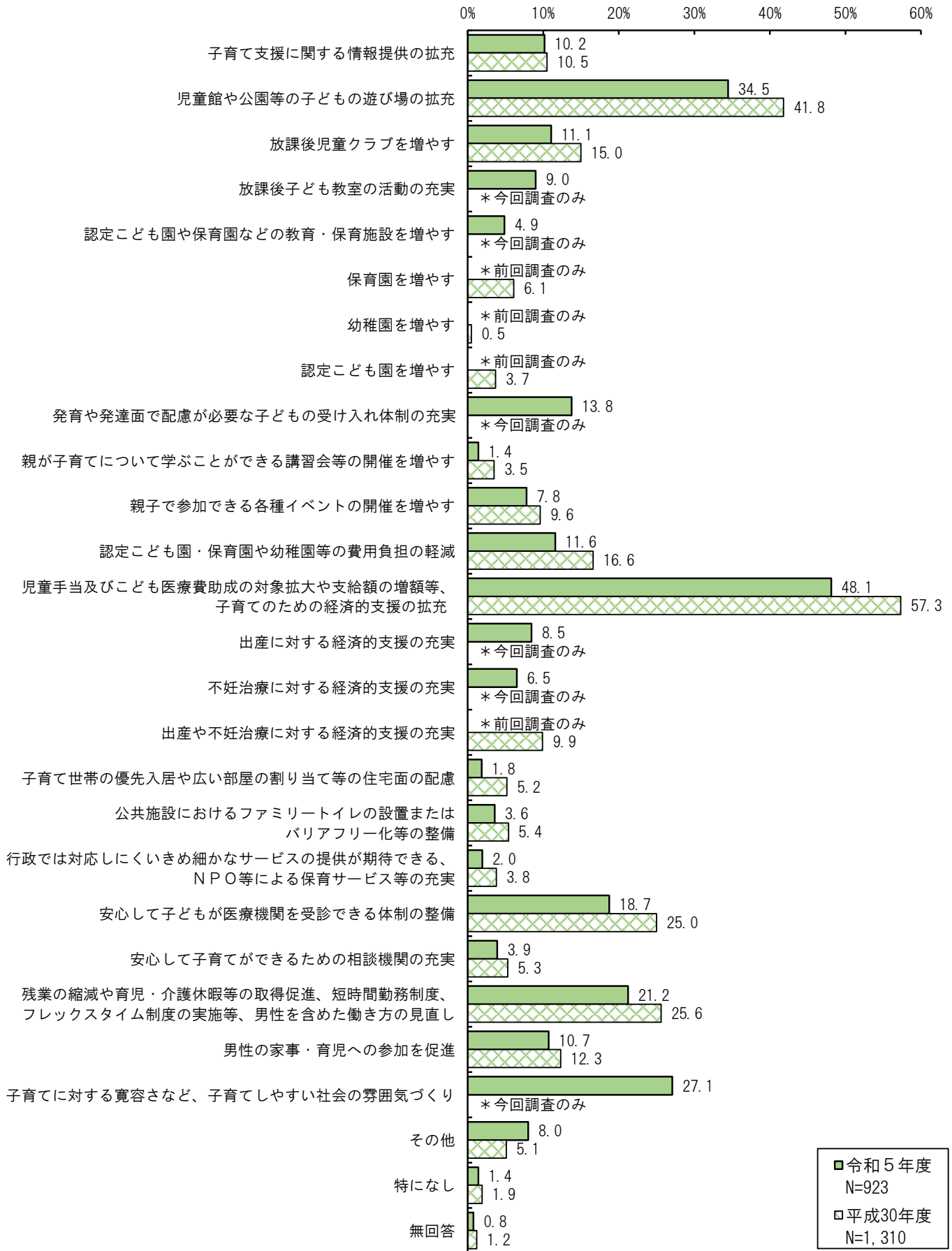
令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【就学前児童】



【14 子育てに関する意識等について】

【就学児童】



■ 令和5年度
N=923
□ 平成30年度
N=1,310

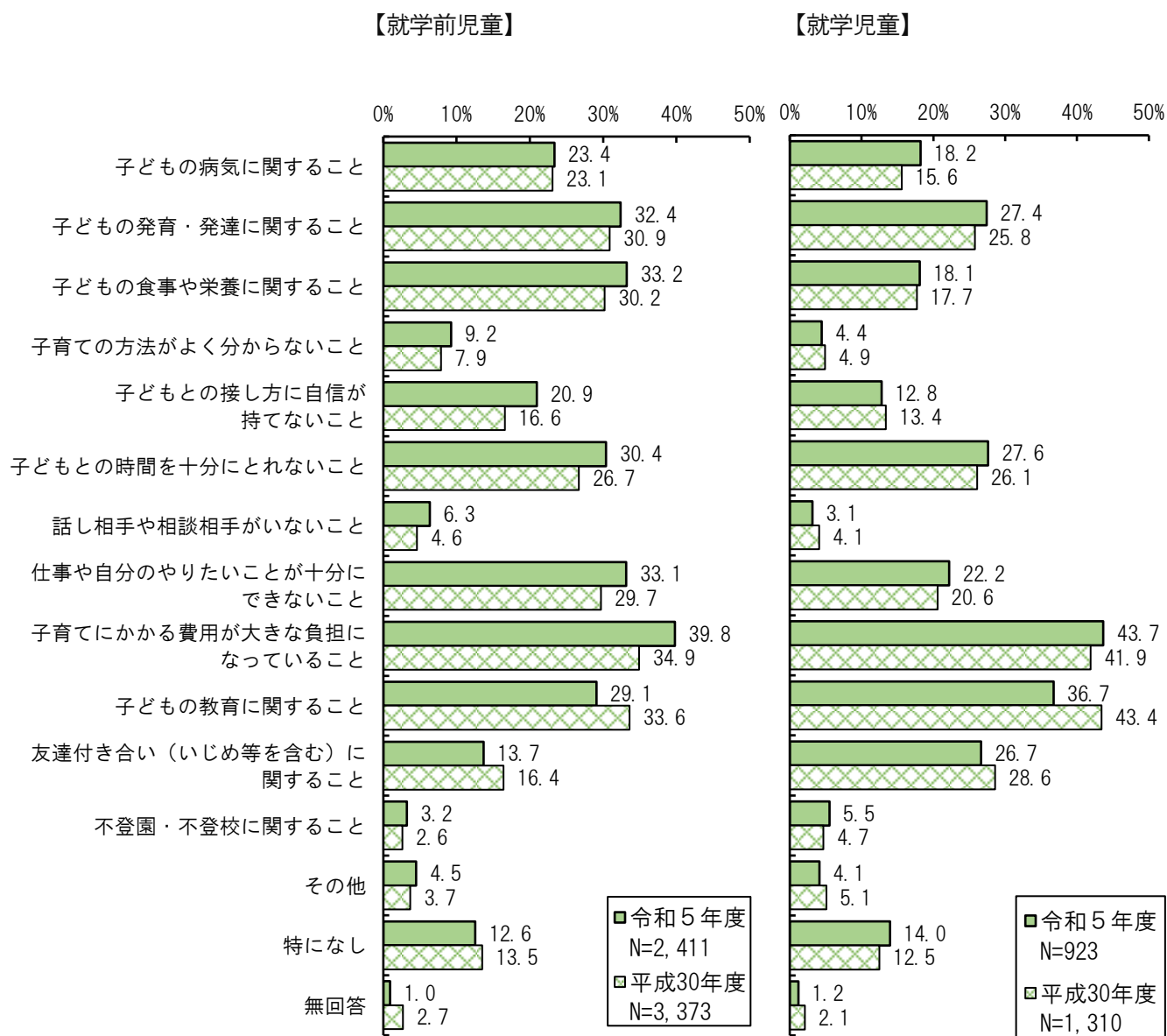
(2) 子育てについて日ごろ悩んでいることや不安に思っていること（複数回答）

《就学前児童調査…問32・就学児童調査…問24》

就学前児童では、「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が39.8%と最も高く、次いで「子どもの食事や栄養に関すること」が33.2%、「仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと」が33.1%などとなっています。

就学児童では、「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が43.7%と最も高く、次いで「子どもの教育に関すること」が36.7%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が27.6%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が最も高くなっています。就学児童では、平成30年度調査は「子どもの教育に関すること」が最も高くなっていますが、令和5年度調査は「子育てにかかる費用が大きな負担になっていること」が最も高くなっています。



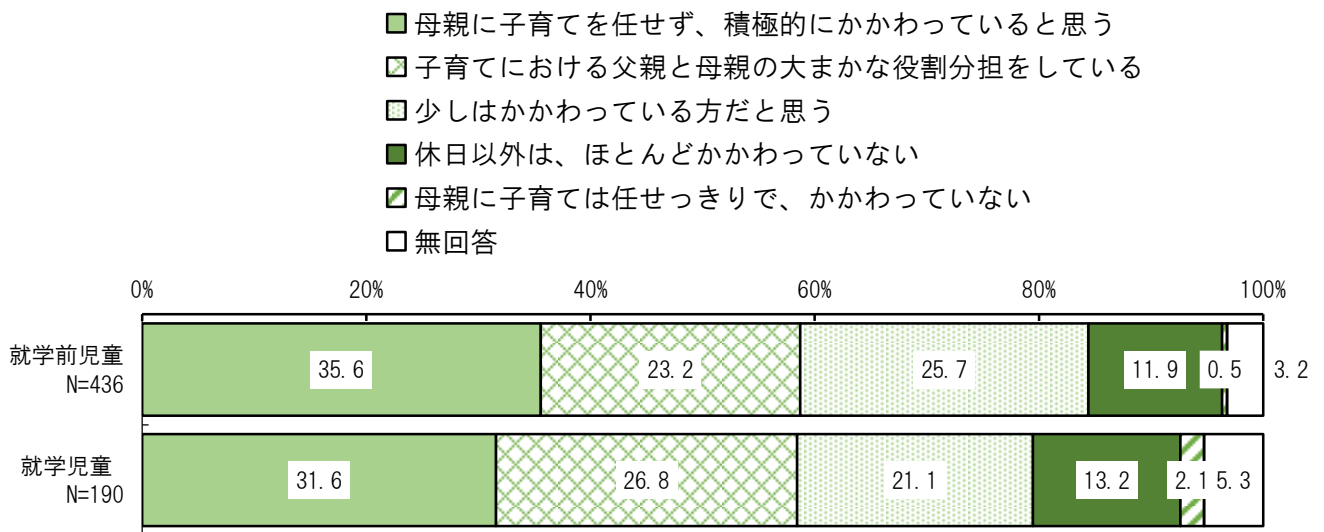
父親の方

(3) 父親からみた父親の子育てへのかかわり（単数回答）

《就学前児童調査…問33・就学児童調査…問25》

就学前児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が35.6%と最も高く、次いで「少しはかかわっている方だと思う」が25.7%、「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が23.2%などとなっています。

就学児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が31.6%と最も高く、次いで「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が26.8%、「少しはかかわっている方だと思う」が21.1%などとなっています。



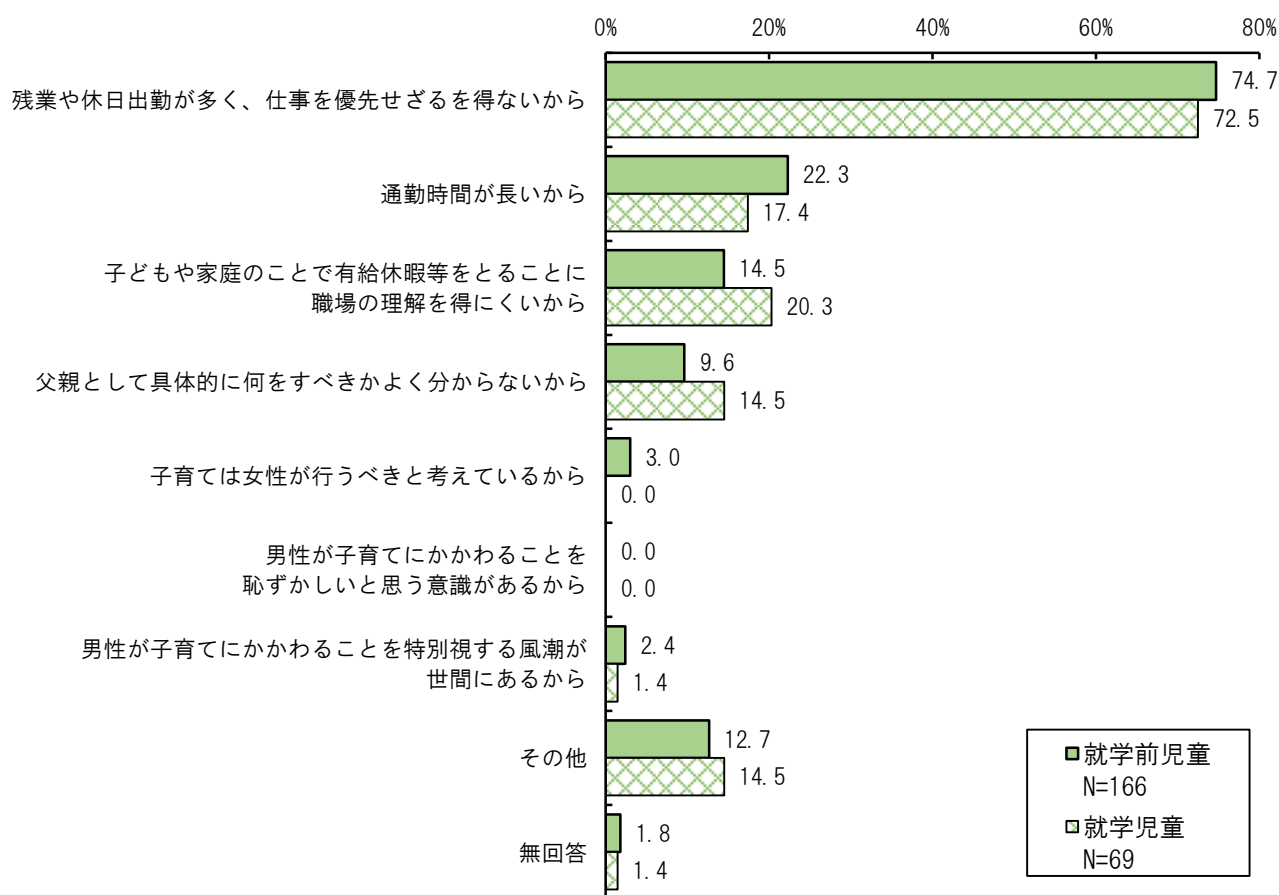
(3)で「少しはかかわっている方だと思う」「休日以外は、ほとんどかかわっていない」「母親に子育ては任せっきりで、かかわっていない」を選んだ方

(4) 父親が考える父親が子育てにかかわりづらい理由（複数回答）

《就学前児童調査…問33-1・就学児童調査…問25-1》

就学前児童では、「残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから」が74.7%と最も高く、次いで「通勤時間が長いから」が22.3%、「子どもや家庭のことで有給休暇等をとることに職場の理解を得にくいから」が14.5%などとなっています。

就学児童では、「残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから」が72.5%と最も高く、次いで「子どもや家庭のことで有給休暇等をとることに職場の理解を得にくいから」が20.3%、「通勤時間が長いから」が17.4%などとなっています。



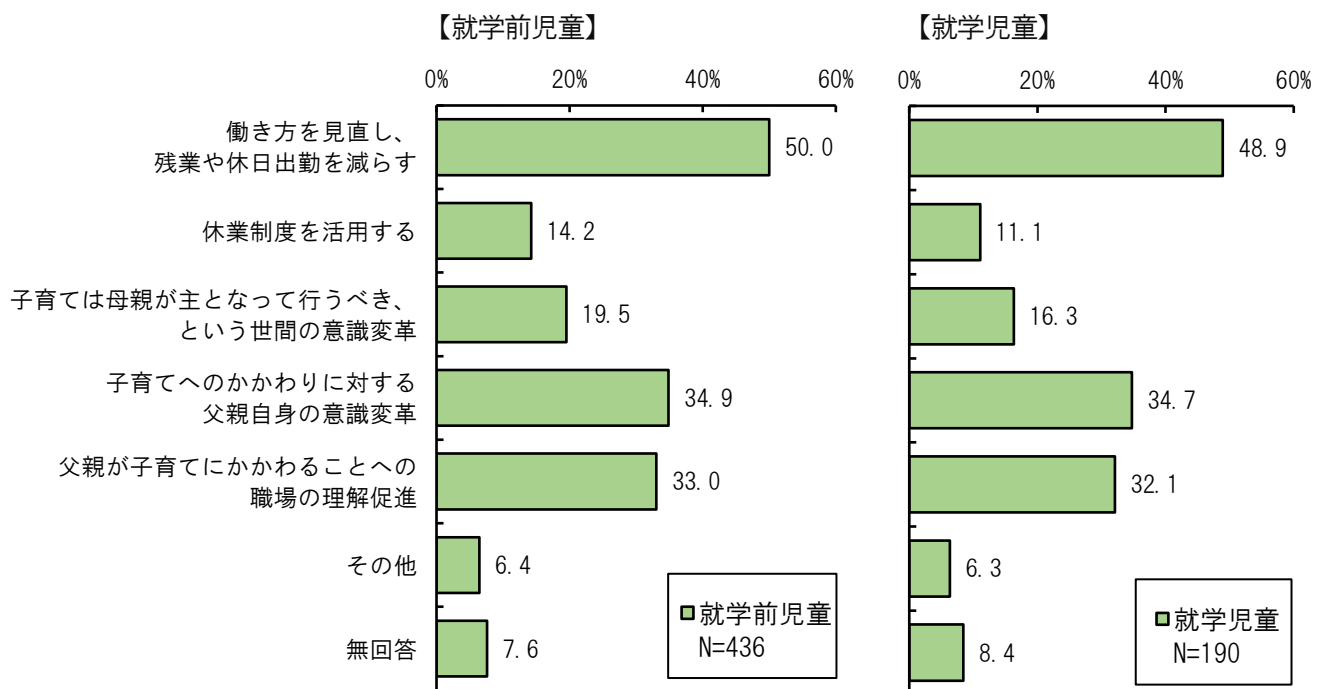
父親の方

(5) 父親が考える父親が子育てにかかわりやすくするために重要なこと（複数回答）

《就学前児童調査…問33-2・就学児童調査…問25-2》

就学前児童では、「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が50.0%と最も高く、次いで「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が34.9%、「父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進」が33.0%などとなっています。

就学児童では、「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が48.9%と最も高く、次いで「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が34.7%、「父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進」が32.1%などとなっています。



母親の方

(6) 母親からみた父親の子育てへのかかわり（単数回答）

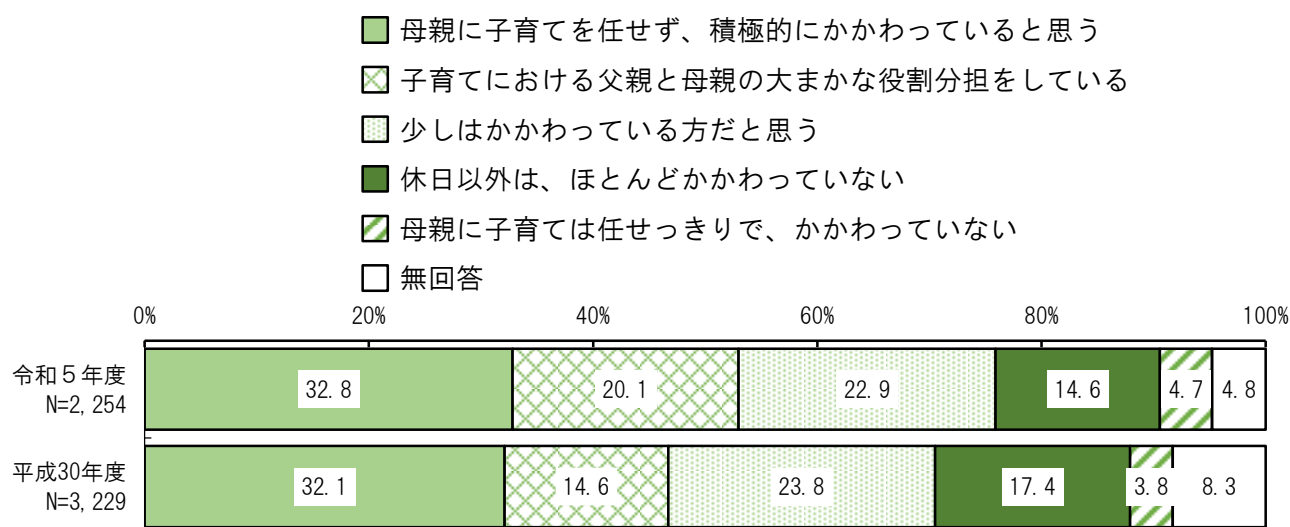
《就学前児童調査…問34・就学児童調査…問26》

就学前児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が32.8%と最も高く、次いで「少しはかかわっている方だと思う」が22.9%、「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が20.1%などとなっています。

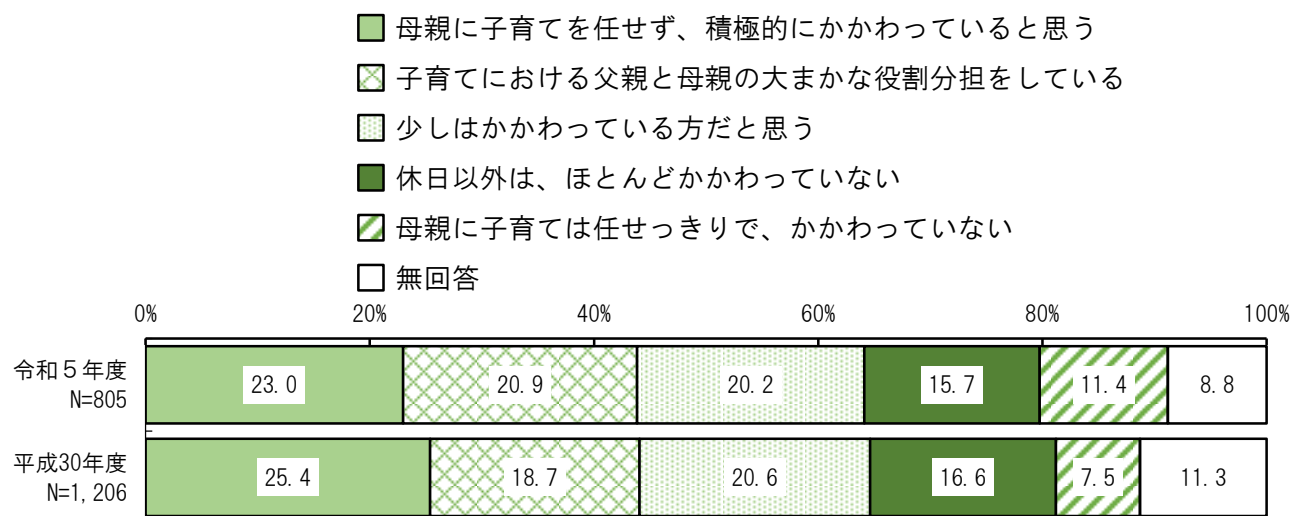
就学児童では、「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が23.0%と最も高く、次いで「子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている」が20.9%、「少しはかかわっている方だと思う」が20.2%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、平成30年度調査、令和5年度調査ともに、就学前児童、就学児童は「母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う」が最も高くなっています。

【就学前児童】



【就学児童】



※平成30年度調査では、「少しはかかわっている方だと思う」が「少しはかかわってくれている方だと思う」となっています。

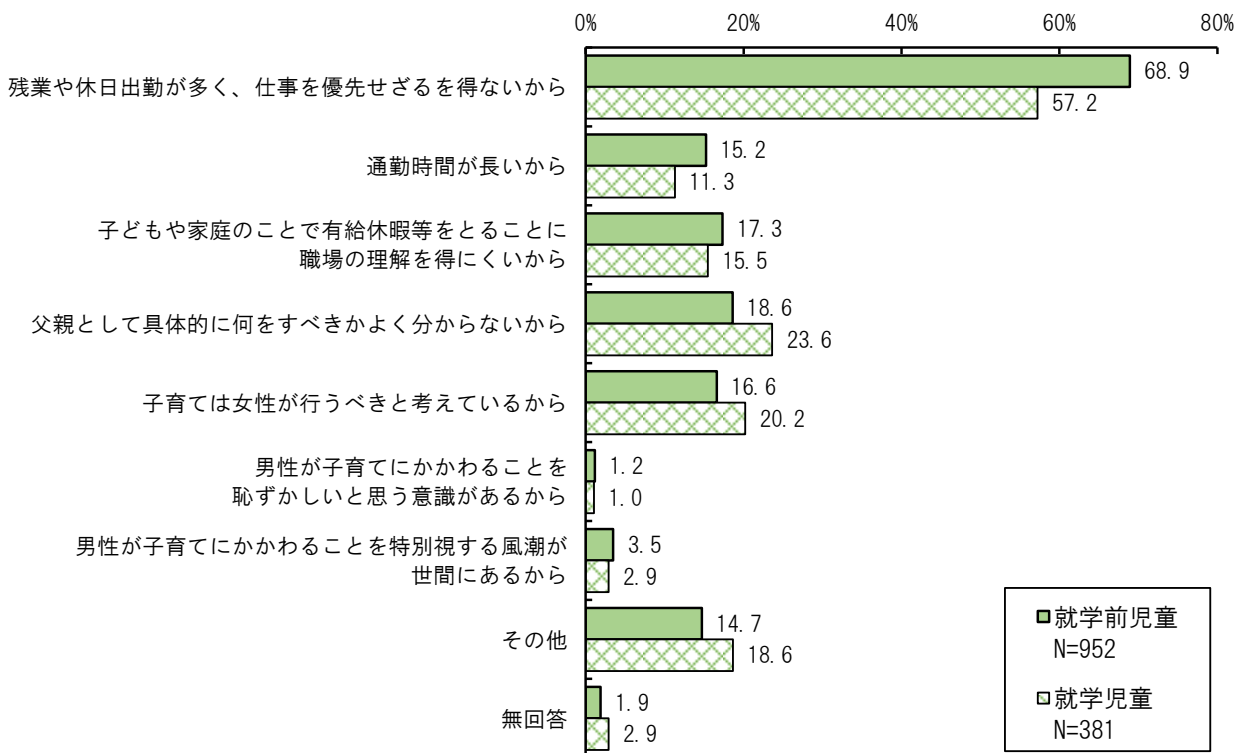
(6) で「少しはかかわっている方だと思う」「休日以外は、ほとんどかかわっていない」「母親に子育ては任せっきりで、かかわっていない」を選んだ方

(7) 母親が考える父親が子育てにかかわりづらい理由（複数回答）

《就学前児童調査…問34-1・就学児童調査…問26-1》

就学前児童では、「残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから」が68.9%と最も高く、次いで「父親として具体的に何をすべきかよく分からないから」が18.6%、「子どもや家庭のことで有給休暇等をとることに職場の理解を得にくいから」が17.3%などとなっています。

就学児童では、「残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから」が57.2%と最も高く、次いで「父親として具体的に何をすべきかよく分からないから」が23.6%、「子育ては女性が行うべきと考えているから」が20.2%などとなっています。



母親の方

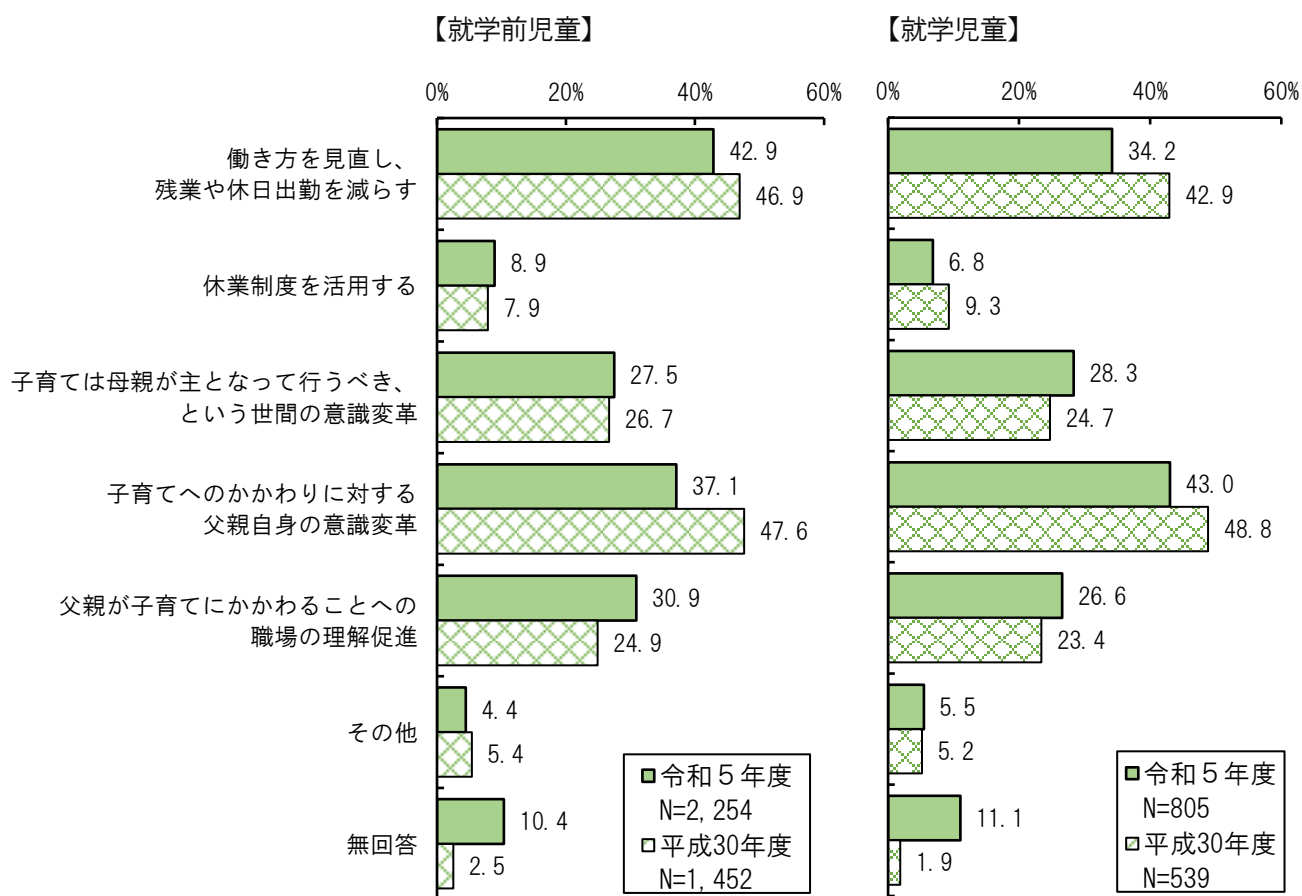
(8) 母親が考える父親が子育てにかかわりやすくするために重要なこと（複数回答）

《就学前児童調査…問34-2・就学児童調査…問26-2》

就学前児童では、「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が42.9%と最も高く、次いで「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が37.1%、「父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進」が30.9%などとなっています。

就学児童では、「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が43.0%と最も高く、次いで「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が34.2%、「子育ては母親が主となって行うべき、という世間の意識変革」が28.3%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童では、平成30年度調査は「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査は「働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす」が最も高くなっていました。就学児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革」が最も高くなっていました。



※令和5年度調査では回答対象者は「母親」となっていますが、平成30年度調査では回答対象者は(6)問34で「3. 少しはかかわってくれている方だと思う」、「4. 休日以外は、ほとんどかかわっていない」、「5. 母親に子育ては任せっきりで、かかわっていない」を選択した方となっています。

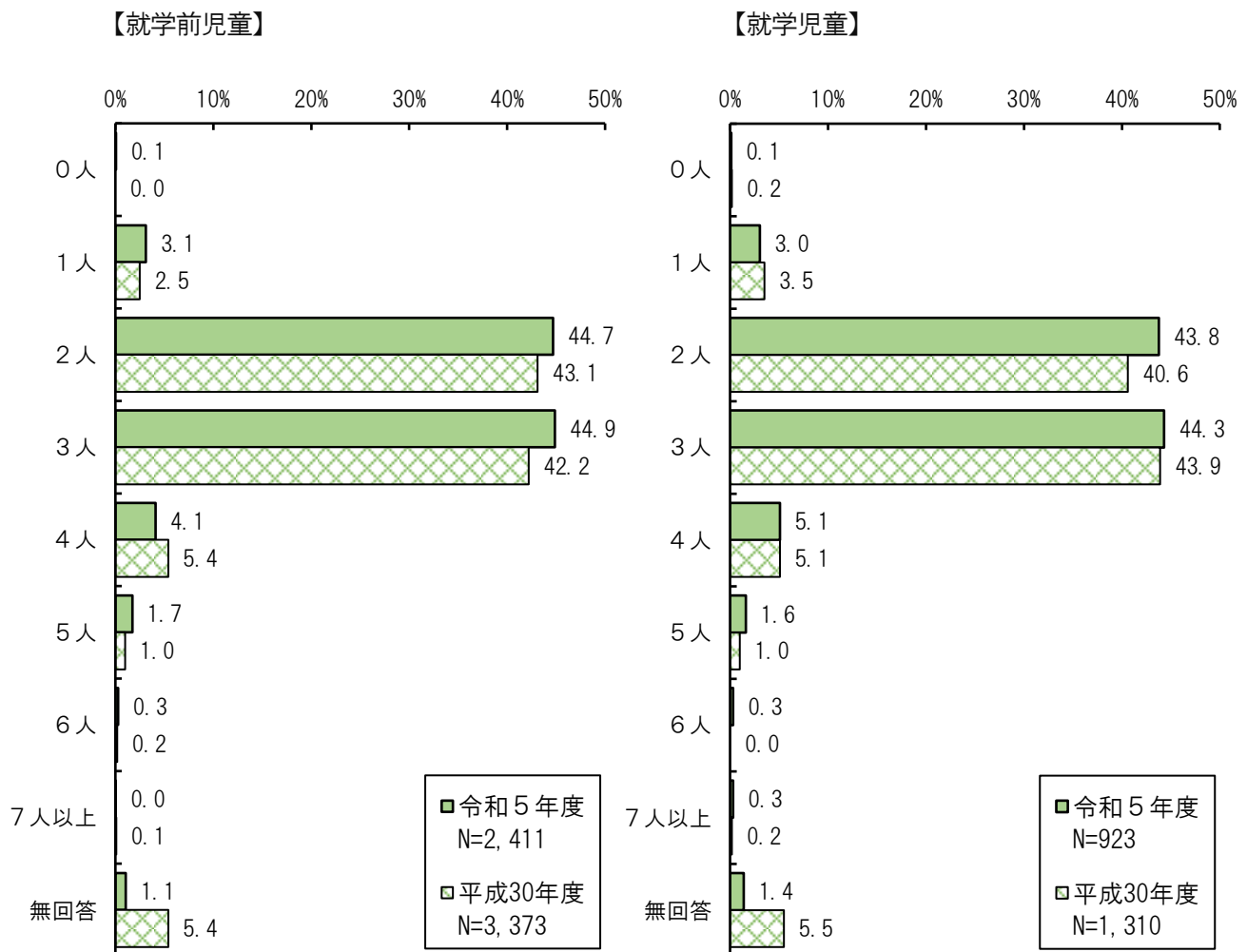
(9) 理想の子どもの人数 (数量回答)

《就学前児童調査…問35・就学児童調査…問27》

就学前児童では、「3人」が44.9%と最も高く、次いで「2人」が44.7%、「4人」が4.1%などとなっています。

就学児童では、「3人」が44.3%と最も高く、次いで「2人」が43.8%、「4人」が5.1%などとなっています。

平成30年度調査と比較すると、就学前児童では、平成30年度調査は「2人」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査は「3人」が最も高くなっています。就学児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「3人」が最も高くなっています。



(10) 理想の子どもの人数より現実の子どもの人数が少ない理由（複数回答）

《就学前児童調査…問35-1・就学児童調査…問27-1》

就学前児童では、「子育てにかかる費用負担が大きい」が31.3%と最も高く、次いで「今後、出産したいと思っている、出産予定がある」が23.9%、「仕事と子育ての両立を考えると難しい」が21.8%、「教育にかかる費用負担（学習塾代、大学入学料・授業料）が大きい」が21.1%、「年齢や体質等で出産が難しい」が20.9%などとなっています。

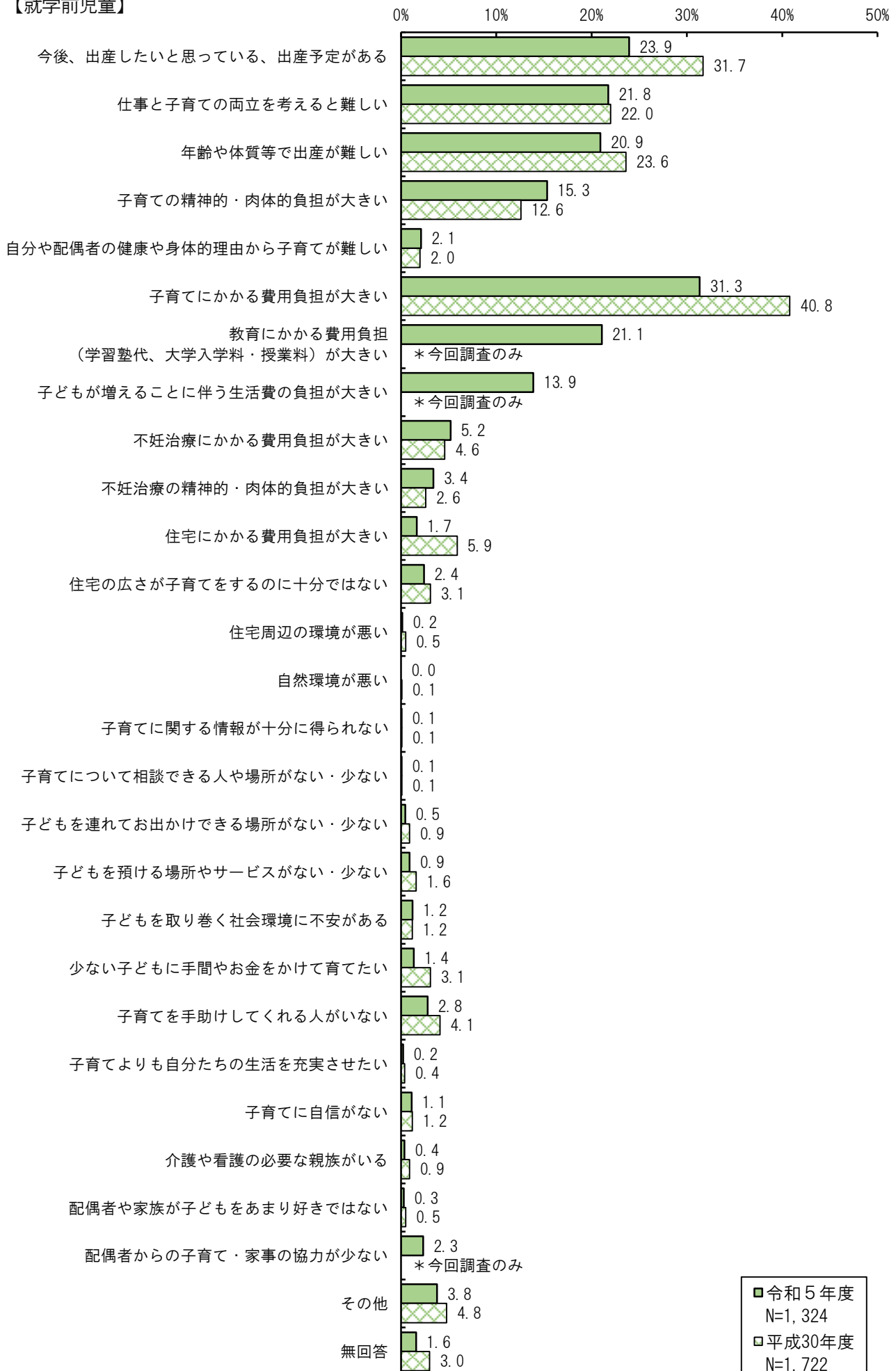
就学児童では、「年齢や体質等で出産が難しい」が40.0%と最も高く、次いで「子育てにかかる費用負担が大きい」が29.7%、「教育にかかる費用負担（学習塾代、大学入学料・授業料）が大きい」が26.4%、「仕事と子育ての両立を考えると難しい」が19.4%、「子どもが増えることに伴う生活費の負担が大きい」が15.8%などとなっています。

就学前児童では、平成30年度調査、令和5年度調査ともに「子育てにかかる費用負担が大きい」が最も高くなっています。

就学児童では、平成30年度調査は「子育てにかかる費用負担が大きい」が最も高くなっていましたが、令和5年度調査は「年齢や体質等で出産が難しい」が最も高くなっています。

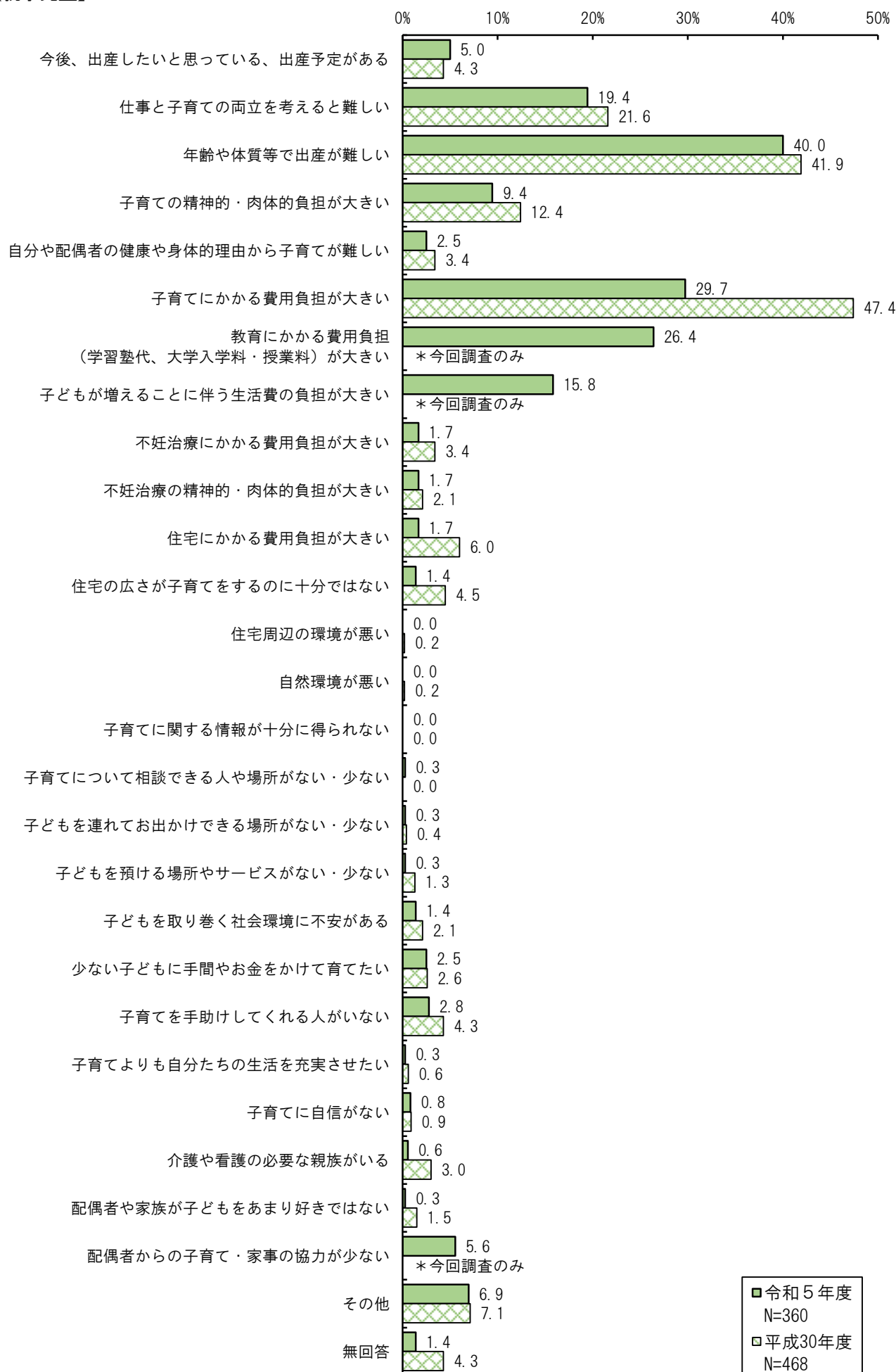
【14 子育てに関する意識等について】

【就学前児童】



令和5年度 静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」【調査結果報告書】

【就学児童】



安心して子どもたちが育つことができる環境、 子育てしやすい環境の充実に向けて

～ 小学校入学前のお子さんの保護者の皆さまを対象としたアンケートへのご協力のお願い ～

市民の皆さまには、日ごろから本市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

これからのまちづくりにおいて、「安心して子どもたちが育つことができる環境、子育てしやすい環境」を充実させるためには、子育てについて、市民の皆さまの日頃の様子やご意見をお聞きしながら、取り組みを進めていくことが大切であると考えています。

そこで、小学校入学前のお子さん 5,000 人を選ばせていただき、その保護者の方を対象に「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を行います。

いただいたご意見などは、今後策定を予定している「静岡市子ども・子育て支援事業計画」（令和7年度からの5年間）※に反映させていただくとともに、今後の事業の検討など、様々な形で活用させていただきます。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、子育て中の皆さまのご意見を市政に活かすため、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

※「静岡市子ども・子育て支援事業計画」… 子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み（需要）を推計し、具体的な目標（供給）の設定を行うものであり、保護者の皆さまに対する調査結果等を踏まえて、計画策定を行います。

令和5年 11 月

静岡市長 難波 喬司



令和5年 12月24日（日）までに

調査票を同封のピンク色の「返信用封筒（切手不要）」に入れて投函 または、下記の回答フォームからパソコン・スマートフォンでご回答ください。

回答フォームは、以下の URL または 2次元コードからアクセスできます。

【U R L】 <https://kosodate.hic-web.org/surv/r5a.html>

【受付期間】 令和5年 11月27日（月）～ 12月31日（日）

※ ウェブ回答には、調査票の右上のアクセスキーの入力が必要です。



裏面に補足説明があります ➡

このアンケートについて

- このアンケートは、市内に在住している小学校入学前のお子さん 5,000 人を無作為に抽出して送付しています。保護者の方がご回答ください。
- アンケートは名前を記入しない「無記名方式」です。
- ご回答いただいた内容は、統計処理を行い集計しますので、個人が特定されることはありません。
- 調査結果は、市ホームページでお知らせします。

ご回答いただくうえでのお願い

- アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。
- あて名のお子さんについてご回答を求めている設問については、あて名のお子さんについてのみ、ご回答をお願いします。
- ご回答は、選択肢のある場合は番号を○で囲み、記入欄がある場合 は数字等、() に必要事項をご記入ください。
- 時間の記入は、24 時間制（例：08 時、20 時）でご記入ください。

インターネット回答について

- 回答の際に必要なアクセスキーは、回答の重複を防ぐため、調査票ごと無作為に付与されています。アクセスキーは、調査票の右上にあります。
- インターネット回答の受付期間中は、いつでもご都合の良い時間に回答できます。
- インターネット上のデータの送受信は、安全な通信を行うために暗号化しています。
- 入力内容の一時保存が可能で、一時保存したところから再開が可能です。
- スマートフォンでも回答できます。
- 回答フォームは、以下の URL または 2 次元コードからアクセスできます。

URL <https://kosodate.hic-web.org/surv/r5a.html>

2 次元コード

【受付期間】 令和 5 年 1 月 27 日（月）～ 1 月 31 日（日）



ご不明な点がございましたら、電話または問い合わせフォーム（以下の URL・2 次元コード）から、静岡市子ども未来課企画係にお問い合わせください。

【電 話】 054-354-2603

【U R L】 <https://logoform.jp/form/79j2/409737>

【2 次元コード】



※ この URL 及び 2 次元コードは、問い合わせフォームのものであり、アンケート回答フォームのものではありませんので、お間違えのないようご注意ください。

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

- ◆問1 お住まいについてお答えください。【当てはまる番号1つに○、町名と小学校区を記入】

1. 葵区 2. 駿河区 3. 清水区 (町名: _____ / 小学校区: _____)

- ◆問2 あて名のお子さんの生年月をお答えください。【当てはまる番号1つに○、□内に数字（一枠に一字）を記入】

1. 平成 2. 令和 年 月生まれ

- ◆問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数とあて名のお子さんが第何子にあたるかをお答えください。また、お二人以上の場合は、一番上のお子さんと一番下のお子さんの生年月をお答えください。【当てはまる番号1つに○、□内に数字（一枠に一字）を記入】

お子さんの人数	 	人／第	 	子	一番上のお子さんの生年月	1. 平成	 	年	 	月	生まれ
						2. 令和	 		 		
					一番下のお子さんの生年月	1. 平成	 		 		
						2. 令和	 		 		

- ◆問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 両親 2. 父親 3. 母親 4. その他 (_____)

- ◆問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、戸籍の届出の有無にかかわらず事実上の関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

- ◆問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 両親 2. 主に父親 3. 主に母親 4. 主に祖父母 5. その他 (_____)

あて名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

- ◆問 7 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。みてもらっている状況とあわせてお答えください。【当てはまる番号・記号すべてに○】

みてもらえる人の有無 【複数選択可】		みてもらっている状況 【複数選択可】
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	➡	ア. 祖父母等の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である ウ. 祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である エ. 祖父母等に負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもたちの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある カ. その他（ ）
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	➡	ア. 友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である ウ. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である エ. 友人・知人に負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもたちの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある カ. その他（ ）
5. いずれもない		

- ◆問 8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。いる（ある）場合は、相談相手（場所）とあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○】

相談先の有無 【1つ選択】		相談相手（場所） 【複数選択可】
1. いる（ある）	➡	ア. 親や親族 ウ. 近所の人 オ. かかりつけの医師 キ. 保健所 ケ. 市の子育て関連担当窓口 サ. 学校の先生 イ. 友人や知人 エ. 認定こども園等の先生 カ. 子育て支援施設(子育て支援センター等) ク. 保健福祉センター コ. 民生委員・児童委員 シ. その他（ ）
2. いない（ない）		

保護者の働き方についてうかがいます。

保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください（ひとり親家庭等の場合は、父親または母親の該当箇所のみお答えください）。

- ◆問 9 保護者の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数、就労時間等が一定でない場合は、もっとも多い日数、時間でお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。【父親、母親それぞれ、当てはまる番号 1 つに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】
※時間は、必ず 24 時間制（例：08 時、18 時）でお答えください。

父親の就労状況 【1つ選択】		就労時間 【数字を記入】
1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない *フルタイム：1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労	➡	1 週当たり 日
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である		1 日当たり（残業含む） 時間 分
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない *パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労		家を出る時刻 時 分
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である		帰宅時刻 時 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		1 または 2 と回答 ⇒ 問 10 へ
6. これまで就労したことがない		3 または 4 と回答 ⇒ 問 9-1 へ
		5 または 6 と回答 ⇒ 問 9-2 へ

母親の就労状況 【1つ選択】		就労時間 【数字を記入】
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない *フルタイム：1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労	➡	1 週当たり 日
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である		1 日当たり（残業含む） 時間 分
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない *パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労		家を出る時刻 時 分
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である		帰宅時刻 時 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない		1 または 2 と回答 ⇒ 問 10 へ
6. これまで就労したことがない		3 または 4 と回答 ⇒ 問 9-1 へ
		5 または 6 と回答 ⇒ 問 9-2 へ

問 9 で、「3」または「4」を選んだ方（パート・アルバイト等で就労している方）にうかがいます。

- ◆問 9-1 フルタイム(1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労)への転換希望はありますか。
【父親、母親それぞれ、当てはまる番号 1 つに○】

父親	
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

母親	
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問9で、「5」または「6」を選んだ方（現在就労していない方）にうかがいます。

◆問9-2 就労の希望はありますか。【父親、母親それぞれ、当てはまる番号・記号1つに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

父親	1. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労） 1週当たり 日 1日当たり 時間 分
	2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい	
母親	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	
	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労） 1週当たり 日 1日当たり 時間 分	
	3. 子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）	

父親	1. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労） 1週当たり 日 1日当たり 時間 分
	2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに就労したい	
母親	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	
	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労） イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労） 1週当たり 日 1日当たり 時間 分	
	3. 子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）	

母親のみなさんすべてにうかがいます。

◆問 10 あて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に退職をしましたか。
【当てはまる番号1つに○】

1. 退職した
2. 継続的に働いていた（育休や産休等一時的な離職を含む）
3. 出産1年前にすでに働いていなかった

問 10 で、「1」を選んだ方にうかがいます。

◆問 10-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、仕事を続けていましたか。
【あなたのお考えにもっとも近い番号1つに○】

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して働いていた
2. 職場において育児休業等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して働いていた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して働いていた
4. 家族や親族の理解・協力が得られれば、継続して働いていた
5. いずれにしてもやめていた
6. その他（具体的に

)

あて名のお子さんの発育や発達についてうかがいます。

◆問 11 あて名のお子さんの発育や発達について、これまで医師から何らかの診断を受けたことはありますか。【当てはまる番号 1 つに○】

1. 診断を受けたことがある
2. 診断を受けたことはない

問 11 で、「1」を選んだ方にうかがいます。

◆問11-1 それはどのような診断ですか。【当てはまる番号すべてに○】

- | |
|--|
| 1. 身体障がい
2. 知的障がい
3. 発達障がい
4. 医療的ケアが必要
5. その他（ ） |
|--|

「**身体障がい**」 視覚障がい、聴覚障がい、平行機能障がい、音声・言語障がい（そしゃく障がいを含む）、肢体不自由、心臓等の内部障がいに関する診断が該当します。

「知的障がい」 知的機能の障がいが発達期（概ね 18 歳まで）にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別な支援を必要とする状態にある診断が該当します。

「発達障がい」 自閉症スペクトラム症（自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい）、限局性学習症（学習障がい）、注意欠陥、多動症（注意欠陥多動性障がい）等の診断が該当します。

「医療的ケア」 医療機関以外の場所（自宅等）において、看護師等の医療職による日常的なケアが必要であるという診断が該当します。

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用についてうかがいます。

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している下表の事業等を指します。

◆問 12 現在、あて名のお子さんは、平日に教育・保育事業を利用していますか。利用している場合は、年間を通じて「定期的に」利用している事業と利用日数等を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】 ※時間は、必ず 24 時間制（例：08 時、18 時）でお答えください。

利用の有無 【1つ選択】	現在の利用状況【複数選択可】	
1. 利用 している	利用 している 事業	ア. 幼稚園（通常の就園時間の利用） 満3～5歳までの子どもの教育を行う施設 イ. 幼稚園等の預かり保育（定期利用） 幼稚園・認定こども園で通常の就園時間の前後を延長して預かる事業 ウ. 認定こども園 幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、保護者の就労状況等にかかわらず0～5歳の子どもが利用できる施設 エ. 保育園 市の認可を受けて、就労等のためご家庭で保育できない保護者に代わって0～5歳の子どもの保育を行う施設 オ. 小規模保育施設 市の認可を受けて、就労等のためご家庭で保育できない保護者に代わって少人数の0～2歳の子どもの保育を行う施設 カ. 事業所内保育施設 市の認可を受けて、企業が事業所内の施設等で従業員の子どもと地域の子どもを保育する施設 キ. 企業主導型保育施設 市の認可を受けずに、企業が事業所内の施設等で主に従業員の子どもの保育を行う施設 ク. 認可外保育施設 市の認可を受けずに、認可を受けた保育園と同様に保育を行う施設のうち、企業主導型保育施設以外の保育施設 ケ. 家庭的保育 市の認可を受けて、保育者の家庭等で5人以下の0～2歳の子どもを保育する施設 コ. 居宅訪問型保育 市の認可を受けて、障がいや病気等で集団保育が著しく困難な子どもを保護者の自宅で1:1で保育する事業 サ. ファミリー・サポート・センター 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かる事業 シ. 児童発達支援センター 発達に気になる子どもや運動発達や言葉の遅れ等で療育が必要な子ども達が、健やかに成長・発達していくよう支援するため、地域の中心となって療育・保育を行う施設（市内では、「いこいの家（葵区城東町）」、「もも（駿河区登呂）」、「As Natural（葵区瀬名）」が該当します。） ス. 児童発達支援事業所 発達に気になる子どもや運動発達や言葉の遅れ等で療育が必要な子ども達が、健やかに成長・発達していくよう支援するため、療育・保育を行う施設 セ. その他（ ）
		利用している事業の利用状況 1 週当たり 日・1 日当たり 時間 分 時 ～ 時 分 この 1 年間に、就労等やむを得ない事情があった際に、 (年に数回でも)18 時以降の利用をしたことがありますか。 1. 利用したことがある 2. 利用したことがない
		今後の利用希望 1 週当たり 日・1 日当たり 時間 分 時 ～ 時 分 就労等やむを得ない事情があった場合、年に数回でも 18 時以降の利用をしたいと思いませんか。 1. 利用したい 2. 利用する必要はない
		利用していない理由【複数選択可】 ア. (子どもの教育や発達のため、子どもの父親または母親が就労していない等の理由で)利用する必要がない イ. 子どもの祖父母や親戚の人がみている ウ. 近所の人や父親または母親の友人・知人がみている エ. 利用したいが、事業に空きがない オ. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない カ. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない キ. 利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない ク. 利用したいが、子どもの発育や発達の面で配慮が必要であり、事業を利用できない ケ. 子どもがまだ小さいため（ 歳くらいになったら利用しようと考えている） コ. その他（ ）

問 12 で、「1.利用している」を選んだ方 ⇒ 8 ページ 問 12-1 へお進みください。

「2.利用していない」を選んだ方 ⇒ 8 ページ 問 12-2 へお進みください。

◆問 12-1 「平日に教育・保育事業を利用している理由」と「現在利用している事業を選んだ理由」、「現在利用している事業への自宅からの所要時間」をお答えください。【当てはまる番号・記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

平日に教育・保育を利用している理由 【複数選択可】	1. 子どもの教育や発達のため 2. 子どもの子育て（教育を含む）をしている者が <u>現在就労している</u> 3. 子どもの子育て（教育を含む）をしている者が <u>就労予定がある／求職中である</u> 4. 子どもの子育て（教育を含む）をしている者が <u>家族・親族等を介護している</u> 5. 子どもの子育て（教育を含む）をしている者が <u>病気や障がいがある</u> 6. 子どもの子育て（教育を含む）をしている者が <u>学生である</u> 7. その他（		
現在利用している事業を選んだ理由 【複数選択可】	1. 居住地に近いため 2. 祖父母や親戚に近いため 3. 勤務地に近いため 4. その保育、教育内容が魅力的であるため 5. 通園手段(事業側からバスが出ている)がよい 6. 金銭面から考えて 7. 子どもの発育や発達の面で配慮が必要であるため 8. 子どもの友人関係から 9. 親の友人関係から 10. 希望していた事業が利用できなかったため 11. その他（ ） 「10」を選んだ方にうかがいます。利用できなかった理由に○をつけてください。【複数選択可】 ア. 事業に空きがなかった イ. 利用料金が高い ウ. 利用時間の条件が合わなかった エ. 事業が通える場所になかった オ. 子どもの発育や発達の面で配慮が必要である カ. その他（ ）		
現在利用している事業への自宅からの所要時間	片道 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 分		

問 12 で、「2」を選んだ方にうかがいます。

◆問 12-2 平日に教育・保育事業を利用していないことを理由とする育児の負担や悩みについて、お答えください。【当てはまる番号すべてに○】

1. 育児での孤立を感じる 2. 育児の悩みを相談できる人がいない（機会がない）、または少ない 3. 精神的・肉体的に回復できる時間がない、または少ない 4. 子どもが他の子どもたちと遊ぶ機会がない、または少ない 5. 特に育児の負担や悩みは感じない 6. その他（ ）
--

問 12 で、「2」を選んだ方のうち、あて名のお子さんが0～2歳（令和5年4月1日時点）の方にうかがいます。

◆問 12-3 令和5年6月、国において「こども未来戦略方針」が閣議決定され、「こども誰でも通園制度（仮称）」の創設が同方針に掲げられました。この制度は、「月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる新たな通園制度」とされていますが、この制度が本市においても実施された場合の利用希望について、お答えください。【当てはまる番号1つに○、□内に数字（一枠に一字）を記入】

1. 決まった曜日・時間での利用を希望する	1 週当たり	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 日		・	1 日当たり	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 時間		
2. 必要に応じて利用を希望する	1 ヶ月当たり	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 日		・	1 日当たり	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> 時間		

あて名のお子さんが3～5歳（令和5年4月1日時点）の方のうち、あて名のお子さんが0～2歳の時に、平日の定期的な保育・教育事業を利用していなかった方にうかがいます。

- ◆問 12-4 あて名のお子さんが0～2歳の時に、平日の定期的な教育・保育事業を利用していなかった理由と、平日に教育・保育事業を利用していなかったことを理由とする育児の負担や悩みについて、お答えください。【当てはまる番号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

平日の定期的な教育・保育事業を利用していなかった理由 【複数選択可】	1. (子どもの教育や発達のため、子どもの父親または母親が就労していない等の理由で)利用する必要がなかった 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみていた 3. 近所の人や父親または母親の友人・知人がみていた 4. 利用したいが、事業に空きがなかった 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できなかった 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わなかった 7. 利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がなかった 8. 利用したいが、子どもの発育や発達の面で配慮が必要であり、事業を利用できなかった 9. 子どもがまだ小さかったため（ 歳くらいになったら利用しようと考えていた） 10. その他（ ）
平日の定期的な教育・保育事業を利用していなかったことを理由とする育児の負担や悩み 【複数選択可】	1. 育児での孤立を感じた 2. 育児の悩みを相談できる人がいなかった（機会がなかった）、または少なかった 3. 精神的・肉体的に回復できる時間がなかった、または少なかった 4. 子どもが他の子どもたちと遊ぶ機会がなかった、または少なかった 5. 特に育児の負担や悩みは感じなかった 6. その他（ ）

すべての方にうかがいます。

- ◆問 13 現在の利用の有無にかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。また、その事業を利用する場合、理想とする自宅からの所要時間と、対応可能な自宅からの最大所要時間をお答えください。【当てはまる番号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

※令和5年度から、0～2歳児（クラス年齢）の保育料について、きょうだいの就学に関わらず、所得制限なく第2子以降の保育料が無料となっていますので、そのことを前提にお答えください（本市が決定している保育料が対象となり、認可外保育施設の利用料等、各施設で独自に定めているものは対象外です。なお、第1子の保育料に変更はありません）。

利用 し た い 事 業 等	1. 幼稚園（通常の就園時間の利用） 満3～5歳までの子どもの教育を行う施設	2. 幼稚園等の預かり保育（定期利用） 幼稚園・認定こども園で通常の就園時間の前後を延長して預かる事業	
	3. 認定こども園 幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、保護者の就労状況等にかかわらず0～5歳の子どもが利用できる施設	4. 保育園 市の認可を受けて、就労等のためご家庭で保育できない保護者に代わって0～5歳の子どもの保育を行う施設	
	5. 小規模保育施設 市の認可を受けて、就労等のためご家庭で保育できない保護者に代わって少人数の0～2歳の子どもの保育を行う施設	6. 事業所内保育施設 市の認可を受けて、企業が事業所内の施設等で従業員の子どもの地域の子どもの保育を行う施設	
	7. 企業主導型保育施設 市の認可を受けずに、企業が事業所内の施設等で主に従業員の子どもを保育する施設	8. 認可外保育施設 市の認可を受けずに、認可を受けた保育園と同様に保育を行う施設のうち、企業主導型保育施設以外の保育施設	
	9. 家庭的保育 市の認可を受けて、保育者の家庭等で5人以下の0～2歳の子どもを保育する施設	10. 居宅訪問型保育 市の認可を受けて、障がいや病気等で集団保育が著しく困難な子どもを保護者の自宅で1：1で保育する事業	
	11. ファミリー・サポート・センター 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かる事業	12. 児童発達支援センター 発達に気になる子どもや運動発達や言葉の遅れ等で療育が必要な子ども達が、健やかに成長・発達していくよう支援するため、地域の中心となって療育・保育を行う施設 （市内では、「いこいの家（葵区域東町）」、「もも（駿河区登呂）」、「As Natural（葵区域瀬名）」が該当します。）	
	13. 児童発達支援事業所 発達に気になる子どもや運動発達や言葉の遅れ等で療育が必要な子ども達が、健やかに成長・発達していくよう支援するため、療育・保育を行う施設	14. その他 ()	
	利用を希望する事業への自宅からの所要時間	【理想とする所要時間】 片道 分	【対応可能な最大所要時間】 片道 分

※事業によっては、一定の実費負担が発生する場合があります。

問 13 で、「1」または「2」を選び、さらに「3」～「13」を1つ以上を選んだ方にうかがいます。

- ◆問 13-1 特に幼稚園（幼稚園等の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。【当てはまる番号1つに○】

1. 希望する

2. 希望しない

問 13 で、「3」～「10」を選んだ方のうち、住民税非課税世帯で、あて名のお子さんが第1子かつ0～2歳（令和5年4月1日時点）の方にうかがいます。

- ◆問 13-2 0～2歳で住民税非課税世帯の子どもについては、幼稚園、保育園、認定こども園等の利用が無償化されていますが、問 13 の3～10までの事業を利用したいと考えますか。【当てはまる番号1つに○】※住民税非課税世帯とは、世帯全員が住民税非課税であることを指します。

1. 利用したいまたは既に利用している

2. 利用したくない

**あて名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の
「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。**

※春・夏・冬休みの「長期休暇中」については、幼稚園利用者の方のみお答えください。

※時間は、必ず 24 時間制（例：08 時、18 時）でお答えください。

※教育・保育事業とは、幼稚園、認定こども園、保育園、認可外保育施設等の事業を指し、親族や友人・知人による預かりは含みません。

- ◆問 14 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日および春・夏・冬休み等の長期休暇中における定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除く）。利用したい場合は、利用したい時間帯をあわせてお答えください。【項目ごと、当てはまる番号 1 つに○。□内に数字（一桁に一字）を記入】

土曜日	日曜日・祝日	長期休暇中 ※（幼稚園利用者のみ）
1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に 1～2 回利用したい 利用したい時間帯 □ 時 □ 分 から □ 時 □ 分 まで 3. 利用する必要はない	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に 1～2 回利用したい 利用したい時間帯 □ 時 □ 分 から □ 時 □ 分 まで 3. 利用する必要はない	1. ほぼ毎日利用したい 2. 週に数日利用したい 利用したい時間帯 □ 時 □ 分 から □ 時 □ 分 まで 3. 利用する必要はない

※事業の利用にあたっては、一定の保育料・利用料が発生する場合があります。

問 14 の土曜日または日曜日・祝日で、「2」を選んだ方にうかがいます。

- ◆問14-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。【当てはまる番号すべてに○】

- | | |
|---|---|
| 1. 月に数回仕事が入るため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
5. 子どもの行事（学校や習い事）に参加するため
6. その他（ | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
4. 私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）のため
) |
|---|---|

問 14 の長期休暇中（幼稚園利用者のみ）で、「2」を選んだ方にうかがいます。

- ◆問14-2 毎日ではなく、たまに利用したい理由をお答えください。【当てはまる番号すべてに○】

- | | |
|---|--|
| 1. 週に数回仕事が入るため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
5. 子どもの行事（学校や習い事）に参加するため
6. その他（ | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
4. 私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）のため
) |
|---|--|

問 12 で、平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」を選んだ方にうかがいます。
「利用していない」を選んだ方は、14 ページ 問 16 へお進みください。

事業を利用できなかったこと 【1つ選択】	1年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】	
1. あった	ア. 就労している父親が仕事を休んだ	日	⇒問 15－1、 2へ
	イ. 就労している母親が仕事を休んだ	日	
	ウ. (同居者を含む) 親族や友人・知人に頼んだ	日	⇒問 16へ
	エ. 父親または母親のうち就労していない方がみた	日	
	オ. 病児・病後児の保育を利用した	日	
	カ. ベビーシッターを利用した	日	
	キ. 緊急サポートセンター（※）を利用した	日	
	ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日	
	ケ. その他（ ）	日	
※「緊急サポートセンター」…ファミリー・サポート・センターと同様に、会員組織による子育て支援活動で、病児・病後児の預かりや急な預かりを行います。			
2. なかった	⇒問 16へ		

問 15 で、「ア」または「イ」を選んだ方（父親、母親が仕事を休んだ方）にうかがいます。

- ◆問 15－1 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが、利用したい場合は、利用を希望する延べ日数と事業形態をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

病児・病後児施設等の利用希望の有無 【1つ選択】									
1. 利用したい ※利用にあたっては、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医等の受診が必要となる場合があります。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>希望延べ日数 【数字を記入】</th> <th>希望延べ日数</th> <th>日</th> <th>※問 15 のア、イの合計日数を上限としてお答えください。</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 利用を希望する事業形態 【複数選択可】 ア. 認定こども園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業 イ. 病院や診療所等に併設した施設で子どもを保育する事業 ウ. 自宅で一時的な保育を受けることができる事業 エ. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 （例：緊急サポートセンター等） オ. その他（ ）	希望延べ日数 【数字を記入】	希望延べ日数	日	※問 15 のア、イの合計日数を上限としてお答えください。				
希望延べ日数 【数字を記入】	希望延べ日数	日	※問 15 のア、イの合計日数を上限としてお答えください。						
2. 利用したいとは思わない									

- ◆問 15－2 病児・病後児のための保育施設等を利用しなかった（できなかった）理由をお答えください。【当てはまる記号すべてに○】

利用しなかった（できなかった）理由 【複数選択可】	ア. 病児・病後児のための保育施設等があることを知らなかったため イ. 病児・病後児のための保育施設等が不便な場所にあるため ウ. 開所時間が遅いため エ. 閉所時間が早いため オ. 利用するための手続きや準備が大変なため カ. 利用料が高いため キ. 親が仕事を休んでみるべきと考えるため ク. 子どもが嫌がるため ケ. 自宅の方が安心できるため コ. 利用したかったが定員オーバーで断られたため サ. 利用したかったが預けることができない症状だったため シ. その他（ ）
--------------------------------------	---

**あて名のお子さんの教育・保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

- ◆問 16 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、就労等の目的で、利用している事業はありますか。利用している場合は、利用している事業と1年間のおおよその利用日数を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。【当てはまる番号1つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

利用の有無 【1つ選択】			年間延べ日数 【数字を記入】
1. 利用している	➡	利用している事業 【複数選択可】	ア. 認定こども園・保育園等の一時預かり 保護者が病気や冠婚葬祭等一時的に養育が困難な場合に、認定こども園・保育園等で一時的に預かります。 日
		イ. 幼稚園・認定こども園の一時預かり 通常の就園時間の前後を延長して預かります。 日	
		ウ. 中央子育て支援センターの一時預かり 仕事や通院等の間、生後2か月から就学前までの子どもを預かります。 日	
		エ. ファミリー・サポート・センター 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かります。 日	
		オ. 子育て短期支援事業（ショートステイ） 保護者が病気等で一時的に養育が困難な場合や経済的な理由等で保護が必要な場合、7日間を限度として施設に入所できます。 日	
		カ. ベビーシッター 依頼のあった保護者の自宅等にて子どもを保育します。 日	
		キ. その他 () 日	
2. 利用していない	➡	利用していない理由 【複数選択可】	ア. 特に利用する必要がない イ. 利用したい事業が地域にない ウ. 事業の質に不安がある エ. 事業の利便性（場所、時間等）がよくない オ. 利用料がかかる・高い カ. 利用料が分からない キ. 自分が事業を利用できる対象になるのかどうか分からない ク. 利用方法が分からない ケ. その他（ 日

- ◆問 17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用したい場合は、希望する事業形態と必要な日数（目的別の日数と、利用したい合計日数）をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

利用希望の有無 【1つ選択】	
1. 利用したい ※利用にあたっては、一定の利用料がかかります。	希望する事業形態 【複数選択可】 ア. 大規模施設で子どもを保育する事業 （例：認定こども園、幼稚園、保育園、中央子育て支援センター等） イ. 小規模施設で子どもを保育する事業 ウ. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） エ. その他（ ）
	希望する利用目的 【複数選択可】 ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 日
	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院等 日
	ウ. 就労 日
	エ. その他（ ） 日
ア～エの合計日数 日	
2. 利用する必要はない	年間希望延べ日数 【数字を記入】

- ◆問 18 この1年間に、保護者の用事（仕事、冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことがありましたか（預け先が見つからなかった場合も含む）。あった場合は、この1年間の対処方法とそれぞれの日数をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

宿泊を伴う預かり 【1つ選択】	1年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】	
1. あった	ア. （同居者を含む）親族や友人・知人に預けた	泊	⇒問 18-1 へ ⇒問 19 へ
	イ. 子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した	泊	
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊	
	エ. 預け先が見つからず子どもを同行させた	泊	
	オ. その他（ ）	泊	
2. なかった	⇒問 19 へ		

問 18 で、「ア」を選んだ方にうかがいます。

- ◆問 18-1 親族や友人・知人に預ける場合にどの程度困難であったかお答えください。【当てはまる番号 1 つに○】

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

あて名のお子さんの子育て支援センター等の利用状況についてうかがいます。

- ◆問 19 現在、あて名のお子さんは、子育て支援センター（※）等を利用していますか。利用している場合は、利用状況と今後の希望を、利用していない場合は、その理由と今後の希望をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字を記入】

※「子育て支援センター」…子ども連れで遊びながら、情報交換や仲間づくりをすることができるほか、子育ての不安や悩みについての相談ができる施設です。

【静岡市の子育て支援センター（21か所）】

- ①静岡中央 ②北安東 ③小百合 ④城東 ⑤服織 ⑥しずはた ⑦あゆみ ⑧東豊田 ⑨登呂
⑩丸子 ⑪よしよし ⑫おひさまの森 ⑬長田 ⑭清水中央 ⑮メリーゴーランド ⑯草薙ふたば
⑰ゆめの木 ⑱蒲原 ⑲あけぼの ⑳すぎの子 ㉑由比

利用の有無 【1つ選択】	
1. 利用している	現在の利用状況【複数選択可】 ／おおよその利用回数 【数字を記入】 A. 子育て支援センター ●利用しているセンター（上記 21 か所から選択） （子育て支援センター名： ） 1 週当たり 回程度 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度 I. その他静岡市で実施している類似の事業 （例：あそび・子育ておしゃべりサロン） （具体名： ） 1 週当たり 回程度 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度
	今後の利用希望【複数選択可】 ／おおよその利用回数 【数字を記入】 A. 子育て支援センター ●利用したいセンター（上記 21 か所から <u>1つ</u> 選択） （子育て支援センター名： ） 1 週当たり 回程度 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度 I. その他静岡市で実施している類似の事業 （例：あそび・子育ておしゃべりサロン） （具体名： ） 1 週当たり 回程度 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度
2. 利用していない	現在、利用していない理由【複数選択可】 A. 利用する必要がないため I. 時間に余裕がないため ウ. 自宅近くにない等、利用しにくい場所にあるため E. 駐車場がない、少ないため O. 子育て支援センターを知らなかったため K. その他（ ）
	今後の利用希望【複数選択可】 ／おおよその利用回数 【数字を記入】 A. 子育て支援センター ●利用したいセンター（上記 21 か所から <u>1つ</u> 選択） （子育て支援センター名： ） 1 週当たり 回程度 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度 I. その他静岡市で実施している類似の事業 （例：あそび・子育ておしゃべりサロン） （具体名： ） 1 週当たり 回程度 もしくは 1 ヶ月当たり 回程度 ウ. 利用を希望しない

◆問 20 現在、あて名のお子さんについての相談にあたり、子ども未来サポーター（※）等を活用していますか。活用している場合は、その状況と今後の希望を、活用していない場合は、その理由と今後の希望をあわせてお答えください。【当てはまる番号1つに○、記号すべてに○。□内に数字を記入】

※「子ども未来サポーター」…妊娠中から入園までの期間、利用者親子への子育て支援コンシェルジュとして、利用者の状況に寄り添った子育て支援事業の情報提供やコーディネート、出張相談等を行います。現在は、12 か所の子育て支援センターに配置されています。

【静岡市の子育て支援センター（21 か所）】	
● 子ども未来サポーターが配置されているセンター(12 か所)	● 配置されていないセンター(9 か所)
①静岡中央 ②北安東 ③小百合 ④城東 ⑤服織 ⑥東豊田 ⑦登呂 ⑧丸子 ⑨清水中央 ⑩草薙ふたば ⑪ゆめの木 ⑫蒲原	⑬しずはた ⑭あゆみ ⑮よしよし ⑯おひさまの森 ⑰長田 ⑱メリーゴーランド ⑲あけぼの ⑳すぎの子 ㉑由比

利用の有無 【1つ選択】	
1. 利用 している	現在の利用状況【複数選択可】 /oおおよその利用回数【数字を記入】 今後の利用希望【複数選択可】 /oおおよその利用回数【数字を記入】 ア. 子ども未来サポーター ●利用しているセンター（上記 12 か所から選択） (子育て支援センター名：) 1 週当たり 回程度 もしくは 1ヶ月当たり 回程度 イ. その他静岡市で実施している類似の事業 (例：区役所の保育コーディネーター) (具体名：) 1 週当たり 回程度 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
	ア. 子ども未来サポーター ●利用したいセンター（上記 21 か所から1つ選択） (子育て支援センター名：) 1 週当たり 回程度 もしくは 1ヶ月当たり 回程度 イ. その他静岡市で実施している類似の事業 (例：区役所の保育コーディネーター) (具体名：) 1 週当たり 回程度 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
2. 利用 していない	現在、利用していない理由【複数選択可】 /oおおよその利用回数【数字を記入】 今後の利用希望【複数選択可】 /oおおよその利用回数【数字を記入】
	ア. 利用する必要がないため イ. 時間に余裕がないため ウ. 自宅近くにない等、利用しにくい場所にあるため エ. 駐車場がない、少ないため オ. 子育て支援センターに子ども未来サポーターが配置されていることを知らなかったため カ. 子ども未来サポーター自体を知らなかったため キ. その他（ ） ア. 子ども未来サポーター ●利用したいセンター（上記 21 か所から1つ選択） (子育て支援センター名：) 1 週当たり 回程度 もしくは 1ヶ月当たり 回程度 イ. その他静岡市で実施している類似の事業 (例：区役所の保育コーディネーター) (具体名：) 1 週当たり 回程度 もしくは 1ヶ月当たり 回程度 ウ. 利用を希望しない

あて名のお子さんが5歳以上（令和5年4月1日時点）である方に、
小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

あて名のお子さんが、5歳以上（令和5年4月1日時点）である方にうかがいます。

5歳未満の方は、20 ページ 問 27 へお進みください。

◆問 21 あて名のお子さんが小学校に就学後、小学6年生までの間、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいとお考えですか。【当てはまる番号1つに○】

1. 自宅	2. 祖父母宅や友人・知人宅	3. 習い事（スポーツ、塾等）
4. 市の放課後児童クラブ （児童館内の放課後児童クラブを含む）	5. 民間の放課後児童クラブ	6. 児童館
7. 放課後子ども教室	8. 放課後等デイサービス	9. ファミリー・サポート・センター
10. その他（ ）		

「放課後児童クラブ」 学童保育とも呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童を対象に、支援員等が家庭に代わる生活の場を提供するものです。市が運営するクラブと、民間事業者（企業、保育園等）が運営するクラブがあります。利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「児童館」 親子で一緒に遊んだり、小学生が友だち同士で様々な遊びを楽しんだりすることができる施設であり、令和5年4月時点では市内に13か所設置されています。児童館内の放課後児童クラブを利用する場合には、「4」を選択してください。

「放課後子ども教室」 地域・学校の連携・協働により、学校施設を活用して、子どもたちに様々な体験の場や地域の方・異学年の児童との交流の場を提供する社会教育事業です。（放課後児童クラブと異なり、保護者の就労状況等にかかわらず、実施校に通う全ての児童が利用できます。開設時間：概ね授業終了～下校時刻、開設日：開校日の中で地域の実情に応じて設定）

「放課後等デイサービス」 小・中・高等学校等に就学している18歳未満の障がい児（授業の終了後または休業日に支援が必要と認められた者）に対して、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を提供します。

「ファミリー・サポート・センター」 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かります。子どもの預かりは、援助を行う会員の自宅で実施します。利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「4」を選んだ方	⇒	問 22 へ
「5」を選んだ方	⇒	問 23 へ
「9」を選んだ方	⇒	問 25 へ
4、5、9以外の項目を選んだ方	⇒	問 26 へ

問 21 で、「4」を選んだ方にうかがいます。

◆問 22 あて名のお子さんの放課後児童クラブの利用予定をお答えください。【項目ごと、当てはまる番号1つに○】

(1) 放課後の時間を主に児童クラブで過ごすのは、何年生までを予定していますか。	1. 1年生まで	2. 2年生まで	3. 3年生まで
	4. 4年生まで	5. 5年生まで	6. 6年生まで
(2) 児童クラブへのお迎えは、主に何時頃を予定していますか。	1. 午後3時まで	2. 午後4時まで	3. 午後5時まで
	4. 午後6時まで	5. 午後7時まで	
(3) 児童クラブの利用日は、何曜日を予定していますか。	1. 月～金曜日	2. 月～土曜日	3. 土曜日のみ
	4. その他（ ）		

⇒問 24 へ

問 21 で、「5」を選んだ方にうかがいます。

◆問 23 あて名のお子さんの放課後児童クラブの利用予定をお答えください。【項目ごと、当てはまる番号 1 つに○】

(1) 利用予定の児童クラブ名をお答えください。	クラブ名 ()
(2) <u>放課後の時間を主に児童クラブで過ごす</u> のは、何年生までを予定していますか。	1. 1 年生まで 2. 2 年生まで 3. 3 年生まで 4. 4 年生まで 5. 5 年生まで 6. 6 年生まで
(3) 民間の放課後児童クラブの利用を希望する、主な理由は何ですか。	1. 利用できる曜日が 2. 利用できる時間が 3. 活動内容が充実している 4. その他 ()

問 22 (1) で、「4」～「6」を選んだ方、問 23 (2) で「4」～「6」を選んだ方にうかがいます。

◆問 24 放課後児童クラブを利用する理由をお答えください。【当てはまる番号すべてに○】

1. 児童が長い時間自宅で一人で過ごすことに不安がある 2. 祖父母等が同居または自宅近くにいるが、児童の面倒をみることができない 3. 児童が放課後児童クラブの入会を希望している 4. 友達が入会している 5. 習い事が始まる時間まで過ごす 6. 児童に障がいがある 7. その他 ()

⇒問 26 へ

問 21 で、「9」を選んだ方にうかがいます。

◆問 25 あて名のお子さんのファミリー・サポート・センターの利用予定をお答えください。【□内に数字を記入】

1 週当たり		回程度	もしくは	1 ヶ月当たり		回程度
--------	----------------------	-----	------	---------	----------------------	-----

⇒問 26 へ

問 21 に回答したすべての方にうかがいます。

◆問 26 あて名のお子さんが小学校に就学後、小学 6 年生までの間、夏休み等長期休暇期間の日中の時間を主にどのような場所で過ごさせたいとお考えですか。【当てはまる番号 1 つに○】

1. 自宅	2. 祖父母宅や友人・知人宅	3. 習い事（スポーツ、塾等）
4. 市の放課後児童クラブ (児童館内の放課後児童クラブを含む)	5. 民間の放課後児童クラブ	6. 児童館
7. 放課後子ども教室	8. 放課後等デイサービス	9. ファミリー・サポート・センター
10. その他 ()		

育児休業や短時間勤務制度等の職場の両立支援についてうかがいます。

◆問 27 あて名のお子さんが生まれたとき、父親、母親のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。取得した場合は、取得期間（父親）と取得後の状況（母親）を、取得していない場合は、その理由をお答えください。【父親、母親それぞれ、当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

取得の有無【１つ選択】		
父親	１．取得した （取得中である）	取得期間 <u>【数字を記入】</u> □ □ □ 日
	２．取得していない	取得していない理由 <u>【複数選択可】</u> ア．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった イ．仕事が忙しかった ウ．仕事に戻るのが難しそうだった エ．昇給・昇格等に影響がでると思うので オ．収入減となり、経済的に苦しくなるため カ．認定こども園・保育園等に預けることができたため キ．配偶者が育児休業制度を利用したため ク．配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった ケ．子育てや家事に専念するため退職した コ．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則にない） サ．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった シ．育児休業を取得できることを知らなかった ス．その他（ ）
	３．働いていなかった	

取得の有無【1つ選択】	
母親	1. 取得した (取得中である) ➡ 取得後の状況 【1つ選択】 A. 育児休業取得後、職場に復帰した B. 現在も育児休業中である C. 育児休業中に離職した
	2. 取得していない ➡ 取得していない理由 【複数選択可】 ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった エ. 仕事に戻るのが難しそうだった オ. 昇給・昇格等に影響がでると思うので カ. 収入減となり、経済的に苦しくなるため キ. 認定こども園・保育園等に預けることができたため ク. 配偶者が育児休業制度を利用したため ケ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、制度を利用する必要がなかった コ. 子育てや家事に専念するため退職した サ. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則にない) シ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった ス. 育児休業を取得できることを知らなかった セ. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した ソ. その他()
	3. 働いていなかった

問 27 の母親で、「A」を選んだ方にうかがいます。

「B」を選んだ方は 22 ページ 問 29 へ、「C」を選んだ方は 22 ページ 問 30 へお進みください。

母親の職場復帰時の状況についてお答えください。

◆問 28-1 育児休業から職場に復帰したタイミングをお答えください。【当てはまる番号 1 つに○】

※年度初めの認定こども園・保育園等への入園を希望し、1～2 月ごろ復帰して一時的に認可外保育施設を利用した場合や、年度初めの入園を希望して復帰したが、実際には希望する認定こども園・保育園等に入園できなかったという場合も「1」を選択してください。

1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった

2. それ以外だった

◆問 28-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、「希望として」はお子さんが何歳何か月のときまで育児休業を取得したかったですか。「実際」と「希望」の時期が異なる場合は、その理由をあわせてお答えください。【□内に数字（一枠に一字）を記入。当てはまる番号すべてに○】

実際の時期	歳	か月	希望の時期	歳	か月
「希望」より 早く復帰した理由【複数選択可】			「希望」より 遅く復帰した理由【複数選択可】		
1. 希望する認定こども園・保育園等に入るため			1. 希望する認定こども園・保育園等に入らなかったため		
2. 配偶者や家族の希望があったため			2. 自分や子ども等の体調が思わしくなかったため		
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため			3. 配偶者や家族の希望があったため		
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため			4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため		
5. その他（ ）			5. 子どもをみてくれる人がいなかったため		
			6. その他（ ）		

◆問 28-3 お勤め先に、3 歳まで育児休業を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたいですか。【□内に数字（一枠に一字）を記入】

歳	か月
---	----

◆問 28-4 育児休業からの職場復帰時には短時間勤務制度を利用しましたか。利用しなかった（できなかった）場合は、その理由もあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○】

利用の有無 【1 つ選択】	利用しなかった理由 【複数選択可】
1. 利用した	
2. 利用したかったが、 利用しなかった (利用できなかった)	ア. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. 短時間勤務にすると給与が減額される エ. 短時間勤務にすると認定こども園・保育園等の入園申請の優先順位がさがる オ. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した カ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえる等、子どもをみてくれる人がいた キ. 子育てや家事に専念するため退職した ク. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則にない） ケ. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった コ. その他（ ）
3. 利用する必要がなかった	

問 27 の母親で、「B」を選んだ方にうかがいます。

- ◆問 29 あて名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる教育・保育事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があれば 1 歳になる前に職場復帰しますか。【当てはまる番号 1 つに○】

1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1 歳になる前に職場復帰したい

子育て支援サービスの認知度および利用状況等についてうかがいます。

- ◆問 30 次のサービスや事業を利用したことや聞いたことがありますか。利用したことがある場合は、利用時の満足度とあわせてお答えください。また、これまでの利用の有無にかかわらず、今後の利用希望をお答えください。【項目ごと、当てはまる番号 1 つに○】
※事業・サービスによっては、一定の利用料がかかる場合があります。

【A】認知度・利用状況	【B】満足度	【C】今後の利用希望
1. 利用したことがある	1. 良かった	1. 今後も引き続き利用する
2. 知っているが利用したことはない	2. 普通	2. 今後利用したい
3. 知らなかった	3. 良くなかった	3. 利用するつもりはない

【情報発信等】

サービスや事業の種類	【A】認知度・利用状況 (すべての方がご回答ください。)	【B】満足度 (【A】で「1」を選択した方のみご回答ください。)	【C】今後の利用希望 (すべての方がご回答ください。)
1. しずおか子育てハンドブック 子育て支援の様々な情報を冊子にまとめて提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
2. 静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ しずおか」 子育て支援の情報を一つのホームページにまとめて掲載し、情報発信します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
3. しずおか子育てきずな LINE 妊娠期から満 3 歳誕生日まで、妊娠週数やお子さんの月齢に合わせて静岡市公式 LINE から情報をお届けします。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
4. しずおか子育て優待カード お買物や飲食等の際に、協賛店舗で提示すると特典や優待が受けられます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
5. こんにちは赤ちゃん事業 生後 4 か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援の情報等を提供します。	1 2 3	1 2 3	
6. マザーズハローワーク 仕事と子育ての両立を目指す方々のための就労相談やミニセミナー等を実施します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3

【相談・支援・遊び等】

サービスや事業の種類	【A】 認知度・利用状況 (すべての方がご回答ください。)	【B】 満足度 (【A】で「1」を選択した方のみご回答ください。)	【C】 今後の利用希望 (すべての方がご回答ください。)
7. 児童相談所 子育てや児童虐待に関する相談、子どもの保護、里親家庭や施設による子どもの養育等子どもの権利を守り、成長を支援します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
8. 家庭児童相談室 (各区子育て支援課内) 子どもとご家庭に関わる様々な相談を、電話または面談で受け付けます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
9. 子ども若者相談センター 不登校、いじめ、学校・家庭での問題等、子どもに関する相談を受け付けます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
10. 子育て世代包括支援センター 妊娠期から子育て期までの、様々な悩み・質問・相談を受け付けます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
11. 産後ケア 出産後の回復や育児等に不安をお持ちの母親に、専門的ケアの提供や育児相談等を行います。	1 2 3	1 2 3	
12. ママケアデイサービス 生後4か月から1歳未満の子どもを持つ母親に、休息や交流ができる場所や時間等を提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
13. 赤ちゃん広場 子育て親子が清水保健福祉センターにおいて気軽につどい、うちとけた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図ります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
14. 子育て支援センター 子ども連れて遊びながら、情報交換や仲間づくりをすることができ、子育ての不安や悩みについての相談ができます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
15. あそび・子育ておしゃべりサロン 市内の認定こども園・保育園で、子育ての不安や悩みをもつ方からの相談や親子の遊び場を提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
16. 幼稚園の子育てひろば 幼稚園で開催する子育て相談・園庭開放です。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
17. 子育てトーク・子育てサロン 市内各地区の社会福祉協議会で、親同士の交流や親子での遊び、専門家による育児のアドバイスや相談を行います。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
18. 保育コーディネーター (各区子育て支援課内) 認定こども園・保育園等や子育て支援の利用についての情報提供、相談、アドバイスをします。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
19. 子ども未来サポーター 子育て支援センターを拠点に、利用者の状況に寄り添った子育て支援事業の情報提供やコーディネート、出張相談等を行います。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
20. 妊婦健康診査 安心な分娩や出産、妊婦の経済的負担の軽減を図るため公費負担の受診票を交付し、医療機関等への受診を勧奨します。	1 2 3	1 2 3	
21. 子育て支援ヘルパー 妊娠中や1歳未満の子どもがいるご家庭、3歳未満の子どもが2人以上いるご家庭に、家事や育児の手伝いをするヘルパーを派遣します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
22. 児童館 親子で一緒に遊んだり、小学生が友だち同士で様々な遊びを楽しむことができます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3

【預かり等】

サービスや事業の種類	【A】 認知度・利用状況 (すべての方がご回答ください。)	【B】 満足度 (【A】で「1」を選択した方のみご回答ください。)	【C】 今後の利用希望 (すべての方がご回答ください。)
23. ファミリー・サポート・センター 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
24. 緊急サポートセンター ファミリー・サポート・センターと同様に、会員組織による子育て支援活動で、病児・病後児の預かりや急な預かりを行います。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
25. 病児・病後児保育 働くご家庭の子育てを応援するため、病氣中または病氣回復期のお子さんを預かり、保育・看護を行います。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
26. 子育て短期支援事業 (ショートステイ) 保護者が病氣等で一時的に養育が困難な場合や経済的な理由等で保護が必要な場合、7日間を限度として施設に入所できます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
27. 認定こども園・保育園等の一時預かり 保護者が病氣や冠婚葬祭等一時的に養育が困難な場合に、認定こども園・保育園等で一時的に預かります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
28. 幼稚園・認定こども園の一時預かり 通常の就園時間の前後を延長して預かります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
29. 中央子育て支援センターの一時預かり 仕事や通院等の間、生後2か月から就学前までの子どもを預かります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
30. 延長保育 一部の認定こども園・保育園等において通常の保育のほか、18時以降も時間を延長して保育します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
31. 放課後児童クラブ 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童を対象に、支援員等が家庭に代わる生活の場を提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
32. 放課後子ども教室 地域・学校の連携・協働により、学校施設を活用して、子どもたちに様々な体験の場や地域の方・異学年の児童との交流の場を提供する社会教育事業です。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
33. 実費徴収に伴う補足給付事業 認定こども園・保育園等を利用する生活保護世帯に対する学用品費、や幼稚園を利用する世帯※に対する副食費（おかず代）を助成します。 ※幼稚園を利用する世帯のうち、多子世帯や一定の所得を下回る世帯が対象となります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3

◆問30-1 子育て支援やお住まいの地域における子育て環境に満足していますか。総合的な満足度をお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通
4. やや不満	5. 不満	

子育てに関する意識等についてうかがいます。

◆問 31 子育てを支援するために、効果が高いと考えられるものまたは充実を図ってほしいと期待するものをお答えください。【特に重要と思う番号 3 つまでに○】

1. 子育て支援に関する情報提供の拡充
2. 児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充
3. 放課後児童クラブを増やす
4. 放課後子ども教室の活動の充実
5. 認定こども園や保育園などの教育・保育施設を増やす
6. 発育や発達面で配慮が必要な子どもの受け入れ体制の充実
7. 親が子育てについて学ぶことができる講習会等の開催を増やす
8. 親子で参加できる各種イベントの開催を増やす
9. 認定こども園・保育園や幼稚園等の費用負担の軽減
10. 児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充
11. 出産に対する経済的支援の充実
12. 不妊治療に対する経済的支援の充実
13. 子育て世帯の優先入居や広い部屋の割り当て等の住宅面の配慮
14. 公共施設におけるファミリートイレの設置またはバリアフリー化等の整備
15. 行政では対応しにくいきめ細かなサービスの提供が期待できる、NPO等による保育サービス等の充実
16. 安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備
17. 安心して子育てができるための相談機関の充実
18. 残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、短時間勤務制度、フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し
19. 男性の家事・育児への参加を促進
20. 子育てに対する寛容さなど、子育てしやすい社会の雰囲気づくり
21. その他（具体的に _____）
22. 特になし

◆問 32 子育てについて、日ごろ悩んでいることや不安に思っていることはありますか。【当てはまる番号すべてに○】

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 子どもの病気に関すること | 12. 不登園・不登校に関すること |
| 2. 子どもの発育・発達に関すること | 13. その他（具体的に _____） |
| 3. 子どもの食事や栄養に関すること | 14. 特になし |
| 4. 子育ての方法がよく分からないこと | |
| 5. 子どもとの接し方に自信が持てないこと | |
| 6. 子どもとの時間を十分にとれないこと | |
| 7. 話し相手や相談相手がいないこと | |
| 8. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと | |
| 9. 子育てにかかる費用が大きな負担になっていること | |
| 10. 子どもの教育に関すること | |
| 11. 友達付き合い（いじめ等を含む）に関すること | |

父親の方にかかっています。

- ◆問 33 あなたは日ごろ、どの程度、子育てにかかわっていると思いますか。【当てはまる番号 1 つに○】
(ひとり親家庭で母親がいない場合は回答不要です。問 35 へお進みください。)

1. 母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う → 問 33-2 へ
2. 子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている → 問 33-2 へ
3. 少しはかかわっている方だと思う → 問 33-1、2 へ
4. 休日以外は、ほとんどかかわっていない → 問 33-1、2 へ
5. 母親に子育ては任せっきりで、かかわっていない → 問 33-1、2 へ

→ 問 33 で、「3」～「5」を選んだ方にかかっています。

- ◆問 33-1 あなたが子育てにかかわりづらいのは、なぜだと考えられますか。【主な理由だと思ふ番号 2 つまでに○】

1. 残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから
2. 通勤時間が長いから
3. 子どもや家庭のことで有給休暇等をとることに職場の理解を得にくいから
4. 父親として具体的に何をすべきかよく分からないから
5. 子育ては女性が行うべきと考えているから
6. 男性が子育てにかかわることを恥ずかしいと思う意識があるから
7. 男性が子育てにかかわることを特別視する風潮が世間にあるから
8. その他（具体的に

)

- ◆問 33-2 父親が子育てにかかわりやすくするためには、どうしたらいいと思いますか。【特に重要だと思ふ番号 2 つまでに○】

1. 働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす
2. 休業制度を活用する
3. 子育ては母親が主となって行うべき、という世間の意識変革
4. 子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革
5. 父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進
6. その他（具体的に

)

母親の方にかかっています。

- ◆問 34 あなたから見て、父親は日ごろ、どの程度、子育てにかかわっていると思いますか。【当てはまる番号 1 つに○】（ひとり親家庭で父親がいない場合は回答不要です。問 35 へお進みください。）

1. 母親に子育てを任せず、積極的ににかかわっていると思う → 問 34-2 へ
2. 子育てにおける父親と母親の大まかな役割分担をしている → 問 34-2 へ
3. 少しはにかかわっている方だと思う → 問 34-1、2 へ
4. 休日以外は、ほとんどかかわっていない → 問 34-1、2 へ
5. 母親に子育ては任せっきりで、かかわっていない → 問 34-1、2 へ

→ 問 34 で、「3」～「5」を選んだ方にかかっています。

- ◆問 34-1 父親が子育てにかかわりづらいのは、なぜだと考えられますか。【主な理由だと思う番号 2 つまでに○】

1. 残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから
2. 通勤時間が長いから
3. 子どもや家庭のことで有給休暇等をとることに職場の理解を得にくいから
4. 父親として具体的に何をすべきかよく分からないから
5. 子育ては女性が行うべきと考えているから
6. 男性が子育てにかかわることを恥ずかしいと思う意識があるから
7. 男性が子育てにかかわることを特別視する風潮が世間にあるから
8. その他（具体的に

）

- ◆問 34-2 父親が子育てにかかわりやすくするためには、どうしたらいいと思いますか。【特に重要だと思う番号 2 つまでに○】

1. 働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす
2. 休業制度を活用する
3. 子育ては母親が主となって行うべき、という世間の意識変革
4. 子育てへのかかわりに対する父親自身の意識変革
5. 父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進
6. その他（具体的に

）

すべての方にかかっています。

- ◆問 35 あなたにとっての理想のお子さんの人数をお答えください。【□内に数字を記入】

	人
---	---

問 35 で、理想のお子さんの人数より現実のお子さんの人数が少ない方にうかがいます。

◆問 35－1 その理由を次のうちからお答えください。【当てはまる番号 2 つまでに○】

1. 今後、出産したいと思っている、出産予定がある
2. 仕事と子育ての両立を考えると難しい
3. 年齢や体質等で出産が難しい
4. 子育ての精神的・肉体的負担が大きい
5. 自分や配偶者の健康や身体的理由から子育てが難しい
6. 子育てにかかる費用負担が大きい
7. 教育にかかる費用負担（学習塾代、大学入学金・授業料）が大きい
8. 子どもが増えることに伴う生活費の負担が大きい
9. 不妊治療にかかる費用負担が大きい
10. 不妊治療の精神的・肉体的負担が大きい
11. 住宅にかかる費用負担が大きい
12. 住宅の広さが子育てをするのに十分ではない
13. 住宅周辺の環境が悪い
14. 自然環境が悪い
15. 子育てに関する情報が十分に得られない
16. 子育てについて相談できる人や場所がない・少ない
17. 子どもを連れてお出かけできる場所がない・少ない
18. 子どもを預ける場所やサービスがない・少ない
19. 子どもを取り巻く社会環境に不安がある
20. 少ない子どもに手間やお金をかけて育てたい
21. 子育てを手助けしてくれる人がいない
22. 子育てよりも自分たちの生活を充実させたい
23. 子育てに自信がない
24. 介護や看護の必要な親族がいる
25. 配偶者や家族が子どもをあまり好きではない
26. 配偶者からの子育て・家事の協力が少ない
27. その他（具体的に

)

◆問 36 最後に、教育・保育環境の充実等、現在の子育ての環境や支援に対してご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

**調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、
12月24日(日)までにポストへご投函ください。**

安心して子どもたちが育つことができる環境、 子育てしやすい環境の充実に向けて

～ 小学生のお子さんの保護者の皆さまを対象としたアンケートへのご協力のお願い ～

市民の皆さまには、日ごろから本市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

これからのまちづくりにおいて、「安心して子どもたちが育つことができる環境、子育てしやすい環境」を充実させるためには、子育てについて、市民の皆さまの日頃の様子やご意見をお聞きしながら、取り組みを進めていくことが大切であると考えています。

そこで、小学生のお子さん 2,000 人を選ばせていただき、その保護者の方を対象に「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」を行います。

いただいたご意見などは、今後策定を予定している「静岡市子ども・子育て支援事業計画」（令和7年度からの5年間）※に反映させていただくとともに、今後の事業の検討など、様々な形で活用させていただきます。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、子育て中の皆さまのご意見を市政に活かすため、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

※「静岡市子ども・子育て支援事業計画」… 子ども・子育て支援法に基づき、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み（需要）を推計し、具体的な目標（供給）の設定を行うものであり、保護者の皆さまに対する調査結果等を踏まえて、計画策定を行います。

令和5年 11 月

静岡市長 難波 喬司



令和5年 12月24日（日）までに

調査票を同封の黄色の「返信用封筒（切手不要）」に入れて
投函 または、下記の回答フォームからパソコン・スマートフォンでご回答ください。

回答フォームは、以下の URL または 2次元コードからアクセスできます。

【U R L】 <https://kosodate.hic-web.org/surv/r5b.html>

【受付期間】 令和5年 11月27日（月）～12月31日（日）

※ ウェブ回答には、調査票の右上のアクセスキーの入力が必要です。



裏面に補足説明があります →

このアンケートについて

- このアンケートは、市内に在住している小学生のお子さん 2,000 人を無作為に抽出して送付しています。保護者の方がご回答ください。
- アンケートは名前を記入しない「無記名方式」です。
- ご回答いただいた内容は、統計処理を行い集計しますので、個人が特定されることはありません。
- 調査結果は、市ホームページでお知らせします。

ご回答いただくうえでのお願い

- アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。
- あて名のお子さんについてご回答を求めている設問については、あて名のお子さんについてのみ、ご回答をお願いします。
- ご回答は、選択肢のある場合は番号を○で囲み、記入欄がある場合 は数字等、() に必要事項をご記入ください。
- 時間の記入は、24 時間制（例：08 時、20 時）でご記入ください。

インターネット回答について

- 回答の際に必要なアクセスキーは、回答の重複を防ぐため、調査票ごと無作為に付与されています。アクセスキーは、調査票の右上にあります。
- インターネット回答の受付期間中は、いつでもご都合の良い時間に回答できます。
- インターネット上のデータの送受信は、安全な通信を行うために暗号化しています。
- 入力内容の一時保存が可能で、一時保存したところから再開が可能です。
- スマートフォンでも回答できます。
- 回答フォームは、以下の URL または 2 次元コードからアクセスできます。

URL <https://kosodate.hic-web.org/surv/r5b.html>

2 次元コード

【受付期間】令和 5 年 1 月 27 日（月）～1 月 31 日（日）



ご不明な点がございましたら、電話または問い合わせフォーム（以下の URL・2 次元コード）から、静岡市子ども未来課企画係にお問い合わせください。

【電 話】054-354-2603

【U R L】<https://logoform.jp/form/79j2/409737>

【2次元コード】



※ この URL 及び 2 次元コードは、問い合わせフォームのものであり、アンケート回答フォームのものではありませんので、お間違えのないようご注意ください。

あて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

◆問1 お住まいについてお答えください。【当てはまる番号1つに○、町名と小学校区を記入】

1. 葵区 2. 駿河区 3. 清水区 (町名: _____ / 小学校区: _____)

◆問2 あて名のお子さんの学年をお答えください。【□内に数字（一枠に一字）を記入】

年生 ※令和5年4月1日時点

◆問3 お子さんは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数とあて名のお子さんが第何子にあたるかをお答えください。また、お二人以上の場合は、一番上のお子さんと一番下のお子さんの生年月をお答えください。【当てはまる番号1つに○、□内に数字（一枠に一字）を記入】

お子さんの人数		人／第		子	一番上のお子さんの生年月	平成		年		月生まれ
					一番下のお子さんの生年月	1. 平成		年		月生まれ
						2. 令和		年		月生まれ

◆問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 両親 2. 父親 3. 母親 4. その他 (_____)

◆問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係について、戸籍の届出の有無にかかわらず事実上の関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

◆問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 両親 2. 主に父親 3. 主に母親 4. 主に祖父母 5. その他 (_____)

あて名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

◆問7 日ごろ、あて名のお子さんをみてもらえる親族や友人・知人はいますか。みてもらっている状況とあわせてお答えください。【当てはまる番号・記号すべてに○】

みてもらえる人の有無 【複数選択可】	みてもらっている状況 【複数選択可】
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	ア. 祖父母等の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である ウ. 祖父母等の時間的制約や精神的負担が大きく心配である エ. 祖父母等に負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもたちの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある カ. その他 (_____)
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	ア. 友人・知人の負担を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である ウ. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である エ. 友人・知人に負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもたちの教育や発達にとってふさわしい環境か、少し不安がある カ. その他 (_____)
5. いずれもない	

- ◆問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人や相談できる場所はありませんか。いる（ある）場合は、相談相手（場所）とあわせてお答えください。【当てはまる番号1つに○、記号すべてに○】

相談先の有無【1つ選択】	相談相手（場所）【複数選択可】
1. いる（ある）	ア. 親や親族 ウ. 近所の人 オ. かかりつけの医師 キ. 保健所 ケ. 市の子育て関連担当窓口 サ. 学校の先生 イ. 友人や知人 エ. 認定こども園等の先生 カ. 子育て支援施設 ク. 保健福祉センター コ. 民生委員・児童委員 シ. その他（ ）
2. いない（ない）	

保護者の働き方についてうかがいます。

保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてお答えください（ひとり親家庭等の場合は、父親または母親の該当箇所のみお答えください）。

- ◆問9 保護者の就労状況と就労時間をお答えください。就労日数、就労時間等が一定でない場合は、もっとも多い日数、時間でお答えください。また、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況でお答えください。【父親、母親それぞれ、当てはまる番号1つに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】
※時間は、必ず24時間制（例：08時、18時）でお答えください。

父親の就労状況【1つ選択】	就労時間【数字を記入】
1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない *フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労	1週当たり 日
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	1日当たり（残業含む） 時間 分
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない *パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労	家を出る時刻 時 分
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	帰宅時刻 時 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	1 または 2 と回答 ⇒ 問10へ
6. これまで就労したことがない	3 または 4 と回答 ⇒ 問9-1へ 5 または 6 と回答 ⇒ 問9-2へ

母親の就労状況【1つ選択】	就労時間【数字を記入】
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない *フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労	1週当たり 日
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1日当たり（残業含む） 時間 分
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない *パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労	家を出る時刻 時 分
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	帰宅時刻 時 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	1 または 2 と回答 ⇒ 問10へ
6. これまで就労したことがない	3 または 4 と回答 ⇒ 問9-1へ 5 または 6 と回答 ⇒ 問9-2へ

問9で、「3」または「4」を選んだ方（パート・アルバイト等で就労している方）にうかがいます。

◆問9-1 フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。

【父親、母親それぞれ、当てはまる番号1つに○】

父親	
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

母親	
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問9で、「5」または「6」を選んだ方（現在就労していない方）にうかがいます。

◆問9-2 就労の希望はありますか。【父親、母親それぞれ、当てはまる番号・記号1つに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

父親	1. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい					
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入</td> <td>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）</td> </tr> <tr> <td>イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）</td> </tr> <tr> <td></td> <td> 1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分 </td> </tr> </table>	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）		1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分
	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入		ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）			
イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）						
	1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分					
2. 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったころに就労したい						
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入</td> <td>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）</td> </tr> <tr> <td>イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）</td> </tr> <tr> <td></td> <td> 1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分 </td> </tr> </table>	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）		1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分
希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）					
	イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）					
	1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分					
	3. 子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）					

母親	1. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい					
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入</td> <td>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）</td> </tr> <tr> <td>イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）</td> </tr> <tr> <td></td> <td> 1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分 </td> </tr> </table>	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）		1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分
	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入		ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）			
イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）						
	1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分					
2. 1年より先、一番下の子どもが □ 歳になったころに就労したい						
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入</td> <td>ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）</td> </tr> <tr> <td>イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）</td> </tr> <tr> <td></td> <td> 1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分 </td> </tr> </table>	希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）		1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分
希望する就労形態 【1つ選択】 ※「イ」の場合は希望する就労時間も記入	ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）					
	イ. パート、アルバイト等（「ア. フルタイム」以外の就労）					
	1週当たり □ 日 1日当たり □ 時間 □ 分					
	3. 子育てや家事等に専念したい（就労の希望はない）					

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

- ◆問 10 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、学校を休まなければならなかったことがありましたか。あった場合は、行った対処方法と対処にかかった日数をあわせてお答えください。【当てはまる番号1つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】
※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

学校を休んだこと 【1つ選択】	1年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】	
1. あった	ア. 就労している父親が仕事を休んだ	日	⇒問 10－1、2 △
	イ. 就労している母親が仕事を休んだ	日	
	ウ. (同居者を含む) 親族や友人・知人に頼んだ	日	
	エ. 父親または母親のうち就労していない方がみた	日	⇒問 11 △
	オ. 病児・病後児の保育を利用した	日	
	カ. ベビーシッターを利用した	日	
	キ. 緊急サポートセンター（※）を利用した	日	
	ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日	
	ケ. その他（ ）	日	
※「緊急サポートセンター」…ファミリー・サポート・センターと同様に、会員組織による子育て支援活動で、病児・病後児の預かりや急な預かりを行います。			
2. なかった	⇒問 11 △		

問 10 で、「ア」 または 「イ」 を選んだ方（父親、母親が仕事を休んだ方）にうかがいます。

- ◆問 10-1 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが、利用したい場合は、利用を希望する延べ日数と事業形態をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

病児・病後児施設等の 利用希望の有無 【１つ選択】									
１．利用したい ※利用にあたっては、一定の利用料がかかり、利用前からかかりつけ医等の受診が必要となる場合があります。	<table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #d9c78f; padding: 5px;">希望延べ日数</td> <td style="padding: 5px;"> </td> <td style="padding: 5px;">日</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">※問 10 のア、イの合計日数を上限としてお答えください。</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #d9c78f; width: 25%; padding: 5px; vertical-align: top;"> 利用を希望する事業形態 【複数選択可】 </td> <td style="padding: 5px;"> ア．認定こども園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業 イ．病院や診療所等に併設した施設で子どもを保育する事業 ウ．自宅で一時的な保育を受けることができる事業 エ．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：緊急サポートセンター等) オ．その他（ ） </td> </tr> </table>	希望延べ日数		日	※問 10 のア、イの合計日数を上限としてお答えください。			利用を希望する事業形態 【複数選択可】	ア．認定こども園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業 イ．病院や診療所等に併設した施設で子どもを保育する事業 ウ．自宅で一時的な保育を受けることができる事業 エ．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：緊急サポートセンター等) オ．その他（ ）
希望延べ日数		日							
※問 10 のア、イの合計日数を上限としてお答えください。									
利用を希望する事業形態 【複数選択可】	ア．認定こども園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業 イ．病院や診療所等に併設した施設で子どもを保育する事業 ウ．自宅で一時的な保育を受けることができる事業 エ．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例：緊急サポートセンター等) オ．その他（ ）								
２．利用したいとは思わない									

◆問 10-2 病児・病後児のための保育施設等を利用しなかった（できなかった）理由をお答えください。【当てはまる記号すべてに○】

利用しなかった (できなかった) 理由 【複数選択可】	ア. 病児・病後児のための保育施設等があることを知らなかったため イ. 病児・病後児のための保育施設等が不便な場所にあるため ウ. 開所時間が遅いため エ. 閉所時間が早いため オ. 利用するための手続きや準備が大変なため カ. 利用料が高いため キ. 親が仕事を休んでみるべきと考えるため ク. 子どもが嫌がるため ケ. 自宅の方が安心できるため コ. 利用したかったが定員オーバーで断られたため サ. 利用したかったが預けることができない症状だったため シ. その他 ()
--	---

**あて名のお子さんの保育事業や宿泊を伴う
一時預かり等の利用についてうかがいます。**

◆問 11 あて名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュ等）、親の通院、就労等の目的で、利用している事業はありますか。利用している場合は、利用している事業と 1 年間のおおよその利用日数を、利用していない場合は、その理由をあわせてお答えください。
【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

利用の有無 【1つ選択】		年間延べ日数 【数字を記入】
1. 利用している ➡	利用している事業 【複数選択可】	ア. ファミリー・サポート・センター 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かります。 日
		イ. 子育て短期支援事業（ショートステイ） 保護者が病気等で一時的に養育が困難な場合や経済的な理由等で保護が必要な場合、7 日間を限度として施設に入所できます。 日
		ウ. ベビーシッター 依頼のあった保護者の自宅等にて子どもを保育します。 日
		エ. その他 () 日
2. 利用していない ➡	利用していない理由 【複数選択可】	ア. 特に利用する必要がない イ. 利用したい事業が地域にない ウ. 事業の質に不安がある エ. 事業の利便性（場所、時間等）がよい オ. 利用料がかかる・高い カ. 利用料が分からない キ. 自分が事業を利用できる対象になるのかどうか分からない ク. 利用方法が分からない ケ. その他 ()

- ◆問 12 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用したい場合は、希望する事業形態と必要な日数（目的別の日数と、利用したい合計日数）をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

利用希望の有無 【1つ選択】		
1. 利用したい ※利用にあたっては、一定の利用料がかかります。	希望する事業形態 【複数選択可】 ア. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター等） イ. その他（ ）	
	希望する利用目的 【複数選択可】 ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的 イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹含む）や親の通院等 ウ. 就労 エ. その他（ ） ア～エの合計日数	
		日
		日
		日
		日
日		
2. 利用する必要はない	年間希望延べ日数 【数字を記入】	

- ◆問 13 この1年間に、保護者の用事（仕事、冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことがありましたか（預け先が見つからなかった場合も含む）。あった場合は、この1年間の対処方法とそれぞれの日数をあわせてお答えください。【当てはまる番号 1 つに○、記号すべてに○。□内に数字（一枠に一字）を記入】

宿泊を伴う預かり 【1つ選択】	1年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】	
1. あった	ア. （同居者を含む）親族や友人・知人に預けた	泊	⇒問 13-1 へ ⇒問 14 へ
	イ. 子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した	泊	
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	泊	
	エ. 預け先が見つからず子どもを同行させた	泊	
	オ. その他（ ）	泊	
2. なかった	⇒問 14 へ		

問 13 で、「ア」を選んだ方にうかがいます。

- ◆問 13-1 親族や友人・知人に預ける場合にどの程度困難であったかお答えください。【当てはまる番号 1 つに○】

1. 非常に困難	2. どちらかというと困難	3. 特に困難ではない
----------	---------------	-------------

あて名のお子さんの放課後の過ごし方と放課後児童クラブの利用についてうかがいます。

◆問 14 あて名のお子さんは、小学6年生までの間、**放課後（平日の小学校終了後）の時間**を主にどのような場所で過ごしますか。【当てはまる番号1つに○】

1. 自宅	2. 祖父母宅や友人・知人宅	3. 習い事（スポーツ、塾等）
4. 市の放課後児童クラブ （児童館内の放課後児童クラブを含む）	5. 民間の放課後児童クラブ	6. 児童館
7. 放課後子ども教室	8. 放課後等デイサービス	9. ファミリー・サポート・センター
10. その他（		）

「放課後児童クラブ」 学童保育とも呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童を対象に、支援員等が家庭に代わる生活の場を提供するものです。市が運営するクラブと、民間事業者（企業、保育園等）が運営するクラブがあります。利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「児童館」 親子で一緒に遊んだり、小学生が友だち同士で様々な遊びを楽しんだりすることができる施設であり、令和 5 年 4 月時点では市内に 13 か所設置されています。児童館内の放課後児童クラブを利用する場合には、「4」を選択してください。

「放課後子ども教室」 地域・学校の連携・協働により、学校施設を活用して、子どもたちに様々な体験の場や地域の方・異学年の児童との交流の場を提供する社会教育事業です。（放課後児童クラブと異なり、保護者の就労状況等にかかわらず、実施校に通う全ての児童が利用できます。開設時間：概ね授業終了～下校時刻、開設日：開校日の中で地域の実情に応じて設定）

「放課後等デイサービス」 小・中・高等学校等に就学している 18 歳未満の障がい児（授業の終了後または休業日に支援が必要と認められた者）に対して、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進、その他必要な支援を提供します。

「ファミリー・サポート・センター」 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かります。子どもの預かりは、援助を行う会員の自宅で実施します。利用にあたっては、一定の利用料が発生します。

「4」を選んだ方 ⇒ 問 15へ
「5」を選んだ方 ⇒ 問 17へ
「4」、「5」以外を選んだ方 ⇒ 問 19へ

問 14 で、「4」を選んだ方にうかがいます。

◆問 15 あて名のお子さんの放課後児童クラブの利用状況をお答えください。【項目ごと、当てはまる番号1つに○】

(1) <u>放課後の時間を主に児童クラブで過ごす</u> のは、何年生までを予定していますか。	1. 1年生まで 4. 4年生まで	2. 2年生まで 5. 5年生まで	3. 3年生まで 6. 6年生まで
(2) 児童クラブへのお迎えは、主に何時頃を予定していますか。	1. 午後3時まで 4. 午後6時まで	2. 午後4時まで 5. 午後7時まで	3. 午後5時まで
(3) 児童クラブの利用日は、何曜日を予定していますか。	1. 月～金曜日 4. その他（	2. 月～土曜日	3. 土曜日のみ ）
(4) 平日（小学校終了後）の児童クラブの利用日は、何日を予定していますか。	1. 週5日 4. 週2日	2. 週4日 5. 週1日	3. 週3日 6. 月1～3日
(5) 児童クラブの利用期間は、いつを予定していますか。	1. 通年 4. その他（	2. 夏休みのみ	3. 夏・冬・春休み ）

◆問 16 放課後児童クラブに対する要望についてお答えください。【当てはまる番号すべてに○】

1. 学校休暇中の開所時間（午前 8 時）を早くしてほしい
2. 閉所時間（午後 7 時）を遅くしてほしい
3. 日曜日及び祝日も開いてほしい
4. 施設設備を改善してほしい
5. 利用料を安くしてほしい
6. 指導内容を工夫してほしい
7. 指導員の人数を増やしてほしい
8. 指導員の質の向上を図ってほしい
9. 障がいをもつ児童や医療的ケアが必要な児童をもっと受け入れてほしい
10. 夏休み期間専用の児童クラブを開設してほしい
11. その他 （ ）
12. 特になし

⇒問 18 へ

問 14 で、「5」を選んだ方にうかがいます。

◆問 17 あて名のお子さんの民間の放課後児童クラブの利用状況をお答えください。【項目ごと、当てはまる番号 1 つに○】

(1) 利用している児童クラブ名をお答えください。	クラブ名 （ ）
(2) <u>放課後の時間を主に児童クラブで過ごす</u> のは、何年生までを予定していますか。	1. 1 年生まで 2. 2 年生まで 3. 3 年生まで 4. 4 年生まで 5. 5 年生まで 6. 6 年生まで
(3) 民間の放課後児童クラブの利用を希望する、主な理由は何ですか。	1. 利用できる曜日が多い 2. 利用できる時間が長い 3. 活動内容が充実している 4. 市の児童クラブに入れなかった 5. その他 （ ）

⇒問 17 (2) で、「4」～「6」を選んだ方は問 18 へ、「1」～「3」を選んだ方は問 21 へ

問 15 (1) で、「4」～「6」を選んだ方、問 17 (2) で「4」～「6」を選んだ方にうかがいます。

◆問 18 放課後児童クラブを利用する理由をお答えください。【当てはまる番号すべてに○】

1. 児童が長い時間自宅で一人で過ごすことに不安がある
2. 祖父母等が同居または自宅近くにいるが、児童の面倒をみることができない
3. 児童が放課後児童クラブの入会を希望している
4. 友達が入会している
5. 習い事が始まる時間まで過ごす
6. 児童に障がいがある
7. その他 （ ）

⇒問 21 へ

問 14 で、「4」、「5」以外の項目を選んだ方にうかがいます。

◆問 19 放課後児童クラブを利用していない主な理由をお答えください。【当てはまる番号 1 つに○】

1. 保護者が現在就労していないから
2. 保護者が就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
3. 子どもは放課後に習い事をしているから
4. 祖父母等親族や友人・知人に預けているから
5. 他の施設やサービスを利用しているから
6. 放課後児童クラブの開所時間が短いから
7. 利用料が高いから
8. 近くに放課後児童クラブがないから
9. 放課後児童クラブに空きがないから
10. その他（具体的に

）

⇒問 14 で、「9」を選んだ方は問 20 へ、問 14 で、「9」以外の項目を選んだ方は問 21 へ

問 14 で、「9」を選んだ方にうかがいます。

◆問 20 あて名のお子さんのファミリー・サポート・センターの利用状況および利用予定をお答えください。

【□内に数字を記入】

1 週当たり

回程度

もしくは 1 ヶ月当たり

回程度

すべての方にうかがいます。

◆問 21 あて名のお子さんは、小学 6 年生までの間、夏休み等長期休暇期間の日中の時間を主にどのような場所で過ごしますか。【当てはまる番号 1 つに○】

- | | | |
|-------------------------------------|----------------|--------------------|
| 1. 自宅 | 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | 3. 習い事（スポーツ、塾等） |
| 4. 市の放課後児童クラブ
（児童館内の放課後児童クラブを含む） | 5. 民間の放課後児童クラブ | 6. 児童館 |
| 7. 放課後子ども教室 | 8. 放課後等デイサービス | 9. ファミリー・サポート・センター |
| 10. その他（ | | ） |

子育て支援サービスの認知度および利用状況等についてうかがいます。

- ◆問 22 次のサービスや事業を利用したことや聞いたことがありますか。利用したことがある場合は、利用時の満足度とあわせてお答えください。また、これまでの利用の有無にかかわらず、今後の利用希望をお答えください。【項目ごと、当てはまる番号 1 つに○】
- ※事業・サービスによっては、一定の利用料がかかる場合があります。

【A】 認知度・利用状況	【B】満足度	【C】今後の利用希望
1. 利用したことがある	1. 良かった	1. 今後も引き続き利用する
2. 知っているが利用したことはない	2. 普通	2. 今後利用したい
3. 知らなかった	3. 良くなかった	3. 利用するつもりはない

【情報発信等】

サービスや事業の種類	【A】 認知度・利用状況 (すべての方がご回答ください。)	【B】 満足度 (【A】で「1」を選択した方のみご回答ください。)	【C】 今後の利用希望 (すべての方がご回答ください。)
1. しずおか子育てハンドブック 子育て支援の様々な情報を冊子にまとめて提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
2. 静岡市子育て応援総合サイト「ちゃむ しずおか」 子育て支援の情報を一つのホームページにまとめて掲載し、情報発信します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
3. しずおか子育てきずな LINE 妊娠期から満3歳誕生日まで、妊娠週数やお子さんの月齢に合わせて静岡市公式 LINE から情報をお届けします。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
4. しずおか子育て優待カード お買物や飲食等の際に、協賛店舗で提示すると特典や優待が受けられます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
5. こんにちは赤ちゃん事業 生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、子育て支援の情報等を提供します。	1 2 3	1 2 3	
6. マザーズハローワーク 仕事と子育ての両立を目指す方々のための就労相談やミニセミナー等を実施します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3

【相談・支援・遊び等】

サービスや事業の種類	【A】 認知度・利用状況 (すべての方がご回答ください。)	【B】 満足度 (【A】で「1」を選択した方のみご回答ください。)	【C】 今後の利用希望 (すべての方がご回答ください。)
7. 児童相談所 子育てや児童虐待に関する相談、子どもの保護、里親家庭や施設による子どもの養育等子どもの権利を守り、成長を支援します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
8. 家庭児童相談室 (各区子育て支援課内) 子どもとご家庭に関わる様々な相談を、電話または面談で受け付けます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
9. 子ども若者相談センター 不登校、いじめ、学校・家庭での問題等、子どもに関する相談を受け付けます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
10. 子育て世代包括支援センター 妊娠期から子育て期までの、様々な悩み・質問・相談を受け付けます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
11. 産後ケア 出産後の回復や育児等に不安をお持ちの母親に、専門的ケアの提供や育児相談等を行います。	1 2 3	1 2 3	
12. ママケアデイサービス 生後4か月から1歳未満の子どもを持つ母親に、休息や交流ができる場所や時間等を提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
13. 赤ちゃん広場 子育て親子が清水保健福祉センターにおいて気軽につどい、うちとけた雰囲気の中で語り合い、相互に交流を図ります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
14. 子育て支援センター 子ども連れて遊びながら、情報交換や仲間づくりをすることができるほか、子育ての不安や悩みについての相談ができます。	1 2 3	1 2 3	
15. あそび・子育ておしゃべりサロン 市内の認定こども園・保育園で、子育ての不安や悩みをもつ方からの相談や親子の遊び場を提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
16. 幼稚園の子育てひろば 幼稚園で開催する子育て相談・園庭開放です。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
17. 子育てトーク・子育てサロン 市内各地区の社会福祉協議会で、親同士の交流や親子での遊び、専門家による育児のアドバイスや相談を行います。	1 2 3	1 2 3	
18. 保育コーディネーター (各区子育て支援課内) 認定こども園・保育園等や子育て支援の利用についての情報提供、相談、アドバイスを行います。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
19. 子ども未来サポーター 子育て支援センターを拠点に、利用者の状況に寄り添った子育て支援事業の情報提供やコーディネート、出張相談等を行います。	1 2 3	1 2 3	
20. 妊婦健康診査 安心な分娩や出産、妊婦の経済的負担の軽減を図るため公費負担の受診票を交付し、医療機関等への受診を勧奨します。	1 2 3	1 2 3	
21. 子育て支援ヘルパー 妊娠中や1歳未満の子どもがいるご家庭、3歳未満の子どもが2人以上いるご家庭に、家事や育児の手伝いをするヘルパーを派遣します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
22. 児童館 親子で一緒に遊んだり、小学生が友だち同士で様々な遊びを楽しむことができます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3

【預かり等】

サービスや事業の種類	【A】 認知度・利用状況 (すべての方がご回答ください。)	【B】 満足度 (【A】で「1」を選択した方のみご回答ください。)	【C】 今後の利用希望 (すべての方がご回答ください。)
23. ファミリー・サポート・センター 援助を必要とする人と援助を行う人がそれぞれ会員となり、会員組織内で子どもを預かります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
24. 緊急サポートセンター ファミリー・サポート・センターと同様に、会員組織による子育て支援活動で、病児・病後児の預かりや急な預かりを行います。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
25. 病児・病後児保育 働くご家庭の子育てを応援するため、病氣中または病氣回復期のお子さんを預かり、保育・看護を行います。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
26. 子育て短期支援事業 (ショートステイ) 保護者が病氣等で一時的に養育が困難な場合や経済的な理由等で保護が必要な場合、7 日間を限度として施設に入所できます。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
27. 認定こども園・保育園等の一時預かり 保護者が病氣や冠婚葬祭等一時的に養育が困難な場合に、認定こども園・保育園等で一時的に預かります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
28. 幼稚園・認定こども園の一時預かり 通常の就園時間の前後を延長して預かります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
29. 中央子育て支援センターの一時預かり 仕事や通院等の間、生後2か月から就学前までの子どもを預かります。	1 2 3	1 2 3	
30. 延長保育 一部の認定こども園・保育園等において通常の保育のほか、18 時以降も時間を延長して保育します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
31. 放課後児童クラブ 保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童を対象に、支援員等が家庭に代わる生活の場を提供します。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
32. 放課後子ども教室 地域・学校の連携・協働により、学校施設を活用して、子どもたちに様々な体験の場や地域の方・異学年の児童との交流の場を提供する社会教育事業です。	1 2 3	1 2 3	1 2 3
33. 実費徴収に伴う補足給付事業 認定こども園・保育園等を利用する生活保護世帯に対する学用品費、や幼稚園を利用する世帯※に対する副食費（おかず代）を助成します。 ※幼稚園を利用する世帯のうち、多子世帯や一定の所得を下回る世帯が対象となります。	1 2 3	1 2 3	1 2 3

◆問22-1 子育て支援やお住まいの地域における子育て環境に満足していますか。総合的な満足度をお答えください。【当てはまる番号1つに○】

1. 満足	2. やや満足	3. 普通
4. やや不満	5. 不満	

子育てに関する意識等についてうかがいます。

◆問 23 子育てを支援するために、効果が高いと考えられるものまたは充実を図ってほしいと期待するものをお答えください。【特に重要と思う番号3つまでに○】

1. 子育て支援に関する情報提供の拡充
2. 児童館や公園等の子どもの遊び場の拡充
3. 放課後児童クラブを増やす
4. 放課後子ども教室の活動の充実
5. 認定こども園や保育園などの教育・保育施設を増やす
6. 発育や発達面に配慮が必要な子どもの受け入れ体制の充実
7. 親が子育てについて学ぶことができる講習会等の開催を増やす
8. 親子で参加できる各種イベントの開催を増やす
9. 認定こども園・保育園や幼稚園等の費用負担の軽減
10. 児童手当及びこども医療費助成の対象拡大や支給額の増額等、子育てのための経済的支援の拡充
11. 出産に対する経済的支援の充実
12. 不妊治療に対する経済的支援の充実
13. 子育て世帯の優先入居や広い部屋の割り当て等の住宅面の配慮
14. 公共施設におけるファミリートイレの設置またはバリアフリー化等の整備
15. 行政では対応しにくいきめ細かなサービスの提供が期待できる、NPO等による保育サービス等の充実
16. 安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備
17. 安心して子育てができるための相談機関の充実
18. 残業の縮減や育児・介護休暇等の取得促進、短時間勤務制度、フレックスタイム制度の実施等、男性を含めた働き方の見直し
19. 男性の家事・育児への参加を促進
20. 子育てに対する寛容さなど、子育てしやすい社会の雰囲気づくり
21. その他（具体的に _____）
22. 特になし

◆問 24 子育てについて、日ごろ悩んでいることや不安に思っていることはありますか。【当てはまる番号すべてに○】

1. 子どもの病気に関すること
2. 子どもの発育・発達に関すること
3. 子どもの食事や栄養に関すること
4. 子育ての方法がよく分からないこと
5. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
6. 子どもとの時間を十分にとれないこと
7. 話し相手や相談相手がいないこと
8. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
9. 子育てにかかる費用が大きな負担になっていること
10. 子どもの教育に関すること
11. 友達付き合い（いじめ等を含む）に関すること
12. 不登園・不登校に関すること
13. その他（具体的に _____）
14. 特になし

父親の方にかかっています。

◆問 25 あなたは日ごろ、どの程度、子育てにかかわっていると思いますか。【当てはまる番号1つに○】
(ひとり親家庭で母親がいない場合は回答不要です。問 27 へお進みください。)

1. 母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う → 問 25-2 へ
2. 子育てにおける父親と母親の大きな役割分担をしている → 問 25-2 へ
3. 少しはかかわっている方だと思う → 問 25-1、2 へ
4. 休日以外は、ほとんどかかわっていない → 問 25-1、2 へ
5. 母親に子育ては任せっきりで、かかわっていない → 問 25-1、2 へ

→ 問 25 で、「3」～「5」を選んだ方にかかっています。

◆問 25-1 あなたが子育てにかかわりづらいのは、なぜだと考えられますか。【主な理由の番号2つまでに○】

1. 残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから
2. 通勤時間が長いから
3. 子どもや家庭のことで有給休暇等をとることに職場の理解を得にくいから
4. 父親として具体的に何をすべきかよく分からないから
5. 子育ては女性が行うべきと考えているから
6. 男性が子育てにかかわることを恥ずかしいと思う意識があるから
7. 男性が子育てにかかわることを特別視する風潮が世間にあるから
8. その他（具体的に

)

◆問 25-2 父親が子育てにかかわりやすくするためには、どうしたらいいと思いますか。【特に重要と思う番号2つまでに○】

1. 働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす
2. 休業制度を活用する
3. 子育ては母親が主となって行うべき、という世間の意識変革
4. 子育てへのかわりに対する父親自身の意識変革
5. 父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進
6. その他（具体的に

)

母親の方にかかっています。

- ◆問 26 あなたから見て、父親は日ごろ、どの程度、子育てにかかわっていると思いますか。【当てはまる番号 1 つに○】（ひとり親家庭で父親がいない場合は回答不要です。問 27 へお進みください。）

1. 母親に子育てを任せず、積極的にかかわっていると思う → 問 26-2 へ
2. 子育てにおける父親と母親の大きな役割分担をしている → 問 26-2 へ
3. 少しはかかわっている方だと思う → 問 26-1、2 へ
4. 休日以外は、ほとんどかかわっていない → 問 26-1、2 へ
5. 母親に子育ては任せっきりで、かかわっていない → 問 26-1、2 へ

→ 問 26 で、「3」～「5」を選んだ方にかかっています。

- ◆問 26-1 父親が子育てにかかわりづらいのは、なぜだと考えられますか。【主な理由と思う番号 2 つまでに○】

1. 残業や休日出勤が多く、仕事を優先せざるを得ないから
2. 通勤時間が長いから
3. 子どもや家庭のことで有給休暇等をとることに職場の理解を得にくいから
4. 父親として具体的に何をすべきかよく分からないから
5. 子育ては女性が行うべきと考えているから
6. 男性が子育てにかかわることを恥ずかしいと思う意識があるから
7. 男性が子育てにかかわることを特別視する風潮が世間にあるから
8. その他（具体的に

- ◆問 26-2 父親が子育てにかかわりやすくするためには、どうしたらいいと思いますか。【特に重要と思う番号 2 つまでに○】

1. 働き方を見直し、残業や休日出勤を減らす
2. 休業制度を活用する
3. 子育ては母親が主となって行うべき、という世間の意識変革
4. 子育てへのかわりに対する父親自身の意識変革
5. 父親が子育てにかかわることへの職場の理解促進
6. その他（具体的に

すべての方にかかっています。

- ◆問 27 あなたにとっての理想のお子さんの人数をお答えください。【□内に数字を記入】

	人
---	---

問 27 で、理想のお子さんの人数より現実のお子さんの人数が少ない方にうかがいます。

◆問 27-1 その理由を次のうちからお答えください。【当てはまる番号 2 つまでに○】

1. 今後、出産したいと思っている、出産予定がある
2. 仕事と子育ての両立を考えると難しい
3. 年齢や体質等で出産が難しい
4. 子育ての精神的・肉体的負担が大きい
5. 自分や配偶者の健康や身体的理由から子育てが難しい
6. 子育てにかかる費用負担が大きい
7. 教育にかかる費用負担（学習塾代、大学入学金・授業料）が大きい
8. 子どもが増えることに伴う生活費の負担が大きい
9. 不妊治療にかかる費用負担が大きい
10. 不妊治療の精神的・肉体的負担が大きい
11. 住宅にかかる費用負担が大きい
12. 住宅の広さが子育てをするのに十分ではない
13. 住宅周辺の環境が悪い
14. 自然環境が悪い
15. 子育てに関する情報が十分に得られない
16. 子育てについて相談できる人や場所がない・少ない
17. 子どもを連れてお出かけできる場所がない・少ない
18. 子どもを預ける場所やサービスがない・少ない
19. 子どもを取り巻く社会環境に不安がある
20. 少ない子どもに手間やお金をかけて育てたい
21. 子育てを手助けしてくれる人がいない
22. 子育てよりも自分たちの生活を充実させたい
23. 子育てに自信がない
24. 介護や看護の必要な親族がいる
25. 配偶者や家族が子どもをあまり好きではない
26. 配偶者からの子育て・家事の協力が少ない
27. その他（具体的に

)

◆問 28 最後に、教育・保育環境の充実等、現在の子育ての環境や支援に対してご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、
12月24日(日)までにご投函ください。

令和5年度
静岡市「子ども・子育て支援に関するニーズ調査」
【調査結果報告書】

編集・発行 静岡市 子ども未来局 子ども未来課
